

高額電子書籍徹底研究

# E-BOOK白書

ついに到達する  
専業トレーダーの  
秘密売買テクニックと  
資金管理手法

# 2010-2011 投資 資産運用 編

最新PDF  
速報版

124情報  
395万円分  
を収録!!

2011年4月最新ヒット高額投資法まで  
124情報395万円分を【緊急】凝縮収録!!  
高額情報はダイジェストで読む時代

「原著より解りやすく」をとことん追求。  
文字数大幅アップで投資法・ロジックまるわかり

# Contents

## E-BOOK白書 2010-2011 投資・資産運用編 最新PDF速報版

### 第1部 最新PDF速報版 E-BOOKのダイジェスト

01	3クリックFX .....	10
02	225ブレイクショット .....	25
03	345 speed - FX ! .....	38
04	direction225 .....	46
05	FXスキャルマスター .....	56
06	FXセブンストラテジー .....	68
07	FXトレーサーシステム .....	88
08	GOLDEN ポン円FX .....	100
09	FX1本で生活したい方へ送る最終バイブル【ONE-FX】 .....	107
10	Super Top Trader .....	112
11	インスタントFXシステム .....	135
12	ウルトラリベロ .....	146
13	プロトレーダーエコのFXライントレードマスタープログラム .....	153
14	スキャルFX .....	188
15	罖を仕掛け、獲物を捕獲する『スパイダー』 .....	197
16	タックスヘイブン究極の活用法 .....	204

# Contents

17	たのしいFX .....	220
18	テクニカル分析の王道 FX.....	227
19	トップディーラー育成プログラム .....	243
20	ハイパワースキャルピング-FX.....	254
21	Profit Maker .....	263
22	FXメタバード.....	277
23	ユダヤのサイン .....	288
24	伝説の投資ファンド .....	297
25	最後のFX.....	311
26	イーポジ戦略.....	322
27	町田式FX-FEVERシステムパック .....	330
28	天海源一郎のマーケット攻略頭脳形成プログラム.....	337
29	快適スイングシステム日経マーケットブレード.....	346
30	不動産投資パーフェクトスタートガイド .....	357
31	UPCURRENT .....	366
32	ほったらかしで月収100万稼げるオプション投資の裏テクニク ..	376
33	Super FX SYSTEM.....	385
34	ローリスク サヤ取り投資法.....	388
35	バブル投資術 .....	396
36	鬼勝ちFX.....	407
37	【黒船再来】投資先進国アメリカの20万円を一億円に変える方法.....	416
38	2億を作った超短期仕手株投資法 .....	424
39	借金男 .....	435
40	瞬殺FX.....	442
41	超然FX.....	451

# Contents

4 2	帝王投資！ .....	462
4 3	投資 KING の FX 完全極秘投資術.....	471
4 4	暴落破壊投資術.....	479
4 5	FX トレンドマスター .....	486
4 6	電子書籍 e ワラントマニュアルの決定版！ .....	494
4 7	シューターズFX！ .....	504
4 8	渋谷高雄のトップトレーダー育成プログラム.....	510
4 9	プレジデントFX .....	526
5 0	これが唯一まともな FX 本.....	535
5 1	相場師育成マニュアル極.....	541
5 2	FXEZ( エフエックス★イージー ).....	544
5 3	誰でも寝てる間に稼げる！自動判定機能付驚異のホッタラカシ投資！	554
5 4	誰でも超簡単！自動判定機能付驚異のホッタラカシ投資！ .....	561
5 5	日経 2 2 5 先物.....	568
5 6	暴落投資法 .....	577
5 7	FX 完全攻略！トレーダーズ・クラブ！.....	586
5 8	暗黒 FX レバレッジの秘密.....	589
5 9	カグラ式FXトレンド シグナルベーシック版.....	599
6 0	毎月投資額の 8 %を稼いだ方法.....	606
6 1	世界最高峰の投資理論.....	614
6 2	FX サヤ獲り名人.....	623
6 3	佐藤式インパクトトレード術.....	633
6 4	バサラ投資術 .....	642
6 5	大浦式デイトレード！ .....	652
6 6	Reduce-FX.....	659
6 7	渋谷高雄の空売りセミナー DVD .....	680
6 8	キャンドルFX.....	687

# Contents

69	分速 FX24 .....	696
70	山本伸一のグロース・ワラント .....	707
71	山本伸一の日経 225 先物パターントレード .....	716
72	日本初のワラントシステム「e笑人くん」 .....	725
73	インスタント FX システム .....	735
74	島左近のシンプルリラックス F X .....	746
75	『逆転！桶狭間トレード』 .....	752
76	「至極のチャート ver3.01」第3弾バージョンアップ版 .....	764
77	超安定の日経 225 先物システムトレード「Foresight 225」 .....	781
78	ミラクル F X MindTracer2009 .....	788
79	赤門 F X .....	799
80	脅威の日経 225 システムトレードマジック 2 2 5 .....	806
81	F X スキャルピングメソッド .....	816
82	G P F X .....	826
83	Max System F X .....	835
84	Sメソッド .....	859
85	スゴワザ F X .....	866
86	ビリオンゴッド セット版 .....	875
87	引退 F X .....	888
88	【竹之内式】10pips FX ～ FX で 6000 万の資産を築いた方法 .....	900
89	竹本淳一のサヤ取りメソッド 2009 .....	910
90	【仲村式】ツイントレード .....	929
91	全く新しい F X テクニカルチャート～はるか足 .....	938
92	2008 年 10 月の大暴落にあって月間利益率 1500% OVER .....	945
93	ハゲタカ債券投資法 .....	960

# Contents

94	究極の安定を求めた超スキャルピングが誕生！【侍FX】.....	973
95	PF2.14の奇跡！「Dr. 225」.....	982
96	FXビクトリーメソッド.....	994
97	2億円を作った超短期仕手株投資法.....	1026
98	日経225&TOPIX必勝売買戦略 ver.7.....	1038

# Contents

## 第2部 E-BOOK白書 Weekly 一刀両断！情報商材ジャーナル

01	【緊急！】インフォトップ第一位の「インド式」は詐欺商材です .....	1067
02	【悪質商材 緊急情報 1日22分 mixi & Yahoo 月81万円】 .....	1069
03	続報！悪質【mixi & Yahoo で不労所得81万】 .....	1074
04	続・ 続報！悪質【mixi & Yahoo で不労所得81万】 .....	1075
05	祝！【mixi & Yahoo で不労所得81万】 .....	1076
06	返金！【道は開ける】インフォトップが自ら返金処理 .....	1077
07	<b>苦情殺到【3回のメール送受信不労所得44万円】商材を緊急検証...</b>	1079
08	株式会社インフォトップ（代表取締役高濱憲一）の対応に注目 .....	1083
09	祝！業界初！インフォトップ【返金制度】を明言 .....	1085
10	【インフォトップアワードで悪質起業家と対決!?!】 .....	1087
11	【鉄槌！】イカサマ商材 「おつり de ロト 1000万円」 .....	1088
12	【返金】おつり de ロト みんなで19300円を取り返そう！ .....	1091
13	自宅直撃取材【悪質 mixi 商材】 .....	1093
14	mixi で月収93万円の不労所得を得た男 .....	1094
15	大問題！【自販機アフィリエイト】「大戸要」を徹底検証 .....	1098
16	【悪質商材】破産寸前から月収1000万円までの道のり！ .....	1107
17	事務所直撃【自販機アフィリエイト】ペテン師「大戸要」を斬る！ .....	1111
18	【緊急検証】 ネオ・マーケティング .....	1115
19	検証【1円も使わずに年間190,000マイル獲得する方法】 .....	1123
20	小遣い月3万円のサラリーマンパパの貧乏脱出大作戦 .....	1126
21	ネットで競馬や麻雀を楽しみながら月収65万円以上稼いだ方法！	1129
22	わずか9日間の作業で月収606万円の不労所得を得た男！ .....	1132
23	祝！インフォトップ削除 ネットで競馬や麻雀を楽しみながら .....	1138

# Contents

24	【追撃!アメックスブラックカードへの道】.....	1139
25	検証【2100円で海外旅行する方法!】.....	1142
26	続【和歌山県警本部へ通報】.....	1146
27	検証!【ど借金大魔王が、月収500万稼ぎ、たった6ヶ月で.....	1149
28	検証!【石坂リョウ まぐまぐの錬金術師.....	1152
29	【インフォトップから商品削除】E-BOOK 白書.....	1155
30	「日本インターネットアントレプレナー協会」を設立.....	1158
31	検証!新美則幸【さわやかアダルトアフィリエイト】.....	1162
32	マネーの虎FX!年商100億の虎"南原"が20億を稼いだ.....	1167
33	検証!望月こうせい【7ステップアフィリエイト2008】.....	1171
34	誇大広告!【橋爪流インターバンクディーラーFXを徹底検証!!】.....	1177
35	怒り爆発【3日で58万円 マネーのアイランド】.....	1181
36	デタラメ団体日本インターネットアントレプレナー協会.....	1186
37	有田式パソコンど素人女がノートパソコン一台で年4000万稼いだ.....	1189
38	携帯素人の美容師が本業以上の月収を稼ぎ出した方法.....	1199
39	緊急検証!【ほったらかしアホリエイト2】.....	1204
40	緊急続報 ほったらかしアホリエイト2.....	1211
41	糾弾! 毎月80万円儲かる【必勝の法則~トリプルローズ】.....	1212
42	緊急検証!【木坂健宣と20万円超高額新商材】.....	1215
43	【重大】窮地の二十歳 和佐大輔と架空法人疑惑.....	1217
44	毎月5万円から2年で6825万を稼いだeワラント超投資法.....	1220
45	7日で会社を辞めれた魔法のFX投資術☆☆未来予想型 Rays・FX.....	1225

\*赤字の号には投資・資産運用編の商材解説が含まれています



# 第1部

## E-BOOK白書 2010-2011 投資・資産運用編

最新 PDF 速報版

## E-BOOKのダイジェスト

勝ち続けるなら王道！  
**3クリックFX**

## 発行元情報

■発行元	セントラル産業株式会社
■販売責任者	原 誠
■所在地	千葉県佐倉市上座4 1 2 - 5 0
■電話	043-489-3970
■メール	nfo@central1.jp
■URL	<a href="http://fx1oku.net/">http://fx1oku.net/</a>

**価格 29,800 円**

## … 目次 …

第1ステージ 常勝トレーダーへのファーストステージ…	10
第2ステージ トレードレベル別チャートマスターステージ…	106
第3ステージ トレードレベル別チャートマスターステージ…	153
第4ステージ チャートパターン徹底マスターステージ…	212
第5ステージ さらに勝率を上げるためのファイナルステージ…	289

全311ページ。チャート画像が不鮮明。

# E-BOOKのダイジェスト

ローソク足のみを使って「70万円の口座がたった3日後63万円の利益を生み、133万円に」（セールスレター）したというこの「3クリックFX」。商材タイトルの意味は不明だが、セールスレターを読むとトレンドラインやチャートパターンを使った手法のようである。内容を見ていこう。

## 第1ステージ常勝トレーダーへのファーストステージ

この章では投資全般について説明しているが、「多くのトレーダーが負ける原因は様々ですが、その中で理由はある程度パターンがあります。」（12ページ）として以下の2つが挙げられている。

- 勝てるチャートパターン知識が少ない
- リスク管理が徹底していない

そして勝てるトレーダーの条件とは以下の3つの条件の内少なくとも2つを満たしていることだという。

### ●最適なエントリー&決済ポイントの算出

ここでは実際のトレードの時系列に沿ってエントリーと決済のポイントが説明されている。エントリーの際に注意するポイントとして以下が挙げられている。

- ・細かなトレンドの転換を捉えようとしない
- ・買いの場合は1番底を確認してからエントリー準備をする
- ・売りの場合は1番天井を確認してからエントリー準備をする
- ・買いの場合は大き目のトレンドの中の落ちたところでエントリーする
- ・売りの場合は大き目のトレンドの中の上げたところでエントリーする
- ・特に初心者の場合は、損切り幅をある程度深く設定し、その代わり低レバレッジでエントリーする

# E-BOOKのダイジェスト

「特にFX初心者の方は、ゆったり目の日足を見てエントリーすることから始めるべき」(21ページ)「日足チャートを見てトレードする場合は、ある程度の損切り幅が必要ですから、レバレッジを低く設定」(21ページ)としている。

## ●値幅のあるエントリー&決済ポイントの算出

まず基本的な考え方として「損切り幅が深いのであれば、レバレッジを落として勝率を上げ、逆に損切り幅を狭くするのであれば、

ある程度レバレッジを上げて、勝率が低めなトレードを行ったりします。」(29ページ)としている。しかしこの意味がわからない、「レバレッジ」と「勝率」は直接には関係ない。ここで説明されているエントリー手法は「トレンドラインを引き、上昇トレンドの底を確認し、反転して下落に転じ始めたら売りエントリーする」というものである。と言っても逆張りではなく、トレンドの初期に乗る順張りだといえるだろう。この章では概要の説明のため、簡略化しているのかもしれないが、ラインを用いた手法としては極めてオーソドックスなアプローチである。

## ●精神面のコントロール技術

注意するポイントとしては以下が挙げられている。

- \* 損切りが出ても再エントリーのポイントがぶれないために。
- \* 連勝が続いても、うかつなエントリーとならないために。
- \* 資金が増えても、適正レバレッジを守れるように。
- \* 不安感から、早期利益確定を繰り返してしまい、結局は一度の負けでトータル的な損失を出さないために。

# E-BOOKのダイジェスト

- \* また逆に含み損の恐怖から、損切りを急ぎ過ぎ、小さな負けを数多く積み上げ、結局トータルで損失とならないために。
- \* そして何よりも、損切りのタイミングを逸し、莫大な含み損を抱えることのないように。

書いてあることはもっともであるが、それを実行するためのノウハウは「気の置けない仲間数人で口座を共有し、ルールを決め、そのルール通りのトレードを順番で行うなどです。」(65 ページ) とあるのみだ。この方法はあまり現実的ではないし、複数の人間が口座にアクセスすることは、リスク管理の面からもオススメできない。

## <トレンドラインの引き方>

ここではトレンドラインを引きエントリーをする方法が説明されている。前述したようにこの手法はそれまでのトレンドが反転した初期を狙うので、下落トレンドラインが引ければ買いエントリーを検討する。

トレンドラインはローソク足のどこを結ぶかで大分違ってくるのだが、具体的なトレンドラインの引き方は説明されていない。チャート画像を見た限りでは小さなトレンドの中の最高値・最安値を結んでいるようである。

このようにトレンドラインを引くと小さな上下は無視したかなり大きなトレンドラインとなる。ここでは実際のチャートを見ながらの説明となるのだが、エントリーのタイミングは「下落トレンドが終わり、反対方向への動きをきちんと確認してからエントリーします。エントリーが遅いと思うくらいで大丈夫です。」(67 ページ) としている。しかし曖昧な表現であり、非常にわかりにくい。チャートを注意深く見て、やっと理解できる程度である。

# E-BOOKのダイジェスト

具体的なエントリーポイントとして「上昇チャンネル内の落ちたところでのエントリーと、上げ止まりポイント（何度か上昇が止められたライン）を抜けたときのエントリー。

この2種類が買いエントリーの基本です。」(75 ページ) としている。文章だけでは理解しづらいと思うが、普通のチャンネルライン、トレンドラインを使ったエントリーと基本的には変わらない。ただ各ラインはかなり余裕を持って大きめに引かれている。

チャンネルラインはともかく、トレンドラインはどこを結ぶかによって、全く違うラインになるのでルール化することは難しい面はある。だからこそ、トレンドラインの引き方、基本的な売買ルールをしっかり説明する必要がある。しかし、ここまではチャート画像を用いてのトレード例の説明のみで、その説明がまったくない。

これでは人によって違う結果が出てしまうし、なにより初心者ではどうトレードしていいかわからないだろう。一方損切りは「損切りポイントも上昇トレンドの下ライン（中略）もしくは前回の波形の安値（中略）上昇チャンネルの下値」(75 ページ) している。

これはラインを使うトレードでは常識的な設定である。利食いについては狙い通り価格が上がっていく場合はそれにつれてトレンドライン、チャンネルラインも上昇していくので、ストップもつれて移動することになる。

いずれかの時点で価格は下落し、そのストップに掛かり決済となる。トレーリングストップと同じである。またストップに掛からなくてもトレンドが終

# E-BOOKのダイジェスト

了した判断すればその時点で決済するとしている。この判断は難しいのだが、一例として「上昇チャネルの下ラインをチャートが割り込んできたこと、そしてチャネルの上ライン内に空白が発生し、直近の高値を超えずに陰線を出現させているという点」(76 ページ) などが挙げられている。

## <状況による使い分けが必要な損切り>

「相場状況によってその損切り幅の設定を使い分ける必要がある」(82 ページ) との考えから、次に3つの損切りを使いわけるとしている。

### ①トレンドに追隨した場合の損きり

早すぎる損切りによって利益を逃がすことを避けるために「トレンド発生時の追隨エントリーの損切りは深めに設定しなければなりません。」(84 ページ) としている。著者の考えでは「小さな波の上下は含み損や含み益として許容するのが正しいトレード」(85 ページ) だという。しかしトレンドの発生を高い確率で正確に判断する事は難しく、それができれば損切り幅を少々狭くしても利益をあげられるだろう。また利益と損失の割合も関係してくる。その説明もなしでは説得力に欠ける。また一方的なトレンドではなく、レンジブレイクしトレンドが発生した場合の損きりの設定は以下の例がチャートで説明されている。

- 1) レンジの安値(高値)の下
- 2) テンソドライン、チャンネルラインの上昇に合わせて切り上げていく

### ②逆張りエントリーした場合の損切り

ここまで説明してきたエントリーは順張りであったが「小さくロスカット

# E-BOOKのダイジェスト

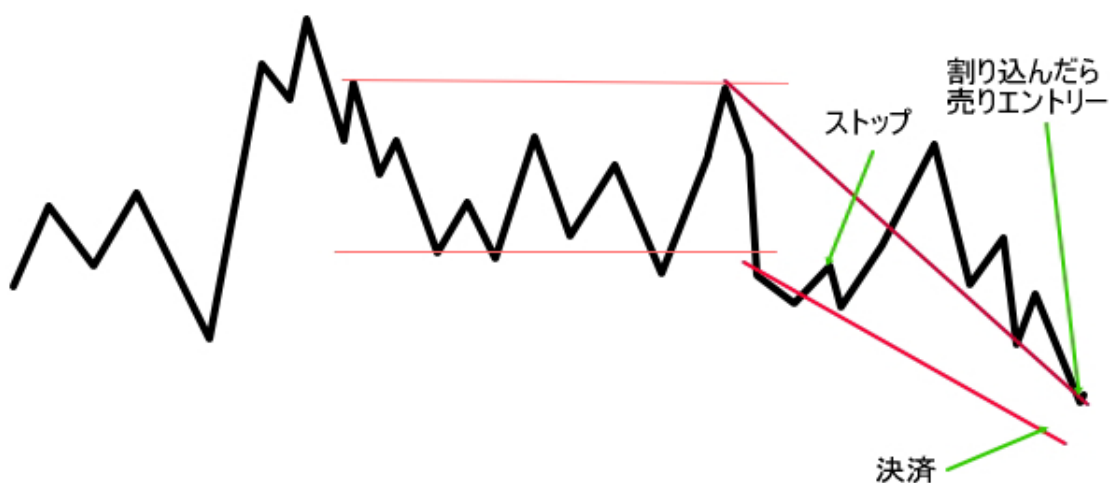
し、勝率が低くても大きな利幅を狙いたい。」(98 ページ) 場合は逆張りでのエントリーも可能だという。

これまでの方法ではトレンドが反転してもすぐにエントリーはせず様子を見ていたのだが、逆張りでは「トレンドが変化したと思えばすぐにエントリーを行います」(100 ページ) としている。つまりこれまでの方法より、一步先にエントリーするという事である。損切りは「買い値のすぐ下に置き、下落圧力が強かった場合に備えます。」(102 ページ) とあるだけで具体的な説明がない。チャート画像を見ると下落トレンドの底に設定しているようであるが、説明不足である。

## 第2ステージ 勝つチャート&負けるチャートマスターステージ

この章では「勝てるチャートパターンを覚える」として5つのチャートパターンが説明されている。

①



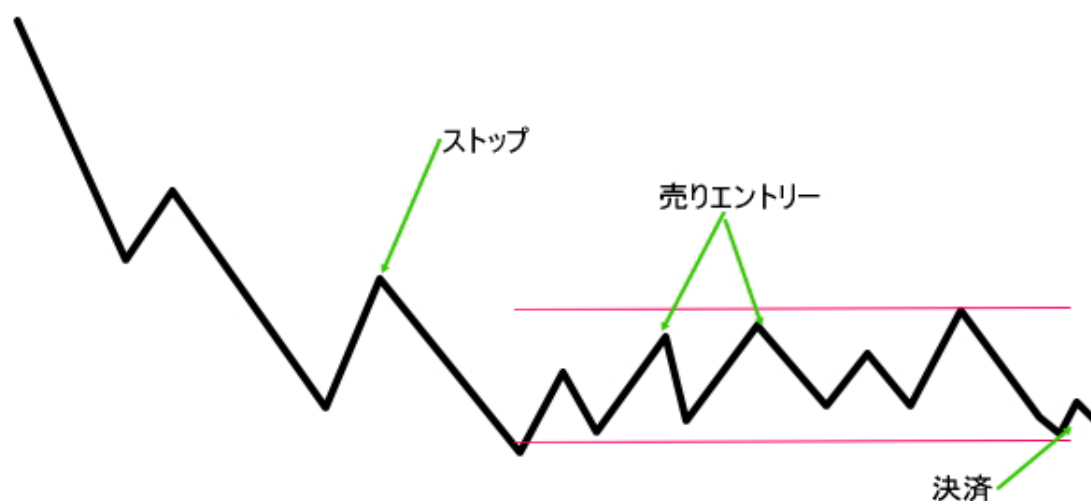


# E-BOOKのダイジェスト

このチャートでは短期間の上昇の後に反転下落、そしてしばらくレンジが続いている。この最初の動きでは「トレンドの変わり目はどちらに向かうか不明確ですので、もったいなく思ってもエントリーを見送る習慣をつけましょう。」(110 ページ) との理由からエントリーはしない。

その後は下落が始まるのでその下落トレンドの起点から下落トレンド最中の高値へトレンドラインを引く。ローソク足がトレンドラインを割り込んだらエントリーとなる。その際下落トレンド中の安値を結んでチャンネルラインも引く。ストップは下落トレンド中の高値に起き、随時トレールする。決済ポイントは下限チャンネルライン付近となる。

②



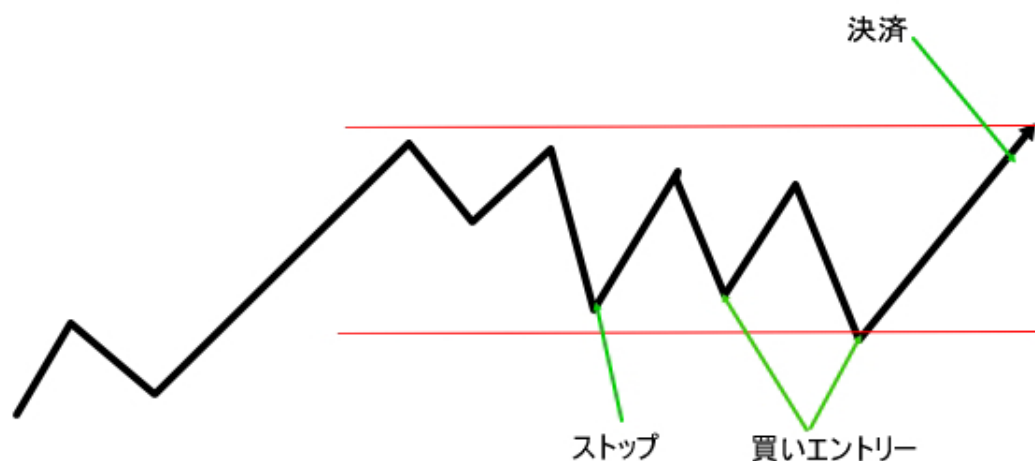
「下落トレンドの後、上値が平行にそろふこと（中略）下値も更新されずにそろふ形」(114 ページ) ということから、「レンジ内の利益を狙ったエントリー」(114 ページ) を狙うという。この場合下落の後なので「あくまで

# E-BOOKのダイジェスト

売りからのみ」(114 ページ) ということである。これは反転リスクを考えてのことだろう。

レンジ内に上限近くでエントリーし、ストップはレンジに入る前の直近高値(その後値動き誤記に合わせて移動)に設定する。決済はレンジ下限を目安にする。

③



これは下落トレンドからレンジに移行しつつある状態である。

レンジの下限近くでエントリーすることになるが、根拠は「上値を抑えられたとしてもプラス決済までの値幅がありますし、複数ポジションエントリーであれば、その後の上昇に追随することも可能です。」(119 ページ) としている。

また下値が切り上がっているなど、今後の上昇が予測される場合は決済せず「このまま保有、そしてレンジブレイク後の上昇についていくことも可能です。」(121 ページ) としている。

# E-BOOKのダイジェスト

④

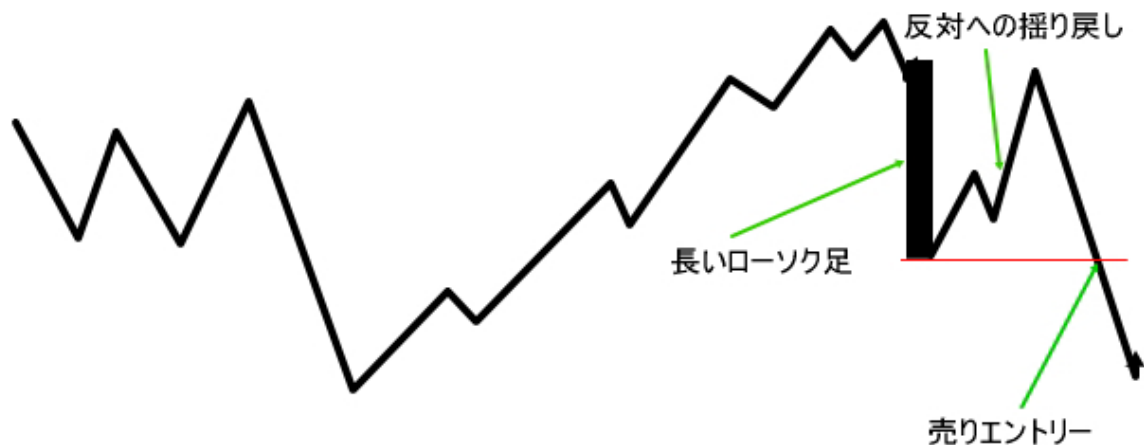


これは上値が抑えられているが、下値は徐々に切り上がっている状態である。下値が切り上がっているため「売りでエントリーするのは危険です。」(124ページ)とし、「レンジの下値で買いエントリーのみを行います。」(124ページ)としている。

この場合も③と同様、状況によっては、レンジ上限でのブレイクアウトを狙ってもよいとしている。その際ストップはレンジ下限に合わせて順次変更していく。

⑤

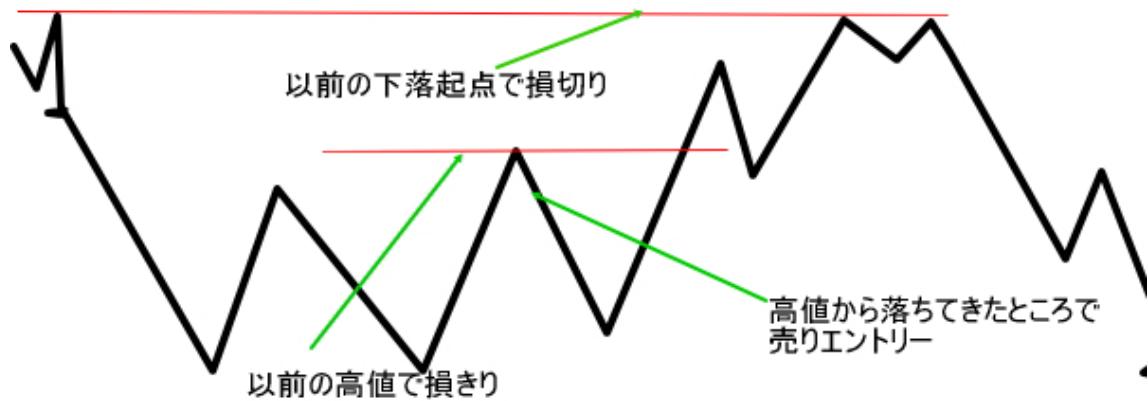
# E-BOOK のダイジェスト



このチャートパターンは「最も勝率が高く、安定性のあるトレード手法」(126ページ) だとしている。普通なら最初に下落したポイントで押し目買いも考えられるが、より安全を期すならば売りへのトレンド転換を待ち「下落トレンドへの転換が鮮明になってから」(128ページ) エントリーするという。さらに確実な方法は「長いローソク足出現→反対への揺り戻し→長いローソク足をブレイクしてエントリー」(130ページ) だとしている。

⑥

# E-BOOKのダイジェスト



これは大きい幅のレンジへ移行した状態だが、それまでが下落気味だったためエントリーは売りから入ることになる。

チャートでは結果損切りとなっているが、損切りポイントは「以前の下落地点」か「以前の高値」が考えられ、前者なら「レバレッジを落とす」としている。エントリーポイントは「以前の高値から下落してきたところ」である。

この章で説明してきたチャートパターンは一例であり、「勝つための基本は、「トレンド追随」と「レンジブレイク」、そして「レンジチャンネルでのトレード」となります。」(138 ページ) としている。

基本的にはオーソドックスな方法ながら、トレンドを追うにしてもレンジ内のトレードにしても、トレンドの反転を十分に確認したり、レンジに移行する前のトレンドの沿ったりとかなり安全を意識している。特に時間足、通貨ペアの指定はないが、1日どれくらいのエントリー機会があるのだろうか。

# E-BOOKのダイジェスト

これだけ安全策をとっているとかなり少ない可能性もある。またラインを用いた手法の常としてルール化がしにくく、裁量の部分が大きいため、習得が難しい。加えて常にチャートを監視していなければならないため、時間的にも余裕がないと実践は難しいだろう。

## <負けるチャートパターンを考える>

ここでは逆に負けるチャートパターンが説明されている。典型は以下のような場合だという。

### ①トレンドの切り替わり

「トレンドの転換（トレンドラインの終了から次のトレンド確定までの間）でのエントリーには方向感がなく、エントリーには向いていません。ただ、抵抗帯に着目した逆張りエントリーは除きます。」（139 ページ）

### ②一定の値動きのないレンジ

「いわゆる汚い形状をしたレンジです。

レンジでの逆張りも有効に機能しませんのでエントリーを見送ります。」（139 ページ）

これはよく言われる「トレンドがはっきりしない時はエントリーしない」と同じ意味と考えていいだろう。

## 第3ステージトレードレベル別チャートマスターステージ

この章では「初級（日足）」「中級（時間足）」「上級（5分足）」のチャートを用いて実践例を説明しているのだが、すべてを掲載することができないので内容は省略させていただく。

# E-BOOKのダイジェスト

## 第4ステージチャートパターン徹底マスターステージ

この章も前章同様、通貨ペア別の問題演習形式で実践例が説明されている。この内容は省略させていただく。

## 第5ステージさらに勝率を上げるためのファイナルステージ

この章ではテクニカル分析、ファンダメンタルズ分析などを補助的に使う場合の方法が説明されている。

### <テクニカル指標の利用>

「テクニカル指標をあくまでも補助的に使用することを強くお勧めします。」(291 ページ) としているのみであり、具体的な使い方の説明はない。

### <ファンダメンタルズ分析について>

テクニカル分析同様、補助的に使用するとし「特に初心者の方は、大きくレートが動く指標発表前後は避けた方が賢明かと思います。」(294 ページ) としている。それ以外の具体的な使い方の説明はない。

ここまでの商材の全内容である。手法についてはすでに述べているので、詳しくは書かないが、オーソドックスながらも安全性を重視した手法であるといえる。

しかしマニュアルの出来としては難がある。基本的に時系列にそって実際のトレードを例にして説明されているのだが、具体的な売買ルールをまとめた部分がない。

確かに実践例が豊富であるのは手法の細かい部分は理解しやすいメリットは

# E-BOOKのダイジェスト

ある。しかし、それだけではこの手法の具体的な売買ルールはなかなか見えない。何度か実践例を読み直してようやくわかるくらいだ。

裁量トレードなのでルール化が難しい部分はあるだろう。が、それにしても曖昧すぎる。もしある程度のルール化ができないのならこのようなマニュアルを書いても意味はない。

マンツーマンでコーチを受けて経験を積むしかないからだ。

また文章的にもデザイン的にも無駄な部分が多い。どこが重要なポイントかわかりにくい。

もう少し読者にわかりやすく伝えると言うマニュアルとしての基本を著者には考えて欲しい。ノウハウとしては何箇所かうなづける部分もあったので、その点が残念である。



# 225 ブレイクショット

## 発行元情報

■発行元	株式会社アセットアールディ
■販売責任者	鈴木信夫
■所在地	東京都新宿区新宿 2-5-10 成信ビル 3 F
■電話	03-5367-0251
■メール	info@asset-rd.jp
■ URL	<a href="http://www.rd-lavas.jp/infotop/breakshot/">http://www.rd-lavas.jp/infotop/breakshot/</a>

価格 9,800 円

## … 目次 …

- 第 1 章 ローソク足の基本を復習しよう…10
  - 第 2 章 陽線・陰線を利益にする戦略を考えよう…18
  - 第 3 章 勝率を上げるために…33
  - 第 4 章 利益確定・損切りの実践方法…56
- 全 70 ページ。読みやすいデザイン

# E-BOOKのダイジェスト

「デイトレ復活プロジェクト」（セールスレターより）と題されていることからわかるようにこの商材はデイトレード（対象は日経 225 先物）手法について書かれている。

商材は全 70 ページのマニュアルである。まず冒頭の序文で日経 225 先物のデイトレでは寄り付きから 30 分程度の値動きが激しい時間帯にこそチャンスがあるとしてこう書いている。

「なぜなら、日経 225 先物が一日を通して大きく動くパターンはそう頻繁に起こることではないので、寄り付きのチャンスを逃してしまうと、利益を確保することが難しくなるためです。」「寄り付きのトレードに基準を設けて、心理をコントロールするのです。ポイントは、「寄り付きの価格を基準にする」ことです。」（7 ページ）。この説明から戦略的には寄り付きの値動きから仕掛けをするデイトレードということがわかる。

## 第 1 章ローソク足の基本を復習しよう

ここではローソク足の基本、太陽線や大陰線などの代表的なパターンについて書かれている。一般的な内容なので詳細は省略するが、手法と関係がある場合はその都度説明する。

## 第 2 章陽線・陰線を利益にする戦略を考えよう

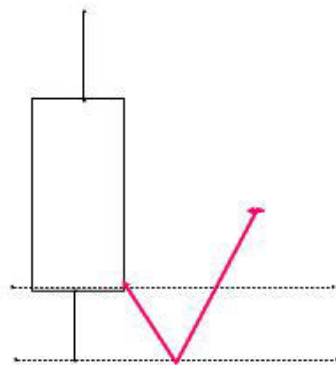
ここでは以下のローソク足のパターンから考えられる戦略について書かれている。

# E-BOOK のダイジェスト

## <小陽線>

やや強い持合い局面が予想される。

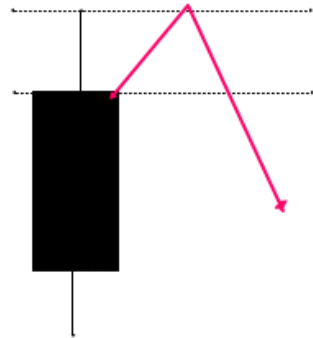
考えられる戦略は「寄り付きより一旦下がって「寄り付き値を超えたら買いエントリー」するパターンが有効」(23 ページ)



## <小陰線>

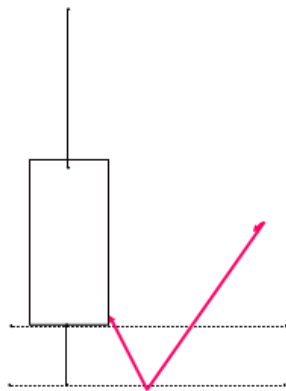
やや弱い持合局面が予想される。考えられる戦略は「寄り付きより一旦上がって「寄り付き値を割れたら売りエントリー」するパターンが有効」(24 ページ)

# E-BOOK のダイジェスト



## <上影陽線>

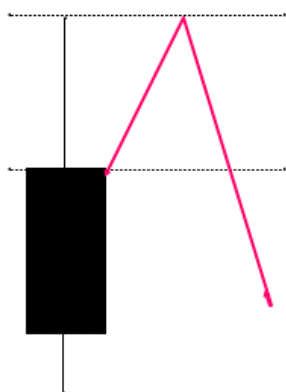
先行きがやや弱い事が予想される。下落局面では底打ちを示すこともある。考えられる戦略は「寄り付きより一旦下がって「寄り付き値を超えたら買いエントリー」するパターンが有効」(25 ページ)



# E-BOOK のダイジェスト

## <上影陰線>

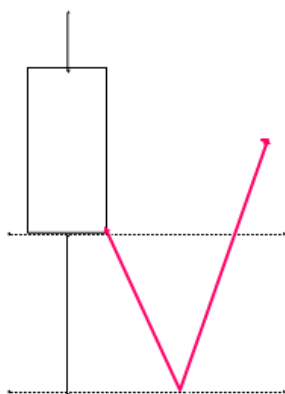
先行きが弱い事が予想される。高値圏での出現は相場の勢いが衰えていることを示す。考えられる戦略は「寄り付きより一旦上がって「寄り付き値を割れたら売りエントリー」するパターンが有効」(26 ページ)



## <下影陽線>

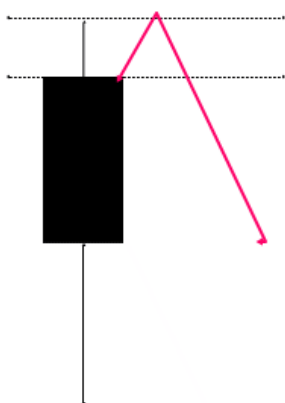
その後の上昇が予想される。考えられる戦略は「寄り付きより一旦下がって「寄り付き値を超えたら買いエントリー」するパターンが有効」(27 ページ)

# E-BOOK のダイジェスト



## <下影陰線>

その後の下落が予想される。考えられる戦略は「寄り付きより一旦上がって「寄り付き値を割れたら売りエントリー」するパターンが有効」(28 ページ)

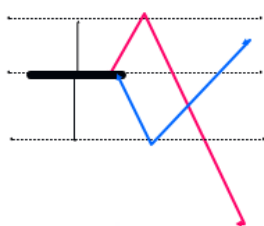


## <寄引同時線>

相場の転換が予想される。一般的にはヒゲが長く出来高が多いほど転換のシグナルになると言われている。考えられる戦略は「寄り付きより一旦下がっ

# E-BOOK のダイジェスト

て「寄り付き値を超えたら買いエントリー」するパターンが有効」「寄り付きより一旦上がって「寄り付き値を割れたら売りエントリー」するパターンが有効」(29 ページ)。



ここで書かれている戦略は内容的には妥当だが、具体性に乏しくこの戦略だけでトレードするには無理がある。

## 第3章 勝率を上げるために

ここでは前述した戦略をもとにより勝率を上げるためにポイントについて書かれている。

### <勝率を上げるための指標チェック>

デイトレードでは通常ファンダメンタルズ要因はあまり重視しないが「寄り付き前にそろっている材料は、当日の投資家の心理を判断するための大きな要因になります。」(33 ページ) との理由から以下の5つの指標を事前に

# E-BOOKのダイジェスト

チェックするとしている。

## ① CME 日経 225 先物終値

チェックするポイントは「CME 清算値を上回っていれば市場参加者の心理は強気、下回っていれば弱気と見てよいと思います。」(35 ページ) としている。

## ② 米国株式市場

ダウか S & P のどちらかをチェックすればよく、ポイントは「これらの指数で米国の大型株の動向をチェックすることになります。」(37 ページ) としている。

## ③ 為替

チェックするポイントは「NY 為替市場のドル/円相場と比較することで、CME 清算値に織り込まれていない為替の変動を読むことができます。」(38 ページ) としている。

## ④ 寄り付き前の外資系証券経由の注文動向

これは寄り付き前に外資系証券 10 社の出された注文の集計で「公式データではありませんが、当日の売買に影響を与えることが多く、投資家が注目する材料です。」(39 ページ) ということである。

チェックするポイントは「大幅な買い越しになった場合や大幅な売り越しとなった場合には、判断材料として考慮しましょう。」(40 ページ) としている。また情報はモーニングスターなど投資情報サイトで入手できる。

## ⑤ 金・原油

チェックポイントは「金や原油が高い場合はプラス材料、安い場合はマイナス材料と受け止めてよいでしょう。」(41 ページ) としている。



# E-BOOKのダイジェスト

## <代表的なデイトレード手法>

この商材では個々のトレード手法は著者のオリジナルではなく、一般的に知られている手法を組みわせて使う。これをあたかも著者のオリジナルと錯覚させる表現をセールスレターでしていたなら虚無広告である。

しかし多少怪しい表現はあるものの以下の記述があるのでまあ、許容範囲といえるだろう。「種明かしをしてしまうと、本マニュアルで紹介するのは「坂田五法」「オープニング・レンジ・ブレイクアウト」「イニシャル・レンジ・ブレイクアウト」「ギャップアップ・ギャップダウンリバーサル」「OOPS (ウップス)」など、すでに確立された多くの投資手法の上に成り立っています。」(セールスレターより)。

使う手法は以下の5つである。概要のみを説明するので、詳細を知りたい場合は書籍やサイトなどで調べるといいだろう。

### ① 30分レンジブレイク

寄り付き後の30分間の安値・高値をその日のレンジと想定し、価格が安値・高値をブレイクしたら順張りする手法。ロスカットは普通エントリーと逆方向のブレイクで行う。

### ② I Rブレイクアウト

I Rとは通常寄り付き後1時間とされている。手法としては「30分レンジブレイク」とほぼ同じだが、レンジを測る時間が1時間になったと考えればいい。

### ③ ギャップダウン・ギャップリバーサル

# E-BOOKのダイジェスト

ギャップとはいわゆるチャート上の「窓」のことで「上窓」ならギャップアップ、「下窓」ならギャップダウンと呼ばれる。

いろいろな仕掛け方があるのだが、基本的には「窓埋め」をする動きを狙いに行く。つまり「上窓」を空けて寄り付いたら「前日の終値付近まで売り」を狙っていくことになる。

## ④OOPS

「ウップス」と読み米国のトレーダー、ラリー・ウィリアムズが開発した手法でルールは以下となる。

- ・当日の始値が前日の安値よりも安く寄り付き（ギャップダウン）、前日の安値を上抜いたら買い。
- ・当日の始値が前日の高値よりも高く寄り付き（ギャップアップ）、前日の高値を下抜いたら売り。

これはギャップダウン・ギャップリバーサルにルールを追加した形と言える。

## <日経 225 先物の値幅傾向を検証>

ここではもっとも効率のよい「勝率と利益率」の組み合わせを見つけるため、2009年から1年間の日経 225 先物日中の値幅の平均値が掲載されている。

この結果は「直近の日経 225 先物が寄り付きから高値、安値、終値ともに約 80 円の値動きが平均的に起きているということです。」(51 ページ)となる。

しかし「寄り付き値でエントリーするのではなく、動いてからエントリーすることを考えますと利益確定ラインとしては大きすぎると考えました。」(52 ページ)ため、リスクリワードを最低 2:1 にし、連敗の可能性も考慮した結果、

# E-BOOK のダイジェスト

「利益確定 40 円、損切り 20 円」の設定を推奨するとしている。この設定は妥当だが、過去の値幅は変化するので、定期的なチェックが必要だろう。

## 第 4 章利益確定・損切りの実践方法

ここではこれまでのトレードルールのまとめ、実際の利益確定・損切りの仕方について書かれている。

### <トレードルールのまとめ>

#### ①寄り付きでは注文をださない

理由は「寄り付き直後は値動きが荒くなる傾向が強いので、寄り付きの注文は見送ります。」(56 ページ) としている。

#### ②寄り付き後、最低 15 分程度は値動きを見る

理由は「寄り付き後の乱高下が落ち着くのは、経験上 15 分程度が過ぎてからです。その後、保ち合いを離れるのを狙うトレーダーが出てきますから、そのタイミングに乗るようにします。」(57 ページ) としている。

#### ③寄り付き値よりプラスのときは買いポジション・寄り付き値よりマイナスのときは売りポジション(前日比では考えない)でエントリーする

理由は「当日の「心理面」「需給面」での有利性を考えた」(57 ページ) としている。

#### ④基本のエントリーポイントは「寄り付きを超えた」ときと「寄り付き後の保ち合いをブレイク」したとき

# E-BOOKのダイジェスト

理由は「一番わかりやすいパターンは寄り付きをはさんで動いたときです。」(57 ページ) としている。

⑤日経 225 先物の平均的な値動きは寄り付き値から 80 円程度であることから、最低の利益確定ラインは 40 円以上、損切りラインは 20 円に設定する。これは前述した利益確定・損切りのルールである。

⑥利益確定ラインを超えたら利益確定の「逆指値」で利益を伸ばす  
これは利益を伸ばすためのルールで「エントリーしてから利益確定ラインまで動いたら、確保したい利益で逆指値を入れ、大引けの決済注文を入れておきます」(59 ページ) としている。

## <資金管理の考え方>

資金管理について詳しい方法は書かれていないが、例として「1つの提案としまして、デイトレードは売買回数が必然的に多くなりますから、リスクは総資金に対して最大でも 1%以内するということです。」(65 ページ) としている。

ここまでが商材の内容である。

紹介されている手法は前述したようにすべて一般的に知られている手法である。長年使われていることから考えても一定の有効性はあるだろう。しかしそれをただ羅列しただけでは商品としては不十分ではないか。

なぜこれらの手法を選んだか、そしてそれらを具体的にどのようなケースで

# E-BOOKのダイジェスト

組み合わせて使っていくのかについて書くべきだ。もちろんそれが納得できるようなデータの提示も必要である。この商材は情報商材の中では低価格に入るが、それでも寄り付きがいかにより有利であるかの持論を展開し、既存の手法を並べただけでは価格に見合った内容とは言えない。書籍を読んだほうがよほどコストパフォーマンスはよい。

3/9 (火) 販売終了! ★★★即戦力!

# 345 speed-FX !

## 発行元情報

■発行元	株式会社フォーブランド
■販売責任者	株式会社フォーブランド
■所在地	福岡県福岡市東区香椎照葉1-2-6 10F
■電話	080-3377-3739
■メール	nfo@345speed-fx.com
■URL	<a href="http://345speed-fx.com/">http://345speed-fx.com/</a>

価格 27,800 円

## … 目次 …

なし。

全 51 ページ。文章や構成がわかりづらい。

# E-BOOKのダイジェスト

「ある簡単な「確認」作業でトレンドに乗っかり、たったの100pips獲得で資金を2倍！にします。」

この商材「345SpeedFX」のセールスレターには堂々とうこう書かれている。

さらに2008年から2010年まで月間成績が掲載されているのだが、その資金配分はなんと「資金10万円、10万通貨単利運用」(セールスレター)となっている。

驚いたことに余力なしでほぼ全額を投資するということだ。この条件なら確かに成功すれば「たったの100pips獲得で資金を2倍！」は可能だろうが、普通に考えれば失敗の確率が高い。1:1以上のリスクリワードはもちろんのことよほど高い勝率とそして連敗が少なくなければ、少しの不調ですぐに資金は大きく減ってしまうだろう。

「明確な「資金配分」と「レバレッジ」(セールスレター)でこれを可能にしているとしているが、にわかには信じがたい。

勝率はセールスレターによると「平均勝率は76% (過去実績)」ということだが、この程度の勝率で余力なしの全額投資が可能とは思えない。果たして全くのデタラメかそれとも驚きのノウハウがあるのだろうか？

そのなぞを解くべく早速内容を見ていこう。

商材は全51ページのマニュアルのみである。

## <取引通貨ペア>

ドル円。理由として「ドル/円で取引を行う理由は、他の通貨に比べてスプレッドが狭く取引に有利だからです。」(6ページ)としている。

# E-BOOKのダイジェスト

## <取引業者選定の条件>

スプレッド：1 pips 以下（固定、変動問わず）レバレッジ：100 倍または  
200 倍～400 倍 取引手数料：無料（7 ページ）

また外為オンライン、みんなのFX、MJなどの業者が推奨されている。

## <資金配分>

「資金5万円であれば一度の取引を「単利運用」で5万通貨とします。」（8 ページ）。前述したように余力なしの全額投資である。「とてもアクティブな資金配分ですが、余分な証拠金は不要ですので、このような計算ができます。」（8 ページ）ともあるが、ここでは具体的な根拠は示されていない。

どんなすごい投資家でもここまで自信を持って言い切れる人間はいないだろう。その根拠はなんなのか、疑問である。

## <レバレッジ>

「100 倍または 200 倍～400 倍でも可能です。」（8 ページ）。ただし「証拠金ギリギリでは資金配分通りの取引ができない場合もありますので、レバレッジ 200 倍以上を推奨します。」（8 ページ）とここでもハイレバレッジを推奨している。もちろん具体的な根拠は示されていない。

## <資金効率>

「取引通貨ペア数を増やすということは、資金も分散し、利益も分散してしまいます。これはリスクの分散とは意味が異なります。」（9 ページ）とあるが、この文章の意味はよくわからない。

例えば1つの通貨ペアで100pips獲得を目指すよりも、5つの通貨ペアの



# E-BOOK のダイジェスト

合計で 100pips 獲得を目指す方がリスクは軽減される。また「目標とする獲得 pips を増やそうとするほどリスクが高まり、精神的苦痛も増え、求める結果が現実離れしていきます。」(9 ページ) ともある。

しかしこれは通貨ペアの数とは関係ないことであり、1 つに絞る理由になっていない。続いて「このマニュアルにおける成功の秘訣は「1 通貨ペアで取引を行う」ことだと考えております。」(9 ページ) ともあるが、その「秘訣」の説明はない。

ここで書かれている内容が「明確な「資金配分」と「レバレッジ」(セールスレター) だとしたら誇大広告もいいところである。何の裏づけも説得力のある説明もない。

## <複利運用>

「毎回の取引は「単利運用」をおすすめします。翌月以降も毎回「単利運用」ですが、月初めの資金を元にしてください。

これが安全な「複利運用」の取引ルールとなります。」(10 ページ)。この文章も意味がわからない。「月初めに資金を元に戻す」のなら「単利運用」ではないのか。

## <手法>

ここから売買手法の説明となる。

使用するローソク足：5 分足

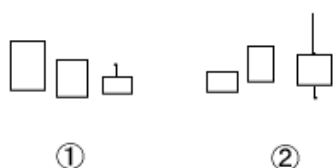
取引時間：指定なし

1 日の取引回数 (目安)：1 時間で 1 回程度

# E-BOOK のダイジェスト

エントリー：「同じ色の足が「3本連続」で揃い、ヒゲの長さが実体の長さを超えない」（15 ページ）。この条件を満たしたら、次の足の始値で成り行き注文する。陽線が揃った場合は買い、陰線が揃った場合は売りとなる。

この場合上下にヒゲがあっても、合計の長さで判断するのではなく、それぞれのヒゲが実体より長くないかを見る。例えば下図では①はエントリー OK だが、②はエントリー NG である。



トレードの際、実際の手順は以下となる。

- ①前のローソク足の実体をヒゲが越えないで確定したら、「1本目」とカウントする。
- ②もし次のローソク足のヒゲが1本目のローソク足の実体を越えないで確定したら、「2本目」とカウントする。越えた場合はリセットして①に戻る。
- ③同様に「3本目」もカウントしたら、4本目のローソク足の始値でエントリー

する。

## <決済のタイミング及び方法>

①「4本目の状態が、3本目のローソク足の「実体」（最高値と最安値を見るのではなく、始値と終値の長さを見る）の半分の位置にレートが到達「指値注文（ストップ決済）をセット」した場合には損切り決済します。」（20ページ）。

非常にわかりにくい表現だが、3本目のローソク足の実体の長さの半分の幅で、損切り注文を入れるということだ。例えば3本目のローソク足の実体の長さが20pipsだとしたらエントリー値から20pipsの半分（10pips）に損切り注文を入れる。

②「4本目の終値で決済。」（20ページ）これは利益に関係なく、機械的に決済する方法である。この場合損失は大きくならないが、利益を小さくする可能性もある。

③「4本目の足が確定する直前（5～10秒前）に利益確定がほぼ決定的な場合、5本目の足で決済することもできます。」（22ページ）。

これは決済を先延ばして、より利益を伸ばそうということだろう。その方法は2つある。

1)「5本目の状態が、4本目のローソク足の「実体」（最高値と最安値を見るのではなく、始値と終値の長さを見る）の半分の位置にレートが到達「指値注文（ストップ決済）をセット」した場合には決済します。」（22ページ）これは①と同じで「4本目」が「5本目」に変わっただけだ。

# E-BOOKのダイジェスト

2)「5本目の終値で決済」(22ページ) こちらも同様に「4本目」が「5本目」に変わっただけだ。

この場合5本目のローソク足も利益確定が確実なら6本目、7本目と決済を遅らせることも可能だという。

## <取引の見送り>

3本目の5分足の幅が50pips以上の場合、損切りが25pips以上と大きくなるため取引は見送るとしている。

## <決済後の取引について>

決済したローソク足はカウントせず、次のローソク足からカウントする。

## <応用取引>

損切り、利益確定を機械的にエントリー値から5pipsに指値注文する方法もあるという。その場合、3pips以上含み益が出た時点でストップをエントリー値にトレイルする。

これがセールスレターに書いてある「ゼロ取引」だろうが、極めて一般的な方法である。誰でも知っているといってもいいだろう。ここまでに約30ページを費やしている。

この後のページは実践例の説明となるので内容は省略する。

売買手法はローソク足の連続からトレンドを判断する単純な手法である。ポジションを保有する時間が短いことから、1回のトレードでそれほど大きな損失も発生しないだろう。

# E-BOOK のダイジェスト

リスクリワードは利食い、損切りが固定ではないので正確にはだせないが、利食いがローソク足 1 本分、損切りがローソク足半分の値幅であるから 1 : 1 以上ではあるだろう。

一定の有効性はあるだろうし、ロジックは間違っていない。しかしそれほどオリジナルな部分はない。これだけでは短期間に大きな利益をあげることは難しいだろう。

またそれを可能にするのが、余力なしの全額投資だというのなら、それはあまりに危険である。散々セールスレターで煽っていたが、これほどリスクの高い資金配分にもかかわらず、十分な説明や納得できる根拠が提示されておらず、まるで説得力がない。

いたずらに射幸心を煽る誇大広告的な表現といえるだろう。この商材、現在は販売中止となっているので、読者の皆さんが購入することはないと思うが、売買手法はともかく、こんな危険な資金配分は絶対にしてはいけない。「資金を 2 倍」どころかあつというまに全部無くしてしまうだろう。

# direction225

## 発行元情報

■発行元	株式会社アデイス
■販売責任者	河北裕介
■所在地	愛知県名古屋市西区江向町 4-55 浅井ビル 1F
■電話	052 - 523 - 0012
■メール	info@direction225.xsrv.jp
■ URL	<a href="http://direction225.xsrv.jp/225-2/">http://direction225.xsrv.jp/225-2/</a>

価格 19,800 円

## … 目次 …

トレードに臨む際の心構え

トレードについて ～反転ポイントラインの引き方～

チャートの設定について

未来を読み取る反転トレード ～利食い、損切り～

チャート売買説明

成績

損切りについて

資金管理について

システムトレードの作り方

動画全 34 本。マニュアルは数ページごとに分かれていて読みづらい。

# E-BOOKのダイジェスト

「大口ファンドが使っている手法・・・年利750%・・・」と派手なキャッチコピーがセールスレターには並ぶ。この商材「Direction225」、元は現在は募集中止中の配信サービスだったという。

商材は各5分程度の動画34本からなる。サポートサイトからは動画と同内容のマニュアルをダウンロードできる。では内容に入ろう。

## トレードに臨む際の心構え

ここではトレードに対するメンタル面が説明される。「システムトレードをやると決めたら徹底的に運用し続ける」「欲に負けない」「ドローダウンを想定する」「利益は一時的なものとする」など基本的なメンタルセットが書かれている。

## トレードについて ～反転ポイントラインの引き方～

この手法は「指値を使った逆張り」であり、その際には「反転ポイントライン」というラインを使用するということである。

ここではその反転ポイントラインの引き方が説明される。

ラインを引く前にまずチャートから反転ポイントを見つけ出し、それを基点に反転ポイントラインを引くことになる。反転ポイントの根拠は「過去の反転したことがあるポイントは未来でも反転のポイントになる」ということで、検証の結果「反転ポイントは1週間前の高値・安値から見つけることができる」という結論に達したという。

反転ポイントの見つけ方は以下である。

# E-BOOK のダイジェスト

- ・前週の週足が上昇していた場合  
前週週足の安値が今週の反転ポイントラインとなる。
- ・前週の週足が下落していた場合  
週足の高値が今週の反転ポイントラインとなる。

実際商材では「株価が上昇（下落）し、1 週間の動きが陽線（陰線）になったチャート」という表現になっているが、掲載されているチャート画像からこのように判断した。

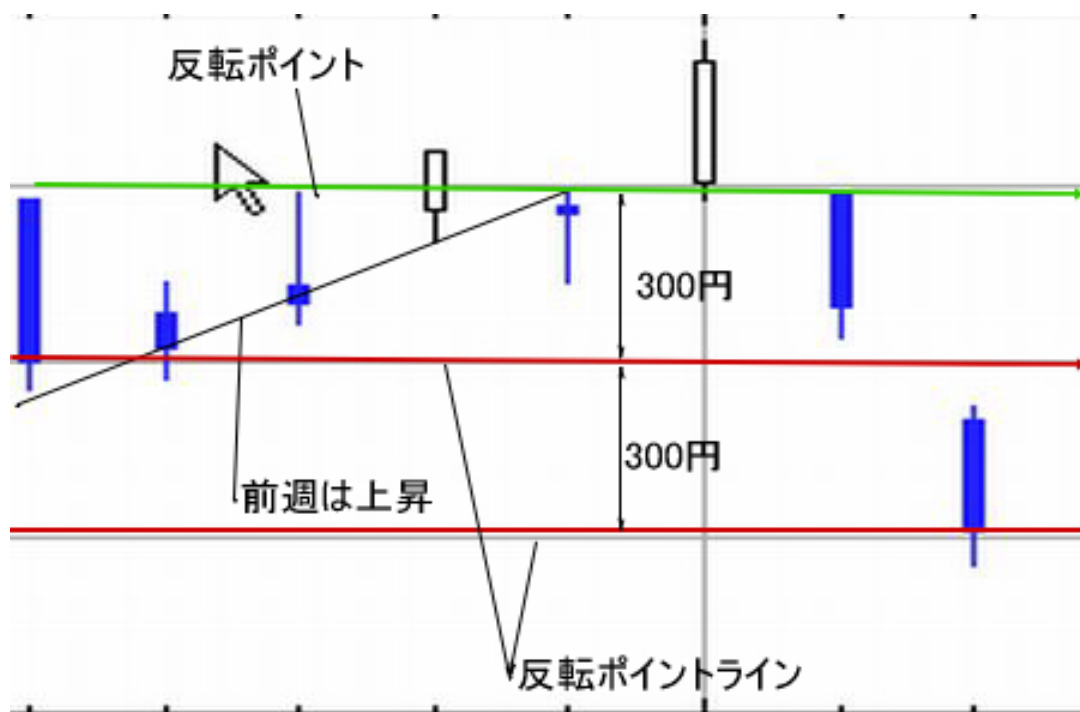
非常にわかりにくい表現である。もっとわかりやすい表現をこころがけてもらいたい。

またもうひとつのポイントとして「日経 225 先物は 300 円ごとに反転する」を挙げている。

その根拠は「機関投資家の利食い、損きりの目安となっている可能性がある」からだという。具体的な反転ポイントラインの引き方は先ほどの反転ポイントから上下 300 円ごとに何本か水平ラインをひいていくことになる。

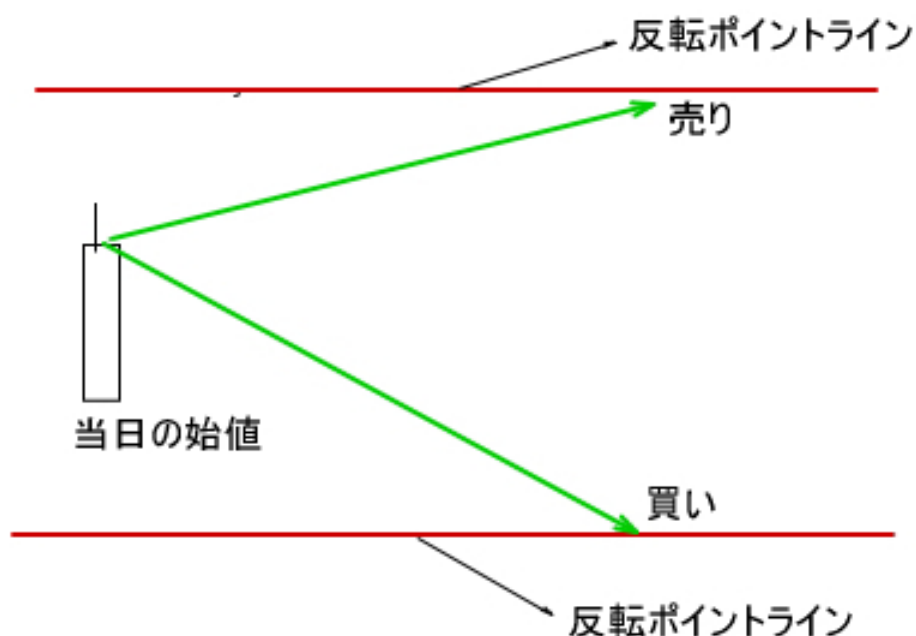


# E-BOOKのダイジェスト



基本的な使い方は反転ポイントラインが当日の始値より上にある場合はレートが反転ポイントラインにタッチしたら売り、逆に反転ポイントラインが当日の始値より下にある場合はレートが反転ポイントにタッチしたら買いというように逆張りのように使う。

# E-BOOK のダイジェスト



## チャートの設定について

商材では 트레이ダーズ証券でチャート設定がされているが、特別な機能は使っていないので、特にどの証券会社でもかまわない。チャート設定は以下となる。

テクニカル指標：ローソク足 (30分)、ボリンジャーバンド (1σ、2σ、20)

## 未来を読み取る反転トレード ～利食い、損切り～

ここからは実際のトレード法の説明となる。

エントリーポイントは反転ポイントラインであるが、反転ポイントラインの位置によって利食いポイントが以下のように変わる。

# E-BOOKのダイジェスト

## ①買いエントリーの場合

- ・  $-2\sigma$ 以下でのエントリー⇒利食いはミドルライン
- ・  $-1\sigma$ 以下 $-2\sigma$ 以上でのエントリー⇒利食いは $+1\sigma$
- ・ ミドルライン以下 $-1\sigma$ 以上でのエントリー⇒利食いは $+2\sigma$
- ・ ミドルライン以上でのエントリー⇒利食いは300円以上上の次の反転ポイントライン

## ②売りエントリーの場合

- ・  $+2\sigma$ 以上でのエントリー⇒利食いはミドルライン
- ・  $+2\sigma$ 以下 $+1\sigma$ 以上でのエントリー⇒利食いは $-1\sigma$
- ・  $+1\sigma$ 以下ミドルライン以上でのエントリー⇒利食いは $-2\sigma$
- ・ ミドルライン以下でのエントリー⇒利食いは300円以下の次の反転ポイントライン

ここでの利食いラインに使っているボリンジャーバンドの値は現在より1つ前のローソク足で判断する。

これはローソク足が確定するまではボリンジャーバンドの値も確定しないのからである。またレートがボリンジャーバンドの $+2\sigma$ を越えた場合は大きく利益を取るチャンスなのエントリーチャンスを逃さないために以下のルールを追加する。

- ・ 反転ポイントラインがボリンジャーバンドの $+2\sigma$ より上にある場合は反転ポイントラインから $-50$ 円に売り指値を入れておく。
- ・ 反転ポイントラインがボリンジャーバンドの $-2\sigma$ より下にある場合は反

# E-BOOKのダイジェスト

転ポイントラインから+ 50 円に買い指値を入れておく。

反転ポイントラインがボリンジャーバンドの± 2 σより 50 円以内の位置にある場合は± 2 σがエントリーポイントになる。

## 損切りについて

ここでは損切りについて説明される。切りについては以下の3つのルールがある。

### ① 300 円幅での損切り

エントリーと同時に 300 円幅で損きり注文を出す。

### ② 前場後場のギャップを使った損切り

市場は前場が終わり、昼休みにはいるがこの時海外市場の動きで後場寄り付きにギャップが出る場合がある。ギャップが発生した場合はリスクがあるので以下の条件の場合はエントリーしない。

- ・後場にギャップアップして寄り付いた場合⇒売りエントリー禁止  
もし前場ですでに売りポジションを持っていた場合はすぐに決済する。
- ・後場にギャップダウンして寄り付いた場合⇒買いエントリー禁止  
もし前場ですでに買いポジションを持っていた場合はすぐに決済する。

### ③ 80 円ルール

これはエントリー後 80 円の含み益が出た時点で損切りをエントリー価格にトレールするルールである。また応用としてトレールした後、損切りに掛かった場合、その時点でドデン売買してもよい。

# E-BOOK のダイジェスト

## チャート売買説明

5つの動画でトレード例を説明しているが、ここでは省略する。

## 成績

ここでは過去の売買成績があるが、簡単な月毎の表のみなので、真偽の程は確かではない。しかし年間成績をみると2008年の最大ドローダウンは1370円と少々ドローダウンが大きいようだ。また実際のトレードの際以下のポイントに注意するとしている。

- ①金曜日にイブニングが引けた辞典でその週の週足が陽線か陰線かを確認し、反転ポイントラインを引き、翌週からのトレードに備える。
- ②毎朝前日のCMEに動きや寄り付き前の気配値をチェックし、どの反転ポイントラインが一番始値に近いかを確認する。
- ③ポジションはイブニング引けで必ず決済し、翌日に持ち越さない。

## 資金管理について

ここでは以下の資金管理について説明されるが、資金管理については以下の大まかなルールがあるのみである。

- ・ラージ1枚なら150万円から200万円、ミニ1枚なら15万円から20万円の資金を用意する。

# E-BOOKのダイジェスト

- ・取引枚数は安易に増やさない。
- ・資金が積み重なるまでは単利で運用

ここでは「複利は連勝が続くよう場合には有効だが単利よりも資金を減らすことがある」としている。複利運用はなくなってもいい余裕資金を数十倍に増やしたい場合に向いているという。具体的な資金管理の例として以下が挙げられている。

- ① 20万円でミニ1枚、200万円でレンジ1枚の取引
- ② 資産が1.5倍から2倍程度に達した後にドローダウンが来るのを待つ
- ③ ドローダウンが300円に達したあとに枚数を増やす。

これは1回ドローダウンがあったので、大きなドローダウンはしばらく来ないだろうという前提の元、枚数を増やすということであろう。しかしドローダウンが再び来ない保証は無く、少々危険な方法である。

## システムトレードの作り方

この手法をアレンジしてオリジナルのシステムトレードを作るアイデアがいくつか説明されている。

- ・「前月が月足陽線なら、前月安値を『反転ポイントラインとする』」
- ・「前週が陽線なら、前週のボリンジャーバンドの $+σ2$ の最高値を『反転ポイントラインとする』」
- ・前月のSQ値を「反転ポイントライン」とする。
- ・前の限月のメジャーSQ値を「反転ポイントライン」とする。

ここまでが商材の内容である。

# E-BOOK のダイジェスト

この手法が実際に大口ファンドで使われているかどうかは知る術もないが、基本的にはボリンジャーバンドを使った逆張りと同じといえる。

ここではボリンジャーバンドの代わりに独自の反転ポイントラインを使っているが、その有効性は「検証から導き出した」ということなので、実際にトレード結果からしか確かめようがない。

この手法は 30 分足を使ったデイトレードであるので、どれくらいトレード機会があるのか、また 1 回のトレードで平均どれくらいの利益があるのかが気になるところだが、セールスレターにも商材にも詳しくは記されていない。「年利 720%」という破格のパフォーマンスを売りにするのなら、その証拠はきっちり載せるべきである。

またデイトレードの割には 300 円と言う大きな損切りを設定しているので、あまり損切りにかかることはないだろうが、その分、損益を出すトレードも増えるだろう。そこも気になる点である。売買ロジックからだけでは有効性は判断できないが、資金的に十分な余裕が無いと実践は難しいのではないか。

超短期デイトレード手法

# FX スキャルマスター

## 発行元情報

■発行元	中村恭悠
■販売責任者	梅原正志
■所在地	茨城県水戸市東前町1285-1
■電話	090-5200-2398
■メール	scalfx@live.jp
■URL	<a href="http://www.scalfx.com/">http://www.scalfx.com/</a>

価格 39,800 円

## … 目次 …

第1章・・・7

第2章・・・36

第3章・・・47

第4章・・・62

第5章・・・75

最終章・・・93

付属：メタトレーダー設定ファイル

全98ページ。読みやすいレイアウト。



# E-BOOK のダイジェスト

セールスレターによると「損失は小さく利益は大きくを徹底したトレンドフォロー系の裁量手法」だというこの商材「FX スキャルマスター」。

同じくセールスレターに記載されているモニターのトレード結果を見ても月利 20%以上の成績を残している。果たしてその実力は本物だろうか。

商材は全 98 ページのマニュアルとメタトレーダー用の設定ファイルからなる。では内容に入ろう。

## 第 1 章

ここではメタトレーダーのダウンロード、インストール方法の説明なので、詳細は省略する。

商材では「ODL」が提供するシステムを例にして説明されているが、どの業者でも問題はないだろう。

### <チャートのセッティング>

付属のファイルを設定すると以下の 3 種類のテクニカル指標が表示される。パラメーターは商材のファイルの設定をそのまま記載している。なお時間軸は 5 分足と 1 分足を併用する。

①平均足 (MaMetod-2、MaPeriod-6、MaMetod2-3、MaPeriod2-2)

平均足は上昇中では「緑」、下降中には「赤」に色が変わるように設定されている。

# E-BOOK のダイジェスト

② RCI(rangeN-50、CalculatedBars-0、Maxrange-50、direction-true)  
長期線は「黄色」、短期線は「青」で表示される。また「0.8」「-0.8」の買われすぎ、売られすぎのポイントに水平にピンクのラインが引かれている。

③ MA\_original(Fast\_MA-8、Slow\_MA-20、Slow\_MA2-75、Shift-0)  
8 区間、25 区間、75 区間の移動平均線が表示され、MA (8) と MA (75) との乖離が一目均衡表の雲のように表示される。

雲は下から MA (8) < MA (25) < MA (75) の位置なら「青」、下から MA (75) < MA (25) < MA (8) の位置なら「赤」で表示される。その他の場合は表示されない。

## 第 2 章

### <トレンドの基本>

ここではトレンドの見方が説明されている。

しかし (37 ページ)「上昇トレンドとは高値、安値を切り上げていきます」「上昇トレンドが崩れるには一つしかありません。それは、直近の安値を割った時です。」といった一般的な知識であり、あくまでも基本的知識といった内容である。

### <持ち合いについて>

持ち合いとトレンドが現れるチャートパターンは大体以下 3 つに分かれるとしている。

# E-BOOKのダイジェスト

①（42 ページ）「上昇トレンド→持ち合い→上昇トレンド となるケースです。」ダブルトップ、トリプルトップを形成すること多い。この時の対応は（43 ページ）「直近の安値を1度も割り込んでいないわけですから、上昇トレンドは継続しているわけです。もし、ボックスと判断した場合は、上限では売らず、下限のみ買っていきます。」となる。

②三角持合いの場合は（44 ページ）「三角持合いに入る前が上昇トレンドであれば、三角持合いから上放れする確率が高いです」。対応としては押し目買いを狙うことになる。

③フラッグの場合は（45 ページ）「基本では上昇トレンドから、直近安値を割り込んだら下降トレンドへ転換です。」。対応としては（45 ページ）「上昇トレンド再転換を警戒しながら戻りを売っていきましょう。」となる。

## 第3章

ここからは手法で実際に使用するテクニカル指標の見方が説明される。

### <平均足の見方>

商材ではローソク足から少し離れて平均足が表示され、上昇中は「緑」、下降中は「赤」で表示される。またこの平均足では以下の3つの判断をしているという。

#### ①トレンドの判断

判断方法としては（47 ページ）「下降トレンドであれば、緑(戻り)よりも赤(下

# E-BOOKのダイジェスト

落)のほうがゲジゲジが長くなります」(48ページ)「逆に上昇トレンドであれば赤(押し)よりも緑(上昇)のほうが長くなります。」としている。

\*ゲジゲジとは商材中の表現で平均足を指す。

## ②利益を伸ばす時に使う

判断方法としては(48ページ)「ロングポジションを持っているのであれば、ゲジゲジが緑である限りキープし、赤になったらポジションを閉じます。ショートポジションであれば、ゲジゲジが赤である限りキープし、緑になったら手じまいます。」としている。

## ③持合い突入の判断に使う

判断方法としては(51ページ)「上昇トレンド中に高値を切り下げる等、トレンドに変調があった場合は、持合いのボックスに入る事が多いです。」としている。高値・安値だけを見ればわかるのだが、合わせて平均足の動きを見て判断するという事だろう。

## < MA\_orijinal の見方 >

<チャートのセッティング>で説明したようにこの「MA\_orijinal」は8区間、20区間、75区間の3本の移動平均線を表示させたものである。

\*商材中ではこの雲を「ツチノコ」と表現している。

「MA\_orijinal」では以下の3つの判断をしているという。

### ①エントリーのフィルタとして使う

(53ページ)「オーソドックスに、青ならロングのみで仕掛け、赤ならショー

# E-BOOKのダイジェスト

トのみで仕掛けます」。前述した移動平均線の位置関係が上昇トレンドを示せば買い、下降トレンドを示せば売りということである。

## ②押し目買い（戻り売り）として使う

(54 ページ)「押し戻りのエントリーとして使います」。これは前述したフラッグなどのチャートパターンと併用して押し目買い（戻り売り）のポイントを探すということである。

## ③持合いボックスの判断として使う

これは②と似ているが、チャートパターンなどで押し目買い（戻り売り）のポイントと確認できない場合は持合いボックスと判断する。

この場合の対応は (55 ページ)「このような時は、方向感のない持合いになるケースが多いため、トレードは控えます」としている。

## < RCI (長期線) の見方 >

RCI (長期線) については以下の2つの判断をしているという。

① (58 ページ)「RCI が買われすぎ・売られすぎに到達した際に、ゲジゲジが持合いの兆候 (前述) を示したらトレンド転換または持ち合いを警戒しトレードをやめる。」

② (58 ページ)「レンジ相場ではエントリーとして利用してみる。」商材ではこれ以外に説明はない。おそらくは一般的な「80 以上で売り、20 以下で買い」という反転を狙ってエントリーする方法だろうが、明らかに説明不足

# E-BOOK のダイジェスト

である。

(57 ページ)「まず長期 (黄色) のラインですが、これはあまり重要視していません」と書いているように RCI (長期線) は持合いの確認など補助的に使っているのだろう。

## < RCI (短期線) の見方 >

RCI (短期線) はエントリーのタイミングを測るために (59 ページ)「売られすぎのピンクのラインをタッチしたらロングを仕掛けます。」(60 ページ)「買われすぎのピンクのラインをタッチしたらショートを仕掛けます。」のように使う。

これは売られすぎ、買われすぎからの反転を狙うということだが、ラインにタッチしたらエントリーとは一般的な RCI を使ったエントリーよりタイミングとしては若干早いと言える。

## 第 4 章

ここからは具体的なエントリーパターンの説明となる。

手順は以下となる。

①前述のトレンド確認の方法を元に現在のトレンドを確認する。(61 ページ)「まず最初に必ず 5 分足でトレンドの確認をします。」

②次に 1 分足を見て 5 分足のトレンドと同じ方向にエントリーする。エントリーのパターンは以下の 3 つがある。ここでは売りのエントリーパターン

# E-BOOKのダイジェスト

のみを説明するが、買いの場合は逆と考えればいい。

1) (64 ページ)「1分足が赤いツチノコ=下降トレンドとなっていますので、RCI が買われすぎのラインタッチで売りサインとなります。」つまり移動平均線が前述の位置関係で下降中、RCIが0.8以上になったらエントリーということである。

2) (67 ページ)「ツチノコが消滅しかけた所、要はツチノコ短期線が長期線に接触した、もしくは接触しそうなところで売っていきます。」つまり短期線と長期線が接近、または接触したポイントで売るということである。具体的なタイミングとしては以下になる。

(69 ページ)

「・短期線が長期線に接近時、短期線が上向きから横ばいになってきたら仕掛ける。

・短期線が長期線に接近時、ゲジゲジが緑から赤に変化したときに仕掛ける。」このポイントはトレンド転換点と判断できるという。根拠は(69 ページ)「売り方としては、ゴールデンクロスさせたくありませんから、(中略)は売りが入りやすくなります。」としている。これは見方によっては大きい動きの戻り売りを狙う方法とも考えられるだろう。

3) (71 ページ)「1分足のツチノコ短期・長期線のゴールデンクロス、デッドクロスで仕掛けるという方法です。」これは移動平均線のクロスをサインとするということだ。

# E-BOOKのダイジェスト

具体的なタイミングは以下となる。

(73 ページ)

「・5分足が上昇トレンド（ツチノコが青）であれば、1分足のツチノコが赤色から青色になったポイントで買い仕掛ける。

・5分足が下降トレンド（ツチノコが赤）であれば、1分足のツチノコが青色から赤色になったポイントで売り仕掛ける」

この3つのエントリーパターンは1)はRCI、2)はトレンド転換点、3)は短期線、長期線を利用しているが、いずれも押し目、戻りを狙った方法であるといえる。狙う利幅は1)、2)、3)の順に大きくなる。いずれも表示は独特とはいえ各テクニカル指標の基本に乗った判断基準であり、オーソドックスな順張りだ。

## 第5章

ここからは手仕舞いのポイントの説明となる。ここではエントリーの場合と同様、売りでの説明となるが、買いの場合は逆と考えればよい。

### <利益確定のポイント>

①エントリーパターン1)の利益確定

1) (79 ページ)「(ゲジゲジが) 下げ始めると赤色に変化しますので、赤色である限り保有し続けます。そして緑色に変化したら手じまいます。」つまり平均足の反転で手仕舞いする方法である。



# E-BOOKのダイジェスト

2) (80 ページ) 「ツチノコが赤色である限りキープします。ゲジゲジは無視して大きく取りに行く方法です。そして、ツチノコが青色（ゴールデンクロス）したら手じまいます。」これは移動平均線の反転まで利益確定を我慢するということである。それによってより大きな利益を狙うことができる。

## ②エントリーパターン2) 3) の利益確定

上記の2) の利益確定方法のみを使用する。

### <ロスカットポイント>

#### ①エントリーパターン1) のロスカット方法

基本は直近の高値（商材では「山」と表現）とするが、これはエントリー後順調に下げていることが前提である。順調に下げない場合も想定してすべてのエントリー時に（84 ページ）「ボラがあまりない最近では 10pips 前後、2008 年後半のようにボラがある時期は 20pips 前後」にストップを設定し、その後トレーリングしていく。

具体的な手順は以下となる。

(85 ページ) 「まず、エントリー直後にストップロスを設定し、順調に下げ山が形成されたら、設定してあるストップロスを山の頂点に切り下げるという方法をとります。」

#### ②エントリーパターン2) のロスカット

エントリーパターン2) はトレンド転換点を狙うので、トレンドが転換する前の直近高値がロスカットポイントとなる。

#### ③エントリーパターン3) のロスカット

エントリーパターン3) もエントリーパターン2) 同様にすでに山ができて

# E-BOOKのダイジェスト

いるので、トレンドが転換する前の直近高値がロスカットポイントとなる。また移動平均線の反転もロスカットポイントとなる。

## <レンジの判断、対処>

レンジ相場の対処は（90 ページ）「レンジと判断した際はトレードを休む。これはトレードをする上で欠かせない事です。」としている。レンジ相場の判断は5分足で行う。要はトレンドが無い場合はトレードしないということである。

## <FX 業者の裏側>

ここではいろいろとFX業者について説明しているが、内容は省略する。商材（実際はリンク先のブログ）では以下の業者が推奨されている。

ひまわり証券【ひまわりFX】

FXプライム

マネーパートナーズ

外為オンライン

商材の内容はここまでである。この手法は複数のテクニカル指標を組み合わせたトレンドフォローだ。

テクニカル指標の表示には独特であり工夫の跡が見えるが、判断方法自体は基本的なものである。このようなトレンドフォローの場合はレンジ相場での対処が勝負を分けるのだが、この手法では「トレンドのない時は休む」という方法を取っている。

当然レンジ相場の際はトレードしないというのであれば、エントリー回数は減る。スキャルピングの場合は1トレードで狙う値幅は小さいので、エント

# E-BOOKのダイジェスト

リー回数がどれくらいあるのかは重要である。

残念ながら検証する時間がなかったのもそれは不明だが、エントリー回数が十分あれば一定の有効性はある手法だろう。手順もそれほど複雑ではないので、初心者でも十分実践できる。

ただしセールスレターに記載されているように「月利20%以上」の成績を上げられるかどうかは疑問だ。それほど効果はあるとは思えない。

# FX セブンストラテジー

3/18 40pips 抜き

※毎営業日に重要指標と中期トレンド分析を配信

## 発行元情報

■発行元	株式会社アセットアールディ
■販売責任者	鈴木信夫
■所在地	東京都新宿区新宿 2 - 5 - 10 成信ビル 3F
■電話	03-5767-0251
■メール	info@asset-rd.jp
■URL	<a href="http://www.rd-lavas.jp/infocart/fx_7strategy/">http://www.rd-lavas.jp/infocart/fx_7strategy/</a>

価格 31,800 円

## … 目次 …

はじめに…	8
第1章 40pips 抜きスキル…	13
第2章 2セットイベント…	25
第3章 三角ペアトレード	
第4章 9匹のブル・ベア…	52
第5章 ペンタゴンと雲…	67
第6章 波乗りファンド…	75
第7章 歴史の転換点…	88
全 97 ページ。読みやすい構成。	

# E-BOOKのダイジェスト

商材タイトル通り7つのロジックが収録されているこの商材「FX セブンス  
トラテジー」。

とはいえ、数が多ければいいというわけではない。

問題は使えるロジックかどうかだからだ。

では内容を見ていこう。商材は全97ページのマニュアルのみで、各章ごとに1つのロジックが説明されている。

## はじめに

ここでは7つのロジックについての基本的な考えが説明されている。

それは「個人投資家がFXで利益を出すためには、大口投資家が競い合う隙  
をついて売買する事が必要になるのです。」(10ページ)、「基本的にテクニ  
カル指標の解説はほとんどありません。」(11ページ)、「「節目」は指標では  
ないものの、FXにおいては最も重要なテクニカル要因です。」(11ページ)  
などである。

簡単にいうとテクニカル分析によらず、大口投資家などのビッグプレイヤー  
を中心とした市場の力関係に注目し、トレードするということだろう。

## 第1章 40pips 抜きスキャル

ここでは1回のトレードで40pipsの利益を狙うスキャルピングが説明され  
ている。

通常スキャルピングで狙う利益は数pipsから大きくても20pips程度なの  
で、かなり大きく利益を狙うロジックだ。

# E-BOOKのダイジェスト

## <FXの3つの状態>

まず前提として相場状況は大きく以下の3つに分かれるとしている。

- ①指標発表など特定の材料がない相場
- ②指標発表を目前に控えた思惑の売買が出やすい相場
- ③指標発表後のファンダメンタルズを為替レートに織り込む相場

この内①は「テクニカルを中心とした投資家の思惑によって相場が形成される」(15ページ)とし、このロジックを使うのはその①の相場状況の時だという。

## <エントリー条件>

以下の3つの条件を満たした時にエントリーとなる。

- ①短時間で大きく動いた

大きく動いたと判断する基準としては「1時間以内に0.5%以上の変動率」であるという。

- ②節目を割り込む

「90.00円などの節目には、ストップロス注文が多数入ります。(中略)大口投資家からみれば、90.00円という節目をつけるだけであとはその他の投資家が、勝手にもう一段下落させてくれる」(18ページ)としている。

いわゆるストップ狩りである。節目を割れた後は、もちろんそのまま下落する事もありうるのだが、「大口投資家は30銭下落させるために、すでにポジションを持っており、(中略)そこで買い戻すわけです。」(18ページ)ことから、反転の可能性が高いという。

# E-BOOKのダイジェスト

③割り込んでから0.2%オーバーシュートしたら買いエントリー

このロジックでは節目を割り込んでからの反転を狙ってエントリーするのだが、「株式でも小品でも債券でもオーバーシュートの平均は0.2%程度で終了」(19ページ)ことから、節目割れから0.2%行き過ぎたところでエントリーする。この0.2%という数字はレートに直すと大体20銭になる。

## <利益確定と損切りのポイント>

利益確定はロジックの名前どおり40pipsを目安にする。

また損切りは30pipsである。これは20銭のオーバーシュート+30銭で「今度は50銭刻みの節目が存在しているから」(22ページ)を理由としている。

この章で説明したのは「特にファンダメンタルズ材料が無い相場での大口投資家のストップ狩りに伴った下落→反転の動きに乗るロジック」である。

投資経験のある人なら同じような値動きを見た経験があるのではないだろうか。割と頻繁にある動きのため、うまく捕まえられれば利益を挙げることも十分に可能だろう。

節目については詳しい説明がないが、下2桁が「00円」「50円」などキリのいい数字と考えておけば、そう間違いはないだろう。ただしこのロジックを行うには価格の変動率を逐次チェックしなければならず、ある程度の時間PCに張り付いていることが必要となる。

## 第2章 2セットイベント

このロジックは前述した②と③、つまり指標発表などの相場が動く可能性のある相場状況を利用してトレードする。

# E-BOOKのダイジェスト

「指標発表前は為替レートが動きやすくなることと、そこで中長期のトレンドが発生する可能性がある」（27 ページ）との前提から、「指標が発表される前のレンジの下限上限から一定距離離れたところに上下の逆指値を出す」（27 ページ）。

要は価格が動き、トレンドが発生する可能性の高い方向にエントリーするということである。実際には以下の手順でエントリーする。

## ①仕込む時期

「基本的には米国の経済指標発表前」（29 ページ）そして「ヨーロッパの動きが落ち着きドルのレンジが明確になった時」（30 ページ）を仕込む時期としている。具体的には「指標発表前の約 1 時間～ 2 時間前」（30 ページ）、つまり日本時間の 19:30（冬時間 20:30）から 20:30（冬時間 21:30）までに逆指値を入れる。

## ②どのような指標前に仕込むのか

以下の米国の経済指標前に仕込むのが基本としている。

雇用統計、GDP、小売売上高、ISM 製造業・非製造業、鉱工業生産、シカゴ購買部協会景気指数、フィラデルフィア連銀製造業景気指数、  
ニューヨーク連銀製造業景気指数、ミシガン大消費者信頼感指数、消費者信頼感指数、PCE コアデフレーター、CPI、PPI、住宅着工件数、中古住宅販売件数、FOMC

## ③どこに逆指値を入れるのか

為替相場が動く時間帯は各国の経済指標発表がある時間であり、「それ以外



# E-BOOKのダイジェスト

の時間は基本的にレンジを作っているケースがほとんどです。」(35 ページ)との前提から、逆指値を入れるポイントは「レンジを抜けたところ」(35 ページ)としている。しかし誤差もあることから実際はレンジの上限下限から40pips 離れたところに逆指値を入れることになる。

## ④いくらで利益確定するのか

レンジを抜けたということはトレンドが発生した可能性が高いので、利益をできるだけ伸ばすために50 銭ごとにストップをトレールするのが基本となる。

## ⑤損切りはいくらなのか

価格がレンジの中に戻ってきた場合はトレンドが発生せず、エントリー失敗と判断できるので、レンジの上限下限が損切りポイントとなる。つまり損切り幅は40pips ということである。

指標発表前に現在レートから一定の距離に上下に逆指値を入れて、指標発表後のトレンドに乗るロジックはこれまでもあった。しかしトレンド発生を明確に判断出来ない為、ダマシに合い、損切りすることも多かった。

このロジックでは明確な基準があるため、ダマシに合う確率は減るだろう。また指標発表後だけでなく、指標発表前の動きでもエントリーできるのがメリットである。ただし、前提としてレンジの存在や幅をきちんと確認しなければならず、それにはある程度の知識や経験が必要である。

# E-BOOKのダイジェスト

商材ではレンジの確認方法は書かれておらず、そこが残念な点だ。もちろんそんなに難しいことではないが、初心者のことも考えて簡単なテクニカル分析でもいいので、説明が欲しかったところだ

## 第3章三角ペアトレード

為替ではドルを買いたいと思っても、ドルだけを買うことはできず、「ドルをかって円を売る」「ドルをかってユーロを売る」など必ず相手の通貨が必要である。このことから理論的には同じはずの2つの通貨ペアの動きに差ができることがある。

### <ドル・ユーロ・円の歪み>

「3通貨いずれかが買われたり売られたりするとき、残りの2つの通貨の変動幅のサヤを取る」(41 ページ)。

これがロジックの概要であるが、2つの通貨の変動率が違う時に、それが元に戻る事を予測して、ロングショートする、サヤ取りと言えよう。この3つの通貨は以下の時間帯に動きやすいという。

- ① 9:00：日本の経済指標発表と株式市場オープン
- ② 16:00 (冬時間 17:00)：欧州の経済指標発表と欧州株式市場オープン
- ③ 22:30 (冬時間 23:30) 米国の経済指標発表と NY 株式市場オープン

具体的にはこの時間に動いた通貨を除く、残りの2つの通貨の「変動率が大きかった方を買(売)、小さかった方を売(買)」ことでそのサヤ

# E-BOOKのダイジェスト

を取る」(41 ページ) ことになる。

例えば東京時間に経済指標が発表され「円が買われた」とする。その時はドルとユーロが相手として売られる確率が高い。

この場合、ドル円とユーロ円のファンダメンタルズ要因の差は無く、理論的には2つの通貨ペアの変動率は同じはずである。しかし変動率に差があった場合、前述したように2つの通貨ペアをロングショートし、サヤを取るのである。具体的には以下の手順でエントリーする。

## ①何%乖離した時にエントリーするか

2つの通貨ペアの変動率がどれくらい離れた時にエントリーするかということだが、「勝率とリターン・リスクのバランスを考慮すると0.5%が平均的なエントリーポイントになります。」(46 ページ) としている。

## ②いつエントリーするのか

サヤは発生してから時間が経ちすぎた場合それはファンダメンタルズ要因に基づいた「本質的なサヤ」に変化したと判断してエントリーを見送るとしている。そこで「エントリーは指標の発表から、1時間以内」(48 ページ) としている。

## ③いくらで利益確定するのか

「具体的には0.5%の乖離でエントリーしたならば、0.2%の乖離までサヤが戻った時に利益確定となります。」(48 ページ) としている。

理論的にはサヤが完全に元に戻るはずなので0%の乖離まで待ってもよいのだが、「乖離が出る可能性があるならば、それよりも以前に利益確定する」(48

# E-BOOKのダイジェスト

ページ) ということだ。乖離の発生はファンダメンタルズ要因が含まれている可能性があるので、そうなるとうる0%の乖離には戻らない事もありうるからだろう。

## ④損切りはいくらなのか？

「サヤが元に戻ると言う仮定をおくと、サヤは広がれば広がるほど良い」(48ページ) ため、それを避ける損切りは重要だとしている。

確かに従来のサヤ取りでもその問題はある、損切りが遅れ、損失を拡大してしまうことがあった。そこで「0.5%でエントリーしたときは少なくともサヤが1%を超えたら損切りする」(49ページ) としている。

従来のサヤ取りはポジションを長期保有するため、ファンダメンタルズ要因など様々な理由で、「サヤが元に戻らない」、または「逆に広がってしまう」と言う欠点を持っていた。

それに対し、このロジックは時間を限定し、相関性が高いと思われる3つの通貨の動きからサヤを見付け出すことで、価格の歪み以外の要因を極力減らす狙いがあると思われる。

ただし、短い時間の中に各通貨の変動率や乖離率を調べエントリーしなければならぬので、慣れないとスムーズにトレードすることは難しいだろう。計算自体は簡単なのでエクセルなどで売買用のシートをつくるのもひとつの方法かもしれない。

# E-BOOK のダイジェスト

## 第4章 9匹のブル・ベア

ここでは「今後上昇するのか下落するのかを表すチャートの形」(52 ページ)として9つのチャートパターンが説明されている。

こうしたチャートパターンは多数あるが、「まったく同じ形で同じ推移をしてきたとしても材料次第では買いにも売りにもなり得る」(54 ページ)ため、必ずしもいつも機能するとは限らない。

対して「ここで解説する9つのチャートパターンはこうした投資家心理に基づいてより精度の高いものだけを紹介しています。」としている。

### <1. レンジブレイク>

著者によれば価格調整には値幅調整と日柄調整の2つがあるという。値幅調整とは普段の相場でも多くの人が意識している、売り買いの需給関係による価格の変動のことである。

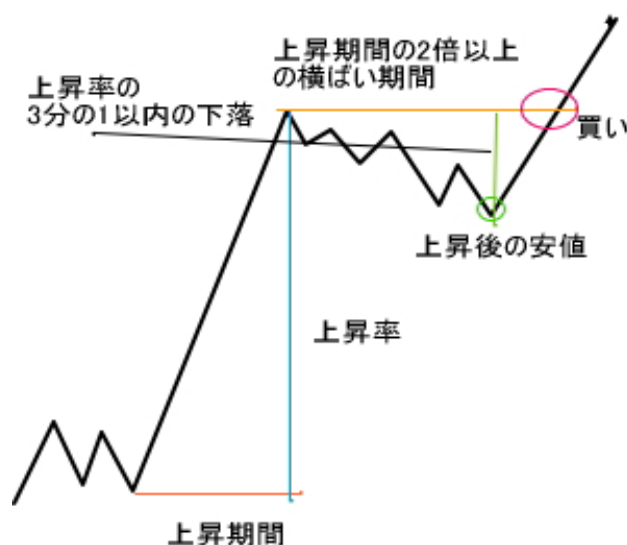
一方日柄調整は価格がほとんど変化しないが「時間が経つことで売りたい人は売り切ってしまう、(中略)まだ上昇すると考える投資がほとんどになる」(57 ページ)というように、時間の経過で売り買いの需給関係が調整されることであるという。下図のチャートでは以下の理由から、買いたい投資家が多いことがわかるとしている。

- ①上昇に掛かった期間の2倍以上の横ばい期間があることから日柄調整が完了している可能性が高い。
- ②下落が上昇率の3分の1以内に収まっていることから、買いたい投資家

# E-BOOKのダイジェスト

が多いことがわかる。

そこで「直近の高値を上抜けた時点で上昇が続く」と判断し、買いエントリーする。

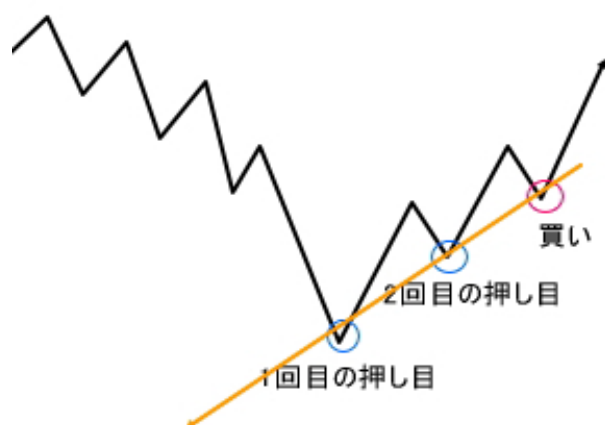


## <2. トレンド転換後の2度目の押し目>

これは簡単に言えば押し目買いである。しかしよくある1回目の押し目買う方法は「直近まで下落トレンドだったことで投資家心理が一気に買いには転じない」(58ページ)ため、勝率が落ちるとしている。

そのため「直近の安値と1回目の押し目を結んだ延長線上に2回目の押し目ができたら」(58ページ)、買いエントリーする。

# E-BOOKのダイジェスト

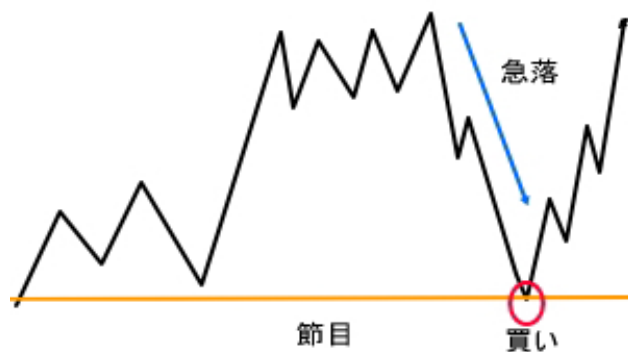


### <3. 突っ込み買い（節目反発）>

これは「行き過ぎた下落が起こった時に価格修正のための反発を狙った」（59ページ）方法である。ただし急落すればいつでもエントリーできるわけではなく、「投資家の投売りが殺到する必要がある」（59ページ）ため、急落前に一定期間ゆっくりと下落する局面が必要だという。

エントリーポイントは急落する前に何度か反発している節目となる。

# E-BOOK のダイジェスト



## <4. 短期で2度目のレンジ抜け>

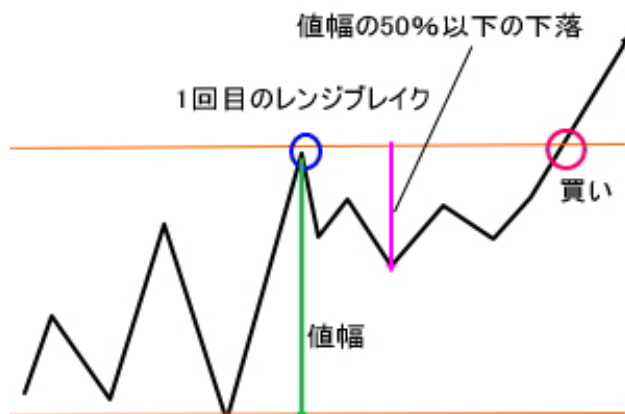
これは2度目のレンジ抜けでそこからの上昇を狙ってエントリーする方法である。

一般には1回目のレンジ抜けでエントリーする方法がよく知られている。

しかし2度目のレンジ抜けは「直近のレンジで売りたい人はある程度売ってしまっている可能性が高いため、今度はレンジを抜けて上昇する可能性が高くなる」(61 ページ) ため、より確実であるという。



# E-BOOKのダイジェスト



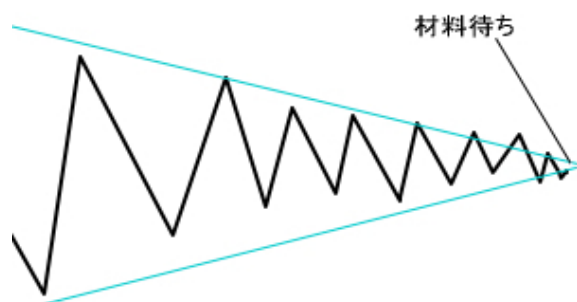
ここまでの4つのチャートパターンは買いの場合を説明したが、売りもチャートパターンを逆にすれば同じ考えでエントリー可能であるという。

## < 5. 三角保ち合い (材料待ち) >

下図のチャートパターンは一般的に言われる三角保ち合いと違い、「特定の大きな材料に向かって三角形の頂点が進んでいる」(65 ページ) としている。

その際には「投資家の注目がその重要な材料に集中していますから、放たれた後、一気に進んでいく」(65 ページ) という。商材ではこのチャートパターンでのエントリー方法は説明されていないが、材料待ちの際にこのパターンが現れた場合、三角保ち合いが放たれた方向にエントリーする方法などが考えられるだろう。

# E-BOOKのダイジェスト



チャートパターンを解説している情報商材や書籍は数あるが、経験則的に「こうなる」としているだけで、そのチャートパターンの意味やエントリーの根拠を説明したものはほとんど無かった。

その点この章で挙げられているチャートパターンは投資家心理の面からその時の相場状況が説明されていて、エントリーの根拠もよくわかる。実際にどれほどの頻度で出現するかは確かではないが、信頼性は高いと感じた。しかしチャートパターンをしっかり覚え、各数値を算出しなければならないので、スムーズに使いこなすには有る程度の経験を積まなければならないだろう。

## 第5章ペンタゴンと雲

ここではペンタゴンチャートと一目均衡表の雲を使い、前述した「日柄調整が完了するタイミング」を判断する方法が説明されている。

# E-BOOKのダイジェスト

価格調整と日柄調整は単独で進行するのではなく「値幅調整と日柄調整は(中略) 2つを結合して調整になる」(69 ページ) としている。

つまり数十分で大きく下落しても、ほとんど動かなくて一定の時間が経っても、どちらも調整完了ということだ。

値幅調整に関しては「半値押し・3分の1押し」という言葉があるように、多くの人が意識しているだろうが、日柄調整まではなかなか意識していないのではないだろうか。しかし相場参加者はいつも同じではなく、時間と共に入れ替わっていくと考えればこの考え方は納得がいく。

## <時間×値幅>

日柄調整の期間には目安がないため、判断するためにペンタゴンチャートと一目均衡表の雲を使うという。使い方は1つのペンタゴンが当てはまる期間、1つの横長の雲に入る期間が日柄調整の期間と判断できるとしている。

## 第6章波乗りファンド

ここでは投資銀行やヘッジファンドなどが世界の様々な金融商品を取引するため、「世界の金融商品には非常に大きな連動性が存在しています。」(75 ページ)との前提から、その動きを利用し、エントリーする方法が説明されている。

## <決算期>

ヘッジファンドは「決算期に収益をよくしたい」ため、「決算前にはポジションの解消が進みやすくなる」(83 ページ) としいう。

# E-BOOKのダイジェスト

多くのヘッジファンドは5月と11月が決算期であるため、その時期にはポジションの解消から相場が動きやすくなると推測できる。

## <45日ルール>

45日ルールとは、ファンドに投資している投資家が解約する場合、四半期末ごとの45日前までに申し込まなければならないルールのことである。ヘッジファンドは保有しているポジションの一部を投資家への払い戻しのために解約しなければならない。

そのためその時期には相場が変動しやすくなるということである。具体的には「2/15、5/15、8/15、11/15」が45日ルールの該当する日付となる。前述した決算期とこの45日ルールが重なるため11月中旬が最も変動が起きやすい時期となるという。

## <実践的な考え方>

ここまでの説明では長期的な傾向は掴めても、実際にどのようにエントリーするかは説明されていない。

ここでも具体的なエントリー方法は説明されていないが、例として「ディーラーは基本的に1日で決済を完了しなければならないため」(85ページ)、相場の方向感が無い時や重要なイベントなどを控えて中長期の投資家が参加していなくディーラーの参加率が高い状況では、決済売り・決済買いでの反転を狙った「逆張りが有効になる」(85ページ)などが挙げられている。

# E-BOOKのダイジェスト

## <過剰流動性>

過剰流動性とは簡単に言うとキャリートレードなどで発生した余剰資金が、世界の金融商品に流れ込んでいる状況のことである。

原油市場や株式市場に動きからマネーの流れを、金利でマネーの量を見て「ファンドの動きに合わせて数日～数週間のポジションを取る」（86ページ）としている。

しかしこの方法でトレードするには相当のファンダメンタルズ分析力が必要だろう。また実際にここで説明されているファンドの動きがどれほど相場に影響を与えるかは不確実な部分はある。いきなりエントリーせずに知識として覚えておき、相場状況が合致するようならエントリーを検討してみると言う、スタンスがよいのではないだろうか。

## 第7章歴史の転換点

ここではFXを長期投資する方法が説明されている。その際には大きなトレンドが変化する「歴史の転換点」を見つけ、その初期に投資することが大事だとしている。

## <テクニカル>

長期のチャートを見ると「ドル円はおよそ3年周期で大底と天井をつけている」（89ページ）としている。そこでさらに正確な周期を測るために月足と24ヶ月移動平均線を見る。

# E-BOOKのダイジェスト

「月足の終値が24ヶ月移動平均線を上抜けば「買い」、下抜けば「売り」と言う見方」(89ページ)が一応の目安となるとしている。

## <ファンダメンタルズ>

前述したテクニカルに加え、「米国の長期金利(10年債国債利回り)も合わせてチェックする。商材ではその判断方法は説明されていないが、著者は「(現在の)下落レンジを抜けたときが、歴史の転換点になる可能性が高いと言える」(94ページ)と言う見方をしている。そこが長期投資のエントリーポイントということだろう。

ここで説明されているロジックは米国の長期金利を初めとした金融政策、経済状況の長期予測をしなければならず、前述した「波乗りファンド」同様、相当なファンダメンタルズ分析力が必要とされるだろう。ここまでが商材の内容である。

7つのロジックが説明されているが、各ロジックとも一般的なテクニカル分析に基づくものではなく、投資家心理から相場動向を予測するこれまであまり無かったタイプである。

価格の動きは投資家心理の総体を現しているもので、これをある程度読めれば、利益につなげる事もできるだろう。また人間の心理というものはそう変わるものではないので、ロジックの寿命も長いのではないだろうか。

複数のロジックを説明している商材はこれまでもあったが、メインのロジックに比べ頭数あわせで載せたようなお粗末なロジックの羅列に終わるこ

# E-BOOKのダイジェスト

とが多かった。また複数のロジックを使うことは、相場状況に合わせて最適なロジックを選べるメリットがあるのだが、そこを考慮せずに同じような相場状況でしか通用しない、同じような性質のロジックが並べられていることもあった。

その点この7つのロジックは対応する相場状況、投資期間などの違う様々なロジックがあるので、複数のロジックを使うメリットを十分に発揮できるだろう。また経験的には納得できる部分はあるが、検証できるタイプのロジックではないので、商材の説明どおりに価格が動く可能性が高いかどうかは保証できない。

1つ注文をつけるとすれば、第6章、第7章など具体的なエントリー方法など説明が不足している箇所がいくつかあったことだ。

かなりファンメンタルズ分析が必要なロジックなので仕方がない部分もあるが、初心者のごとも考えてもう少し詳しい説明を望みたい。オススメできる商材ではあるが、初心者向けではなく、ある程度知識・経験があり、トレードに時間が割ける人向けだろう。

# FXトレーサーシステム

★1分足で短時間決済★  
毎日着実に利益を増やすスキャルピングの定番

## 発行元情報

■発行元	T.d.M (ティーディーエム)
■販売責任者	森田清二
■所在地	東京都西東京市富士町 4-2-3-601
■電話	042-444-5509
■メール	info@fxtracer.net
■URL	http://fxtracer.net/

価格 29,800 円

## … 目次 …

1 はじめに	4
2 準備編	10
3 FXトレーサーシステム	20
4 補足事項	39
5 最後に	46

全 46 ページ。説明がわかりにくい部分がある。



# E-BOOKのダイジェスト

この「FXトレーサーシステム」は1分足をメインチャートとして使うスキャルピング手法だ。

多くのスキャルピング手法では1分足はサブとして確認に使う場合が多いのだが、その点では珍しいといえるだろう。

商材は全46ページのマニュアルと特典のVTトレーダー基礎操作マニュアル（全32ページ）FXトレーサーシステム裏技集（全36ページ）が1つのPDFファイルに収められている。まずは本編から検証していこう。

この手法ではVTトレーダー（CTトレーダーでも可）のトレーディングシステムを使用するため、CMS（FXA）の口座が必要となる。

序文のあとはこの口座の開設方法、VTトレーダーのインストール方法が説明されるが、ここでは省略する。

次からが実質的な手法の説明となる。

## <FXトレーサーシステム基礎設定編>

まずVTトレーダーの初期設定を以下の手順で行う。

- ①チャート画面以外の表示を消す
- ②ローソク足を1分平均足に変更する
- ③トレーディングシステムから「VT-Complex Trading System」を追加
- ④VT-Complex Trading Systemのパラメーターを「Short MA Periods14」「Long MA Periods55」「RSI Periods42」に変更。

VT-Complex Trading SystemにはMACD（26、12、9）も組み込まれているが、パラメーターは変更しない。

# E-BOOK のダイジェスト

この設定をするとチャートに矢印でサインが表示されるようになる。このロジックの基本となっている「VT-Complex Trading System」については商材ではこれ以上の説明はないが、CMS FOREX ホームページから詳細を調べることができた。

## ①インジゲーター

- \* 短期移動平均線 (Short MA)
- \* 長期移動平均線 (Long MA)
- \* RSI
- \* MACD

## ②サイン表示のロジック

ロングエントリー：MA1 > MA2、RSI > 50、MACD 線 > MACD シグナル線

ロングエグジット：MA1 < MA2、RSI < 50、MACD 線 < MACD シグナル線

ショートエントリー：MA1 < MA2、RSI < 50、MACD 線 < MACD シグナル線

ショートエグジット：MA1 > MA2、RSI > 50、MACD 線 > MACD シグナル線

\* MA1 は Short MA、MA2 は Long MA

引用元：<http://www.cmsfx-japan.com/tool/feature/introduction/004.shtml>

つまり短期線が長期線より上にあり、RSI が 50 以上の買いゾーン、MACD のゴールデンクロスが揃った時に買いサイン、反対サインが出たら決済というロジックである（売りは逆）。

複数インジゲーターによるトレンドフォロータイプのロジックだ。パラメーターはデフォルトでは「Short MA Periods5」「Long MA Periods10」「RSI

# E-BOOKのダイジェスト

Periods14」なのだがかなり区間を長くしている。投資系のブログなどではVT-Complex Trading Systemは「区間を長くすると良好なサインが出るよう」との意見も見られたのでたかが「パラメーター変更だけ」とバカにしてはいけないのかもしれない。では先を続けよう。

## <FXトレーサーシステム実践編>

ここでは実践編としてトレードの詳細について説明されている。「FXトレーサーシステムで最も重要なポイントは下記です。」(29ページ)として以下の3つが挙げられている。

### ①だましを避けるパラメーター変更

基本は1分足のスキャルピングであるが、他の時間軸でもトレード可能としている。その場合は時間軸によって通貨ペア、パラメーターを以下のように設定する。

### ● 1分足スキャルピング

推奨通貨ペア	EUR/USD、GBP/USD EUR/JPY、GBP/JPY CAN/JPY、AUD/USD
Short MA Periods	10 ~ 21
Long MA Periods	21 ~ 55 最大 110

# E-BOOK のダイジェスト

RSI Periods	42 ~ 62
-------------	---------

● 1分足以外（5分足、15分足、1時間足）

推奨通貨ペア	AUD/JPY、NZD/JPY EUR/JPY、GBP/JPY
Short MA Periods	10 ~ 21
Long MA Periods	21 ~ 55 最大 110
RSI Periods	42 ~ 62

この場合「足が長くなるほど Long MA の数値を短くしていきます。逆に 1 分足のように短い時間足の場合は、数値を大きくしていきます。」(29 ページ) ということである。

またダマシを防ぐという意味では「Long MA が短いと、多くのダマシにかまってしまい(中略)Long MA を長めに設定することがポイントです。」(29 ページ) としている。

間違っていないのだが、この程度の調整で果たして好成績がだせるのだろうか。また各インジゲーターのパラメーターの設定の幅が広いが、この判断

# E-BOOKのダイジェスト

基準があまり明確に説明されていない。これでは初心者とはまどうばかりだろう。「自己裁量不要」(セールスレター)とっておきながらこの部分はまさに裁量である。虚偽広告といえる。

## ②トレードをする時間帯

以下のように時間帯を区分している。最適な時間帯は「朝8時半ごろ～午前11時半ごろの短時間で終わらせるトレードです。」(30ページ)としている。

時間帯	推奨度
深夜1時～午前7時前ごろ	△または○
午前7時～午前8時ごろ(冬時間は午前9時ごろまで)	△または○
午前8時～午前11時30分ごろ(冬時間は午前9時～12時半ごろ)	◎
午前11時半～午後1時30分ごろ(冬時間は午前12時半～2時半ごろ)	×
午後1時30分ごろ～深夜1時(冬時間は午後2時半～)	○ただし要注意

最適とされているのは随分短い時間帯だが、これでは日中働いている人は実

# E-BOOKのダイジェスト

践できないだろう。「忙しい人でもあいた時間にできる」(セールスレター)ではない。これも虚偽広告である。著者は「あくまで推奨時間である」と反論するかもしれないが、それならばその旨をセールスレターに書いておくべきだ。

## <決済>

決済については反対サイン出現時が基本であるが、後述する裁量による決済と併用してもよいとしている。例えば10ロット保有している場合なら裁量によって半分のポジション決済し、残りのポジションを反対サイン出現時に決済するという具合である。

ただし「最後まで持っているポジションを必ず逆のサインで決済するということです。」としている。確かに反対サイン出現まで待つと決済が遅れ、利益を飛ばしてしまうケースが多いため、このような段階式の決済方法は必要だろう。

## <資金量>

10万円以上で1万通貨単位のトレード、レバレッジ20倍以下を推奨している。根拠は説明されていないが、常識的なラインだろう。

ここまでで本編の内容は終了である。続いて特典の内容に入るが、VTトレーダー基礎操作マニュアルはVTトレーダーの操作説明が中心であり、手法とは直接関係がないので説明は省略する。

# E-BOOK のダイジェスト

## FXトレーサーシステム裏技集

決済は反対サインでの決済が基本であるが、ここでは裁量を使った決済の説明がされている。

### <RSIを使った決済>

この方法はレンジ相場対策として有効だとしている。

- ① VT-Complex Trading System とは別に RSI (RSI Periods (13 または 14)) を表示させる。
- ② 買いの場合は RSI が 70 越え、売りの場合は 30 越えを 2 回繰り返したら決済する。

この方法を使った例として以下のケースが説明されている。

- 1) 10 ロットで売りエントリー
- 2) 1 回目の RSI30 越えで半分のポジションを決済
- 3) 2 回目の RSI30 越えで残りにポジションを決済

これは売られすぎ、買われすぎを基準とした単純な方法だが、より確実性を増すために 2 回目まで待つということだろう

### <移動平均を使ったエントリー方法>

- ① VT-Complex Trading System とは別に一目均衡表 (変更なし)、移動平均線 (10 日、21 日、50 日) を表示させる。
- ② サインと移動平均線を以下の基準で見て、条件を満たせばエントリーする。
  - ・サインと 3 本の移動平均線のクロスがほぼ同時か、それらの間に時間距離

# E-BOOKのダイジェスト

があまりない。

- ・ 10日線と21日線のクロスがサインのかなり前でも後でもない。
- ・ 動きも急ではなく、比較的ゆっくりと自然な形である。

「時間距離」「自然な形」と曖昧な表現がでてくるがその基準は以下としている。

## 1) 時間距離

サイン出現から「10分以上が経ち、さらに相場もサインの価格よりさきに進んでしまった時、「時間距離が長い」と判断していいでしょう。」(91ページ)

## 2) 自然な形

「上昇局面であれば、まず一番上に10日線があり、その下に21日、その下に50日というように、順番にきれいに並んで（つまりクロスを終えた後ということ）いるということです。」(91ページ)

この手法は3本の移動平均線の位置とクロスとサイン出現の時間差からより強いトレンドと判断できたらエントリーする手法だろう。考え方としてはごくオーソドックスである。

なお一目均衡表については一般的な雲によってより長期の相場の流れを見るという程度であり、それほど重要ではない。

## <有利な通貨ペアの選定>

ここではトレードの有利な通貨ペアを選ぶ方法が説明されている。まず以下の6つの通貨ペアのチャート（1時間足）を同時に表示する。そして一目均衡表と移動平均線（10日、21日、50日）を表示させる。



# E-BOOKのダイジェスト

GBP/JPY（トレード候補通貨）

GBP/USD（トレード候補通貨）

EUR/JPY（トレード候補通貨）

EUR/USD（トレード候補通貨）

USD/JPY（判断用）

EUR/GBP（判断用）

そして判断用の通貨ペアの動きと移動平均線と一目均衡表の状態も併せて通貨を選択する。

## ● EUR/GBP

EUR/GBPのレート	ユーロ系、ポンド系が 上昇と予測	ユーロ系、ポンド系が 下落と予測
上昇	ユーロ系を選択	ポンド系が候補
下落	ポンド系が候補	ユーロ系が候補

# E-BOOK のダイジェスト

## ● USD/JPY

USD/JPY のレート	ユーロ系、ポンド系が 上昇と予測	ユーロ系、ポンド系が 下落と予測
上昇	クロス円を選択	対ドル通貨を選択
下落	対ドル通貨を選択	クロス円を選択

一目均衡表と移動平均線での判断は移動平均線の向き傾きやローソク足との関係、雲との位置関係など一般的な基準と同じである。

この予め通貨のトレンドを予測してトレードする通貨ペアを選ぶ方法は、うまくトレンドを予測できていれば有効だろう。しかし1分足のスキャルピングではもっと細かいトレンドが発生する可能性もありどの程度有効かはやってみなければわからないだろう。逆に有る程度長い時間軸でのトレードなら信頼性は高いのではないだろうか。

### <やってはいけないトレード方法>

ここではトレードの際の禁止事項が書かれている。

- ① RSI の 70、30 越えの部分でのエントリー
  - ② 移動平均のセオリーの条件が揃った場合のポジション増
  - ③ 経済指標発表時の直前のエントリー
- ①については反転の恐れ、②③についてはリスクが高いということだろう。

# E-BOOKのダイジェスト

以上が商材の内容である。

移動平均や一目均衡表の併用、通貨ペアの選択、決済方法などいくつかはオリジナルな部分もあるが、基本的にはVTトレードに収録されているシステムの流用である。

ポイントはパラメーターの変更や時間軸を1分足にしたこと、トレード時間の限定でどれだけパフォーマンスがアップするかということに尽きる。

それを確かめるには残念ながら検証するしかないが、一定の有効性はロジックから推測すればあるだろう。しかしそれは莫大な利益を上げる「夢のシステム」でないことだけは確かである。

# GOLDEN ポン円 FX

## 発行元情報

■発行元	aトレードシステム
■販売責任者	榊原 卓丸
■所在地	東京都中央区日本橋蛸殻町 1-11-3-401
■電話	03-3668-5691
■メール	info@pound-fx.com
■ URL	<a href="http://www.pound-fx.com/top/">http://www.pound-fx.com/top/</a>

価格 9,800 円

## … 目次 …

GOLDEN ポンド FX とは・・・8

FX 取引をするために・・・10

GOLDEN ポンド FX のための「Broco trader」設定・・・16

GOLDEN ポンド FX の取引ルール説明・・・55

GOLDEN ポンド FX の実践例・・・63

売買上の注意事項・・・71

付属：Broco trader 用設定ファイル

全 76 ページ。デザインはすっきりしていて読みやすい。

# E-BOOKのダイジェスト

「ボラティリティが高い」「トレンドが明確」などの理由でポンド円は投資家にとって人気の通貨ペアである。

本商材「GOLDENーポンド円FX」もポンド円に特化したトレード手法だ。

商材は全76ページのマニュアルとBroco traderの用の設定ファイルからなる。Broco traderとは海外の取引業者BroCo Investmentsの取引システムだが、基本的にメタトレーダーとシステムは同じだ。では内容に入ろう。

## 特徴

ポンド円を対象に大きな値幅を狙う、順張りである。この手の手法はレンジ相場で損失を繰り返す欠点がありがちだが「徹底したテクニカル分析により狭いレンジ相場でもロスカットの繰り返しによる損失拡大を抑えた…」という。

## 取引対象をポンド円とする理由

これは前述したように「ボラティリティが高く大きな値幅を獲得できる」というのが、大きな理由となっている。また順張りということなのでトレンドが出やすいポンド円とは相性がいいのも確かだろう。

## メリット

- ・自分のやりたい時間だけで取引できる
- ・エントリーシグナルが表示されるため、他の作業をしながら利用できる
- ・トレンドに乗れば大きな利益を狙える
- ・利食い、ロスカットが明確なためストレスを感じずにトレードできる

# E-BOOKのダイジェスト

## デメリット

- ・トレンドを狙う戦略のため、相対的に狭いレンジが続く相場に弱い
- ・ポンド円のボラティリティが大きいいため、1回のロスカット幅がドル円などに比べて大きい
- ・5分足を使うためスキャルピングに比べて取引回数が少ない

メリットに関しては特にいうことはないが、デメリットの「トレンドを狙う戦略のため、相対的に狭いレンジが続く相場に弱い」「5分足を使うためスキャルピングに比べて取引回数が少ない」は重要である。

順張りではレンジ相場にどう対処するか、どれくらいエントリー機会があるのかは利益に大きく影響を与える。

## FX 業者選択

業者選択の条件として「ポンド円のスプレッドが狭く、約定能力の高い業者」が挙げられていて、参考して以下の業者が紹介されている。この中では「クリック証券」が著者の一番のオススメということである。

- ・クリック証券
- ・FOREX TRADE
- ・サイバーエージェント FX
- ・外為オンライン

続いて BroCo Investments の口座開設方法、Broco trader のインストール、ファイルの設定の説明となるが、ここでは省略する。

# E-BOOK のダイジェスト

## 取引ルール

ここからは取引ルールの説明となる。まず使用するテクニカル指標は以下となる

### <メイン>

- ① ローソク足（5分）
- ② 単純移動平均線（54 区間）
- ③ Blue-Red

Blue-Red は独自のテクニカル指標で移動平均線を改良したものである。棒グラフのような形で上昇トレンド時は青、下降トレンド時は赤、トレンドが無い時は表示なしとなる。

その設定は明らかにはされていないが、実際の表示から推測すると以下のルールで表示されているようだ。

- ・ SMA（7）が上昇かつローソク足の高値安値の差が 10pips 以上あり、1 本前のローソク足より安値が切り上がっていれば、青
- ・ SMA（7）が下降かつローソク足の高値安値の差が 10pips 以上あり、1 本前のローソク足より高値が切り下がっていれば、赤
- ・ その他の場合は表示なし

またチャート上では矢印で「青（買い）」「赤（売り）」が売買シグナルとして表示される。同様に実際の表示から推測すると以下のルールで表示されているようだ。

# E-BOOKのダイジェスト

- ・SMA(7)が上昇中、陽線のローソク足の実体が完全にSMA(7)を上突き抜けた⇒青
- ・SMA(7)が下降中、陰線のローソク足の実体が完全にSMA(7)を下突き抜けた⇒赤

## <サブ>

- ①単純移動平均線 (7 区間)
- ②ボリンジャーバンド (3  $\sigma$ 、20 区間)
- ③トレンドライン
- ④パラボリック (ステップ 0.02、マックス 0.2)

## エントリールール

実際には Broco trader にファイルを設定するとチャート上に矢印で売買シグナルが表示される。エントリーは売買シグナルと SMA (54)、Blue-Red のトレンドが同じ時に成り行きでエントリーする。

つまり矢印が「買い」で SMA (54) が上向き、Blue-Red が青なら買いエントリー、矢印が「買い」で SMA (54) が上向き、Blue-Red が青なら買いエントリー、矢印が「売り」で SMA (54) が下向き、Blue-Red が赤なら売りエントリーとなる。

<サブ>のシグナルについてはパラボリック、トレンドライン、SMA (7) が同じ向きならさらに強力なシグナルとなり、ボリンジャーバンドが拡大した後のサインには注意が必要としている。



# E-BOOK のダイジェスト

## エグジットルール

以下の条件のいずれかを満たした場合、エグジットする。

- ・ エントリー値から 36pips 以上価格が逆行した時
- ・ エントリーと逆方向に矢印の売買シグナルが出現した時
- ・ Blue-Red がエントリー時と違う色に 2 回変わった時。これは青⇒赤などだけではなく、赤⇒表示なしの場合も 1 回とする。

## その他注意

- ・ 重要指標発表前後はエントリーを控える
- ・ レバレッジの目安は 10 倍前後

さて商材の内容はここまでである。

基本的にはローソク足が移動平均線を抜け、複数の移動平均線のトレンドが一致した場合に順張りするオーソドックスな手法である。

ただし独自のテクニカル指標では値幅なども考慮しているのでより確実性は増しているだろう。しかし冒頭のデメリットについてはどうだろう。

「トレンドを狙う戦略のため、相対的に狭いレンジが続く相場に弱い」に関しては実際にしばらくトレードをしてみないとなんともいえない部分ではある。

「5分足を使うためスキャルピングに比べて取引回数が少ない」については実際にある1日のエントリー回数を数えてみたところ5回程度であった。この程度なら合格といえそうだが、1日中PCに張り付いてこの結果なの

# E-BOOK のダイジェスト

で取引時間が限られている人には少々エントリー回数が少ないかもしれない。

またトレード内容を見てみるとトレンドに乗った時は1円以上獲得できる場合もあるが、ほとんど利益の出ないトレードもある。これも通常の順張りのようにトレンドをじっと待って大きく儲けるというスタイルのようである。

売買シグナルの表示を見てみると売買シグナルが細かくしかも反対に出る場合も結構ある。スムーズに売買するにはかなり慣れが必要だろう。

結論としてはオーソドックスで一定の優位性はあるような売買ロジックだが、これまでの順張りの欠点を克服しているとは言い難い。

特にレンジ相場では売買シグナルが少なくエントリー機会が減ることは容易に想像できる。

# FX 1本で生活したい方へ送る 最終バイブル【ONE-FX】

## 発行元情報

■発行元	株式会社ベルテックス
■販売責任者	水野正次
■所在地	東京都千代田区六番町 1 - 2 ビリジアン 2021
■電話	03-3221-7141
■メール	support@cula.name
■ URL	<a href="http://onefx.sakura.ne.jp/2.html">http://onefx.sakura.ne.jp/2.html</a>

価格 19,800 円

## … 目次 …

ごあいさつ…3

用意編…30

実践編…41

全 63 ページ。文字も大きく行間も空いているので実際の文字量は少ない。

# E-BOOKのダイジェスト

「たった1セット（30万円）で…年間総獲得額 869万円 平均勝率 85.47% 48ヶ月中プラス収支 45ヶ月」とまばゆいばかりの輝かしい成績がセールスレターには並ぶこの「ONE-FX」。

もしそれが本当ならすばらしい手法だが、先に結論を言ってしまうと「これは本当ではない」とほぼ確信を持っていえる。

この商材ちかごろではまれに見るダメ商材だった。なにがダメかはこれから説明するが、最近の投資系情報商材は随分まともな内容になったと感じていたので、この商材はその意味では驚きだった。

では内容に入ろう。

商材は全63ページのマニュアルのみである。まずは精神論的な心構えについて書かれている。

これに26ページも割いているが具体的な手法と関係があるのは「自動売買はダメ」「記録メモを取ること」の2点のみである。

「自動売買はダメ」の根拠は「相場は日々違う動きをします。」（5ページ）とあるが、それでは手動で行うシステムトレードならいいのだろうか。トレードの本質的にはどちらも変わらないと思うが。

また「物理的にも常識的にも（無理）。」（5ページ）ともあるが、どう物理的にも常識的にも無理なのかの説明がなく説得力に欠ける。

さて27ページからは「取引システム」として「DMM-FX」が推奨されている。

# E-BOOKのダイジェスト

その理由としては「専用ソフトやパソコン初心者には難しいインストール作業などがほとんどありません」「入金が24時間可能」「レバレッジが選択できること」(27ページ)「約定が早いこと」「スベリが比較的少ない」(28ページ)「口座を開設しなくても「バーチャル無料ID」で利用できること。」(29ページ)が挙げられている。

しかし手法ではDMM-FX固有の機能を使っているわけではないので、他の口座でも構わない。30ページからはDMM-FXの口座開設方法、チャート設定の説明となるので、内容は省略する。チャートは3時間足、1時間足、15分足、5分足の平均足を同時に表示させる。

他のインジゲーターはボリンジャーバンド(1σ、25)のみである。通貨ペアの指定はない。ここまでで全体の三分の二近くの48ページを費やしている。やっと次からが具体的な手法の説明となる。

## <エントリー方法>

買い：3時間足、1時間足、15分足→陽線

5分足→下バンドをレートが下抜け後、反転して陽線に変ったらエントリー

売り：3時間足、1時間足、15分足→陰線

5分足：上バンドをレートが上抜け後、反転して陰線に変ったらエントリー

リミット：エントリー値から15pips

ストップ：エントリーエントリー値から30pips

ただし以下の例外がある。

# E-BOOKのダイジェスト

- ①バンド幅が 75pips 以上ある場合はリミット 30pips、ストップ 60pips
- ②バンド幅が 125pips 以上ある場合はリミット 60pips、ストップ 120pips

## <指標発表時の注意点>

重要指標発表時は「エントリーを避ける」ということである。特に以下の指標は注意を要するという。

### ①米国指標

ADP 雇用統計、ISM 製造業景気指数、雇用統計、ISM 非製造業景気指数、貿易収支、ミシガン大学消費者信頼感指数、輸入物価指数、小売売上高、生産者物価指数、NY 連銀製造業景気指数、フィラデルフィア連銀景況指数、住宅着工指数、消費者物価指数、中古住宅販売件数、四半期 GDP、新築住宅販売件数、個人所得・収支、FOMC 政策金利発表、FOMC 議事録、FRB 議長発言、財務長官の発言

### ②日本指標

全国消費者物価指数、四半期 GDP、日銀政策金利発表、日銀総裁発言、日銀短観、鉱工業生産速報値

なぜ英国、EC 関連の指標がないのか、影響が少ないと思われる日本の指標をいれたのかはわからないが、そこには言及はしない。

ここまでが商材の内容である。ここまで読めばわかると思うが、このロジックは平均足を使う異なる時間軸のチャートを見るなど若干の変えた部分はあるが、単なるボリンジャーバンドの上下ラインでのレートの反転を狙った周

# E-BOOKのダイジェスト

知の手法である。ロジックとして破綻はしていないが、書籍はおろかインターネットで無料で入手できるレベルのものだ。

この手法で冒頭に書いたような成績が上げられるとしたら大金持ちが続出するだろう。

またそれを証明するデータの提示もない。無料で入手できるレベルの情報を高額でそ知らぬ顔をして売るこの著者の厚顔さにはあきれざるばかりである。

# Super Top Trader

トップ1%のWINゾーンへ、次世代の本格的  
トレーディングシステム&メソッド ≪ 日経 225 version ≫

## 発行元情報

■発行元	ゴーイング・インベストメント・テクノロジー株式会社
■販売責任者	山本浩史
■所在地	岡山県岡山市中区関 356-3
■電話	086-279-3558
■メール	SuperTopTrader_support@going-it.com
■ URL	<a href="http://www.going-it.com/SuperTopTrader/itaffiliate.html">http://www.going-it.com/SuperTopTrader/itaffiliate.html</a>

価格 29,800 円

## … 目次 …

メンタルメソッド

マネージメントメソッド

セットアップ・基本使用方法（日経 225 version）

セットアップ・基本使用方法（FX・CFD version）

インジゲーター概要

スタートラインメソッド

BMA メソッド

合計 200 ページ。マニュアルが分かれているので、読みづらい。

また内容が重複している部分がある。



# E-BOOKのダイジェスト

「次世代のトレードテクノロジー」（セールスレター）と銘打たれたこの「Super Top Trader」。独自のインジゲーターを使い、新しいアプローチでトレードするということだが、その内容はどうか。

商材はスタートラインメソッド（全 29 ページ）、セットアップ・基本使用方法【FX・CFD】（全 11 ページ）、セットアップ・基本使用方法【日経 225】（全 15 ページ）、マネーマネージメントメソッド（全 28 ページ）、メンタルメソッド（全 58 ページ）、インジゲーター概要（全 28 ページ）、BMA メソッド（全 31 ページ）の 7 つのマニュアルとメタトレーダー用の設定ファイル、日経 225 ラージ、ミニの過去 4 本値データから構成されている。また商材には FX・CFD バージョンと日経 225 バージョンがあるが、本稿で検証するのは日経 225 バージョンである。

一部のマニュアルは両バージョン共通だが、その場合は両バージョンの情報を記載する。では各マニュアルの内容を見ていこう。

## メンタルメソッド

このマニュアルでは投資心理面について説明されている。内容は一般的な投資心理だが、以下の 10 のルールを守ることが大切としている。

### ①集中できない不利な状況ではトレードしない

「集中できない不利な状況のときは、勇気を持って、トレードをしない、トレードを休む、ことを実行するのです。」（5 ページ）

# E-BOOK のダイジェスト

## ② 持ち合い状態ではトレードしない習慣を身につける

「トレードでお金を失わないためには、1にも2にも、持ち合い状態を避けるべきである」(5 ページ)

## ③ チャンスを確信したら、勇気を持って躊躇なくトレードする

「儲けやすいマーケット状況が訪れたと確信できるときには必ず、勇気を持って躊躇することなくトレードすることがとても大事なこと」(6 ページ)

## ④ 柔軟な考え方と機敏な行動力を身につける

「私たちは、自分の思惑ではなく、マーケットの思惑、意志に過敏になり、その動向を予測し、行動しなければならないのです。」

(7 ページ)

## ⑤ 思惑が外れたときは、素直に負けを認める

「自分の思惑がはずれたと思ったときには、できるだけ早く負けを認め、多少の損を受け入れる」(8 ページ)

## ⑥ ナンピンは失敗の上塗り、絶対にしない

「再び、マーケットの動きと反対のポジションをつくるのは、失敗の上塗り、とても危険な行為です。」(8 ページ)

## ⑦ 取らぬ狸の皮算用をせず、私心を捨てる

「私心を捨てて、マーケットの思惑、意志についていくことが、投資で儲ける秘訣である」(9 ページ)

# E-BOOK のダイジェスト

## ⑧スワップにとらわれず変動で儲ける

「通常、スワップポイントによる利益よりも、価格変動による下落の影響のほうがはるかに大きくなる」(9 ページ)

## ⑨人間の欲と運をコントロールする

「連勝が続いたら、マーケットからでていったん休養のため休む、あるいは、売買単位を小さくして負けトレードになってもわずかな損失となるようにする」(10 ページ)

## ⑩ほどほどの利益で満足する

「トレードで富を築くためには、ほどほどの利益で満足し、確実に利益を積み重ねていく」(10 ページ)

投資心理については抽象的な説明になりやすいのだが、箇条書きにしてルールをシンプルにすることでわかりやすく説明している。

## マネージメントメソッド

このマニュアルでは資金管理について説明されている。具体的な資金管理のルールは以下となる。

### <1回のトレードでの許容損失額>

「総資金に対して、1%～5%、最大でも10%の範囲」(9 ページ)。これを1回のトレードでの損失許容額としている。

# E-BOOK のダイジェスト

## <損切りの方法>

ストップ幅は「1回のトレードでの許容損失額」からATRを使って以下の式で求める。商材ではこのストップがチャート上に表示される。

$$\text{ストップ} = \text{ATR} (50) \times 2$$

またストップに余裕を持たせる場合は、実際のトレードに使う時間軸よりも、1つか2つ大きい時間軸でストップを決めるとよいとしている。

## <トレード数量>

トレード数量は損失許容額とストップの大きさから以下の式で求める。

### ①日経 225 ラージ

$$\text{数量} = \text{許容損失金額} \div \text{ストップの大きさ} \div 1000$$

### ②日経 225 ミニ

$$\text{数量} = \text{許容損失金額} \div \text{ストップの大きさ} \div 100$$

### ③FX・CFD（ドル円・クロス円）

$$\text{数量} = \text{許容損失金額} \div \text{ストップの大きさ}$$

### ④FX・CFD（ドル円・クロス円以外）

$$\text{数量} = \text{許容損失金額} \div \text{ストップの大きさ} \div \text{対円レート}$$

この場合の対円レートとは、例えばEUR/USDならドル円、EUR/GBPならポンド円の現在のレートのことである。

## <資金を増やす具体的な方法>

資金運用に関しては以下の2つの方法が挙げられている。

①「ある程度、利益が蓄積されたら、現在トレードしている口座から、利益を別の口座に移し、基本的に、当初の金額と同じ金額でトレードを行う方法

# E-BOOKのダイジェスト

です。」(19 ページ)

②「利益が蓄積されても、そのままにしておいて、当初の資金と利益の合計金額で、トレードを行っていく方法です。」(19 ページ)

お分かりかと思うが、①が単利運用、②が複利運用のことである。①の利点として

「・利益をあぶく銭にしない・初心にかえってトレードを再開する」(20 ページ)が挙げられている。また②に関しては、「そんなに簡単ではありません。」(23 ページ)として、例えば月利5%など「常に、目標を設定して、トレードしていくのです。」(23 ページ)としている。

しかし一定の効果はあるだろうが、これだけでは複利運用のリスクを十分に軽減できるとはいえないだろう。また①と②の中間的な方法として「利益がある程度、積みあがったら、あるいは、ある一定の期間が経過したら、その利益の半分を別なところへ移し、残りの半分だけそのままにして、トレードを続けるという方法です。」(24 ページ)を挙げている。

これは一定のルールのもと資金の半分を複利運用するということである。ここで説明されている資金管理は一般的な方法だが、簡潔にわかりやすく説明されている。ただし複利運用に関しては、もうすこしリスクなどを含めて深い説明が必要だろう。

**セットアップ・基本使用方法 (日経 225 version)**

**セットアップ・基本使用方法 (FX・CFD version)**

# E-BOOK のダイジェスト

商材では設定ファイルをインストールするとメタトレーダーにインジゲーターが表示されるようになる。業者は FX・CFD では ODD、日経 225 では Broco が推奨されている。これは取り扱いデータの問題からだが、FX のみならば他の業者でも問題はない。この 2 つのマニュアルはシステム、設定ファイルのインストール方法の説明となっているので内容は省略する。

## インジゲーター概要

このマニュアルでは手法で使用するインジゲーターについて説明されている。

### < BMA >

BMA は著者が開発した独自のインジゲーターということだが、その内容は「価格と移動平均線の乖離を基本として、その乖離の移動平均線を価格のチャートに還元したもの、となります。」(8 ページ) としている。

わかりやすく言えば、移動平均線と価格の乖離をさらに移動平均線であらわしたものだろう。パラメーターは対象とする移動平均線の区間と乖離の移動平均の区間となり、手法で使用している BMA は以下となるという。

# E-BOOKのダイジェスト

	時間	MA (区間)	乖離 MA (区間)
BMA0	短期	5	10
BMA 1	短期	10	20
BMA 2	短期	20	40
BMA 3	中期	50	100
BMA 4	中期	150	300
BMA 5	中期	300	600
BMA 6	長期	600	1200
BMA 7	長期	2400	4800
BMA 8	長期	4000	9000

このBMA、自分でシステムを組む場合、エクセルなどで計算し、表示させることも可能だと思うが、リアルタイムでの更新は難しいだろう。

やはりプログラムを組んで、メタトレーダーやVT、トレードステーションなどで表示させる方法が一番いいだろう。BMAは移動平均と同じく「傾斜や傾斜角度が、価格のトレンドの方向性や強さをあらわします。」(9ページ)という性質があり、また以下のような特徴があるという。

# E-BOOK のダイジェスト

①「トレンドの転換は、価格が、BMA のラインをクロスして、その状態を継続することにより、始まります」(10 ページ)。トレンド転換時には BMA がトレンドの境界線となるという。

②「価格が BMA をクロスするとともに、その傾向が継続すれば、新しいトレンドが発生します。」(12 ページ)

ここまでの説明を読んだ印象では BMA は性質としては移動平均線とそうは変わらないと言えよう。となるとポイントは移動平均線より BMA の精度が高いかどうかだろう。

しかしそれを確かめるには検証するしかない。

## < BMA 転換マーク >

実際のチャートでは BMA0 と BMA 1 がゴールデンクロスした時には赤丸、デッドクロスした時には黒丸が表示される。後ほど説明するが、このクロスを使ったエントリーもあるということだ。これは BMA0 と BMA 1 のクロスに注意していればよいので、自分で同じシステムを組む場合は必ずしも表示させる必要はないだろう。

## < BMA トレンドナビゲーター >

商材では短期から中期 (BMA0 ~ BMA 5) の BMA はチャートとは別画面に表示される。この動きによって「短期から中期のトレンドを鮮明に浮き上がらせ、トレンドを一目瞭然にします。」(16 ページ) としている。

これも「BMA 転換マーク」同様、チャート上の BMA をチェックすればよ



# E-BOOK のダイジェスト

いので、自分でシステムを組む場合は必ずしも表示させる必要はないだろう。

## <スタートライン>

スタートラインについては別途マニュアルがあるので、その際に説明する。

## <RSI Mark >

RSI のレベルによって、商材では以下のように記号が表示される。使い方はしては RSI と変わらないので、通常の RSI で代用してもいいだろう。

買い：小さい★：RSI  $\geq$  70、大きい★：RSI  $\geq$  75 (★の色は赤)

売り：小さい★：RSI  $\leq$  30、大きい★：RSI  $\leq$  25 (★の色は青)

## <CPrice >

「買いの価格 (Bid) を水平ライン、矢印で表示するとともに、売りと買いの価格差、スプレッドを縦の棒で表示したものです。」(29 ページ)。

これはその時点での価格変動とスプレッドの大きさを確認するためのインジゲーターだろう。後述する売買手法には直接関係ないので、自分でシステムを組む場合は省略してもいいだろう。

この他に以下の一般的なインジゲーターも使用する。

## <ボリンジャーバンド>

ボリンジャーバンドは (1  $\sigma$  ~ 3  $\sigma$  50、1  $\sigma$  ~ 3  $\sigma$  100) が使われている。

ボリンジャーバンドは価格の位置の把握、エグジットに使われる。

# E-BOOK のダイジェスト

## <移動平均線>

移動平均線は（100、200、300、350、700、1400）の6本が使われている。移動平均線は支持線、抵抗線の目安として使われる。

## <1\_level\_zz\_semafor>

「天底を予測するフリーのインジケーター、3\_level\_zz\_semafor を簡略化、および修正したものです。」（27 ページ）。

このインジゲーターは一定期間の高値・安値を現し、実際のチャートでは高値・安値が記号で表示される。価格は転換点となりやすいため、チェックするという。

表示させたほうが視覚的にはわかりやすいが、チャートで高値・安値をチェックすればよいので、自分でシステムを組む場合は省略してもいいだろう。

## スタートラインメソッド

このマニュアルでは独自のインジゲーターである「スタートライン」を用いたエントリー方法とエントリーの事前準備について説明されている。

## <スタートラインの定義>

スタートラインは「その時間枠より大きな時間枠の始値を次の始値の位置まで水平方向に延長した水平ラインと、それらを結ぶ鉛直線で構成される折線」と定義されている。

チャート上には1時間、4時間、日足など時間軸の違うスタートラインが表

# E-BOOK のダイジェスト

示され、それぞれのスタートラインも時間と共に変化していくので、それぞれを結ぶと階段のような形状になる。商材では以下のように時間軸によって異なるスタートラインがチャート上に表示される。

## ●日経 225

	スタートライン							
	日足	月足	週足	日足	場足	1 時 間 足	30 分足	15 分足
日足	●	●						
1 時 間 足	●	●	●	●	●			
30 分足	●	●	●	●	●			
15 分足	●	●	●	●	●	●		
5 分足	●	●	●	●	●	●	●	
1 分足	●	●	●	●	●	●		●

# E-BOOK のダイジェスト

## ● FX・CFD

	スタートライン						
	年足	月足	週足	日足	4時間足	1時間足	15分足
月足	●						
週足	●						
日足	●	●					
4時間足	●	●	●	●			
1時間足	●	●	●	●	●		
30分足	●	●	●	●	●		
15分足	●	●	●	●	●		
5分足	●	●	●	●	●	●	
1分足	●	●	●	●	●	●	●

このスタートラインの特徴としては「ロウソク足の陽線や陰線として形成される価格トレンドを、時間経過とともに、ビジュアルにわかりやすく理解、確認できる」(8ページ)が挙げられている。

またメリットとして「大きな価格変動は、時間の区切りを境にして生ずるこ

# E-BOOK のダイジェスト

とが多い」(8 ページ) ため、スタートラインを使えばトレンドの始めでエントリーすることができるとしている。

たしかに始値に注目し、これを視覚的に捉えることができれば有利な部分も多いだろう。また「大きな価格変動は、時間の区切りを境にして生ずることが多い」ということについては統計を取ったわけではないので、確信はないが経験上思い当たる部分はある。

自分でシステムを組む場合はそれぞれの時間軸のチャートを表示させ、時間区切りごとの始値をチェックしてもよいだろうが、その作業はかなり煩雑である。やはりプログラムを組んで表示させた方がいいだろう。

## <エントリー前の事前準備>

スタートラインでエントリーする際には「価格が相対的に高いか安いかわという価値判断をしておくことが重要です。」とし、割安なら買い、割高なら売りでエントリーするとしている。割安か割高かは「陽線や陰線の本数を確認する」(12 ページ) ことで判断をする。実際の手順は以下である。

### ①トレンドの把握

使用するチャート：エントリーで使うスタートラインと同じ時間軸のチャート  
まず現在のトレンドをチャートで把握する。BMA 1 を使い「BMA1 の勾配が+勾配なら、上昇トレンド、BMA1 の勾配が-勾配なら、下降トレンド」と判断する。

# E-BOOKのダイジェスト

## ②陽線や陰線の本数を数える

本数は「陽線新値・陰線新値」を数える。陽線新値とは前回の高値を更新した陽線、陰線新値とは前回の安値を更新した陰線のことである。

③①で確認したトレンドと②で数えた陽線新値・陰線新値の本数によって以下のようにエントリーの方針を立てる。

1) BMA 1 がほぼ水平で1本～3本までの陰線・陽線が入り混じっている「トレンドがはっきりしない場合は、エントリーを見送ります。」ただし「それまでのトレンドが終了して、新しいトレンドが始まるときは、絶好のエントリーとなります。」(14 ページ) としている。

2) 上昇トレンド (BMA 1 + 勾配) で3本以上の陽線新値が出現、下降トレンドで (BMA 1 - 勾配) 3本以上の陰線新値が出現

上昇トレンドの場合、押し目を狙って「1本の陽線が出現したら、2本目の陽線を想定して、2本目の陽線が出現したら、3本目の陽線を想定して、という感じで、買いでエントリーを仕掛けることとなります。」(15 ページ) としている。

一方下降トレンドの場合は戻りを狙って「1本の陰線が出現したら、2本目の陰線を想定して、2本目の陰線が出現したら、3本目の陰線を想定して売りでエントリーを仕掛けることとなります。」(15 ページ) となる」。

3) 上昇トレンドで陽線新値が1本～3本で終了、下降トレンドで陰線新

# E-BOOKのダイジェスト

値が1本～3本で終了

この状態はトレンド発生中の押し目や戻りが終了したと判断し、この時のエントリーは「エントリーで一番おいしい、すなわち、利益が上がる可能性の高いエントリー」(16ページ)としている。

上昇トレンドの場合は「トレンドが強い場合は、陰線新値1本で、通常の場合は、陰線新値が2本あるいは3本、を生じた後に、買いでエントリー」(16ページ)、下降トレンドの場合は「トレンドが強い場合は、陽線新値が1本、通常の場合は、陽線新値が2本あるいは3本、を生じた後に、売りでエントリー」(17ページ)としている。

## <スタートラインを用いたトレード>

実際エントリーは以下の手順で行う。

### ①スタートラインの選択

デイトレード、スキャルピングなど手法によって用いるスタートラインは違い、以下のように手法によってスタートラインを選択する。

# E-BOOKのダイジェスト

	スタートライン	使用するチャート
スキャルピング	15分足	1分足
デイトレード	1時間足	1分足、5分足
	場足	15分足、30分足
	4時間足	15分足、30分足
スイングトレード	日足	30分足、1時間足、4時間足
	週足	4時間足

- ②次に「エントリーの事前準備」の手順に従ってエントリー戦略を決める。
- ③タイミングを決め、エントリーする。

エントリーのタイミングは「スタートラインの始まり」と「スタートラインの途中」の2つがある。その選択は「事前準備で選択した売買種別、および価格とスタートラインの関係によって決まってきます」(20ページ)とし、その基準は以下である。

## 1) スタートラインの始まりでエントリー

この場合は「エントリーの事前準備で選択した方向に、価格が動く場合には、



# E-BOOKのダイジェスト

すぐにエントリーします。逆の場合は、見送ります。」(20ページ)としている。その判断は最初の新値の1, 2本の動きを見て決める。例えば買いエントリーの場合、スタートラインの時間区切りで価格がスタートラインを上回っていればエントリー、下回っていれば見送るということになる。

## 2) スタートラインの途中でのエントリー

この場合「時間区切りの直後に、エントリーの事前準備で選択した方向とは反対方向に価格が変動する場合、しばらくして、エントリーの事前準備で選択した方向に価格が変動して、スタートラインをクロスしたら、エントリーします。」(21ページ)としている。

### <エグジットのタイミング>

エグジットは使用したスタートラインの時間区切りに沿って行う。例えば1時間足のスタートラインを使って午前9時にエントリーしたのなら、午前10時前にエグジットするということだ。

ただし以下のように利益が乗っていて価格の行き過ぎを示す兆候がある場合、時間区切りを待たずにエグジットする。

- ①長期のボリンジャーバンドの $\pm 2\sigma$ （中心線から2本目の太線）と接するか、あるいは、この線を超えたあと、再び戻る場合
- ②長期のボリンジャーバンドの $\pm 3\sigma$ （中心線から3本目の太線）と接するか、あるいは、この線を超えたあと、再び戻る場合
- ③長期のBMAに接するか、あるいは、この線を超えたあと、再び戻る場合
- ④長期の移動平均線に接するか、あるいは、この線を超えたあと、再び戻る

# E-BOOK のダイジェスト

場合

- ⑤上記の状況に加え、1\_level\_zz\_semafor の爆弾マークが点灯すること（つまり新規高値・安値をつけたということ）

## <損切り>

価格がスタートラインと反対方向にクロスした時は損切りを検討するとしている。

ただし BMA0 から BMA3 の動きから、トレンドが反転したことを確認できた場合のみ損切りをする。

このスタートラインを用いたエントリーは事前にトレンドを確認し、スタートラインというより大きな時間軸での転換点となりそうなポイントを見つけて、すばやく順張りする手法である。従来の投資家が行ってきた複数のより大きな時間軸のチャートを見て、トレンドを判断する方法と基本的には同じだろう。

スタートラインを使わなくても同様の手法でトレードすることは可能だろう。しかしスタートラインを使うことで時間毎のトレンドをより視覚的に判断しやすくし、また始値に注目することで、より早くトレンドに乗ることができるのはメリットである。

## BMA メソッド

このマニュアルでは BMA を使ったトレード方法について説明されている。インジゲーター概要ですでに説明した部分は重複するので省略する。

# E-BOOK のダイジェスト

## <トレンド転換時における各 BMA 相互の関係>

上昇トレンドかた下降トレンドの転換時に各 BMA がどのような関係になるかは以下の通りだが、関係はほぼ移動平均と同じである。

- ① BMA0 が+勾配から-勾配となり、BMA1 を下にクロス→短期のトレンド転換の開始
- ②次に BMA0 と BMA1 がともに-勾配となり、BMA2 を下にクロス
- ③次は BMA0、BMA1 および BMA2 がともに-勾配となる→短期のトレンドが下降トレンドに転換  
BMA2 > BMA 1 > BMA0 の位置関係になる。
- ④次に、BMA0、BMA1 および BMA2 がともに BMA3 を下にクロス→中期のトレンド転換の開始
- ⑤ BMA0、BMA1、BMA2 および BMA3 がともに-勾配となる→短中期のトレンドが下降トレンドに転換
- ⑥ BMA0、BMA1、BMA2 および BMA3 が、BMA4、BMA5 を下にクロスしていき、BMA0 ~ BMA5 とともに-勾配となる→短中期トレンドが完全な下降トレンドになる

BMA0 > BMA1 > BMA2 > BMA3 > BMA4 > BMA5 の位置関係になる。  
一方トレンド継続時には短期の BMA (BMA0 から BMA3) が中期・長期の BMA とクロスせずにまとわり付くような動きとなるという。

## <トレンドナビゲーターによるトレンドの判断>

BMA0 から BMA5 までの短期から中期までの BMA のみが表示されたトレン

# E-BOOKのダイジェスト

ドナビゲーターでは、前述したように各BMAの位置関係、勾配から現在のトレンドを把握する。

## < BMAによる基本的なエントリー >

基本的な考え方は「これまでのトレンドが転換し、新しいトレンドの発生が認められた後に行く」（18ページ）としている。

具体的にはBMAの勾配がプラスからマイナス、マイナスからプラスなど反転した時がエントリーのタイミングだという。

その際に「価格が、できるだけBMAに近い状態か、あるいはBMA上にあるときが理想」（18ページ）としている。またエントリーに際してはBMA3からBMA5の中期のトレンドを考えて、中期トレンドと同じ方向にエントリーすることを心がけるとしている。中期トレンドの判断ポイントは以下である。

①「BMA0～BMA2が、BMA3より上に位置するか、それとも下に位置するか」と「BMA3の勾配」

②「BMA4～BMA5の位置関係」と「BMA4とBMA5の勾配」（19ページ）  
また以下の高値圏、安値圏に価格があると判断される状況ではエントリーは見送る。

1) 価格がボリンジャーバンド（350）の $+2\sigma$ 以上である場合や、 $-2\sigma$ 以下の場合

## < BMA転換マークによるエントリー >

BMA転換マークは前述したようにBMA0とBMA1のゴールデンクロス、デ

# E-BOOKのダイジェスト

ッドクロスで表示される。使い方は移動平均のクロスと同じでゴールデンクロスで買い、デッドクロスで売りだが、このシグナルだけではエントリーはせず、あくまで前述した基本のBMAエントリーと同じ手順を踏むということだ。

また「\_level\_zz\_semafor」「RSI Mark」と組み合わせてもよいとしている。

このBMAは前述したように基本的な性質は移動平均線とほぼ同じだと考えていだろう。ただし遅行性の部分大分違うようで、エントリーは「トレンドの境界線になる」を利用して、トレンドの転換に先乗りする手法だ。遅効性のある移動平均線ではこのエントリー方法無理だろう。

BMAの精度、信頼性は検証しなければわからないが、オリジナル性のある興味深いインジゲーターである。さてここまでが商材の内容である。独自の各インジゲーター、手法についてはすでに述べてあるので、あえて書かないが、全体として着眼点が面白いと感じた。

BMAにしてもスタートラインにしても従来のインジゲーターで代用できる部分もあり、それほど独創的というわけではないが、うまく視覚化していると思う。

ただし商材の実際のチャートはインジゲーターが入り乱れていて大変醜い。あまり使用しないインジゲーターもあるので、もう少し整理した方がいいのではないだろうか。

この手法のシステムを自分で組むというのはかなり大変だが、各インジゲ-

# E-BOOK のダイジェスト

ターのチェックは割合簡単にできるだろう。

もし興味があるならば、自分でインジゲーターのチェックをしてみるとよいだろう。チャート表示やマニュアルの構成など改良すべき点はあるが、手法はオリジナル性があり、興味深い。

毎朝たった5分でOK!!超シンプルFX投資術

# インスタントFXシステム

【ポンド円】

## 発行元情報

■発行元	株式会社S Yコンサルティング
■販売責任者	山本伸介
■所在地	岐阜県美濃加茂市太田町4 4 1 - 2 3
■電話	090-8421-6117
■メール	nfo@kantanfx.com
■URL	<a href="http://kantanfx.com/003/">http://kantanfx.com/003/</a>

価格 29,800 円

## … 目次 …

### 【無料版】

- 第一ステップ「取引コスト」の理解・・・6
  - 第二ステップ具体的な取引手法・・・18
  - 第三ステップリスクコントロール・・・41
  - 第四ステップ取引業者の選び方・・・48
  - 第五ステップ資金管理と目標設定・・・53 ページ
- 全 61 ページ。

### 【ポンド円版】

- 手法のおさらい・・・5
- 過去検証データのまとめ・・・9
- 分析結果から考えられる投資手法・・・23
- 応用編・・・30
- 外為オンラインでの注文方法・・・39

付属：インスタント FX ポンド円版データ編  
全 47 ページ。文字量は少なめで見やすい。



# E-BOOKのダイジェスト

この商材「インスタント FX ポンド円版」は昨年発売され売れ行きも好調だった「インスタント FX ドル円版」のポンド円バージョンである。前作同様「無料版」で売買ロジックの概要が説明され、有料の「ポンド円版」では売買ロジックの肝となる利益確定・損きりの値や過去の検証結果などが説明されている。

商材は全 61 ページの「無料版」、全 67 ページの「ポンド円版」、過去 3 年間の最大ドローダウンや勝敗表が掲載されているエクセルファイル「インスタント FX ポンド円版データ編」からなる。「無料版」は前作を読んでいる方は重複する部分もあるが各版の内容を説明しよう。

## 【無料版】

無料版については前作とほぼ同内容なので「E-BOOK 白書投資資産運用編 2009」の当該原稿を加筆・修正して掲載する。

～以下流用部分～

まず始めにスプレッドや取引手数料の意味、そしてそれがコストとして損益にどれだけ影響があるかの説明がある。一般的な知識ではあるが、これは本商材の売買ロジックの根拠とも重なってくる部分である。

## 売買ロジックの根拠

数年前と比べて現在は手数料無料、スプレッド 0～1pips の取引会社も増えてきた。こうした状況であれば勝率 55%程度、利益目標 10pips 程度の

# E-BOOKのダイジェスト

単純な売買ロジックでも、長期的には十分利益を上げることが可能である。これが本商材の売買ロジックの根拠である。

システムの構築や検証をする場合、つい取引手数料やスプレッドといったコストは無視してしまいがちだが、長期的にはパフォーマンスに大きく影響を当てることは周知の事実だ。またそこに注目し、低コストを前提として売買ロジックを考えてみるというのは面白い視点だろう。

## 売買ロジック

著者は2007年のドル円日足データから当日の価格が前日の安値を下回った場合、87.6%の確率で10pips以上下落する、また前日の高値を上回った場合83.0%の確率で10pips以上上昇することを確認したという。

その後商材中ではその理由がいろいろ推測されているが、それはさておき10pips程度なら様々な理由で動くことは確かだ。ただし商材中の統計データでは2007年度の100回程度であるので、サンプル数が少なすぎて統計的には余り信頼が置けるものでないことは付け加えておく。

## 取引業者

この手法では低コストを前提にしているので実行する取引業者は以下の条件を満たす必要がある。

- ①取引手数料無料
- ②IFO注文が可能

# E-BOOK のダイジェスト

③ドル円のスプレッドが 0 ~ 1pips

④資金 10 万円以下で運用する場合は 1000 通貨単位で取引できること。

以上の 4 項目を満たせばどの取引業者でもかまわない。

商材中では以下の取引業者が推奨されている。

外為オンライン

みんなの FX

クリック証券

MJ オンライン

これらの取引業者は①②③の条件をみな満たしている。ただし①から④まですべて満たしている取引会社は筆者の知る範囲ではない。

## エントリー手順

①前日のドル円の安値・高値を確認。

②前日の安値に売り、高値に買いの逆指値注文を入れる。

③同時にリミット・ストップを 10pips に設定して IFO 注文を入れる。

基本的にはエントリー手順はこれだけだ。

またスプレッド分を考慮してスプレッドが 1pips なら安値マイナス 1pips に売り、高値プラス 1pips に買いの逆指値をいれてもよい。

## 資金管理・リスク管理

この部分は「1 回当たりの利益目標、1 ヶ月あたりの利益目標、1 年あたりの利益目標を決める、過去の統計から 4 連敗程度はありうるので 4 連敗しても大丈夫な資金管理をする」という説明しかない。

# E-BOOKのダイジェスト

これでは抽象的すぎて、実践にはあまり役立たない。資金管理というにはあまりに簡単すぎる説明だ。

ここまでが無料版の内容である。この無料版で売買ロジックのほとんどの部分は説明されているとっていいだろう。

～流用部分ここまで～

無料版ではドル円を例にして売買ロジック、利益確定・損きりの値が説明されている。ポンド円版では売買ロジックの基本は変わらないものの、当然利益確定・損きりの値はポンド円用に最適化されているのだろう。

ただし取引業者の選び方はドル円を前提として書かれているので、このままでは参考にならない部分もある。

著者もポンド円版用にこの無料版を加筆・修正するなどの対応をすべきであり、手抜きをしている感は否めない。

## 【ポンド円版】

無料版で説明した売買手法を用いポンド円で利益確定・損きりの数値をいろいろ変えて検証した結果、その中の最高の組み合わせでは2007年10月から2009年9月までの24ヶ月で6000pipsの利益を生み出したという。

これは年利換算でも300%にもなるハイパフォーマンスである。続いて過去約2年間の検証結果が記載されているが、ここでは利益確定と損きりを

# E-BOOKのダイジェスト

10pips から 100pips まで (10pips 刻み) での組み合わせ、つまり 100 通りを検証している。そこから見出した最適な利益確定・損きりの値の組み合わせは以下となる。

売り：利益確定 100 または 90pips、損きり 100pips

検証の結果から「買い」はパフォーマンスが悪いのでここでは見送るということだ。この値で運用した場合、年間獲得は 2500pips にもなるという。

しかし月別収支を見るとドローダウンが大きいということがわかる。

商材によればレバレッジ 15 倍で運用した場合 50% 程度のドローダウンがあったという。これは実際に運用するには大きすぎるドローダウンだ。この数字では実運用は難しい。そこでドローダウンの少ない組み合わせを探した結果が以下の値だという。

売り：利益確定 10pips、損きり 40pips

この値ならばドローダウンは 6% と小さくなるとしている。この値で運用した場合、年間獲得は 310pips である。先ほどの例と比べると随分利益は減るが、ドローダウンは小さくなっている。

このようなシステムで利益を出すには高い勝率が必要だが、これも検証結果によると月別で 18 勝 4 敗 2 分という高い勝率を出している。

ちなみに「利益確定 100 または 90pips、損きり 100pips」の場合は 17 勝 3 敗 4 分とこちらも高い勝率を出している。これだけ高い勝率でドローダウンが 50% ということは連敗の可能性が高いということだろう。事実検証結

# E-BOOKのダイジェスト

果をみると24ヶ月、2連敗は18回、3連敗は4回、4連敗は3回となっている。

それに対して「売り：利益確定10pips、損きり40pips」は2連敗が1回あるだけだ。検証結果から見ればかなり安定したシステムであるといえる。

## 分析結果から得られる投資法

ここでは著者が実際に行っている設定、投資法が書かれている。

売り：利益確定100pips、損きり100pips、レバレッジ7.5倍

これが著者が実際に運用する際の設定だという。

実際の売買は例えば「前日の安値が150円01銭」だったという場合、朝起きてから以下のような注文をいれるということです。

・新規売り注文→150円、ロスカット注文→151円、利益確定注文→149円」としている。

これはもっともパフォーマンスのよい「売り：利益確定100または90pips、損きり100pips」の設定で運用するが、そのままではドロダウンが大きすぎるのでレバレッジを7.5倍と低くしたということだろう。

これならばドロダウンは25%程度に抑えられる。人によって違うが一般的にはこの程度なら許容できる範囲だろう。

## 取引業者

ここではポンド円に適した取引業者が紹介されている。選ぶポイントとしては以下の2点を挙げている。

①スプレッドが低い

# E-BOOKのダイジェスト

② IFO 注文 (IFD - OCO 注文、イフダン OCO 注文とも) が可能

取引業者によってシステムの安定度が日々違うので「3つほどの口座に資金を分散しておいて、そのときそのときで安定している業者をメインで使うのがベストでしょう」としている。以下が著者の推奨する取引業者である。

1 位みんなの FX

2 位フォレックストレード

3 位ヒロセ証券

4 位 FX ブロードネット

5 位サイバーエージェント FX

## 応用編

ここではレバレッジをもう少し高くして積極的に運用していく方法が説明されている。

① まず資金が 2 倍になるまではレバレッジ 7.5 倍で運用する

② 資金が 2 倍になった時点で元金を口座から引き出し、残りの資金でレバレッジを高くして運用する

この高レバレッジの運用方法には以下の 3 つがある。

### I 複利運用

「これは今までお勧めしてきた手法のレバレッジを挙げ、複利にて運用を行う手法です」この手法では連敗の可能性があるので全額複利運用すると資金が無くなる可能性も高いが、万が一うまくいけば資金が増えるし、元金は確保

# E-BOOKのダイジェスト

しているということだろう。

この場合レバレッジは15倍から30倍までがよいとしている。

## II リスク分散のための分割投資

「資金がある程度あり、【売り（ショート）】で自分の目標に達する金額を得ることができるのであれば、リスク分散として【買い（ロング）】の利益が出ている組み合わせも投資として行っていくのもいいのではないのでしょうか（中略）あるいは他の通貨ペアとの組み合わせもいいかもしれません」これは一理あるが、きちんと各組み合わせを検証しなければ逆効果になる場合もあるので注意が必要だ。

## III できる限りリスクを抑えるなら

「一番ドロダウン率が低い【売り（ショート）10pips × 40pipsの投資を行うという方法があります】」これも1つの方法であるし、「売り：利益確定100pips、損きり100pips、レバレッジ7.5倍」と組み合わせるのもよいだろう。

この後は外為オンラインでのIFO注文の方法が説明されているだけなので、実質的な商材の内容はここまでである。売買手法としては単純な前日の高値・安値のブレイクアウトである。それを検証から利益確定・損きりの最適値を見つけ出すことでよりハイパフォーマンスを目指すというものだ。

ブレイクアウト自体は昔から使われていた手法であり一定の有効性は証明されている。セールスレターに書いてあるように「毎朝5分の単純作業・・・」



# E-BOOKのダイジェスト

だけで済むのは確かだし、初心者向けの手法といえるだろう。

ただこの最適値は常に変化していくことが予想されるので今の値がいつまでも有効とは限らない。前作でもその点は指摘したが、セールスレターにはこう書かれている。

「ご購入者向けに当面、3か月に1度、最新のデータを販売させていただきます。(2009年中は無料配布)。これにより、最新の傾向にあわせた投資を常に行っていくことが可能です。」

「販売」というところが気になるが、このサポート体制が続き、検証結果が正しければある程度有効な商材だといえるだろう。しかしレバレッジが低いこともあり、実践するには資金がある程度必要であることは付け加えておく。

安心・安全・ストレス無し  
日経225先物完全自動売買プログラム  
**ウルトラリベロ**

## 発行元情報

■発行元	船田和男
■販売責任者	船田和男
■所在地	長野県上田市舞田 304-7
■電話	0268-38-7868
■メール	support@xlibero.info
■ URL	<a href="http://www.ultra-libero.com/">http://www.ultra-libero.com/</a>

**価格 54,800 円**

## … 目次 …

なし  
プログラムファイル、変動率確認エクセルファイル  
付属：インスタント FX ポンド円版データ編  
全 47 ページ。文字量は少なめで見やすい。

# E-BOOK のダイジェスト

この商材「ウルトラリベロ」はトレーダーズ証券の「トレードスタジアム」で自動売買をするためのプログラムである。

商材はプログラムコードと簡単な説明をした 400 字程度のテキストファイル、4 本値を入力すると日々の変動率が算出できるエクセルファイルからなる。またユーザーサイトでは使用しているテクニカル指標や売買ロジックが説明されている。

## ウルトラリベロで使用している指標について

< VIDYA >

「VIDYA とは市場のボラティリティに基づいて平均の感度を調整したものです。」

「VIDYA は、移動平均を応用した指標なのですが、普通の移動平均ではなく、ボラティリティにあわせてその算出期間を変更するというものです」。(ユーザーサイトより) あまり一般的でない指標だが以下の式で算出できる。

$VI = 5 \text{ 日間の終値の標準偏差} / 5 \text{ 日間の終値の標準偏差の } 10 \text{ 日平均}$

$\text{Period} = \text{基準とする日数 (13)} / VI$

(Period は 5 ~ 30 の整数)

$\text{VIDYA} = \text{Period 日間の移動平均}$

< スタークバンド >

「スタークバンド (STARC) 単純移動平均で囲われたバンドです。バンドの幅は平均の期間によって違います。ボリンジャー・バンドに似ており、安定な

# E-BOOKのダイジェスト

市場のときはバンド幅が狭くなり、激しく動く市場のときはバンド幅が広くなります。」(ユーザーサイトより)。

<ケルトナーチャネル>

「ラインの構成は上部バンドと中間の移動平均線、下部バンドの3本からなります。移動平均線の上下に一定係数で計算した平均線を配置する形です。」(ユーザーサイトより)

これはVIDYAやスタークバンドより比較的知られている指標で以下の式で算出できる。

平均価格 (ap) = (高値 + 安値 + 終値) ÷ 3

バンド移動平均 (ma) = n 日間の移動平均

中間の移動平均 = ap の n 日移動平均

上部バンド = 中間の移動平均 + バンド ma

下部バンド = 中間の移動平均 - バンド ma

売買手法ではこのケルトナーチャネルを「これを場中の手仕舞いで使用しています。」(ユーザーサイトより)

<スローストキャスティクス>

<MACD>

この2つは有名なテクニカル指標なので特に説明する必要もないだろう。ユーザーサイトの内容はここまでである。このプログラムは専用の言語である yeslanguage で書かれている。

わりと簡単な言語なのでプログラムコードから売買ロジックを見てみよう。

# E-BOOK のダイジェスト

## テクニカル指標のパラメーター

< VIDYA >

Period1( 9 ),Smoothing1( 12 ), Period2( 19 ),Smoothing2( 12 )

ここでは Smoothing（平滑指数）の設定を変え 2 本の VIDYA を表示させている。以後 Smoothing1 の設定を VID 1、Smoothing2 の設定を VID 2 とする。

< スタークバンド >

PeriodAvg( 20 ), PeriodATR( 14 ),FactorATR( 2.0 )

< スローストキャスティクス >

Period1\_Stoc(5),Period2\_Stoc(3),Period3\_Stoc(3)

< MACD >

PeriodFast\_MACD( 12 ), PeriodSlow\_MACD( 26 ), Trigger\_MACD( 9 )

エントリー

エントリーは数種類の方法があり、プログラムを変更すればオン・オフが可能である。特にプログラムで切り替えてはいない。また前提条件があり、エントリーするには以下の前提条件を予め満たしている必要がある。

< 前提条件 >

買い

- ① VID 1 が VID2 を下抜け
- ② 終値がスタークバンドの上ラインより下、安値がスタークバンドの下ライ

# E-BOOKのダイジェスト

ンより下にある

③ MACD のトリガーラインを MACD が下抜け

④ ストキャスティクスの % K が 50 以下で % K が % D を下抜け

売り

① VID 1 が VID2 を上抜け

② 終値がスタークバンドの下ラインより上、高値が上ラインより上にある

③ MACD のトリガーラインを MACD が上抜け

④ ストキャスティクスの % K が 50 以上で % K が % D を上抜け

<VIDYA 交差エントリー>

買い：VID 1 が VID2 を下抜け

売り：VID 1 が VID2 を下抜け

このエントリーはVIDYAを使っているが基本的には移動平均線のクロスを使った方法と同じだろう。

<スターク上限バンドエントリー>

買い：高値が上ラインを上抜け

売り：終値が上ラインを下抜け

<スターク下限バンドエントリー>

買い：終値が下ラインを上抜け

売り：安値が下ラインを下抜け

このスタークバンドのエントリーはボリンジャーバンドでよく使われる上下ラインでの反発、ラインブレイクでの順張りを組み合わせてものである。<

# E-BOOK のダイジェスト

V I D Y A交差エントリー>と<スターク上限バンドエントリー>、<スターク下限バンドエントリー>決済にはケルトナーチャンネルを使う。

買い決済：終値がケルトナーチャンネルの上ラインを割るか安値が下ラインを割った時

売り決済：終値がケルトナーチャンネルの下ラインを抜くか高値が上ラインを抜いた時

この決済条件もボリンジャーバンドの上下を目安にする方法と同じと考えていだろう。

< MACD エントリー >

買い：MACD がトリガーラインを上抜け

売り：MACD がトリガーラインを下抜け

買い決済：MACD がトリガーラインを下抜け

売り決済：MACD がトリガーラインを上抜け

これもトリガーラインを使っているが、クロスでエントリーし、反対のクロスで決済するという一般的な方法である。

<スローストキャスティクス ZeroLine エントリー>

買い：%K が 50 を上抜け

売り：%K が 50 を下抜け

買い決済：%K が 50 を下抜け

売り決済：%K が 50 を上抜け

これは一般的な逆張りではなくスローストキャスティクスを順張りで使う手法であり、反転で決済する。

# E-BOOKのダイジェスト

<スローストキャスティクス TriggerLine エントリー>

買い：% Kが% Dを上抜け

売り：% Kが% Dを下抜け

買い決済：% Kが% Dを下抜け

売り決済：% Kが% Dを上抜け

これは一般的なクロスでエントリーし、逆のクロスで決済する方法である。  
プログラムから見た売買ロジックは以上である。

VIDYA やスタークバンドといった珍しいテクニカル指標を使っているものの、個々の売買ロジックは基本的なテクニカル分析に沿ったオーソドックスな手法である。

筆者はトレーダーズ証券に口座をもっていないので検証はできなかったが、それほど大きなパフォーマンスが狙える手法ではないだろう。

ただしこれだけの種類のエントリーを手動で同時に行うことは非常に困難である。プログラムで自動売買を行うということが本商材の一番のメリットなのだろう。

ただし価格は 54,800 円と情報商材の中でも高額な部類である。たしかに投資ソフトは数十万するものも珍しくはないが、自動売買というメリットのみに払うには少々割高な印象である。



【FX 商材を凌駕する FX 教本 !!】

# プロトレーダーエコの FX ライトレードマスタープログラム

## 発行元情報

■発行元	合同会社インベストマーケティング
■販売責任者	佐々木 大輔
■所在地	東京都千代田区神田錦町 1-2 官報神田錦町ビル 2F
■電話	03-5843-9155
■メール	eco-line@invest-marketing.jp
■ URL	<a href="http://www.invest-marketing.jp/eco-line/">http://www.invest-marketing.jp/eco-line/</a>

価格 57,500 円

## … 目次 …

- 第 1 章 ライトレードの心構え…10
- 第 2 章 各種ラインを知る…20
- 第 3 章 フォーメーションを見分ける…79
- 第 4 章 ライン以外のサポート / レジスタンス要因を知る…101
- 第 5 章 エントリーとロスカットの作法を確立する…109
- 第 6 章 決済作法を極める…142
- 第 7 章 オシレーターの使用方を知る…176
- 第 8 章 大きな流れを把握し、当日のシナリオを立てる…183
- 第 9 章 毎日のトレードプロセスを身に付ける…206
- 第 10 章 エコのトレードドキュメンタリー…226
- 第 11 章 トレードティップス…251
- 第 12 章 資金管理、メンタル、実践準備…268
- 第 13 章 Q&A…275
- 第 14 章 入門から上級までのロードマップ…278

付属：メタトレーダー用設定ファイル  
全 284 ページ。読みやすい構成とデザイン。

# E-BOOKのダイジェスト

ポップなデザインのセールスレターには「2ヶ月半で270万円以上の利益！」  
「3ヶ月で820万円以上の利益！」など華々しいコピーが踊る。

そこに記載されている目次や「ライントレード」という商材名から推測すると、この商材の手法はトレンドラインやサポート/レジスタンスラインを目安にする裁量トレードのようである。

同様な手法は書籍や情報商材でも多々あるが、それらとの違いはあるのだろうか。では内容を見ていこう。商材は全284ページのマニュアルとメタトレーダー用の設定ファイルからなる。ファイルを設定するとフィボナッチやPIVOTなどのインジゲーターが表示できるようになるが、他のチャートソフトを使っても特に問題はない。

## 第1章ライントレードの心構え

ここでは本商材の手法である「ライントレード」の概要について書かれている。

「ライントレード」とは著者の造語だが、「トレンドライン、サポート/レジスタンスライン、チャンネルラインといった、各種のラインを引き、これらのラインとの関係を基にトレード判断を行う手法」（14ページ）ということである。またその特徴として以下の3つを挙げている。

- ・裁量トレードである
- ・普遍的、汎用的である
- ・どのレベルのトレーダーでも活用できる

# E-BOOKのダイジェスト

この部分を読むと冒頭で推測したとおりこの商材の手法は各種ラインを使った裁量トレードだということがわかる。

## 第2章各種ラインを知る

ここでは使用する各種ラインについて書かれている。

### <トレンドライン>

引き方にはあまりこだわる必要がなくヒゲ同士、実体同士、ヒゲと実体どれでもその時の状況で使い分けてよいとしている。

またラインを価格がブレイクした場合、通常はそのラインは無効とする考え方が主流だが、「1つのラインに何回もローソクがタッチしているケースでは、途中で少しだけローソクがはみ出てもすぐにラインの中に戻ってきているのなら、そのラインは有効として扱います。」(25ページ)としている。

#### ①相場の意識を感じ取る

またトレンドラインにおいては「相場がラインを意識しているか」が重要だとしている。判断ポイントとしては「ラインにヒゲだけが接した場合は、特にヒゲが長めであれば、ラインをはっきり意識したと考えて良いでしょう。」(28ページ)、「ヒゲだけがラインをはみ出してから元の方向に戻った場合も、そのラインが意識されていると考えて良いでしょう。」(29ページ)などが挙げられている。

トレンドラインが機能する理由として「多くの人がトレンドラインを参考にしている」か「機能するから多くの人が参考にする」のかはどちらとも言えない部分もあるが、このように「相場が意識するか」という視点からトレン

# E-BOOKのダイジェスト

ラインの有効性を判断するという考えは面白い。

## ②トレンドラインの角度

トレンドラインの角度については「角度が急すぎるトレンドラインの場合は特に注意が必要でしょう」（32 ページ）としている。

## ③トレンドラインの引き直し

一旦引いたトレンドラインが無効になり、引き直しが必要になるのは以下のケースだという。

1) ラインをブレイクされた時

2) 意識されないトレンドラインだと分かった時

これは前述したトレンドラインが意識される特徴が無い場合ということである。

3) 角度が変わった時

これは一定の角度で推移していたトレンドラインが急に角度を変えた場合ということである。

トレンドラインについては「相場に意識されるトレンドライン」という点以外は概ね一般的な引き方だと言える。

## <サポートライン/レジスタンスライン>

サポートライン/レジスタンスラインについてはトレンドラインと違い、ラインを引くこともあるがテクニカル指標など様々なラインが使われる。

著者の場合は「ライントレードで最も重要なサポ/レジは過去に相場がつけ

# E-BOOKのダイジェスト

た明確な高値と安値です。」(52 ページ) と定義している。ただしその中にも以下のバリエーションがあるという。

## ①サポート / レジスタンスラインのバリエーション

### 1) 過去の1つの高値・安値でできたライン

これは山、谷を見つけてそこから水平線を引いたものである。

### 2) 2つ以上のほぼ同じ値の高値・安値を結んだライン

これは基本的なサポート / レジスタンスラインの引き方であり、一般的にサポート / レジスタンスラインといえはるこのように引いたラインを指すことが多い。

## ②強いサポート / レジスタンス

強いサポート / レジスタンスとは「一般に市場参加者が意識すればするほど強いサポ・レジになると考えてください。」(58 ページ) とし、以下の3つのパターンは特に強いサポート / レジスタンスと考えるという。

### 1) トレンドが開始する起点となったサポート / レジスタンス

これはレンジ相場からトレンド相場に移行する際など、転換時の起点となったサポート / レジスタンスのことである。

### 2) 長いスパンで確認できるサポート / レジスタンス

これは今日の高値・安値よりも先週、先月の最安値・最高値の方が強いサポート / レジスタンスになるということである。

理由としては「(前略) デイトレーダーだけでなく、もっと長い足でトレード判断を下すトレーダーにも意識されますからより強いラインになりやすい

# E-BOOKのダイジェスト

のです。」(61 ページ) が挙げられている。

3) 過去の相場が何回もタッチしているサポート / レジスタンス

これは過去何回も相場が反転しているラインのことである。当然強いラインであることが予測される。

③サポートとレジスタンスの転換

「サポが相場を破るとその後は同じラインがレジになります。レジが相場を破るとその後は同じラインがサポになります。」(64 ページ)。これはサポート / レジスタンスにおける基本である。

## <チャンネルライン>

チャンネルラインとはトレンドラインと平行に引くラインのことであり、通常は高値と高値、安値と安値を結ぶ。

①サブチャンネルライン

チャンネルラインとトレンドラインの間にさらにラインが引けることがあるが、それを「両ラインの間で、ローソク足が2回以上タッチして意識していると考えられるラインを引いたものをサブチャンネルラインと言います(エコの造語)。」としている。

この章で説明されているトレンドライン、サポート / レジスタンスライン、チャンネルラインの各種ラインの引き方はいずれも従来の方法と基本的には同じである。ただし、「トレンドラインを相場が意識する」「サブチャンネルライン」など著者独自の部分もある。

## 第3章 フォーメーションを見分ける

ここでは代表的なフォーメーション（チャートパターン）について書かれている。

### <反転フォーメーション>

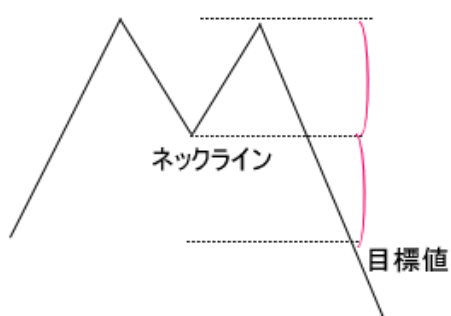
反転フォーメーションは相場が反転する際に現れる形とされている。

#### ①ダブルトップ / ダブルボトム

エントリー：ネックラインを割れた時

目標：ネックラインのブレイク後、高値からネックラインまでの値幅（ダブルトップ）

ダブルボトムはちょうどダブルトップがひっくり返った形なので、考え方は同じである。





# E-BOOKのダイジェスト

## ②トリプルトップ/トリプルボトム

エントリー：ネックラインを割れた時

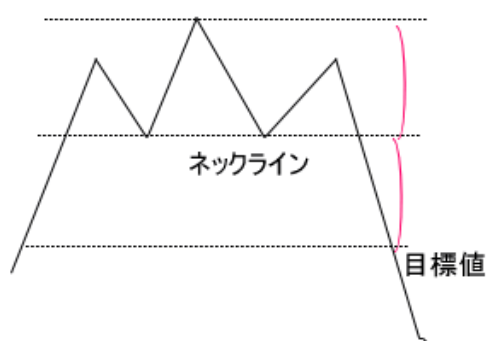
目標値：ネックラインのブレイク後、高値からネックラインまでの値幅

トリプルボトムも考え方は同じである。

## ③ヘッドアンドショルダー

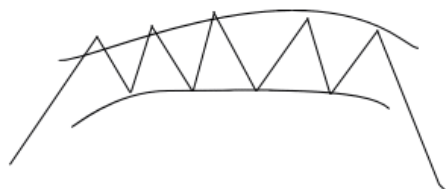
エントリー：ネックラインを割れた時

目標値：ネックラインのブレイク後、高値からネックラインまでの値幅



## ④ラウンドトップ（ソーサートップ）/ラウンドボトム（ソーサーボトム）

このフォーメーションに関しては「他の条件がOKであり、フォーメーションもラウンドトップなのでエントリー、というように補助的な位置づけとすべきフォーメーションだと考えています。」(83 ページ) として、あまり重視していないようである。



## <継続フォーメーション>

継続フォーメーションはトレンド継続中に現れる形とされている。

### ①トライアングル型

トライアングル型はペナントなど三角形になるフォーメーションのことである。トレンドが一息し、持ち合い状態に移行する際に表れる形とされている。

#### 1) シンメトリカルトライアングル

これは上下対称の三角形となったフォーメーションのことでペナントもこの中に入る。

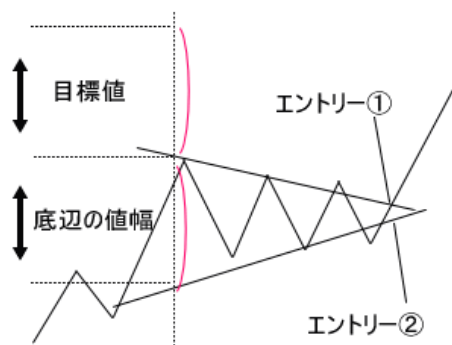
エントリー①：直前のトレンドと同方向へラインをブレイクした時

目標値：ブレイク後、トライアングルの底辺の値幅で決済

エントリー②：直前のトレンドと逆方向へラインをブレイクした時

目標値：①と同じ

# E-BOOK のダイジェスト



## 2) アセンディングトライアングル

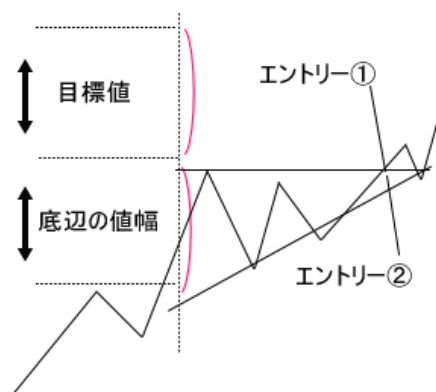
上のラインが水平な三角形のフォーメーションのことである

エントリー①：上方へラインをブレイクした時

目標値：ブレイク後、トライアングルの底辺の値幅

エントリー②：下方へラインをブレイクした時

目標値：なし



## 3) ディセンディングトライアングル

アセンディングトライアングルとは逆で下のラインが水平になるフォーメーションである。

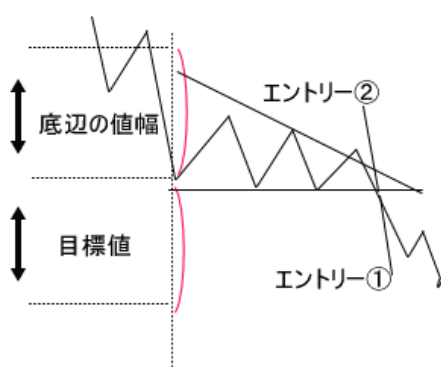
# E-BOOK のダイジェスト

エントリー①：下方へラインをブレイクした時

目標値：ブレイク後、トライアングルの「底辺」の値幅で決済

エントリー②：上方へラインをブレイクした時

目標値：なし。他の反転フォーメーションの決済を参考。



## 4) ウェッジ

トレンドを保ちながら値幅が小さくなっていくフォーメーションのことである。

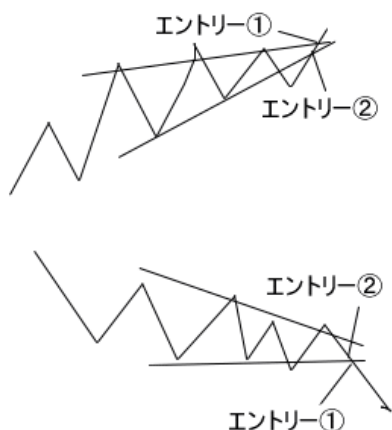
エントリー①：トライアングルの先端の方向にラインをブレイクした時

目標値：裁量

エントリー②：トライアングルの先端と逆の方向にラインをブレイクした時

目標値：裁量

# E-BOOK のダイジェスト



## ②レクタングル型

長方形のフォーメーションのことで、傾いた形をフラッグ、ほぼ水平の形をレクタングルという。性質としては2つともほぼ同じである。チャンネルとも形が似ているが、チャンネルの方が値幅が広い。

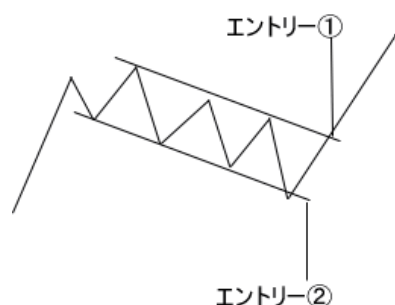
エントリー①：元のトレンドと同じ方法へラインをブレイクした時

目標値：直近の値幅を元にして計算（後述）

エントリー②：元のトレンドと反対のラインをブレイクした時

目標値：直近の値幅を元にして計算（後述）

# E-BOOK のダイジェスト



ここで説明されているフォーメーションの見方、目標値などは基本的には従来と同じである。しかし各種あるフォーメーションの中からより利用できるものをピックアップしたということだろう。

## 第4章ライン以外のサポート/レジスタンス要因を知る

ここではこれまで説明した各種ライン以外にサポート/レジスタンスとして機能するものについて書かれている。

### ①一日均衡表

「雲の上限と下限がサポート/レジスタンスとして機能します。」「これらの線（基準線、転換線）は雲ほど強くありませんが、いずれもサポ/レジになります。」（102 ページ）

### ②移動平均線

「よく意識される移動平均線（MA）には 25MA、75MA、200MA などがある

# E-BOOK のダイジェスト

ります。これらの本数の単純移動平均線（SMA）の他に同期間の指数平滑移動平均線（EMA）もよく意識されます。」（103 ページ）。

## ③心理的節目

「150.00 円とか 151.00 円とか切りのいい数字のことであり、投資家が心理的に区切りとみなしやすい水準を言います。（中略）多くの投資家の達成感を伴うのでサポート / レジスタンスになりやすいです。」（104 ページ）

## ④ PIVOT

「全世界の多くのトレーダーが使うようになった結果、今でも PIVOT の各数値付近では相場が反転することが非常に多くなっています。」（104 ページ）。

## ⑤フィボナッチリトレースメント

「世界の多くのトレーダーがフィボナッチリトレースメントを使っていますから、確かに相場はフィボナッチの主要数値に反応します。」（107 ページ）。ここで挙げられた一目均衡表の雲、フィボナッチ、PIVOTなどは多くの投資家がサポート / レジスタンスの代わりまたは補助として使っているものであり、それほど目新しさは感じない。

## 第 5 章 エントリーとロスカットの作法を確立する

ここでは具体的なエントリーとロスカットの方法が書かれている。

< 2 種類のエントリー作法（反転待ちか待ち伏せか）

ラインを目安にエントリーする場合以下の 2 種類の方法があるという。「ラインの手前であらかじめ指値注文を入れておく「待ち伏せ方式」と相場がラ

# E-BOOKのダイジェスト

インを意識して斑点のサインが出現してからエントリーする「サイン確認方式」の2種類のエントリー方法があります。」(110 ページ)

いずれもメリット・デメリットがあり、「サイン確認方式」の方はより裁量的な方法といえるだろう。この商材では「実力をつけやすいサイン確認方法をエントリーアプローチとして採用します。」(110 ページ) としている。

<エントリーはローソク足の途中と確定時どちらがいいか？>

ラインをブレイクしたらエントリーする方法とローソク足が確定してからエントリーする方法があるが、ここでは「慣れないうちはローソク足終値確定後にエントリーした方が判断を下しやすいので、確定後のエントリーの方がよいでしょう。」(111 ページ) としている。

ただし、次のケースではローソク足確定前のエントリーを検討してもよいという。

- ①すでにトレンドラインやサポート / レジスタンスラインを少しだけブレイクしているが、一時的に逆行した後で再び新値を更新した時
- ②フォーメーションをブレイクしたが騙しに終わり、直後に反対のラインをブレイクした時
- ③トレンド発生中に何回もブレイクできなかった強いサポート / レジスタンスラインを始めてブレイクした時

これらのケースではブレイクした方法への圧力が強いと判断でき、また動きも早いため「ローソク足の確定を待たずにエントリー」と推測できる。



# E-BOOKのダイジェスト

<トレンドライン絡みでの作法>

ここではトレンドラインを利用してのエントリー、ロスカットについて書かれている。

## ①トレンドラインでの反発によるエントリー

これはトレンドラインでの反発を確認したら、反発した方向に順張りでエントリーする方法である。以下が判断材料となる。

### 1)トレンドラインの角度

「緩くもなく、きつくもない角度がベストですが、表示するチャートによって角度が変わりますし、相対的な判断になります。」(115 ページ)

### 2) ローソク足の並びかたで反転の強さを確認する

「ラインに絡む時のローソクを見れば、反転の強さはかなり把握できます。」(115 ページ)。具体的には以下の並び方であれば反転が強いと判断できるという。

I 安値を切り上げている時。高値も切り上げていればなおよい(買い)。高値を切り下げている時、安値も切り下げているとなおよい(売り)。

IIトレンドラインが上昇している時は陰線→十字線→陽線となるなどV字型の値動きになる時。下降している時はこれが逆V字型になる。

IIIトレンドラインから反発する方向に直近のローソク足よりも実体大きいローソク足が出現した時

IVヒゲがトレンドラインを超えたが、ローソク足の実体は超えなかった時

# E-BOOKのダイジェスト

## 3) サポート / レジスタンスの絡みを確認する

トレンドラインでの反発と同時にレジスタンス（買い）サポート（売り）をブレイクしているかを確認する。またサポートでの反発も確認できればなおよい。

## 4) オシレーターサインを確認する

ストキャスティクス、RSI、RCI、MACDなどオシレーター系テクニカル指標のサインもエントリーを後押しする。

この4つの条件が満たされた時は「非常に有効なエントリーパターンと考えてよいでしょう。」(117ページ)ということだ。1つ1つは周知の方法だが、それを組み合わせてより確実なエントリーを目指すということだろう。

しかしこの4つの条件をすべて満たすエントリーはそれほど多くないだろう。どれくらいのエントリー機会があるのかが気になるところだ。

## ②トレンドラインでの反発によるエントリーでのロスカット

考え方としては「トレンドラインが反発すると考えてポジションを持ったのですから、反発が否定されたとわかった時点でロスカットです。」(118ページ)となる。

基本的には「トレンドラインの反対側に値が出た時」(118ページ)となるが、その他の判断ポイントとしてはローソク足やオシレーターの反転パターンの出現が挙げられている。要は総合的に判断するということだろう。

## ③トレンドラインのブレイクによるエントリー

これはトレンドラインをブレイクしたのを確認してブレイクした方向に順張

# E-BOOKのダイジェスト

りする方法である。判断材料は「トレンドラインでの反発でのエントリー」と同様である。

④トレンドラインのブレイクによるエントリーの際のロスカット  
考え方は「トレンドラインでの反発でのエントリー」と同じである。

⑤チャンネルラインでのエントリー

基本的な方法は「上昇チャンネルに達したらショート、下降チャンネルに達したらロングが原則です。」。

一般的な値がチャンネル内で推移すると想定しての逆張りである。しかし以下の材料も併せて総合的に判断するとしている。

- 1) ローソク足の並び方で反転の強さを確認する
- 2) オシレーターのサインを確認する。
- 3) ローソク足がチャンネルに触れてヒゲをだすなど、チャンネルが意識されていることを確認する
- 4) チャンネルの幅が十分であることを確認する

⑥チャンネルラインでの逆張りエントリー時のロスカット

「直近安値・高値を超えていったらロスカットするのが基本です。」(128ページ) としている。

⑦チャンネルラインでの順張りエントリー

これは一般的な逆張りでのエントリーではなく、チャンネルラインを値がブレイクした時に同じ方向に順張りする方法である。しかし「一般的な相場セ

# E-BOOKのダイジェスト

オリーに反する方法へのエントリーですので、エントリーの根拠となる十分な後押しが必要です。」(129 ページ) としている。そのための判断材料としては以下がある。

- 1) ローソク足の並び方でブレークの強さを確認する
- 2) チャンネルラインの角度を確認する。これもトレンドラインと同様、ゆるすぎず、急すぎない角度かを確認する。
- 3) 同時にサポート/レジスタンスをブレークしているか確認する

## ⑧チャンネルラインでの順張りエントリー時のロスカット

トレンドラインの反発の場合と同じだが、「チャンネルを割れても、付近にあるサポ/レジやトレンドラインを割るまでは押し目/戻りの形成と考えて、ポジションをホールドした方がよいケースがよくあります。」としている。

## <トライアングル型エントリー>

エントリーはフォーメーションの項で書いた方法と同じであるが、以下の材料も合わせて判断する。

- ①キャンドルの並び方でブレークの強さを確認する
- ②オシレーターサインを確認する
- ③ラインの角度

相対的な判断となるが「しいて目安を言えば 20 度から 40 度程度が扱いやすい角度です。」としている。

## ④トライアングル型フォーメーションのロスカット

「反対側の辺までの距離が長い場合は、トレンドラインブレークでのエントリーと同じようなポイントでロスカットするのが無難ですが、反対側の辺ま

# E-BOOKのダイジェスト

での距離が短い場合はエントリー後の反対側の辺をブレイクするまでロスカットを待つのが良いでしょう。」としている。

これは従来の方法と同じだが、三角形の辺の長さ（ボラティリティ）によってロスカットポイントを変えるということである。

## <ブレイク騙しの後ドデン>

値が逆行し、ロスカットとなった場合ドデンが可能なケースもある。その判断は他の材料も考慮するのでケースバイケースだが「ブレイクした足の次の足が反転し、「つつみ足」に近い形になった場合はブレイクアウトが騙しに終わった可能性が高いです。」（133 ページ）としている。

ただし、この他の例や判断材料は書かれておらず、この部分は説明不足である。

## <レクタングル型のエントリー>

基本は「トレンド継続中に四角形の辺をブレイクしたらエントリーするのが基本的なエントリーです。」（134 ページ）となる。

ここも以下の材料を併せて判断する。

- ①キャンドルの並び方でブレイクの強さを確認する
- ②オシレーターサインを確認する
- ③ダブルトップなどの反転フォーメーションが出ているかを確認する
- ④レクタングル型エントリーでのロスカット

トレンドラインでの反発によるエントリーとほぼ同じだが、「ブレイクした足の次の足が反転し、つつみ足に近い形になった場合はすぐにロスカットした方がいい場合が多いです。」（136 ページ）としている。

# E-BOOK のダイジェスト

## <反転フォーメーションでのエントリー>

フォーメーションの項で書いたように基本的にはネックライン割れがエントリーポイントとなるが、「最高値 / 最安値からネックラインまでも距離が長い時などは、それよりも前にトレンドラインを割れた時点でエントリーを検討できるケースもあります。」(136 ページ) としている。

その際は以下の材料も併せて判断する。

- ①ローソク足の並び方で反転の強さを確認する
- ②オシレーターのサインを確認する
- ③フォーメーションが形成される前にトレンドが形成されているかどうかを確認する
- ④フォーメーションが形成するまでに要した時間と値幅からエントリーの優位性を確認する

「感覚的な言い方になりますが、フォーメーションが「きれいに認識できる」程度の時間内で形成された方が有利です。」(137 ページ) としている。

これは感覚的過ぎてよくわからない表現だ。もう少し具体的な目安が欲しい。

- ⑤少なくとも最も急なトレンドラインをブレイクしたか確認する

「ネックライン割れの時点でトレンドラインをまだ1本もブレイクしていない場合は、直近のトレンドラインで相場が反転する恐れがありますので注意が必要です。」(138 ページ) としている。

ここではこれまでのようにロスカットについては書かれていない。フォーメーションの項で説明したことと同じだと解釈したが、説明不足である。

# E-BOOKのダイジェスト

## <サポ / レジとの絡み方だけでエントリー判断するケース>

相場が急変した時など、トレンドラインやフォーメーションが出現しないケースではサポート / レジスタンスでの反転だけで判断することになる。その場合以下の材料も併せて総合的に判断することになる。

- ①サポート / レジスタンスの強さ
- ②心理的節目
- ③ローソク足の並び方
- ④オシレーターのサイン
- ⑤直近の下落・上昇幅
- ⑥1日の平均値幅（後述）

さてこの章で説明したトレンドライン絡み、フォーメーションを用いたエントリー、ロスカットは基本的に従来の方法と同じである。

しかしその他の材料を併せて総合的に判断することにより、より確実にトレードしようという意図が感じられる。

また何箇所が説明不足の部分もあったが、「ドデンをする場合」「サポート / レジスタンスだけで判断する場合」など細かいケースの説明もあり、丁寧に書かれているという印象を受けた。

## 第6章 決済作法を極める

ここでは各種の決済方法について書かれている。決済方法には以下の種類がある。

### ① 1日の平均値幅達成

これは1日の平均値幅を予め意識することで無駄なエントリーを避けたり、

# E-BOOKのダイジェスト

手仕舞いの目安にするということである。平均値幅の算出方法はいろいろあるが「過去数十日のローソク足の実値幅を平均したり、ATRを使ったりします。

パラメーターは20日または30日がよく使われます。」(142ページ)としている。具体的な決済は「デイトレードではその日朝からの値幅が平均得幅に達する一歩手前で一部のポジションを指値決済する習慣をつけるといいでしょう。」「特に値幅達成ポイント付近で強めのサポート/レジスタンスがあれば大半のポジションを決済しても良いでしょう。」(143ページ)としている。

## ②トレンド起点から切りのよい値幅の達成

これは「直近値幅から切りの良い値幅が達成されると、心理的節目と同じように、市場参加者の達成感から利食い注文が一気に入って値が反転する場合があります。」(143ページ)を根拠としている。

しかし具体的な数値は以下の1つしかあげられておらず、説明不足である。具体的な数値をもっと載せてもらいたい。「ポンド円15分足の場合、トレンドの起点から100pips、150pips、200pipsという数字がよく意識されます。」(143ページ)

## ③一目均衡表の値幅観測論

これは一目均衡表の値幅理論であり、その種類は多いのだが「V計算値、N計算値、E計算値の3つが特に有効です。」(144ページ)としている。

V計算値：直近の押し目/戻りと同じ値幅が新値の後発生する

N計算値：直近の上げ幅/下げ幅と同じ値幅が再び発生する



# E-BOOK のダイジェスト

E 計算値：直近の上げ幅 / 下げ幅が新値の後発生する

## ④フォーメーションによる到達値予測

フォーメーションの項ですでに説明したとおり、フォーメーションの形によって決まる目標値を利用する。

## ⑤緩やかなトレンドラインで決済する

トレンドラインは数本引ける場合は「急なトレンドラインのブレークでエントリーしたら緩やかなトレンドラインでエグジットするのが基本的な決済方法の1つです。」(145 ページ) としている。

## ⑥サポート / レジスタンス (PIVOT、フィボナッチを含む) 手前での決済

これは一般的なサポート / レジスタンスを決済の目安にする方法である。

## ⑦直近値幅を基にフィボナッチで決済目標値を算出する

これも一般的なフィボナッチの各数値を決済の目安にする方法である。目安としては直近の値幅を 100 とした場合、通常のトレンドなら 161.8、強いトレンドなら 2161.8 がよく使われる。

ただし「161.8 レベルに達する前にも 123.6、138.2、150.0 というフィボナッチ数が待ち構えていますので、どのポイントを決済目標値にするか柔軟な思考も必要になります。」(150 ページ) としている。

## ⑧大型経済指標発表前の決済

米国雇用統計など大型経済指標発表前にはポジション保有中なら「ポジショ

# E-BOOKのダイジェスト

ンを軽くしておくのがいいでしょう」、または「慣れるまではライトレードによるトレードの慎重にした方がいいでしょう。」(159 ページ) としている。

## ⑨急反転時の決済

相場が急反転した時にルールは決まっていないが「異常に早い動きとなった場合は早期に決済するのがよいケースも多いです。」(159 ページ) としている。特に日本時間の 14 時から 17 時までは注意が必要だという。

## ⑩トレンド発生時の同レベルでのヒゲ 3 本で見切る

「ある程度の値幅達成後やチャンネルなどのフォーメーションを構成するライン付近や強いサポート / レジスタンスがあるレベルで 3 本以上の上ヒゲ・下ヒゲが出現したら、一部のポジションの決済を検討した方がいいでしょう。」(162 ページ)。

これは反転の圧力が高まったと判断できるためだろう。

## ⑪ローソク足確定前の防御的決済

その時の状態によってある値を下回ると一気に値が動くと予測される場合はローソク足が確定する前の防御的に決済をするという。

例としては「すぐ下にサポートやトレンドラインがないので、直近安値を下回ると大幅な下落の恐れがあるので、安値更新時に決済しても良い。」(163 ページ) としている。

# E-BOOKのダイジェスト

## ⑫建値での防御的決済

これは「エントリー後にある程度の含み益が乗った後、ポジションを持った値と同じ値で逆指値注文をいれることによりトレード収益がマイナスにならないようにする決済方法です。」ということである。

これは良く知られている方法だろう。しかし多用すると利益が小さくなるため以下のケースに限定した方がよいという。

- 1) 通常のロスカットの位置だと幅が大きくなりすぎる時
- 2) トレード時間が少ない時
- 3) エントリー後、判断が間違いだと気づいた時
- 4) 反対方向への動きが強くなったことが確認された位置にちょうど建値がある時

これは一旦利益が乗ったが、逆方向への動きが強くなった時という意味だろう。

### <決済方法の選択>

ここでは資金を3分割にして3箇所に決済ポイントを置く方法について書かれている。

- 1回目：直近のサポート/レジスタンスの手前
- 2回目：チャート上の無理のない値幅が出た場合に到達するポイント、N計算値やPIVOT、フィボナッチ、1日の平均値幅などが使える。
- 3回目：反転サインが出たなどポジションを保有する理由がなくなった時

この3分割は確かに有効だが、慣れるまでは決済が煩雑になり、対応が遅

# E-BOOKのダイジェスト

れる可能性はある。また最低投資額が1万通貨の業者の場合は1つのポジションに最低3万通貨必要になるので、資金が少ない場合実践は難しい。

この章では多彩な決済方法が説明されている。1つ1つの方法は特にオリジナルというわけではないが、ここにある決済方法を自在に使い分けられるようになればかなり有効だろう。

しかしその一方で慣れないうちは1つの決まった決済方法を使うより、決済ポイントがブレて損失を出してしまう可能性はあると言える。

## 第7章オシレーターの使用を知る

ここではエントリー判断の補助として利用するオシレーターの使い方について書かれている。どのオシレーターを使うかという指定はなく、ここでは例としてMACDのシグナルと一目均衡表の雲を使った方法が説明されている。

### <オシレーター中心値でのエントリー>

「オシレーターの中心値付近は押し目買いと戻り売りのポイントになります。」(178ページ)。

テクニカル指標によって違いはあるが、中心値は大体「0」になる。MACDであれば他の条件がOKの時、「MACDシグナルが0付近で反転したか、エントリーと同じ方向にMACDが0ラインを勢いよく突き抜けたら、エントリーが後押しされると考えてよいでしょう。」(178ページ)としている。

さらに「値が一目の雲の上であれば買い狙い、雲の下であれば売り狙いと

# E-BOOKのダイジェスト

いう順張りトレードを基本とします。」(178 ページ) ということだ。オシレーターの使用方は一般的な買われすぎ売られすぎレベルでの逆張りではなく、中心値付近での反転を狙うということだろう。

## <ダイバージェンス発生でのエントリー>

これはオシレーターを使った逆張りであるが、ダイバージェンス発生時のみエントリーする方法である。

「ダイバージェンスが発生した時は、逆張りエントリーを狙ってよき局面です。」(180 ページ) としている。ただし、オシレーターのサインのみでエントリーするのではなく、その他の条件が揃っていることを確認することが必要であるとしている。

ダイバージェンスが発生しているということは逆方向へのエネルギーがあるということなので、それを利用するということだろう。このオシレーターの使い方については補助的な判断ということもあり、従来の方法と特に違う部分はない。

## 第 8 章大きな流れを把握し、当日のシナリオを立てる

ここからは実際トレードする際に具体的な作業について書かれている。

具体的な手順は以下となる。

### ①まずは長い足の流れを見る

#### 1) 週に一度は月足と週足を見る

ライン、一目均衡表、オシレーターなどを使って「週の初めだけで構いませんので、月足と週足で現在の値位置がどうなっているのか見ておきましょう。」(185 ページ) としている。

# E-BOOKのダイジェスト

判断はこれまで説明してきた方法で総合的に判断することになる（トレンドラインの向き、オシレーターの流れ、一目均衡表の雲の位置など）。

## 2) 日足と4時間足は毎日見る

同様に日足と4時間足を毎日チェックする。ここまでで各時間軸での流れを把握する。

## 3) 15分足チャートで観察する

長い期間を通じて形成されるラインがより強いという考えから「15分足ではできれば10日前からに値動きを1画面で示したチャートからラインを引き始めるのが良いでしょう。」(190ページ)としている。

具体的には以下の作業を行う。

### 1) 斜めのラインを引く（トレンドライン、チャンネルラインなど）

### 2) サポート/レジスタンスラインを引く

### 3) 15分足の大きな流れを見ていく

ここでは総合的な判断が必要だが、初心者のために「ライン、雲、PIVOTを使った簡易的な流れの見方」が説明されている

I まず、トレンドライン、チャンネル、フォーメーションから流れを判断する判断のポイントは以下となる。

「長めのトレンドラインが引ける方向に相場は行きたがっている」「チャンネルが形成されている場合はチャンネルの中を相場が行き来する」(198ページ)

II 次に一目の雲とPIVOTの関係から、目先の流れと目標地点を判断する  
雲の見方の基本：値が雲に上であれば買い優位、雲の下であれば売り優位、雲の中はもみ合い

PIVOTの見方の基本：S1、PIVOT、R1は反転しやすいポイント、R3とS3

# E-BOOKのダイジェスト

は値幅の限界点と考えられるためドデンのポイントとなる

この見方を基本として、以下のように当日の相場の流れを簡易的に判断するという。

- ・雲とトレンドラインで判断した大きな流れが上向きなら（中略）雲の上限下限または1つ下のPIVOTで反発すると見る。従って基本は買いまたは押し目買い狙い

- ・雲とトレンドラインで判断した大きな流れが下向きなら（中略）雲の上限下限または1つ上のPIVOTで反発すると見る。従って基本は売りまたは戻り売り狙い（199ページ）

ここではこれまで説明してきた方法を用いて具体的にどんな作業でシナリオを立て、判断していくかということが細かく書かれている。

「シナリオを建てましょう」と書いてある書籍や情報商材はあるが、多くは具体的な手順までは書かれていない。その意味では初心者には特に参考になる部分だろう。

## 第9章 毎日のトレードプロセスを身につける

## 第10章 エコのトレードドキュメンタリー

この2章ではこれまで説明してきた方法をつかってシナリオを立て、トレードをする実践例が書かれている。裁量トレードでは重要な部分なのだが、スペースの関係上省略させていただく。

## 第11章 トレードティップス

ここではこれまで説明していなかったトレードでの注意点が書かれている。

# E-BOOK のダイジェスト

## <月曜日朝の対応>

月曜日朝は市場によって開始時間が違うため FX 業者のチャートの開始時間がまちまちになる。そこで「いつも使うチャートに加えて、開始時間が 1 時間早い MT 4 チャートを表示させておくのがよいでしょう。」(252 ページ) としている。

## <ふるい落とし>

ロンドン市場の開始直後に相場が急落した後、反転し元の水準近くまで上昇するのが「ふるい落とし」だという。そのような状況になった場合「積極的に逆張りのロングエントリーを検討できることを覚えておきましょう。」(256 ページ) としている。

## <レンジ (持ち合い) 総場を見分ける方法があるか>

レンジを見分ける方法はないが、以下の特徴がレンジ相場ではあるという。

- ①ダウ理論による安値・高値の切り上げまたは切り下げが長時間生じていない
- ②ポンド円 15 分足であれば値幅が 60pips 以内の状態が長く続いていたり、サポート / レジスタンスをブレイクしない状態が長時間続いている
- ③ボリンジャーバンドのミドルバンドと  $2\sigma$  及び  $-2\sigma$  がほぼ水平になっている

これらは一般的にレンジ相場の特徴といわれているものである。

## <レンジ相場の振舞い方>

レンジ相場での対処は 3 つあり、上から順に難易度は高いという



# E-BOOKのダイジェスト

①レンジ相場と判断できたらトレードしない

②リスクを抑えてトレードする

「初回のトレードは通常時の半分のポジションサイズでエントリーし、1回騙しをくらったら同じポジションサイズでエントリーし、2回騙しをくらった後のエントリーは通常時にポジションサイズを増やしてエントリーするという方法もあります。」(263 ページ)

③レンジ上限・下限を強いサポート / レジスタンスとして通常通りトレードする

ここのレンジ相場の対応としては妥当なものだが、その使い分けは慣れないと難しいだろう。

## <短い足を見る>

15分足でのトレード中にはより短い5分足と1分足を参考にすべきケースもあり、それは以下だという。

①サポート / レジスタンスの絡み方だけでエントリーの判断を下さなければならぬ時

②直近安値・高値のブレークアウトでエントリーする時

③指標発表直後やふるい落としと見られる動きが発生している時

このようなケースでは15分足だと判断が遅れるため5分足、1分足も同時に確認するという。この章で説明されていることは取り立てて目新しい部分はないが、知っておいて損はないだろう。

## 第12章 資金管理、メンタル、実践準備

ここでは資金管理、メンタル面について書かれている。またメンタル面につ

# E-BOOKのダイジェスト

いては一般的な精神論であるので省略する。

## <ポジションサイズの決定（リスク許容額の計算）>

この手法で勝率は5割を切ることはないとの前提で「調子が悪い時期に連敗を重ねたとしても10連敗くらいで収まるだろうと考えています。」（270ページ）とし、1回のトレードでのリスク許容額は資金の10%としている。この資金管理は他の部分に比べて大雑把で根拠に乏しい。

裁量トレードなので検証が難しい部分はあるが、連敗の可能性は「これくらいで大丈夫」で見積もっては危険だ。

## <ポジションを減らす時>

以下のようなケースではリスクが大きいいためポジションを減らした方がよいとしている。

- ①経験上騙しが多く発生するトレードであることがわかっている時
- ②ロスカット幅と比較して予想利益額が小さい時
- ③大きな勝ちトレードがあった直後
- ④短期間で一気に大きく動いた直後

この章の内容はこれまでと比べると漠然としていていささか物足りない。しかし著者自身が「メンタルと資金管理は非常に扱いにくいテーマに感じています。」（268ページ）と書いていることから仕方がない部分もある。

## 第13章 Q&A

## 第14章 入門から上級までのロードマップ

この2章はQ&Aと初心者レベルから上級者になるまでの大まかな作業が書

# E-BOOKのダイジェスト

かれているが、売買手法と特に関係がないので省略する。

商材はここまでである。繰り返し書いてきたが、1つ1つのラインの引き方、判断基準そしてその他の補助的材料（オシレーターなど）は従来の方法とほとんど同じである。

しかしそれらを各相場状況に応じて細かく対応させている。またエントリー方法だけでなく、決済方法、具体的な当日の作業などトレードする際に必要なほとんどの部分について非常によく説明されていると感じる。

手法のメインとなるラインについてもありがちな「このテクニカル指標は機能する」という盲信的な前提にたったものではなく、「なぜこのテクニカル指標が機能するのか」という根拠についても考察されている。

ただしこの手法は裁量トレードであり、覚えることもたくさんある。この手法を自在に使い利益をあげられるようになるには相当の時間がかかるだろう（商材では上級者レベルに到達するまで最大 2000 時間必要だとしている）。また当然 PC の前にずっと張り付いていなければならない。

この商材の価格は 57,500 円である。この価格を高いと感じず、トレードにかなりの時間と労力を費やす覚悟のある方なら購入する価値はあるだろう。

# スキャルFX

## 発行元情報

■発行元	西田亮平
■販売責任者	西田亮平
■所在地	販売終了のため不明
■電話	販売終了のため不明
■メール	販売終了のため不明
■ URL	<a href="http://scalfx-trial.heteml.jp/sales/scalfx_sales.html">http://scalfx-trial.heteml.jp/sales/scalfx_sales.html</a>

**価格 49,800 円**

## … 目次 …

スキャル FX 戦略シート…2

リアル FX スクール動画解説用資料…16

全 123 ページ。チャート画像が不鮮明な部分がある。

# E-BOOKのダイジェスト

商材説明のみが淡々と書かれているシンプルなセールスレター。

この「スキャルFX」は現在販売終了となっているが、レビューなどを読む限りではなかなか好評の商材である。

商材は全123ページのマニュアルとメタトレーダー用のインジゲーター、テンプレートファイルからなる。またサポートページでは同内容の動画がダウンロードできる。では内容に入ろう。

## <<リアルFXスクール動画解説資料>>

これはサポートページからダウンロードできる動画の解説資料ということだが、動画を見た限りではほぼ同内容だろう。まずローソク足、ダウ理論、トレンドなどテクニカル分析の基本について説明される。

入門書的な内容だが、その中で「トレンドライン」が勝つために最も重要としている。またピボットやサポート・レジスタンスに価格が反応する理由は多くの投資家が意識しているためであり、勝つためにはそのラインを意識しながら先手を打つことが大事だとしている。

主な重要ラインとしては以下が挙げられている。

- ①前日の高値・安値
- ②直近の高値・安値
- ③ピボット、前日の高安のフィボナッチ
- ④値幅観測によるターゲット値

## 重要ラインをトレードに生かす

スキャルパーなどの超短期トレーダーはオシレーター系を意識する傾向にあ

# E-BOOKのダイジェスト

るので、日足や時間足で重要ラインを引いてから1分、5分足に変えて使用する。注意するポイントとしては「重要ライン前の長ヒゲ反転」「指値を入れるときは重要ラインの少し手前にする」としている。

## 移動平均線について

移動平均線については遅行性の問題から「信頼性は低い」としている。また「2本の移動平均線のゴールデンクロスで買いなんてやっていたら死にます！」ともある。

移動平均線については「2、3本の移動平均線を組み合わせたり、ローソク足との乖離率によってマーケットの過熱感を見たり、サポートやレジスタンスとして利用したり、遅効性を理解してトレンドフォローで利用するのがよいという。

## オシレーター系について

逆張りで利用されることが多いがトレンドフォローでの押し目、戻りを狙うのがよいとしている。

## MACDについて

ダマシはあるが、トレンド転換をうまく捉えることができる優れた指標としている。機能する理由としてMACDの信者は多いためではないかと推測している。

## ボリンジャーバンドについて

レンジ相場時の逆張り指標として優れた指標としている。

# E-BOOKのダイジェスト

値幅観測とは？

フィボナッチや一目均衡表のN波動、フォーメーションなどから価格の到達点がある程度予測する。この値幅観測を元に指値を入れたり、想定利益を計算してポジションを建てるかどうかを判断する。特に一目均衡表の値幅観測は有効性が高いとしている。

またフォーメーションは持ち合い時によく出現し、ブレイクした場合の値幅観測に有効だという。ヘッドアンドショルダーはトップからネックラインの数値、トライアングルは直前の上昇幅、トレンドブレイクはラインと転換値の同値が値幅となる。

## エリオット波動について

著者はトレンドフォローを行うトレーダーにとってはトレンドの確認や押し目、戻り、目標値などエリオット波動の習得は必須としている。

## 波の合成理論とトレード戦略

著者のトレード戦略は波の合成から規則性を見出してトレードするとしている。図が示されているがこれ以上の説明はなく、これだけで実践するのは無理だろう。ここまでが動画で説明されている「リアルFXスクール」の内容である。

波動など多少オリジナルの部分もあるが、基本的なテクニカル分析であり、概要の説明に留まっている。これから説明する実際の売買手法でもここで説明したトレンド分析やチャートパターンなどを使用するが、ここでの内容だけでは実践は難しいと感じた。

# E-BOOKのダイジェスト

## <<スキャル FX 戦略シート>>

商材ではチャート画像と売買シグナルの見方のみが説明されていて使用するインジゲーターの種類、パラメーターなどは記載されていないが、メタトレーダーの設定などから推測してみた。あくまで推測なので、予めご了承ください。

### 使用するテクニカル指標

- ・ローソク足 5 分
- ・単純移動平均線 ( 12、24)
- ・ボリンジャーバンド ( 20、 $1\sigma\sim 3\sigma$ )
- ・トレンドライン ( ローソク足 10 本、50 本、200 本分)
- ・RCI( 9)
- ・MACD( 12、26、9)

\*ヒストグラムのみ表示

#### <基本戦略 1 >

買い

① SMA( 20) が SMA( 24) を上抜き後上昇

\* SMA の向きが上向きまたは横ばいの場合のみ

② SMA( 20) が SMA( 12) またはトレンドライン ( 10 本) を上抜き後上昇

\* SMA( 12) > SMA( 20) またはトレンドライン ( 10 本) > SMA( 20) の場合のみ

売り

① SMA( 20) が SMA( 24) を下抜き後下落

\* SMA の向きが下向きまたは横ばいの場合のみ



# E-BOOKのダイジェスト

② SMA( 20) が SMA( 12) またはトレンドライン ( 10 本) を下抜き後下落

\* SMA( 12) < SMA( 20) またはトレンドライン ( 10 本) < SMA( 20) の場合のみ

利食い

ボリンジャーバンド付近での反転サイン ( 長ヒゲの出現、ローソク足の反転等)

損きり

① SMA( 24) 付近での反転クロス

②直近の高値・安値を越えて反転

これは、基本的には移動平均線のクロスでトレンドに沿ってエントリーする手法である。

## < 基本戦略 2 >

買い

RCI が下向きから上向きに反転上昇

\* RCI は 0 ライン以下、できれば - 80 以下が望ましい。

\* SMA( 12) > SMA( 20) またはトレンドライン ( 10 本) > SMA( 20) の場合のみ

\* MACD は上向きできればプラス圏が望ましい。

売り

RCI が上向きから下向きに反転下落。

\* RCI は 0 ライン以上、できれば 80 以上が望ましい。

\* SMA( 12) < SMA( 20) またはトレンドライン ( 10 本) < SMA( 20) の場合のみ

# E-BOOK のダイジェスト

\* MACD は下向きできればマイナス圏が望ましい。

利食い

① ボリンジャーバンド付近での反転サイン ( 長ヒゲの出現、ローソク足の反転等 )

② RCI が反転

損きり

① RCI が反転

② 直近の高値・安値を越えて反転

これも MACD をフィルター的に使っているが基本的には RCI の買われすぎ・売られすぎからの反転を狙う手法である。

## <応用戦略>

ここでは基本戦略を踏まえた上でさらに柔軟なトレードをするための方法が書かれている。

決まった方法はないのだが、以下の手順でさらに相場分析をするという。

## トレード前の準備

- ① 本日の重要指標の発表時間を確認し、メモをする。
- ② 日足や時間足で重要価格レジスタンスラインやトレンドラインを引く。
- ③ 5分足で一目均衡表の雲などを見て大きな流れを掴む。
- ④ 5分足でフィボナッチ等の値幅確認をする。

## トレンド分析

- ① 大きな流れをトレンドライン (50 本) で直近の流れをトレンドライン (10

# E-BOOKのダイジェスト

本)で確認する。

\*トレンドライン(50本)の大きな上昇の後のトレンドライン(10本)の下落は一時的な押し目の可能性がある。

\*トレンドライン(50本)だけでなくSMA(24)との位置関係も確認する。

② RCIの上昇下降のリズムを見て直近の動きを掴む。

③ MACDの方向の変化やプラス圏、マイナス圏の推移を確認する。

④トレンドラインの傾きを確認し、ギャンアングルなどを参考にしてトレンド転換を的確に掴む。

⑤価格の切り上がり、切り下がりを確認しトレンドの更新・転換を確認する。重要なポイントは1分足と5分足の流れが同じになって時にエントリーすることを心がけるといふ。しかしこれ以上の説明は無く、具遺体的にどのような状態を指すのかの説明が欲しい。

買い

①トレンドライン(10本)やSMA(12)をSMA(24)が上抜き後上昇、または反転上昇

② RCIが下向きから上向きに反転上昇

③ SMA(12)がSMA(24)を上抜いた後上昇

売り

①トレンドライン(10本)やSMA(12)をSMA(24)が下抜き後下落、または反転下落

② RCIが上向きから下向きに反転下落

③ SMA(12)がSMA(24)を下抜いた後下落

利食い

①ボリンジャーバンド付近での反転サイン

# E-BOOKのダイジェスト

②フィボナッチ等の値幅観測のより目標値を設定する。

③直近トレンドラインのブレイク

④ RCI の反転

損きり

① RCI の反転

②直近の高値・安値を越えて反転

③ 20pips のストップを設定する。

この応用戦略も基本戦略とエントリー方法はほとんど同じである。ただし利食い・損きりはフィボナッチやトレンドラインでの値幅観測を加えてより緻密に行っている。

しかし最も重要なのはトレード前の準備やトレンド分析であろう。しかしこれは系統的に決まったルールで判断するというよりは経験を元に主観的に判断する部分である。

「リアル FX スクール」で説明してはいるが、先ほども書いたが初心者には商材の説明だけでは実践は難しいだろう。この商材の売買手法は基本的にはこれまで使われていたトレンドフォロー手法にフィルター的に他のテクニカル指標やトレンド分析を加えたものである。

有効性は否定しないが、既出の手法だけにセールスレターに書いてあるような成績が本当に出せるのかは疑問である。

# 罣を仕掛け、獲物を捕獲する 『スパイダー』

## 発行元情報

■発行元	株式会社トレードモンスター
■販売責任者	林 洋子
■所在地	東京都港区芝浦4-22-1エアタワー1024
■電話	03-6231-9191
■メール	webmaster@225nikkei.com
■URL	<a href="http://trademonster.jp/spyder/index.html">http://trademonster.jp/spyder/index.html</a>

価格 39,800 円

## … 目次 …

コンセプト…4  
ロジック…7  
パフォーマンス…16  
スリッページ回避…19  
付属；売買判定エクセルファイル、  
トレードスタジアム用設定ファイル、  
トレードスタジアム設定マニュアル  
全22ページ。デザインは綺麗で読みやすい。

# E-BOOKのダイジェスト

この「スパイダー」は日経 225 先物を投資対象としたシステムトレードの商材である。

セールレターは情報商材らしくなく、機能や内容のみが簡潔に説明されている。商材は全 22 ページのマニュアル、売買判定のエクセルファイル、トレードスタジアムの設定ファイル、トレードスタジアムの設定マニュアルからなる。

トレードスタジアムとは 트레이ダーズ証券の取引システムソフトのことで付属のファイルをインストールすれば自動売買が可能になる。では内容に入ろう。

## 売買ロジックの特徴

この売買ロジックは前場のデータを分析し、後場の仕掛けることが特徴である。また後場も寄り付きで仕掛けることはあまりなく、大引けで決済するためポジションの保有時間は 1 から 2 時間程度と非常に短い。

売買ロジックもシンプルでプログラムコードも公開されているがわずか 8 行ほどである。売買ロジックは以下の 2 つを併用する。

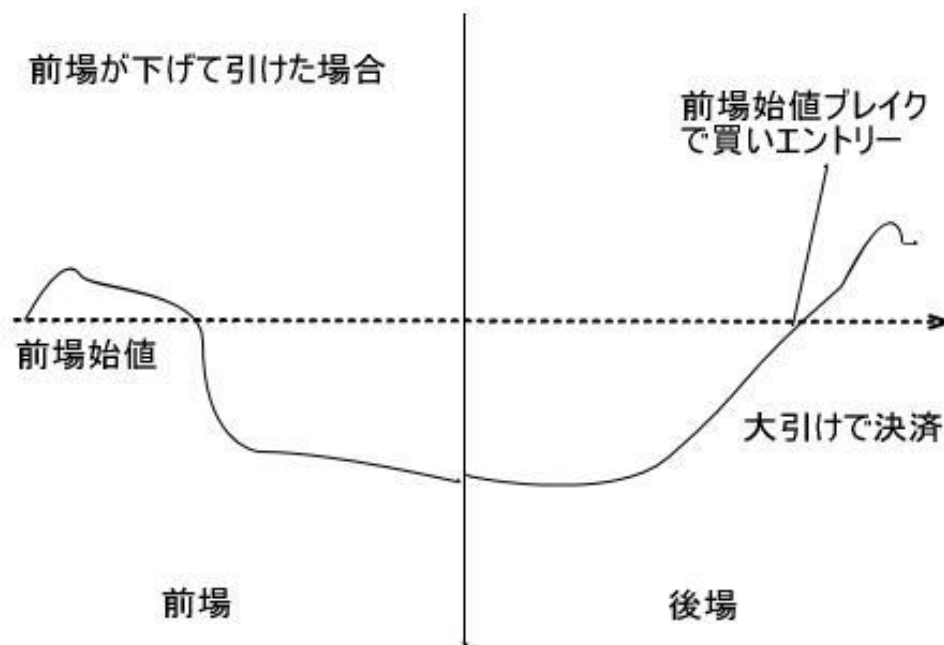
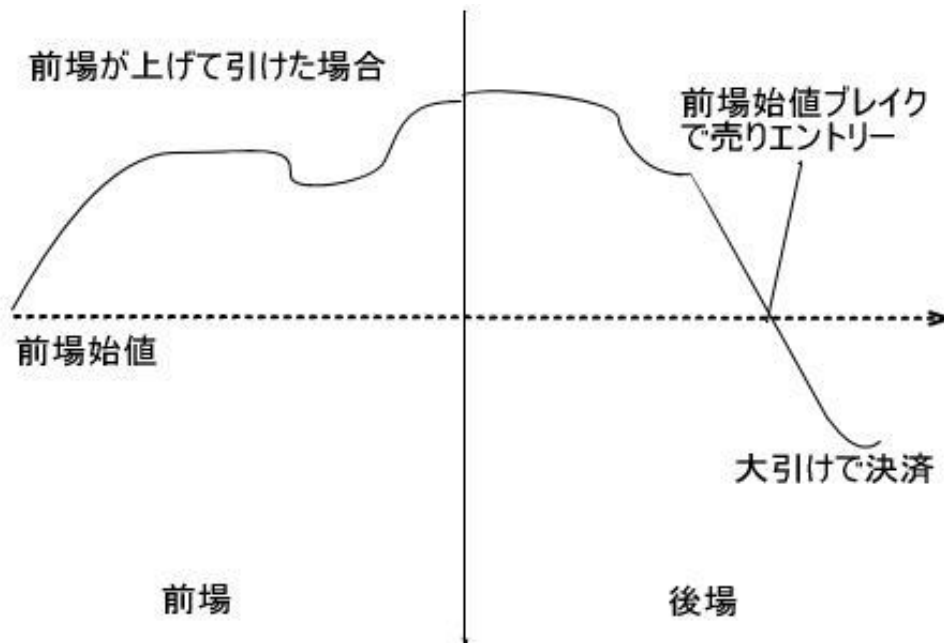
## 売買ロジック

### ①逆指値エントリーによる前場始値のブレイクアウト

これは後場のトレンドが前場のトレンドと逆方向に形成された時に前場始値のブレイクアウトでエントリーする。

下記の図のように前場始値に逆指値を入れて「前場が上げて引けた場合は売りエントリー」「前場が下げて引けた場合は買いエントリー」する。いずれも大引けで決済する。

# E-BOOK のダイジェスト



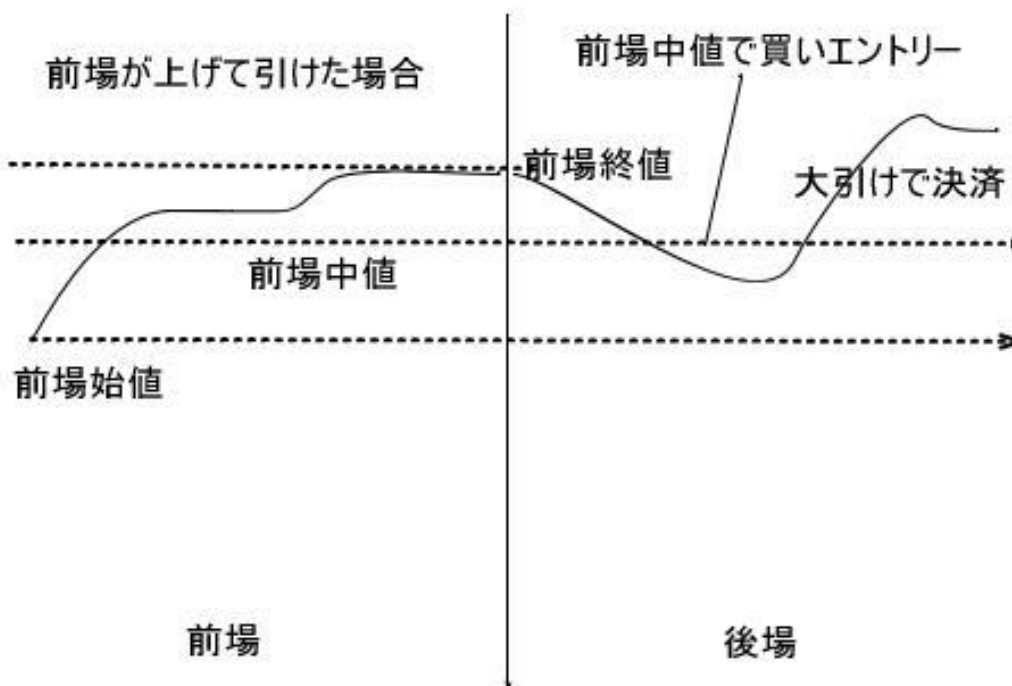
# E-BOOKのダイジェスト

前場のトレンドが強いほど後場の反発が強く、パフォーマンスは良くなる傾向にあるという。その目安として前場の始値と終値の差を利用する。

また前場と後場のGAPで約定するのを避けるため、この差が50円以内の場合はエントリーしない。実際50円刻みでの各パフォーマンスが掲載されているのだが、差額が50円から100円では買い売り、150円から200円では売りのパフォーマンスが優秀な成績となっている。

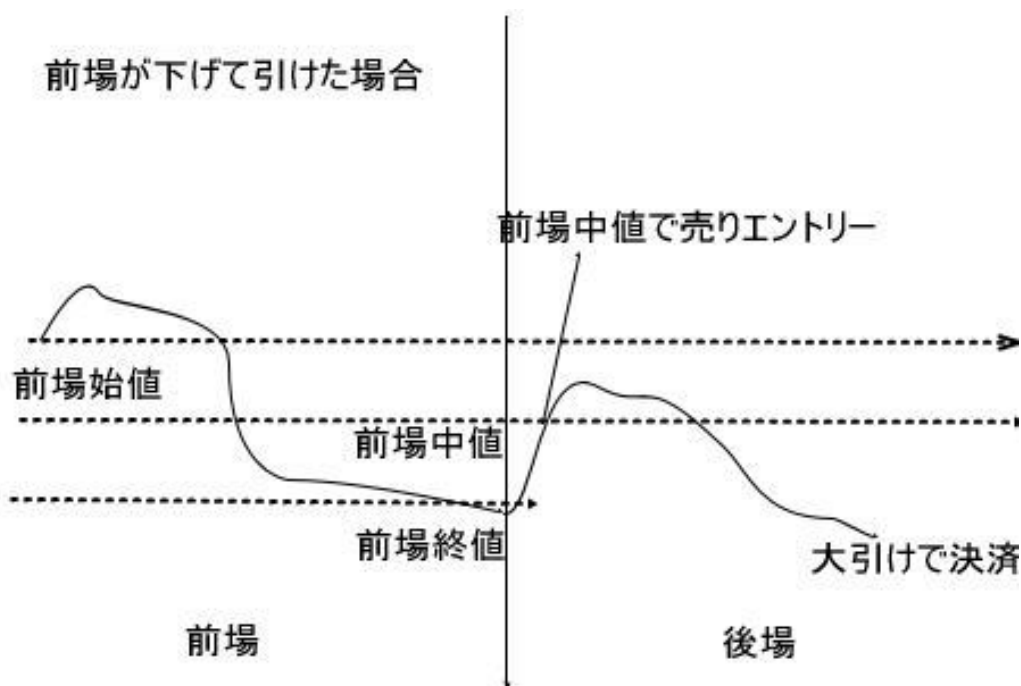
## ②指値エントリーによる前場中値のカウントレード

これは前場中値（始値と終値の中間値）でのトレンドの反転を狙い前場中値でエントリーする。①と反対に「前場が上げて引けた場合は買いエントリー」「前場が下げて引けたら売りエントリー」となる。前場中値に指値を入れ、大引けで決済する。





# E-BOOK のダイジェスト



①と同様に前場の始値と終値の差でトレンドの強さを判断し、差が 50 円以内の場合はエントリーしない。掲載のデータでは差額が 50 円から 100 円までは良い成績となっているが、全体では買いのパフォーマンスはよくない。逆に売りは全体でも優秀でプロフィットファクターは 6.84 と非常に高い数字となっている。

## 完成版システム

このまま 2 つの売買ロジックを運用してもよいのだが、より良いパフォーマンスを目指すため、前場の始値と終値の差額からパフォーマンスの良いパターンを以下のように組み合わせる。

・前場が上げた場合

①の逆指値ブレイクアウトで前場の始値と終値の差額が 150 円以上ある場合のみ売りエントリーする。②の指値カウンタートレードではエントリーし

# E-BOOK のダイジェスト

ない。

・前場が下げた場合

①の逆指値ブレイクアウトでは前場の始値と終値の差額が 50 円から 100 円の間の場合のみ買いエントリーする。②の指値カウンタートレードでは前場の始値と終値の差額が 100 円以上の場合のみ売りエントリーする。

以上が商材の内容である。商材の売買成績を信じるなら優秀な売買ロジックといえるがそのまま鵜呑みにするわけにはいかない。

付属の売買判定ファイルを使って検証してみた結果が以下である。

検証期間：2009 年 1 月 5 日から 2009 年 6 月 30 日

売買シグナル点灯回数：35 回

エントリー回数：12 回

勝ちトレード数：7 回

負けトレード数：5 回

総損益：70 円

この結果を見るとまず売買シグナル点灯自体が 1 ヶ月に 5、6 回程度と少ない。しかも指値が約定し、実際にエントリーできるのはさらに少なくその半分以下である。パフォーマンス自体は悪くないのだが、商材に掲載されているような驚くほどの成績ではない。

この検証は商材のように前場の始値と終値の差額は考慮しなかったもので、そこを工夫すればもっとパフォーマンスは上がるかもしれない。しかしそれをするとならばエントリーチャンスは減ることが予想される。

# E-BOOK のダイジェスト

結論としては損をするような売買ロジックではないが、エントリー回数が少ないのがネックであり、それほど大儲けができるシステムではないということだろう。

【入門編&実践編のセット版!】4年で海外移住も夢じゃない!世界中のお金持ちだけが知っている、税金を浮かせてお金持ちになる方法…日本人富豪チャーリー・タカが教える

# タックスヘイブン究極の活用法

## 発行元情報

■発行元	Sovllin Asset Asia Investment Limited
■販売責任者	井村亜矢
■所在地	港区六本木 1-9-35 六本木ビュータワー 1410
■電話	03-6277-6405
■メール	imura@global-macau.com
■URL	<a href="http://charlietaka.com/taxhaven1/">http://charlietaka.com/taxhaven1/</a>

価格 24,600 円

## … 目次 …

入門編・・・2

実践編・・・63

全 162 ページ。写真が豊富に挿入されきれいなデザイン。

# E-BOOKのダイジェスト

この商材「タックスヘイブン究極の活用法」はタックスヘイブンを利用しての節税、資産運用などがメインの内容である。

タックスヘイブンとは馴染みがない方もいるだろうが、オフショアとも呼ばれ無税かきわめて低い税率にして富裕層や外国人投資家の資本を呼び込んでいる地域のことである。

有名なところではF1が開催されるモナコやサンマリノ、バミューダ諸島、バハマ、ヴァージン諸島などだろうか。アジアでは香港やマカオ、シンガポールなどもタックスヘイブンとされている。

それでは商材の内容に入ろう、商材は全162ページからなり「入門編」「実践編」に分かれている。この商材は一つのことを掘り下げていくというより、TIPS集のような体裁となっている。

そのためスペースの関係上すべてを説明することは不可能なので、一般的なもの、重要でないと判断したものは省略した。

## 『入門編』

### タックスヘイブンの定義

タックスヘイブンは明確な定義はないのだが、一般的には下記の(a)及び(b)の①～③のいずれか1つに該当するOECD非加盟国、地域または法人税の実効税率が25%となる国や地域をタックスヘイブンとしている。

(a) 金融・サービス等の活動から生じる所得に対して無税としているまたは名目的にしか課税していないこと。

(b)

# E-BOOKのダイジェスト

- ①他国と実効的な情報交換を行っていないこと。
- ②税制や税務執行に透明性が欠如していること。
- ③誘致される金融・サービス等の活動について自国・地域において実質的な活動を要求していないこと。

## 主なタックスヘイブンの国々

タックスヘイブンとされている主な国は以下となる。商材では各国について概要が書かれているがここでは省略する。

### <カリブ海周辺諸国>

アンギラ、アンティグア・バーブータ、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、パナマ、ヴァージン諸島、ドミニカ、グレナダ、モンセラット、アンティル、セントクリストファー・ネイビス、セント・ルシア、セントビンセント・グレナディーン、タークス諸島・カイコス諸島

### <太平洋周辺>

クック諸島、マーシャル諸島、ナウル、ニウエ、サモア、トンガ、バヌアツ

### <欧州>

アンドラ公国、ジブラルタル、ガーンジー、マン島、ジャージー、リヒテンシュタイン、モナコ

### <その他>

バハレーン、モルディブ、セイシェル、リベリア、シンガポール、香港、マ

# E-BOOKのダイジェスト

カオ

こうしてみると馴染みにある国、地域もあるし、まるで知らない国、地域もある。しかし思ったよりもタックスヘイブンといわれる国々は多い。

## タックヘイブン税制

タックスヘイブン税制とは日本の場合、例えば日本の会社がタックスヘイブンに子会社を設立し、租税を回避するのを防止するため、子会社の留保所得をその持分に依じて親会社の所得に合算して課税する制度のことである。

日本のメーカーが中国から製品を仕入れる際に香港に作った子会社を経由して、香港で利益を計上し、日本の親会社での利益を最小化し、課税を少なくするような三角貿易といわれるものを規制するのが主な目的である。

## 属地制と属人制

属地制とは自分が住んでいる国で税金を払う、属人制とは国籍のある国で税金を払うというルールである。

ほとんどの国は属地制で属人制をとっている国はアメリカやフィリピンなどわずかな国だけである。日本は属地制なので日本で税金を払いたくなければ、海外に住み非居住者になればよい。

ここで日本で住民税を払わなくても良い方法がひとつ書かれている。住民税は1月1日に住民票がある町で納税する義務がある。

そこで年末の役所の仕事納めの日に転出届を出し、年が明けて役所の仕事納めに日に別の役所に行って転入届を出せば住民税の納入義務はどこにも発生

# E-BOOKのダイジェスト

しないという。しかしこれは同じ町では通用しないだろう。住民税を払わないために毎年未引越すというのも割りに合わない話だ。

## 非居住者とは

前項で出てきた非居住者とは簡単にいえば「日本に住んでいない人」ということになるが、税制上の非居住者には大まかには以下に該当する人ということになる。

- ① 1年の半分以上を外国で暮らしている。
- ② 日本に自分が居住するための不動産を所有していない。
- ③ 家族も日本に住んでいない。
- ④ 主な収入源が海外にある。
- ⑤ 日本の法人の代表者や役員でない。

## 非居住者になる方法

ここでは非居住者になった場合に問題となるかもしれない「年金」「健康保険」「運転免許証」「クレジットカード」「銀行口座」「郵便物」「携帯談話」などがどうなるかについて書かれている。詳しくは説明しないが年金がもらえなくなる以外は特に問題はないとされている。

## 何処の国に住むのか？

ここでは実際に海外移住先を選ぶ際のポイントが書かれている。

- ① 日本人が多く住んでいる国

特に現地語をしゃべれない場合は生活の利便のためにも日本人が多く住んで



# E-BOOKのダイジェスト

いる国を選ぶことが推奨されている。

②インフラが整備された国

③物価が安い国

④医療が発達した国

特に日本語対応ができる病院があることが重要。

⑤治安の良い国

⑥気候の良い国

⑦ビジネスチャンスがある国

具体的には物価が安く日本人がまだ余り住んでいない国ならチャンスはあるという。

⑧日本に気楽に帰れる国

以上のポイントを踏まえてビジネスを主に考えた場合は「マカオ、香港、バンコク、上海、ジュハイ、イーウー、広州、マカティ」、住むことを主に考えた場合は「マカオ、バンコク、チェンマイ、バンクーバー」などが推奨されている。

## 香港・マカオ・ジュハイをただで旅する方法

①ジュハイで商品を買ひ、その商品をヤフーオークションで販売する。

ノースフェイスのダウンジャケットやアバクロのパーカーなどが安く手に入るのので、それをヤフーオークションで転売して利益を得るという。

②香港で金を仕入れて日本で売却する。

金の価格は世界で統一されているのだが、香港では消費税が掛からないのでその分安く購入できる。それを日本で売却して差額を得るという。

①の方法はノースフェイスもアバクロも一時より国内価格が下がっているこ

# E-BOOK のダイジェスト

ともあり、今後も利益を出せるかはわからないだろう。また大量に仕入れるのなら関税や送料なども掛かる。それに対して②の方法は利益は小さいがほぼリスクフリーで儲けられる方法だろう。

## マカオでビザを発行する

### ①マカオで法人を設立する

マカオでビザを取得する場合、法人の代表者となり、その法人でマカオ人を採用していることが条件となる。そこでまず法人を設立する。設立費用は日本円で 38 万円程度であるという。

法人を設立したらマカオ人を採用する。

その後自分のビザを申請するということである。その際に必要な書類は最終学歴証明書、就業証明などである。

## フィリピンで永住権を取得する

マカオではビザを取得しても 7 年間更新しなければ永住権に切り替わらないという。しかしフィリピンでは 400 万円分の残高証明、健康診断をすれば移民局からすぐに ID カードが発行され永住権を取得できるという。

## 税金を払わなくて良いメリット

### ①消費税が掛からない

非居住者は商品購入の際、パスポートを提示し海外持ち出しの免税扱いにすれば消費税は掛からなくなる。

### ②ネット転売

非居住者が海外で商品を仕入れ、日本のネットオークションで販売しても税

# E-BOOKのダイジェスト

金は掛からないという。日本の法律では商品を発送した国で売り上げを計上するのだが、香港、マカオでは自国内のビジネスで発生していない売り上げは計上する必要がないためである。

③有利な金融商品がある

④格安の海外保険に加入できる

日本の法律では居住者が海外の保険の加入できないが、非居住者なら可能である。

ここまでが入門編の内容である。タックスヘイブンについて具体的な内容まで良く書かれていると思う。

このような内容の一般書籍はあまりなく、詳しく知ろうとすれば富裕層向けの投資顧問会社にでも訪ねるしかないだろう。そういう意味では興味がある人には価格に見合った貴重な情報だろう。

## 『実践編』

入門編に続き、実践編となる。この2つは別の商材として書かれているので、内容的には重なる部分がある。その部分は省略した。

### ブリティッシュ・バージン・アイランドに法人を作っても無意味？

ここではBMI（ブリティッシュ・バージン・アイランド）に法人を設立してもほとんど意味がないとしている。

一部の投資セミナーなどで推奨されている「日本の法人の利益をBMI法人に付け替える」「株式投資などをBMI法人を通して香港やシンガポールで行

# E-BOOKのダイジェスト

う」などは単なる脱税行為だとしている。特にタックスヘイブンでは毎年の申告を行う必要がないので、そのままにしておけばBMI法人の設立、その法人で資産運用を行っていること自体が租税回避行為とみなされるリスクがあるという。

## 税率が違っていると残るお金がこれだけ違う！

ここでは日本とマカオで同じ所得を挙げている場合に最終的に残る金額について書いている。

詳しい説明は省くが日本で自営として年間2000万円の所得を挙げている場合、税金を差し引いて最終的に残る金額は日本だと約1000万円に対してマカオでは約1830万円にもなるという。

## タックスヘイブン法人を使い、合法的に資産形成・企業防衛を行う方法

ここでは各国の法人税、所得税、住民税などの税制の概要が書かれている。詳しく説明するスペースはないが、法人税、所得税、住民税が無税な国も多く、やはり日本と比べると随分税制面で有利なようである。またオフィスの賃料、人件費、生活費などのコストも随分安いようである。

## 自己破産していても銀行から融資が受けられる

日本で自己破産していても「過去2年間一定の所得があること」「必要ローン金額に見王所得証明を提出すること」が可能であれば、その国で購入する不動産を担保にして、海外の金融機関から融資してもらうことも可能ということである。

融資額は国によっても違うが不動産価格の60%程度ということである。

# E-BOOKのダイジェスト

## 売主ファイナンスと言う手法

売主がすでに銀行ローンを組んでいる場合、そのローンを購入者が引き継ぎ、銀行への返済を行うのが売主ファイナンスである。

この方法を使えば購入者が自分で銀行ローンを組む必要がない。だ出しすべての国にこの制度があるわけではなく、「物件価格が高い」「物件が荒れている」などの問題もあるという。

## タックスヘイブン法人の徹底活用方法（コスト削減編）

ここではコスト削減の方法がいろいろ書かれているが箇条書きにして説明しよう。

- ① HSBC で口座を開設すると個人の場合は 10000HS \$ 以上の残高を維持しなければ月間 60HK \$ の口座維持手数料がかかる。しかし法人口座なら最初の月に 5000HK \$ 以上の残高があれば口座維持手数料は無料である（マカオ法人の場合）
- ② 格安の海外保険や医療保険に入ることができる。
- ③ 海外で作った資産を法人所有にしておけば相続時での手続きや場合によっては相続税対策にもなる。

## タックスヘイブン法人の徹底活用方法（投資偏）

ほとんどのタックスヘイブンの国ではキャピタルゲインについて課税されないという。法人を所有する個人に対しても配当を貰わずに運用を続けていれば非課税ということである。

そこでタックスヘイブン法人を通して香港やシンガポールで株式や為替売買

# E-BOOKのダイジェスト

を行うことを推奨している。特に為替については国内ではレバレッジが低く規制されるため規制のない海外に口座を持つことは有効だということである。

## 銀行融資を受けて不動産を所有する（マカオ法人の場合）

不動産投資を受ける際過去2年間の一定額（1000万円程度）の所得証明が必要であるが、日本でこの所得証明を取得するばあい、300万円程度の納税額が必要となる。しかし税率の低いマカオであれば70万円程度の納税ですむ。

本来は個人がマカオで所得を得るにはビザが必要なのだが、以下の方法で所得証明を得ることができるという。

①マカオ法人として利益を出す。1000万の利益をだしたとして実効税率10%として100万円を納税する。

②残り900万円の利益を全額配当する。すると個人所得は900万円となる。

- ・自身が法人を100%所有している
- ・法人としての納税証明が取れる
- ・法人からの配当所得を証明できる

この3つの事を証明する書類が用意できればビザがなくても銀行融資が可能になるという。ただし配当所得については日本に住んでいる場合日本で申告する必要がある。

## 不動産売買で税金を支払わない方法

通常は不動産売買には税金がかかるが、タックスヘイブン法人で不動産を購

# E-BOOKのダイジェスト

入し、その法人そのものを売却すれば、法人の所有者が変わるだけなので、税金は一切かからないという。

## 日本にあるお金をキャピタルフライトさせる方法

日本で住宅をタックスヘイブン法人で購入し、家賃をこの法人に毎月支払う。こうすれば日本での収益を海外に送金することができるという。

## オフショアファンドに入る

利回りが高いオフショアファンドの毎月一定額を積み立て運用する。満期まで配当を受け取らず運用すれば課税も先延ばしにできる。

しかし個人では海外お金を受け取るにしても居住者であれば日本に税金を払う必要がある。

そこでタックスヘイブン法人で加入すればキャピタルゲイン、利息については課税されないの、そのまま満額受け取ることができる。

満期のタイミングで非居住者になってタックスヘイブン法人からお金を受け取る。個人では満期のタイミングで非居住者になっても日本に居住していた期間に合わせて課税される確率が高い。

## 税金をかけずの資産を膨らます方法

マカオなどはキャピタルゲインに税金がかからないので、タックスヘイブン法人で不動産を転売するということである。

この際に法人から配当を貰わず法人気宇ザの現金を残さず次に物件に投資することが大切である（現金が残っているとその額に合わせて課税される）。個人であれば利益が確定した時点で課税されるため節税できる。ただしこれ

# E-BOOKのダイジェスト

は物件価格の値上がりを前提としているので、必ずしもうまくいくとはかぎらないだろう。

## タックスヘイブン法人を使った相続税対策

リースや借入れを作り資産を圧縮し相続税対策をするというもので、特に考え方は国内と変わらないが以下の2つの方法が例として示されている。

資産を渡す側、受ける側どちらも5年間非居住者となっていて、海外の資産を相続する場合は日本では無課税ということである。

### ①航空機、ヘリコプターのリース

航空機やヘリコプターを現金で購入し、これらを航空会社に対してリースし、配当を受け取る。リースは負債として計上されるので、資産を圧縮できる。航空機やヘリコプターは値下がり率が低いので、リース終了後は売却もできる。

### ②レバレッジを聞かせた不動産取引

不動産を現金と銀行借入で購入する。

さて「投資編」はここまでであるが、あくまでさわりの情報提供に留まっており、これを実践しようとするこの商材に書いてあることだけでは難しい気がする。どのように手続きするのか、どこでパートナーを見つけるのかなどの細かい部分が実践する場合は大切だ。

すでにそうして知識や経験がある人にとっては気付きがあるのかもしれないが、初心者にとってはこの商材の情報だけでは実践は難しいだろう。

## タックスヘイブン法人の徹底活用法 (ビジネス編)

ネットショップなどインターネットを中心にしたビジネスの場合、業務の一



# E-BOOKのダイジェスト

部をタックスヘイブン法人で行うことで日本での課税を避けられる。例えば中国から仕入れた商品をタックスヘイブン法人で販売し、日本のお客に直送すれば日本では課税されない。

海外移せる業務としては以下がある。

## ①物流業務

海外を基点として商品を発送することができる。

## ②マーケティング業務

商材の仕入れを海外を基点として行う。

## ③集客業務

インターネットを中心とした集客を現地のスタッフに指示して行う。

## ④管理業務

インフラが整った国であれば管理業務を行うこともできる。

## リースを活かす

タックスヘイブン法人で事務用品や証明などを購入し、日本の法人にリースする。こうすればリース代金は日本の法人の経費となり資産を圧縮できる。

## 香港市場で自らの企業を公開・上場させる

日本では新興市場への公開・上場はコストもかかり、監査も厳しい。しかし香港の新興市場は日本に比べてコストも安く公開も容易である。また公開もメリットである市場からも資金調達も容易である。

しかも非居住者であれば株式を売却した創業者利益に対しても非課税で済む。また香港の新興市場は香港にオフィスがなくても公開が可能なのでマカ

# E-BOOKのダイジェスト

才などに設立した法人でも公開できる。

## BMI 法人の徹底活用

### ①投資組合の形成

増資や社債発行などの引き受けを複数の人間で行う場合、BMI 法人を設立しこの法人が増資を引き受ける。

そして引受人それぞれが出資に応じてこの BMI 法人の所有者になる。この際のノミニーという匿名で株主になる仕組みを利用すれば自分の名前が出てくるのを避けることができる。

### ②不動産投資を仲間複数で行う場合

BMI 法人で銀行融資を受けることは難しいがプレビルド物件という今後完成する予定の物件の権利を売買する場合は物件の完成前に 30%程度の資金を払い、完成後に残金を払う仕組みなので BMI 法人を使うことができる。

物件完成前に転売すれば実際には物件の 3 分の 1 の資金で不動産投資ができる。これも投資組合の場合と同様に物件売却後、出資に応じて資金を分配すればよい。

ここまでが実践編の内容である。

入門編はタックスヘイブンについての基礎知識ということで概要だけでもよかったのだが、実践編の内容は少々物足りない。個々の TIPS は有効だと思うが、やはり詳しい部分の説明がなく即実践に移せるものではない。

# E-BOOKのダイジェスト

全体的に掘り下げ不足である。

またセールスレターを見るといかにも誰でも実践可能なような印象を受けるが、やはりある程度の資産を持った人でないと実践できないし、できたとしてもそれほど効果はないだろう。

しかしこのような情報はなかなか入手しづらいので、ある程度資産があって節税や海外での資産運用に興味がある人にはとっかかりとしてはいいのかもしれない。

# たのしいFX

ーリアルタイムFX投資戦略ソフトー

## 発行元情報

■発行元	筆宝 大平
■販売責任者	筆宝 大平
■所在地	東京都東久留米市南沢 2-12-4
■電話	090-3478-8097
■メール	d-hippo@govardan-hill.com
■ URL	<a href="http://govardan-hill.com/fx/">http://govardan-hill.com/fx/</a>

価格 19,800 円

## … 目次 …

第一章イントロダクション	22
第二章 FX 投資戦略ファイルの使用法	73
第三章インジゲーター導入手順	85
第四章短期投資戦略（分足から 1 時間足）	110
第五章経済指標発表時のトレード	136
第六章中・長期投資戦略（4 時間足～月足）	144

付属：メタトレーダー用インジゲーターファイル、資金管理エクセルファイル  
全 166 ページ。デザインは素人ぽいが構成や文章はわかりやすい。

# E-BOOKのダイジェスト

この商材「たのしいFX」のセールスページをみると「MACDのゴールデンクロスで売り、RSIが90以上で買い」と通常のテクニカル分析とは逆のエントリーをするということである。

どのような基準で売買判定をしているか気になるところだ。

では内容に入ろう。

商材は全166ページのマニュアルとメタトレーダー用のシグナルファイル2つと資金管理エクセルファイルからなる。

メタトレーダーにファイルを設定すると売買シグナルの表示が可能となる。まずFXの概要、ソフトの説明に続いて本編となる。

## 第一章イントロダクション

ここではレバレッジを掛けるリスク、オーバートレード、自分の手法に対する過信、高レバレッジで運用するために注意することなど、実際にトレードを始める前に必要な基本的な考え方について書かれている。

当たり前の内容なのだが、不必要なことは書かずにポイントのみを押さえてわかりやすく説明されている。

その中でも「複利」を投資最大のリスクとしているのは面白い。多くの情報商材では机上の複利計算で信じられないような想定利益を演出しているが、ここでは「複利はもともと長期運用を前提にした概念なので短期投資で安易に複利運用することは危険」とはっきり書いている。

そして複利運用に変わるものとしてレバレッジを利用している。また

# E-BOOKのダイジェスト

本当のリスク耐性を決めるのは資産ではなくその人の1年間のキャッシュフロー、つまり収入だとしている。例えば投資以外の収入が大きければリスクを大きくとってもよいが、投資しか収入源がなければリスクを最小限にすることが必要になるということである。

目安としては年収1000万円以下の場合には最大保有ポジション10万通貨までにするとしている。言われてみれば当たり前のことであるが、このような視点からリスクを説明した商材は余り見たことが無い。この他にもいろいろな投資についての基本的な考え方がしめされているがまとめると以下となるだろう。

- ・自分の手法などを余り信じない
- ・運用保有量は10万通貨以下
- ・切りのいい時刻にエントリーする
- ・トレードの損きりは常の5 pips
- ・トレードは1日10分で終わらせる

この部分は著者の考え方がよく現れていて、下手な書籍などよりも面白く読めた。

## 第二章 FX 投資戦略ファイルの使用法

### 第三章インジゲーター導入手順

第二章、第三章は付属の資金管理エクセルファイルの使用方法やメタトレーダーの設定方法となっているため説明は省略する。

# E-BOOK のダイジェスト

## 第四章短期投資戦略（分足から1時間足）

ここからはメタトレーダーを使っての実践例となる。商材では売買ロジックは「押し目買いや戻り売りのポイントをシグナル化したもの」と大まかにしか説明されていないのだが、メタトレーダーの設定や売買シグナルの表示から推測してみたいと思う。

通貨ペア：ドル円

使用するテクニカル指標：ローソク足（1分）、DMI（7）、SMA（20、10）、ボリンジャーバンド（ $2\sigma$ 、20）、

実際のチャート上にはDMIとSMAは表示されず、売買シグナルのみが表示されるのだが、インジゲーターの設定をみるとこのようになっている。売買シグナルをしばらく検証した結果エントリー条件は以下と推測した。

買い：SMAが上向きで+DIが-DIを上抜け

売り：SMAが下向きで+DIが-DIを下抜け

損きりや利益確定の条件は実践例から以下とわかる。

損きり：エントリー時に約定レートから5pipsに損きり注文を出す。その後利益が5pips以上となったら約定レートにストップをトレールする。

決済：決済条件は以下である。またエントリー時に10pipsにリミット注文をいれておいてもよい。

- ・買いポジション保有の時は売りシグナル、売りポジション保有の時は買いシグナルが出た時。
- ・相場急変時にはレートが $\pm 2\sigma$ を抜けた時。

# E-BOOKのダイジェスト

- ・緩やかなトレンドの時はレートが SMA（10）を抜けた時。

## 第五章 経済指標発表時のトレード

ここでは経済指標発表時に特化した手法が説明される。

- ①まず取引会社のホームページなどで予め経済指標発表の時間と関連通貨をチェックしておく。
- ②経済指標が発表されたら、シグナルが出た方向にエントリーする。
- ③損益に関わらず 10 分程度で決済する。

商材の説明はこれだけだが、ストップやリミットの設定がない。短時間で決済するとはいえ経済指標発表時にはレートが大きく動くこともあるので、これだけの説明では不十分だし危険である。

## 第六章中・長期投資戦略（4 時間足～月足）

ここではより長い時間軸でのスイングトレード手法の説明となる。売買ロジックは前述したスキャルピングと違い「高値・安値更新の時にシグナルを出します」としている。これも同様にインジゲーターの設定などから売買ロジックを推測してみた。

通貨ペア：指定なし

使用するテクニカル指標：ローソク足（4 時間）、DMI（1）



# E-BOOKのダイジェスト

スキャルピングと同様にチャート上では売買シグナルのみしか表示されないが、エントリー条件は以下と推測される。

買い：1本前のローソク足の高値を更新し、+DIが-DIを上抜け

売り：1本前のローソク足の安値を更新し、+DIが-DIを下抜け

実際には高値・安値更新時にはDMIもクロスすることがほとんどなので、DMIの条件は余り気にする必要はないだろう。ただし実践例をみると実際のエントリーには以下のように5分足も併用してエントリーしている。手順は以下となる。

- ① 4時間足で売買シグナルがでたら、5分足（スキャルピングの売買ロジック）を見て、4時間足と同方向に売買シグナルが出たらエントリーする。
- ② 損切りは5pipsに設定する。5pips以上利益が乗ったら約定価格のストップをトレールする。
- ③ もし損きりに掛かった場合、5分足で様子を見て、再び同じ方向に売買シグナルがでたらエントリーする。

スイングトレードでも50pispや100pipsと言う大きな損きりを設定せずに5pipsに設定することでリスクを減らすという。しかし5pipsの損きりではほとんどのトレードで損きりにかかってしまうだろう。そこを我慢して大きな利益が取れるトレードを待つということだろうが、それでは余りスイングトレードのメリットは無いように思える。

ここまでが商材の内容である。スキャルピングはDMIのクロス、スイング

# E-BOOKのダイジェスト

トレードは高値・安値の更新と単純な売買ロジックである。

またセールスレターにある「MACDのゴールデンクロスで売り、RSIが90以上で買い」は独自の売買判定をしているわけではなく、そうなる時もある、という程度である。

それをあたかも独自の売買判定で逆のサインが出ているように書いているのは誇大表現だろう。このような単純な売買ロジックでも損きり、利益確定を非常に小さくしているので、ある程度利益がでることもあるだろう。しかし特別なノウハウではない。

結局一番面白く、為になったのは売買ロジックの部分ではなく投資についての考え方の部分だった。一般書籍ならそれでも十分元はとれただろうが、これは高価な情報商材である。価格に見合った内容とは言えない。

# テクニカル分析の王道 FX

## 発行元情報

■発行元	藤原達郎
■販売責任者	藤原達郎
■所在地	鳥取県西伯郡大山町下甲 3 2 7
■電話	0858-58-4077
■メール	admin@office-fx.biz
■ URL	<a href="http://www.office-fx.biz/">http://www.office-fx.biz/</a>

価格 18,500 円

## … 目次 …

- 1章 トレーダーとして“勝つ”ということ…6
  - 2章 利益獲得はトレンド相場に絞る…9
  - 3章 最優先事項—トレンド確認のためのテクニカル選択…13
  - 4章 フィルタとして用いるテクニカルを選択する…25
  - 5章 時間足を選択する…41
  - 6章 手仕舞いのためのルール…42
  - 7章 付録：3本の移動平均線が織り成す表情…45
  - 8章 付録2：迷った時のための簡易判断法…50
- 全 52 ページ。チャート画像が見つらい。

# E-BOOKのダイジェスト

この商材「テクニカル分析の王道 FX」はセールスレターから推測するとテクニカル分析主体の裁量トレードのようである。

「わずか数%の大勝組が“実は”隠しているーテクニカル分析の正しい使い方！」（セールスレター）の文句通り、今までと違ったテクニカル分析について書かれているのだろうか。

商材は全 52 ページのマニュアルと 3 つの特典の「SLOW SKULL FX」（全 35 ページ）「Master of MA」（全 16 ページ）「悪癖矯正マニュアル」（全 14 ページ）から構成されている。またユーザーサイトでは補足説明の動画を見ることができる。

動画の内容はマニュアルとほぼ同じであるが、今後随時更新されるという。まずは本編から内容を見ていこう。

## 1章 トレーダーとして“勝つ”ということ

ここではこの手法の基本的な考え方が説明されている。一言でいうと「勝つためには短期トレンドフォローの手法が最適」ということだ。

## 2章 利益獲得はトレンド相場に絞る

ここでは前章の考えに沿って、「（前略）明確に勝つ（大きく勝つ）システム、戦法というのは、“レンジを捨て、トレンドに仕掛けるシステム”であると言えるでしょう。」（10 ページ）と書いている。

そのためのシステムは「トレンド追従型のテクニカル + フィルタ + 利食い・損切りのルール」（12 ページ）という構成にならざるを得ないとしてい

# E-BOOKのダイジェスト

る。間違いはないのだが「レンジを捨て、トレンドに仕掛けるシステム」を作るのはそう簡単ではない。レンジ相場とトレンド相場の見極めは難しいからだ。その点をどのようにクリアするのだろうか。

## 3章 最優先事項—トレンド確認のためのテクニカル選択

ここから実際に使用するインジゲーターについての説明となる。

### <トレンドラインはシステムには向かない>

トレンドラインは「曖昧さが拭い去れない」という面、そして“更新が手遅れる”(13 ページ) という理由からシステムを組むには向かないとしている。

確かにトレンドラインは引く人によって違うラインとなるし、チャートの時間軸によっても引けるラインが違う。また頻繁に引き直しも必要である。曖昧さは拭いきれない。そこでこの手法では「トレンドラインは採用せず、単純移動平均線を採用します。」(14 ページ) としている。

### <単純移動平均線の使い方>

単純移動平均線の使い方としては短期線、長期線のクロスを基本としている。区間については「フィボナッチ数列の数字もしくはその付近の数字を採用するとうまくいく場合が多いです。」(19 ページ) としている。

具体的には「もっとも敏感な移動平均線として採用が好ましいのは5、もしくは6あたりの数値です。」(19 ページ) と「5または6」を短期線の区間としている。

# E-BOOKのダイジェスト

一方長期線は「好ましい数値は、30～36あたりの数値です。」としている。商材では便宜上以下短期線をMA6、長期線をMA30としている。また後述するが実際のトレードには中期線(MA18)を使い3本の移動平均線を使う。

## <2本の位置関係に基づく、形勢判断>

2本の単純移動平均線でのトレンド判断は以下のように一般的な基準であり、オリジナルな部分はない。

- ・安定した上昇トレンド

短期線>長期線の位置で2本がほぼ平行に上昇

- ・安定した下降トレンド

長期線>短期線の位置で2本がほぼ平行に下降

- ・もみ合い

2本がほぼ重なる状態で横ばい

- ・レンジ

横ばいの長期線にまとわりつくように短期線が蛇行

また「よって、移動平均線による判断を補足的に助ける、ダマシをふるいに掛けることができるような、他のテクニカル分析がほしい」(24ページ)ということで、フィルタが必要になるとしている。

## 4章 フィルタとして用いるテクニカルを選択する

### <移動平均線に加えるフィルタ：基本的な考え方>

フィルタとして用いるテクニカル指標は「判断の精度を高めるための補助ですから、発想や性質が似通ったものであっては意味がありません。」(25ページ)との考えから、この手法では一目均衡表が選ばれている。

# E-BOOK のダイジェスト

発想はともかく一目均衡表が移動平均線と性質が違うかということ、遅効性など似ている部分もあるとは思いますが、ここではあえた深くは追求しないでおこう。

## <一目均衡表：移動平均線との併用>

ここでは一目均衡表を選ぶ具体的な理由として以下が挙げられている。

- ・高値と安値の平均を採用しているという点
- ・“先行スパン”という独特の要素が見られる点
- ・実際に合わせてみて、相性が良いという点

実際には「雲」だけを使用し、パラメーターの変更はしない。

## <実際の使い方>

ここからは実際のエントリー方法となる。手順は以下である。

- ①まず短期線、長期線のクロスを確認する。(ゴールデンクロスなら買い、デッドクロスなど売り検討)
- ②次に雲の位置、状態を見る。

買い：雲が移動平均線の上近くに薄く位置した場合、ローソク足が雲を上抜けしたらエントリー

売り：雲が移動平均線の下近くに薄く位置した場合、ローソク足が雲を下抜けしたらエントリー

雲の厚さの基準としては「直近 20 本程度の中で一番長いろそく足よりも厚いかどうか。」(34 ページ) が目安になるという。ただし厚い雲であってもローソク足が抜ければエントリー可能ということだ。

# E-BOOKのダイジェスト

## <オシレーターの活用>

さらに慎重にトレードしたい場合はオシレーターを併用しても構わないとのこと。どのオシレーターでもかまわないが、使い方は基本のエントリー時にオシレーターが「同じ向きになっているかどうかチェック」(39 ページ) し、同時にレベルもチェックする。

レベルはスローストキャスティクスなら買いエントリーなら 50 以上、売りエントリーなら 50 以下というようにおおまかな確認でよいとしている。

## 5章 時間足を選択する

この手法では使用する時間足の指定はないが、「デイトレードを念頭に置いている人であれば 5 分足や 15 分足、もう少しゆったりしたい人であれば、1 時間足や 4 時間足、もしくは日足」(41 ページ) を目安にするとよいとしている。

## 6章 手仕舞いのためのルール

手仕舞いの目安に使うためもう一本移動平均線 (MA18) を追加する。理由としては「、MA6 と MA30 のクロスを待っていると遅すぎるからです。」(42 ページ) としている。

反対サインを待っていると決済が遅れるということだろう。利食いはこの MA18 と MA6 のクロスを目安にするという。つまり買いなら MA18 と MA6 のデッドクロス、売りならゴールデンクロスということだ。

## <損切りのルール>

損切りラインは「雲の遠い側のライン、つまり売りの仕掛けなら仕掛けたバ



# E-BOOKのダイジェスト

一の真上、雲の上側のライン、買いの仕掛けなら仕掛けたバーの真下、雲の下側のライン、この部分の価格を損切りの価格とします。」(43 ページ) としている。つまりエントリー時と反対側の雲のラインということだ。

## 7章 付録：3本の移動平均線が織り成す表情

利食いの目安のために MA18 を追加したが、3本の移動平均線の位置関係をトレンド判断にも使うということである。判断は以下を目安にするが、ごく一般的な基準である。

①  $MA\ 6 > MA18 > MA30$

「これは典型的な上昇トレンドの最中に見られます。」(46 ページ)

②  $MA6 > MA30 > MA18$

「下降トレンドが終わってレンジや揉み合いに入ったような形勢、そして MA30 が一番下にもぐって上昇トレンドの準備が整う前の段階で、比較的短い時間見受けられるパターン」(46 ページ)

③  $MA30 > MA18 > MA\ 6$

「これは典型的な下降トレンドの最中に見られます。」(47 ページ)

④  $MA30 > MA6 > MA18$

「下降トレンドの終焉直後の揉み合いやレンジです。」(47 ページ)

⑤  $MA18 > MA6 > MA30$

「そろそろ下げに転じようかという形勢」(48 ページ)

⑥  $MA18 > MA30 > MA6$

「この形勢の後、順調であればパターン3の下降トレンド型に移行する」(48 ページ)

# E-BOOKのダイジェスト

## 8章 付録2：迷った時のための簡易判断法

ここではトレードの回数は減るが一番確実なエントリーとして以下の方法が説明されている。

- ①ローソク足が雲の下で推移している時、移動平均線のデッドクロスで売りエントリー
- ②ローソク足が雲の上で推移している時、移動平均線のゴールデンクロスで買いエントリー

理由はお分かりと思うが、ローソク足が雲の上で推移している時は上昇トレンドが続いていると判断できるので、ゴールデンクロスでトレンド方法にエントリーするということである（売りは逆）。

ここまでが本編の内容である。

ロジックはごくオーソドックスな移動平均線の位置によるトレンド判断、クロスによるエントリーである。フィルタの一目均衡表の使い方もそれほど特別ではない。

しかしそれだけに著者のオリジナルな部分があまり見受けられない。また「レンジ相場とトレンド相場の見極め」については多くのトレンドフォローと同じく、明確な方法論はないようだ。

とても「わずか数%の大勝組が“実は”隠しているーテクニカル分析の正しい使い方！」（セールスレター）とは思えない。この内容なら多少の違いはあるにせよ書籍で十分学べる。高額な情報商材ではユーザーの期待するのは

# E-BOOKのダイジェスト

より希少性有効性のある情報だろう。その意味では物足りない。さてでは続いて3つの特典の内容を見ていこう。

## SLOW SKULL FX

本編の手法は数時間～数日ポジションを保有する短期トレードだったが、この特典では1分足を使ったスキャルピング手法が説明される。また商材ではメタトレーダーを使っているが、固有の機能を使った手法ではないので他のシステムでも構わない。

### <トレードルール>

対象通貨ペア：ドル円 使用する時間足：1分足 トレード時間：原則として17:00～24:00 参考として4:20～7:30 推奨ロット数：3ロット

チャート設定：①単純移動平均線線（6、18、30）、一目均衡表（変更なし）、ボリンジャーバンド（2σ、26）

商材ではチャートを2画面にし、片方に単純移動平均線と一目均衡表、もう片方にボリンジャーバンドを表示させるとしている。

エントリー：①雲を横断してきたローソク足が反対側の雲から出る②その後ローソク足がボリンジャーバンドにタッチ（買い：上バンド、売り：下バンド）したらエントリー

利食い：2ロットはエントリー値から10pips、残り1ロットはまず利食いで下時点でストップをエントリー値にトレイル。その後はMA6がローソク足の実体が割りこんだら決済（売りは逆）。

# E-BOOK のダイジェスト

損切り：3 ロットともエントリー値から 8pips

ローソク足が雲を横切って出た、ということはトレンドがあると判断できるので、そこからのボリンジャーバンドの抜けを狙ったトレンドフォローだろう。

## <移動平均線を活用した応用>

一旦ポジションを決済した後、移動平均線を使って再エントリーする方法が説明されている。

買い：基本エントリーで全ポジションを決済した後もローソク足が雲の上で推移。その後移動平均線がきれいに  $MA6 > MA18 > MA30$  と並ぶ。

売り：基本エントリーで全ポジションを決済した後もローソク足が雲の下で推移。その後移動平均線がきれいに  $MA30 > MA18 > MA6$  と並ぶ。

ストップ：エントリー値から 6pips リミット：エントリー値から 8pips

この状況が再度出現したら何回エントリーしてもよいとしている。これは基本エントリーでポジションを決済した後も、トレンドが継続していると判断できるので再エントリーするという事だろう。

## <指標発表前をどうするか>

スキャルピングは指標発表時にはエントリーを避けるタイプが多いのだがこの手法は「手法そのものとしては、エントリーして頂いて構わないと思います。」(24 ページ) としている。ただし以下の場合にはエントリーを見送ったほうがよいという。

# E-BOOKのダイジェスト

- ①取引業者のサーバーが弱い場合
- ②発表直後の乱高下の最中にサインが出た場合

」

## <エントリーを見送る局面・特殊な局面>

また以下の場合もリスクが大きいためエントリーを見送るとしている。

- ①長めで糸状の雲付近を斜め横にローソク足が抜ける

「この雲抜けでエントリーしても、ちょうど市場の一股に引っ掛かる可能性が大きいからです。」(26 ページ)

- ②雲の横断ではない

雲に跳ね返されている場合は雲の横断と見間違いやすいがエントリーを見送る。

- ③突き抜けが連続で発生する持ち合いの局面

「まだストップに掛かっていないなら、浅い傷で済みますから、早めに決済して一時撤退します。」(28 ページ) その場合は以下の「ライン待ち」という手法をとるとしている。

### 1) ライン待ち

直近の高値・安値にラインを引き、このラインをローソク足の実体が越えたら、ボリンジャーバンドを確認してエントリーする。

これはブレイクアウト手法といえるだろう。持ち合いから高値・安値のブレイクでトレンドに入ったと判断するわけである「。

また以下のような特殊な局面での対処が説明されている。

- ①雲の窪みに来た時

雲の窪みとは一時的に雲が細くなっている部分のことであり、その場合は「基本的にそのまま保有します。」(31 ページ) としている。

# E-BOOKのダイジェスト

## ②すぐにドデンしたくなるケース

ストップに掛かった後、再びエントリーできそうな状況ではドデンせずライン待ちをずるとしている。

ここで説明されているスキャルピングは基本的な考えは本編の手法と同じだが、スキャルピングなのでそれほど強いトレンドを拾うといった手法ではない。エントリー機会がどれくらいあるのかはわからないが、トレード時間帯を動きがある時間帯に絞っているので、

それほどエントリー機会が少ないということはないだろう。それほど労力がいらぬスキャルピングということで、面白い手法である。

Master of MA

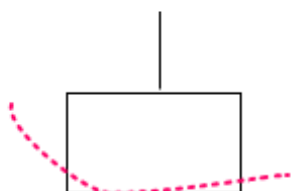
2つ目の特典は題名どおり移動平均線について説明したものである。内容は移動平均線についての一般的な説明が主だが、以下のトレード手法も紹介されている。

### <1本の移動平均線だけを用いた、究極にシンプルなトレード手法 1>

通貨ペア：指定なし 時間足：指定なし 準備：単純移動平均線線（8）を表示させ、チャートのズームを最大にする。

買いエントリー：下図のように「上反りの移動平均線が陽線を拾うように入る」「この時、カップとソーサーのように、ぴったりと沿う形であればあるほど、理想的です。」（10 ページ）次の足の始値でエントリー。

# E-BOOK のダイジェスト

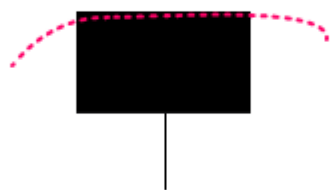


損切り：陽線の安値

利食い：ローソク足が陰線で確定し、かつ実体が移動平均線に触れたら決済。

売りエントリー：下図のように「下反りの移動平均線が 陰線に沿うように入る」「ぴったりと沿う形であればあるほど、理想的」（11 ページ）次の足の始値でエントリー。

# E-BOOKのダイジェスト



損切り：陰線の高値

利食い：ローソク足が陽線で確定し、かつ実体が移動平均線に触れたら決済。これは上昇（下降）傾向の移動平均線に上昇（下降）圧力を示す形のローソク足が接触したパターンでエントリーすることだろう。その際移動平均線はレジスタンスの役もすると考えられる。

## <1本の移動平均線だけを用いた、究極にシンプルなトレード手法2>

通貨ペア：指定なし 時間足：指定はないが、1分、5分足向き

準備：単純移動平均線（180または200）を表示させ、チャートのズームを小さめにする。

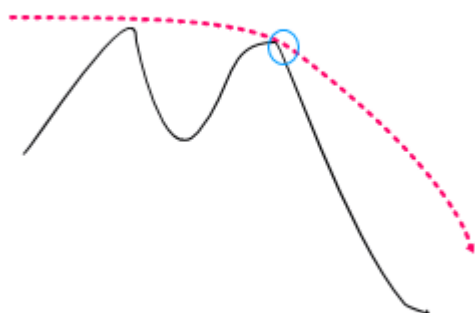
この場合は移動平均線との接触回数は少なくなり、「ほぼ点に近い形での接触&バウンド」「またぐ形でのクロス」（13ページ）が接触のパターンになるという。

エントリーの判断はその接触時にする。下図を例にすると移動平均線（赤点



# E-BOOKのダイジェスト

線)とレート(黒実線)が接触した時に、移動平均線の向き(下向きの弧)などから考えて売りエントリーとなる。



損切り：売りなら直近の平均的なローソク足3本分、買いなら下3本分

利食い：利食いは東京市場から欧州市場、NY市場など市場の切れ目を優先するという。例えば東京市場で仕掛け、利益が乗ったら欧州市場では反転する可能性があるので、東京終値で利食いするなどであり、以下のようなパターンが良く出現するという。

・東京市場突っ込み下落(上昇)→欧州市場で反転→N.Y市場でそのまま拍車

・東京前半上昇(下降)→昼前失速→午後反転→欧州・ロンドン保ち合い→N.Y

で東京の上値(下値)試し

・東京～ロンドン、動意乏しい→N.Yで爆発

・欧州・ロンドンだけ爆発(15ページ)

この手法は前出の手法よりもエントリー、決済により裁量の余地が大きく、

# E-BOOKのダイジェスト

ある程度の経験がないとうまく使いこなせないだろう。しかし長期線1本で市場毎に大きな利益を狙うという手法はシンプルでありながらなかなか面白い。

最後の特典悪癖矯正マニュアルについては初歩的な相場、順張り逆張りの意味などの説明なので、内容は省略する。ここまでが本編、3つの特典のすべての内容である。

本編についてはすでに書いたので、特典について書こう。

特典で説明されているスキャルピング、移動平均線を使った手法、どちらも考えとしては面白いし、ロジックとしても破綻している部分はない。本編のロジックとは違い、どこにでもあるとは言わないが、やはり高額な情報商材のノウハウとしては物足りない。そこはやはり特典だからだろうか。

本編と併せてもっと深くこれらの手法をどのように組み合わせ、どのように全体で運用していくかを説明していけば、もっと価格に見合った商材となったのではないか。内容的に間違いえはないし、見るべき部分もあるのだが、希少なノウハウではないといったところが結論だろうか。

トレンド転換をスバリ!山本伸一の  
**トップディーラー育成プログラム**

## 発行元情報

■発行元	株式会社グロースアドバイザーズ
■販売責任者	山本伸一
■所在地	東京都新宿区新宿 2-5-10 成信ビル 3F
■電話	03-3226-7033
■メール	info@growth-advisors.jp
■ URL	<a href="http://www.kabutomato.jp/infotop/topdealer/">http://www.kabutomato.jp/infotop/topdealer/</a>

**価格 9,980 円**

## … 目次 …

- 第1章 プロディーラーと個人投資家の違い .. 4
  - 第2章 デイトレで勝つための考え方 .. 6
  - 第3章 デイトレで勝つための指標は? ..24
  - 第4章 テクニカル分析による必勝法 ..59
  - 第5章 デイトレ・マル秘テクニック .. 73
  - 第6章 実践編 ..89
- 全 96 ページ。画像は少ないが読みやすい。

# E-BOOKのダイジェスト

これまで日経 225 先物、e-ワラントなどの商材を発売してきた著者が新たに発売したこの商材。

前2作はいささか物足りない内容であったが、本作はどうだろうか。商材は全 96 ページのマニュアルのみである。

## 第1章プロディーラーと個人投資家も違い

まず 5 ページの記述「ディーラーが取引する場合には、売買手数料はかからないという点」「個人投資家が信用売りを仕掛けられない銘柄でも証券会社はカラ売りすることもできます」。

このように市場では個人投資家より証券会社やプロディーラーが有利な点があるという。しかし一番大きな違いは「豊富なノウハウに裏打ちされた独自の投資手法があるに他ならないのです」と著者は書いている。

したがって「個人投資家でもプロが用いる株取引のノウハウを習得すれば、マーケットの勝者になれるのです」としている。

そこで元証券会社のディーラーだという著者がプロのディーラーが使っている手法を教えるというのが本書の執筆動機だそう。いままでもこの手の「プロのノウハウを教えます」という商品は多数あったが、問題は「プロのノウハウ」かどうかというより「使えるノウハウ」かどうかということだ。そこに注意して続きを見てみよう。

# E-BOOKのダイジェスト

## 第2章 デイトレで勝つための考え方

### <1. デイトレードの魅力>

デイトレードのメリットとして著者は8ページ「どんな相場でも利益を上げるチャンスが転がっている」10ページ「投資経験を積む絶好の機会が増える」11ページ「資金効率が良い」「リスクが低い」と書いている。

ここに挙げられているメリットは周知の事なので特に異論はないが、ひとつ「リスクが低い」は誤解を生みやすい表現だろう。12ページ「狙っていた銘柄を購入したところ、その日の深夜、ニューヨークの株価が大暴落してしまったらどうでしょう」と書いてあるようにここでのリスクとは銘柄を翌日に持ち越さないという意味の「オーバーナイトリスク」のことである。

確かにデイトレードは「オーバーナイトリスク」は低い。しかしその他のリスクは必ずしも低いとは言えず、それだけで「リスクが低い」と書くことはきわめて乱暴な表現であるし、誤解を招く恐れもある。誇大的な表現である。

### <2. トレード入り口と出口>

13ページ「デイトレードで重要なのは「入り口」での戦略です。」というのが著者の意見である。どちらを重要視するかは個人の投資スタイルによっても違うが、短期投資ほど入り口の重要性が増すのは確かだと思う。

### <3. ロスカットの重要性>

著者自身のロスカット設定は16ページ「デイトレードでは「狙う利幅と同

# E-BOOKのダイジェスト

幅の値幅」をお勧めしています。」としている。これはリスクリワードが1：1であり、常識的な設定だといえよう。

## <4. タイムカットを設定する>

タイムカットとは予め最大のポジション保有時間を決めて、それを越えたら無条件で決済するということである。しかしここでは具体的な設定は示されていない。どちらにせよデイトレードではポジションをオーバーナイトしないのだから、大引けまでが最大限のタイムリミットとはなるだろう。

## <5. 注文の出し方>

過去の値幅制限を元に以下を基準に利益確定・ロスカットを決めるとよいとしている。

これはひとつの目安にはなるが、あくまで各人の資金などの状況からカスタマイズしたほうがよいだろう。

株価	値幅
100 円未満	3 円
100 円～ 200 円未満	4 円
200 円～ 500 円未満	5 円
500 円～ 1000 円未満	10 円
1000 円～ 1500 円未満	20 円

# E-BOOKのダイジェスト

1500 円～ 2000 円未満	30 円
2000 円～ 3000 円未満	40 円
3000 円～ 5000 円未満	50 円
5000 円～ 10000 円未満	100 円

## 第 3 章デイトレで勝つための指標とは？

ここからはトレンド系、オシレーター系のテクニカル指標である「移動平均線、グランビルの法則、MACD、ストキャスティクス」の説明となる。

内容は一般的な概要であり、また判断方法もゴールデンクロス、デッドクロスなどの一般的な方法なので、ここでは詳細は省略する。

## 第 4 章テクニカル分析による必勝法

ここではテクニカル分析を有効に使いトレードする方法が説明されている。その内容は 61 ページで「これから紹介するテクニックは①どのような公式を、②どのように使い、③どう応用していくのか、といういままでの書籍ではなかった内容だと自負しております。」と著者は書いている。

### <1. 「ダマシ」はこのようにかわす>

ダマシを防ぐ方法については 62 ページ「過去の株価の動きに照らし合わせた上で、「売りサインは大体外れているから、高値の売りサインは無視しよう」「もみ合い相場の中のサインはかなり外れているので、トレンドが変わって

# E-BOOKのダイジェスト

からのサインに注目しよう」と書いている。しかしこれは経験則であり、それを得るためにはある程度の投資経験が必要である。

この商材がセールスレターに書いてあるように「株取引の自信ゼロから始めるトップディーラー育成プログラム」ならこの説明では不十分である。

また必ず2つ以上の分析方法を用いることも必要とのことで、著者自身は62ページ「私の場合は信頼性の高いMACDで分析を行い、今度はストキャスティクスでもう一度確認します。

その上で移動平均線で株価のトレンドを確認してから意思決定を行います」の方法で分析しているとのことだ。また指標の数値と株価の動きが逆行するダイバージェンスや各指標の動きが一致しない場合は「トレードしない」ということである。

また「MACDとストキャスティクスを重ねてみる」としてMACDとストキャスティクスを併用して判断する方法は、67ページ「例えば①の部分はMACDが0に近いところでゴールデンクロスをしていますので、「買いシグナル」です。(中略)そこでスローストキャスティクスの動きを見ると「強い買いシグナルを示していますので、そこで「買って大丈夫そうぞ」と自信を持って投資行動に移すことができます。」と書かれている。

ここで書かれていることは少し勉強した投資家なら周知のことであり、特別なノウハウではない。

### <3. 「ローソク足の突っ込み」のリバウンドを狙う>

「ローソク足の突っ込み」とは商材中には具体的な説明はないのだが、急騰・



# E-BOOKのダイジェスト

急落後の反転を狙うと考えてよいだろう。

- ①常にチャートの値動きを確認しておき、クセを見極めておく。
- ②ローソク足をチェックし、反転のタイミングを常に狙っておく。
- ③MACDとストキャスティクスの指数を確認し、数値が低ければ反転を狙えると判断する。

以上が手順であるが、この中でローソク足については以下の形を覚えておく  
と良いとしている。

## ●から傘

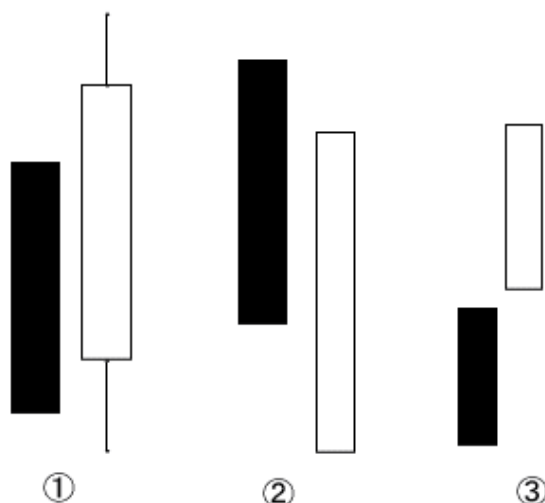
長い下ひげがある状態で、株価が強く反転することを示唆し、安値付近で見られる場合は「底」を現している。



## ●①タスキ線②行って来い線③行き違い線

下落相場のもと、この形が現れると底入れの可能性が高い。

# E-BOOKのダイジェスト



## ●三羽鳥

3日連続して株価が下落した場合。下落相場が本格化してことを意味するが、売り込まれた後にこの形が出た場合は「セリング・クライマックス」を越えている可能性もある。

具体的な判断方法は72ページ「明日は買い戻しが期待できるので、上下に大きく動きやすいぞ。寄り付きから注目しよう」ということである。さてここで説明されている方法は「2. ダマシはこのようにしてかわす」と同様特別なノウハウではない。テクニカル分析を扱った書籍などではよく見る手法である。

## 第5章デイトレマル秘テクニック

### <1. デイトレは225銘柄が狙い目>

その理由としては75ページ「自分のイメージどおりに株価が動く」「出来

# E-BOOKのダイジェスト

高の大きさ」

76 ページ「いつでもすくに決済できる」ことが挙げられている。また「マーケット全体の雰囲気を読むだけでもある程度の値動きを予測できますので、個々の業績や材料だけで動く銘柄の値動きを予測して投資するよりも投資効率は格段に上昇します」としている。これも周知の事実であり、一般書籍などでよく見かける内容だ。

## <2. 日経 225 先物の動きを元に先回りする>

225 銘柄は当然日経平均に連動しやすいので、日経平均先物の動きから個別銘柄の動きを予測するということだ。77 ページ「取引をする場合には画面上に「日経平均先物の板情報」と「225 銘柄の板情報を必ず表示させておくようにします」。

そして「日経平均先物価格が上昇（下落）したところで、まだ上昇（下落）していない 225 銘柄を購入（空売り）する」ということだ。しかし 225 銘柄の板情報をすべて見て行動するのは大変な作業だろう。あくまで数銘柄をピックアップしておき、うまくパターンにはまればエントリーするというのが、せいぜいではないか。

## <3. プロディーラーは $\beta$ 値に注目している>

$\beta$  値とは個別銘柄と日経平均の連動性を示す数値であり、数値が高いほど個別銘柄と日経平均の値動きの連動性は高くなる。

つまり 78 ページ「日経平均が上昇する場合には  $\beta$  値の高い銘柄を買い、下落すると判断した場合は  $\beta$  値の高い銘柄を空売りすればいいということになります」ということである。なお  $\beta$  値は以下のサイトで見ることができる。

# E-BOOKのダイジェスト

M S N マネー <http://money.jp.msn.com/>

$\beta$  値で日経平均と個別銘柄の連動性を測ることは有効であるが、やはりこれも 225 銘柄すべてをチェックするのは大変な作業だろう。

## <4. プロとレーダーが狙う時間帯とは?>

狙う時間帯としては 84 ページ「市場は開いてからの 30 分間、その中でも特に開始後 10 分間は取引が集中します」「そして次に集中しなくてはならないのが、午前 10 時からの 30 分間、この時間になるとアジア各国の株式市場で取引が開始されます」としている。

そして後場は「やはり開始後 30 分間は重要です。この時間帯は昼休み中の時間外取引の取引状況や為替動向が大きく影響したりします」「そして取引終了間際です」。また注意点として「13 時 25 分にはインドの市場の取引が始まりますので、こちらにも注意が必要です」としている。

## <5. マーケットが開く前に一日を予測する>

86 ページ「まずは新聞の記事に一通り目を通したり、前日の NY 市場の動きや為替動向をチェックしたりするなどして、一日の流れを予想しましょう」「そして注目銘柄の決算情報のチェックです」としている。情報入手には以下のサイトがよい。

NIKKEI NET マネー & マーケットの適時開示速報検索

<http://www.tse.or.jp/index.html>

東京証券取引所の適時開示速報サービス

<http://www.tse.or.jp/index.html>

# E-BOOKのダイジェスト

ヤフーファイナンス決算スケジュール

<http://biz.yahoo.co.jp/calendar/>

この後の第6章は実践例となるので、省略する。

商材の内容はここまでとなる。

各所で指摘したようにこの商材で書いてある内容はほとんどが一般的なテクニカル分析や投資全般の知識であり、オリジナリティーには乏しい。とても61ページで「これから紹介するテクニックは①どのような公式を、②どのように使い、③どう応用していくのか、といういままでの書籍ではなかった内容だと自負しております。」とは言えない。

「トップディーラー育成プログラム」という商品名が示すように初心者向けの体系的な内容というのなら、ある程度はそれでもいいが、それにしてもノウハウが断片的で初心者には実践が難しい部分も多々ある。1万円近い価格に見合った内容ではない。一般書籍を数冊購入した方がコストパフォーマンスは高いだろう。

100%の利益確定ポイント!!  
**ハイパワースキャルピング-FX**

## 発行元情報

■発行元	Zarigansystems.Inc
■販売責任者	末金久子
■所在地	福岡県福岡市博多区比恵町 2 - 1
■電話	092-692-7917
■メール	info@hipower-sfx.com
■ URL	http://hipower-sfx.com

**価格 24,800 円**

## … 目次 …

なし

全 31 ページ。内容が前後しているのでわかりにくい

# E-BOOKのダイジェスト

「100%ココしかない」利益確定ポイント」「10日間で182勝20敗、勝率90%超、資金180%増」とセールスレターには随分強気な表現が並ぶ、この「ハイパワースキャルピング」。

商材は全31ページのマニュアルのみである。では内容に入ろう。

## 取引通貨ペア

取引通貨ペアはドル円である。理由としては6ページ「多くの取引業者においてドル/円のスプレッドはとても有利だからです。いわゆるスプレッドが狭いことが利益に結びつきやすく、取引において大きなメリットであると捉えております」としている。

## 取引手法

7ページにある「現在レートから5 pips 上下にそれぞれ順張り新規注文を設定し、1 pips で利益確定決済。5 pips で確定決済。」。

これがこの手法のすべてとあっていい。価格の方向を予測するのではなく、細かなレートのブレを拾っていく手法だ。

有効ではあるが、注文、決済のタイミングやコスト管理をしっかりとしなければ利益を出すのは難しいだろう。

## 注文例

注文例として7ページに以下の説明がある。現在レートが1ドル90円（スプレッド1 pips）

だとすると、

「1つ目

# E-BOOKのダイジェスト

90.05 新規買い注文

90.06 利益確定ポイント

90.00 損切り確定ポイント

2つ目

89.95 新規売り注文

89.94 利益確定ポイント

90.00 損切り確定ポイント」

売り買い2つの新規注文を同時に出すのだが、どちらかの注文が約定したら、もう片方の注文は取り消すとしている。

注文方法

注文方法は以下の3つがあり①が基本となる。

①新規 IFD 注文 + 成行決済

具体的には 10 ページ「新規 IFD 注文は、新規逆指値注文とストップ（損切り）逆指値注文を同時に設定する際に活用します利益確定ポイントでの注文は「成行」で行ってください」としている。

②新規逆指値注文 + 利益確定（成行決済）、損切り確定（成行決済）

この注文方法については「損切りの成行決済は、損切りをためらったり、膨大な含み損を抱え大きな損切りや強制ロスカットに繋がる恐れがありますので、できればこのやり方は望ましくないと思われます」としている。それならば商材に記載しない方がよいだろう。いたずらに購入者を悩ますだけである。



# E-BOOKのダイジェスト

## ③ IFDOCO（新規逆指値 + 利益確定（指値） + 損切り確定（逆指値））

IFDOCO 注文は一度に 3 つの指値注文と決済注文ができ便利であるが、10 ページ「業者によっては新規注文値や現在レートからある一定の pips 幅を開けておかないと注文を設定できない場合がありますので、IFDOCO 注文は注文を設定することができる業者に限って例外的に捉えてください」としている。わかりにくい文章だが、制限がなく自由に注文ができる場合のみ IFDOCO 注文を使うということである。

### 新規注文時の注意事項

この手法では利益確定 1 pips、損切り 5 pips とかなり狭い範囲で売り買い 2 つの注文を同時に出すので、タイミングよく注文を出さないと想定通りに注文が約定せず、損失を出す可能性がある。

それに対しては 11 ページ「新規「売」注文、または新規「買」注文どちらかの注文しか設定していない場合に、その片方の新規注文が約定した場合、もう片方の新規注文を設定する必要はありません」「レート変動がとても激しく、注文の途中で新規注文値にレートが到達した場合は（約定していない状態を想定しております。

設定しようとした注文値にすでにレートが到達してしまった場合）、速やかにすべての注文を取り消し、はじめからやり直してください。」としている。商材では「約定していない状態を想定」としているが、実際には約定してしまうケースもかなりあるだろう。その際はもちろん注文をやり直せばわずかとはいえ損失になる。

# E-BOOK のダイジェスト

## 1pips の利益、5pips の損切り

11 ページに「1pips の利益、100%ココしかない利益確定ポイントです」とあるし、セールスレターにも同様の記述がある。

確かに 1pips 以下では利益確定できないので「ココしかない」のではあるが、さも理論的に割り出した利益確定ポイントであるかのような表現である。これは誇大広告的といえるだろう。

また「新規注文値から利益までの最短距離で、最も利益確定の確率が高く、最も利益が出やすいポイントです。」ともあるが、これも当たり前の話である。重要なのはトータルで利益が挙げられるかということである。この手法のリスクリワードは 1 : 5 である。

この設定ならばある勝率は高くなるが、トータルで利益を出すためには大雑把に言っても 90%程度の勝率は必要になるだろう。しかしセールスレター、商材中にもこれを裏付ける証拠はなく、デモ口座などの検証なくしては商材の内容をそのまま信用するわけにはいかない。

## 取引時間帯、取引回数

基本的に取引時間、取引回数の制限はないが、以下の時間帯は取引を避けるとしている。

13 ページ「それは重要な経済指標の発表時です。具体的には発表の 10 分前から発表後 30 分程度はやめておきましょう」「そして毎月第一金曜日の米雇用統計時は発表 1 時間前から、その日に取引はやめておきましょう」としている。

# E-BOOKのダイジェスト

重要な経済指標は以下のサイトでチェックし、米国経済指標発表時は取引を避けるとしている。

- ・ひまわり証券株式会社

<http://sec.himawari-group.co.jp/report/weeklycalendar/>

- ・三菱商事フューチャーズ証券

<http://mcfs.jp/kawase/mcfsnews/indicator/forecast.php>

## 取引業者選定

取引業者の条件として18ページ「取引手数料は無料であることが条件です。繰り返しになりますが、スプレッド0～1pipsの範囲であることも条件です」としている。以下の業者が参考としてあげられている

- ・株式会社外為オンライン

<http://www.gaitameonline.com/>

ドル/円スプレッド1 pips「原則固定」

- ・クリック証券

<https://www.click-sec.com/>

ドル/円スプレッド0.8「原則固定」

- ・DMM FX

<http://fx.dmm.com/>

ドル/円スプレッド0～0.8pips「変動上限あり」

資金管理・複利運用について

資金管理については23ページ「取引される業者のレバレッジにもよりますが、50～200倍（400倍でも可）を想定しますと、10万円の資金で1回

# E-BOOKのダイジェスト

の取引は10万通貨数が望ましいと思います。」としている。これは20連敗したら資金が無くなるということで、まあ常識的な設定だ。複利運用については毎取引ごとに全額つぎ込むのではなく、「複利運用は月単位で運用を行ってください。月末時点の資金を基に来月の資金管理を計算し、単利運用してください」としている。

## 注意事項「次の取引について」

また注意事項として24ページ「常に1つのポジションで取引を行ってください」としている。

これはリスクの点から考えれば1つのポジションを5万通貨にすれば問題ないと思われるが「明確な資金管理が崩れますし、利益確定ポイントを見逃す恐れがありますのでおすすめいたしません。必ず、一つの注文が決済してから、次の注文を行ってください。」としている。

手法についての説明はここまでであり、以下はメンタル的な内容となるので、概要のみ説明する。

## 勝ち組の考え方、心構え

ここでは理想のトレーダーになるためには26ページ「情報を入れない」27ページ「機械的に淡々とルールに沿って取引を継続するだけの話です。」としている。

## スキャルピングである必要性

スキャルピングである必要性として27ページ「1回当たりの取引時間が最

# E-BOOKのダイジェスト

短で、寝ている間には取引を一切せず、その場その場で確実に結論を出す取引手法がとても合っているのです。これは、約4000名を対象にしたある統計から導かれた結論です。」としている。

しかし統計でこのようなことが完全にわかるとも思えず、いささか偏った見方である。また調査元のソースも明示されていないので、根拠に乏しい。商材の内容はここまでである。

まとめに入ろう。

確かに1pipsという利益確定に対し、5pipsという損切りを考えると勝率は高いだろう。セールスレターには「10日間で182勝20敗、勝率90%超、資金180%増」とある。「資金180%増」は別として「勝率90%超」は可能なラインだろう。しかし「10日間で182勝20敗」ということは1日の取引回数は20回弱である。

いくら取引時間に制限はないとはいえ、1日20回のトレードは人によってはかなりの負担である。逆に言えばこれだけの作業をしなければセールスレターにあるようなパフォーマンスは残せないということだろう。

確かにこの手法ならテクニカルも不要であるし、初心者でも簡単に取り組めるだろう。しかしよほど注文をすばやくしないと予期せぬ約定などがあり、損失を出すことも考えられる。

自動売買ならともかくこの作業を1日20回も間違いなく繰り返すのは至難の業ではないか。少なくとも昼間の勤めを終えたサラリーマンが気軽にでき

# E-BOOK のダイジェスト

る手法ではない。またレートが小刻みに上下し、損切りが繰り返される可能性はかなりあると見る。いずれにしてもそれほど簡単に利益を挙げられる手法ではない。もし興味があるならデモ口座で十分利益が出せるようになってから実践すべきだろう。

# Profit Maker

## 発行元情報

■発行元	株式会社インヴィンシブル
■販売責任者	鈴木憲司
■所在地	愛知県清須市西田中白山16-302
■電話	052-938-6557
■メール	info@profitmaker-k.com
■URL	<a href="http://profitmaker-k.com/">http://profitmaker-k.com/</a>

価格 29,800 円

## … 目次 …

PART 1 基礎編

PART 2 取引環境の設定

PART 3 Profit Maker の概要・取引対象の紹介

PART 4 実践編ー基本トレーダー

PART5 応用編ーリスク回避と利益率アップ

PART6 応用編ースイングトレーダー

PART7 資金管理

PART 8 複利運用

PART9 総集編

全 159 ページ。マニュアルが細かく分かれていて読みにくい。

# E-BOOK のダイジェスト

「月間 39,600pips を獲得できて勝率 98%を推移する FX 売買ルール」（セールスレター）とかなり強気な売り文句のこの商材「プロフィットメーカー」。「月間 39,600pips」と言えば 1 トレード 1 万通貨だとしても月間利益は 396 万にもなる。

にわかには信じられないパフォーマンスであるが、結論は内容を見てからにしよう。商材はパート 1 からパート 9 まで全 156 ページのマニュアルからなる。

## PART 1 基礎編

ここでは為替相場の概要について書かれている。主にトレンドについての説明となっている。いずれも一般的な内容であり、特別な部分はない。

## PART 2 取引環境の設定

ここでは取引環境の設定について書かれている。CMS ジャパンの取引システム「VT トレーダー」に付属の「トレーディングシステム」を使用するので、CMS ジャパンの口座（デモ可）が必要になる。「VT トレーダー」のチャートには以下の設定をする。

- ①高値線、安値線を消す
- ②ボリュームを消す
- ③移動平均線（10SMA/ 20SMA）を表示させる
- ④トレーディングシステムの「VT-Level Stop Reverse System」を追加する（設定はそのまま）。



# E-BOOK のダイジェスト

この VT-Level Stop Reverse System のロジックは以下である。

ロングエントリー：終値が Trailing Stop Level を上回った時。

ロングエグジット：終値が Trailing Stop Level を下回った時。

ショートエントリー：終値が Trailing Stop Level を下回った時。

ショートエグジット：終値が Trailing Stop Level を上回った時。

引用元 CMS ジャパン

<http://www.cmsfx-japan.com/tool/feature/introduction/006.shtml>

Trailing Stop Level はボラティリティか pips を選択でき、ボラティリティの算出には ATR が使われている。

つまり予め決めたボラティリティまたは pips を終値が上抜いたらロング、下抜いたらショートでエントリーし、反対サイン出現でエグジットするというロジックである。

買いサインは青い上向き矢印、売りサインは赤い下向き矢印が表示される。

⑤ MACD を表示させる（設定はそのまま）。

⑥ Aroon Oscillator を表示させる（設定はそのまま）。

## PART 3 Profit Maker の概要・取引対象の紹介

ここでは手法の概要について書かれている。「システムトレードと裁量トレード…対立する2つのトレードスタイルが融合することでシンプルでありながら値動きの利にかなった取引を実現した新しいトレードスタイル“1・2・3ステップトレードの理論”」（2ページ）。

この文章を読む限りではシステムトレードがベースながら裁量もある程度取

# E-BOOKのダイジェスト

り入れた手法ととれるが実際はどのようなのだろうか。

「1・2・3ステップトレード」はその名が示すように以下の3ステップを踏んでトレードするという。

1. 売買サインの発生をチェック（テクニカルを見るシステム要素）
2. 値動きの3つのポイントをチェック（値動きを見る裁量要素）
3. エントリー

以下詳しく説明する。

## <1. 売買サインの発生をチェック>

ここではまずトレンドの把握をするという。その判断は「移動平均線の向き及び形状と VT-Level Stop Reverse System の矢印による売買サインで確認します」としている（3ページ）。具体的な手順は以下となる。

1) まず移動平均線を見る。「注目するポイントは2つの移動平均線がクロスする「ゴールデンクロス・デッドクロス」となります。」（3ページ）と書いている通り、判断はゴールデンクロス→買い、デッドクロス→売りとなる。一般的な判断基準である。

2) 次に VT-Level Stop Reverse System の売買サインが出現しているかを確認する。以下のようにこの2つのサインが重なった場合に次のステップに進む。

買い

- ・ 10MA と 20MA のゴールデンクロスまたは 10MA が 20MA の対して急接近後離反

- ・ VT-Level Stop Reverse System の上向き矢印

# E-BOOK のダイジェスト

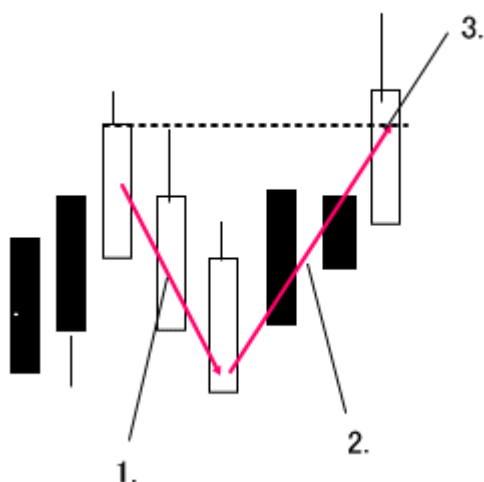
売り

- ・ 10MA と 20MA のデッドクロスまたは 10MA が 20MA の対して急接近後離反
- ・ VT-Level Stop Reverse System の下向き矢印

## <2. 値動きの3つのポイントをチェック>

ステップ1 だけでは「為替相場にある「横ばいトレンド」を回避できないということです。」(8 ページ) とし、ここではさらに値動きもチェックするという。確かにステップ1 で使用している2つの指標はトレンドフォロー型であり、それだけではレンジ相場では機能しないことは予測できる。値動きの判断ポイントは以下の3つである。

1. 値動きの反発を確認。(エントリー価格の把握)
  2. 値動きの折り返しを確認。(値動きの方向性がトレンドに戻ったことを確認)
  3. 直近の高値レートへ到達。(トレンド継続の可能性を確認)
- 具体的には以下のようにローソク足がV字型の動きをするということである(売りの場合は逆V字型)。



これは一時的な押し目のあと、直近の高値をブレイクしたパターンであり、一般にはトレンド継続の力が強いと考えられている。このステップは「値動きを見る裁量要素」（前述）という言葉に反して裁量が入る余地はほとんどなく、補足的なルールとあってよいだろう。

「このステップ2は従来のシステムトレードが勝ち続けることのできない原因である「固定ルールのトレードの寄り相場の変化に対応できない」という問題を解決することができます。」（11 ページ）というほど大層なものではない。従来のテクニカル分析の域を出ていない。

### <3. エントリー>

ステップ1, 2の条件をクリアしたら、最終チェックとしてMACDとAroon Oscillatorのサインを確認する。

判断は一般的なラインの位置で買われすぎ、売られすぎを見る方法であ

# E-BOOKのダイジェスト

る。具体的にはステップ2で直近の高値をレートがブレイクした時、同時にMACDとAroon Oscillatorが「売られすぎ」レベルなればエントリーする（売りは逆）。

この売買ロジックは基本的にはテクニカル分析を元にしたトレンドフォロー型のシステムトレードである。またテクニカル分析もそれほど特別な方法を使ってはいない。

商材の「システムトレードと裁量トレードの融合」（前述）から連想されるような新しい手法ではない。またMACDとAroon Oscillatorのチェックだけで「全てと言っていいほどのダマシサインが浮き彫りになります。」（セールスレター）が可能とは思えない。

## <取引対象となる通貨ペア時間足、及び利幅とストップ幅>

取引対象の通貨ペアと時間足は以下となる。

①ドル円：1, 2時間足 ②ユーロ円：1, 2時間足

またそれぞれのリミット幅、ストップ幅は以下となる。

通貨ペア	時間足	リミット幅	ストップ幅
ドル円	1時間足	80pips	直近の高値安値から±20pips
	2時間足	120pips	直近の高値安値から±30pips
ユーロ円	1時間足	100pips	直近の高値安値から±30pips
	2時間足	140pips	直近の高値安値から±50pips

# E-BOOKのダイジェスト

## PART 4 実践編ー基本トレーダー

ここでは実際にトレードする際の手順について書かれている。大まかには以下の流れとなる。

流れ1・トレンドの前兆を確認し把握

流れ2・トレンドの確定要素を確認

流れ3・エントリー確定要素を確認

流れ4・エントリー

流れ5・決済とポジションの再設定

エントリーの具体的な作業はすでに書いているので省略するが、実際のエントリーに際しては以下の条件で約定することが望ましいとしている。

買い注文価格：直近の高値から+ 5pips 以内の価格でエントリー

売り注文価格：直近の安値から- 5pips 以内の価格でエントリー

## PART5 応用編ーリスク回避と利益率アップ

ここでは途中決済やポジションの追加など応用的にトレードする方法について書かれている。

### <1. 保有ポジションの途中決済>

保有ポジションを途中決済するケースは以下となる。

1) 警戒：値動きの方向性の変化を把握し、手動決済の準備をする。

「保有ポジションと対になる売買サインが確認できた場合は、保有ポジションが決済される前にトレンドが転換する可能性があるため、警戒が必要にな

# E-BOOKのダイジェスト

ります。」(4ページ) わかりにくい表現だが、移動平均線と VT-Level Stop Reverse System の反対サインがでたら、ということである。

## 2) 実行：手動決済に踏み切る

実際には1)の状態では決済せず、「トレンド確定の要素である反発・折り返し・到達を確認したら」(5ページ) 決済することになる。これもわかりにくい表現だが、エントリー時のV字型のパターンを確認したのと逆と考えればいい。買いポジション保有時にV字型が出現したら決済ということである(売りの場合は逆)。

## <2. 追加注文>

トレンドが継続すると判断した場合は最初のポジションが決済されたあと追加注文をするという。その判断ポイントは以下である。

### 1) 上昇トレンド継続の判断

「買いポジション決済後、値動きの反発から10MA、20MAを超えることなく、再度上昇トレンドへ折り返し、直近の高値に価格が到達している」(7ページ)

### 2) 下降トレンド継続の判断

「売りポジション決済後、値動きの反発から10MA、20MAを超えることなく、再度下降トレンドへ折り返し、直近の安値の価格が到達している」(7ページ) いずれも一時的な押し(戻り)があったが、サポートが強く直近の高値(安値)まで価格が到達したので、トレンドが続くという判断であろう。トレンドの継続を確認したら以下の手順で追加注文を入れる。

### 3) 買い追加注文

- ① MACD と Aroon Oscillator の買いサインを確認
- ② 直近の高値の価格から + 5pips 以内のエントリー

# E-BOOKのダイジェスト

③リミットは初回エントリーの2分の1の幅で設定

④ストップは初回エントリーと同様に設定

4) 売り追加注文

① MACD と Aroon Oscillator の売りサインを確認

②直近の高値の価格から－5pips以内のエントリー

③リミットは初回エントリーの2分の1の幅で設定

④ストップは初回エントリーと同様に設定

この途中決済・追加注文については妥当な判断基準だとは思う。

## <3. 利幅の設定変更>

ここではより勝率を高めるための利幅の縮小、トレイリングストップについて書かれている。

1) 利幅の縮小

以下が推奨されている利幅だが、特に適用条件は指定されていない。

通貨ペア	時間足	リミット幅	ストップ幅
ドル円	1時間足	40pips	直近の高値安値から±10pips
	2時間足	60pips	直近の高値安値から±20pips
ユーロ円	1時間足	50pips	直近の高値安値から±20pips
	2時間足	70pips	直近の高値安値から±30pips



# E-BOOK のダイジェスト

## 2) トレイリングストップ

以下がトレイリングストップの設定だが特に適用条件は指定されていない。

通貨ペア	時間足	トレイル幅
ドル円	1 時間足	40pips
	2 時間足	60pips
ユーロ円	1 時間足	50pips
	2 時間足	70pips

## PART6 応用編—スイングトレード—

ここでは応用としてスイングトレードの方法が書かれている。基本的に方法は同じだが、リミット、ストップなどの設定は以下となる。

通貨ペア	時間足	リミット幅	ストップ幅	トレイル幅
ドル円	日足	1 5 0 300pips	直近の高値 安値から± 50～80pips	150pips
	週足	3 0 0 600pips	直近の高値 安値から ± 100～ 150pips	300pips
ユーロ円	日足	3 0 0 600pips	直近の高値 安値から ± 100～ 150pips	300pips

# E-BOOKのダイジェスト

## PART7 資金管理

### <最大ドローダウンを20%に抑えた余裕資金・余剰資金>

ここでは「過去の結果から（中略）4つの銘柄同時運用による最大ドローダウンの pips 数は - 329 pips という結果が出ています。」（3 ページ）という前提から、最大損失額は資金の 20% に納まるようにするという。

例えば 1 万通貨でトレードする場合、「 $32,900 \text{ 円} \times 5 = 164,500 \text{ 円}$  プラスアルファの余裕を持たせて約 20 万円で 1 万通貨のトレードを実施することができます。」としている。デイトレードの資金管理としてはやや余裕があると思うが、妥当な設定だろう。

この他は「デモトレードでの練習」や「保有ポジションの管理」などについて書かれているが具体的な方法が説明されていないので省略する。

## PART 8 複利運用

ここでは複利運用について書かれている「たったの 200 pips でも毎月継続させ複利で運用することで、3 年後には資金が 7,000 万円を超え、4 年目に突入から数ヶ月で資金を億単位まで膨らませることができてしまいます。」（セールスレター）とあるようにこの手法では複利運用を重視している。

しかしご存知のように複利運用は成績に波がある手法では逆に大きく資金を減らす可能性がある。この手法ではそれが問題ないほど安定した成績なの

# E-BOOKのダイジェスト

だろうか。確かに冒頭に書いたように「勝率 98%」であれば大丈夫だろう。しかしそれを証明する証拠はセールスレターに載っているグラフのみである。これだけでは信用するわけにはいかない。

リスクの高い複利運用を推奨するのならもっと信頼できるデータの提示が必要である。また複利運用する際の注意点として以下が挙げられているが、具体的なリスク回避方法とはとてもいえない漠然とした内容である。

## 1) 自身の収益性の把握とスパンの設定

「まずは、デモトレードや小資金からの投資で、自身の取引からどれくらいの収益をどれくらいのスパンで得ることができるのかを把握してから、複利運用に挑んでください。」

(5 ページ)

## 2) 継続的なプラス収支

「継続的なプラス収支は、複利運用をするに当たり必須（理想）条件となります。」(5 ページ)

## 3) 1000 通貨単位での投資

複利運用の場合「投資の内容によっては 1,000 通貨単位の操作する形になります。」(6 ページ) ということなので 1000 通貨単位でトレードできる業者の口座が必要ということである。

## 4) 複利運用で大きな損失が発生した場合のリスク回避

「万が一、大きな損失を出してしまった場合は、取引額の減額をお勧めします。」(7 ページ)

# E-BOOK のダイジェスト

## PART9 総集編

ここでは総集編ということでこれまでのまとめとなっている。ほとんどの部分が重複するので違う内容は省略する。

商材の内容はここまでである。

これまでも書いたように手法は特別な部分はないにしても、オーソドックスなトレンドフォローであり、それほど利益が出ない手法ではないだろう。しかしそれと「月間 39,600pips を獲得できて勝率 98%を推移する FX 売買ルール」(セールスレター) など一見非常識なハイパフォーマンスを堂々と宣伝するのは別の話である。

もちろん頭からこれを否定するつもりはないが、このような宣伝をするならば確固とした証拠となるデータを提示するのが当然である。それをしない(できない)のなら誇大広告といわれても仕方がない。

また同様にリスクの高い複利運用を推奨しておきながら、具体的な運用方法やリスク回避方法がないのも問題である。初心者がこれを鵜呑みにして実践し、大きな損害を出す可能性もある。とてもオススメできる商材ではない。

# FX メタバード

極めれば、美「プロトレーダー仕様・高確率 MT4 プロファイルズ!レンジにも強い!初級者~上級者までを完全カバーする至高 MT4Profiles と資産増への明瞭な手法公開

## 発行元情報

■発行元	Zarigansystems.Inc
■販売責任者	古手川真人
■所在地	千葉県浦安市北栄 1 - 1 - 1 5 4F
■電話	047-355-8277
■メール	support@fx-metabird.com
■ URL	<a href="http://www.fx-metabird.com/index.html">http://www.fx-metabird.com/index.html</a>

**価格 52,800 円**

## … 目次 …

エントリーの前に・・・3  
メイン手法（逆張り・順張り）・・・22  
サブ手法（順張り）・・・34  
付属：メタトレーダー設定ファイル、  
特典（全 40 ページ、導入説明書（全 15 ページ）  
全 43 ページ。  
デザインは綺麗で読みやすい。

# E-BOOK のダイジェスト

インフォカートの 30 日間売り上げランキングでも 1 位を獲得したこの商材、セールスレターを見ると派手なデザインの割には内容はおとなしめである。

商材は全 43 ページのマニュアル、全 15 ページの導入解説書、全 53 ページの特典とメタトレーダー用のファイルからなる。

使用するシステムは Broco 社の BrocoTrader4 が推奨されているが、これは他のメタトレーダーでは日足が週 6 本で表示されてしまい、大きなトレンドを見る際にずれが生じるためだという。

では内容に入ろう。

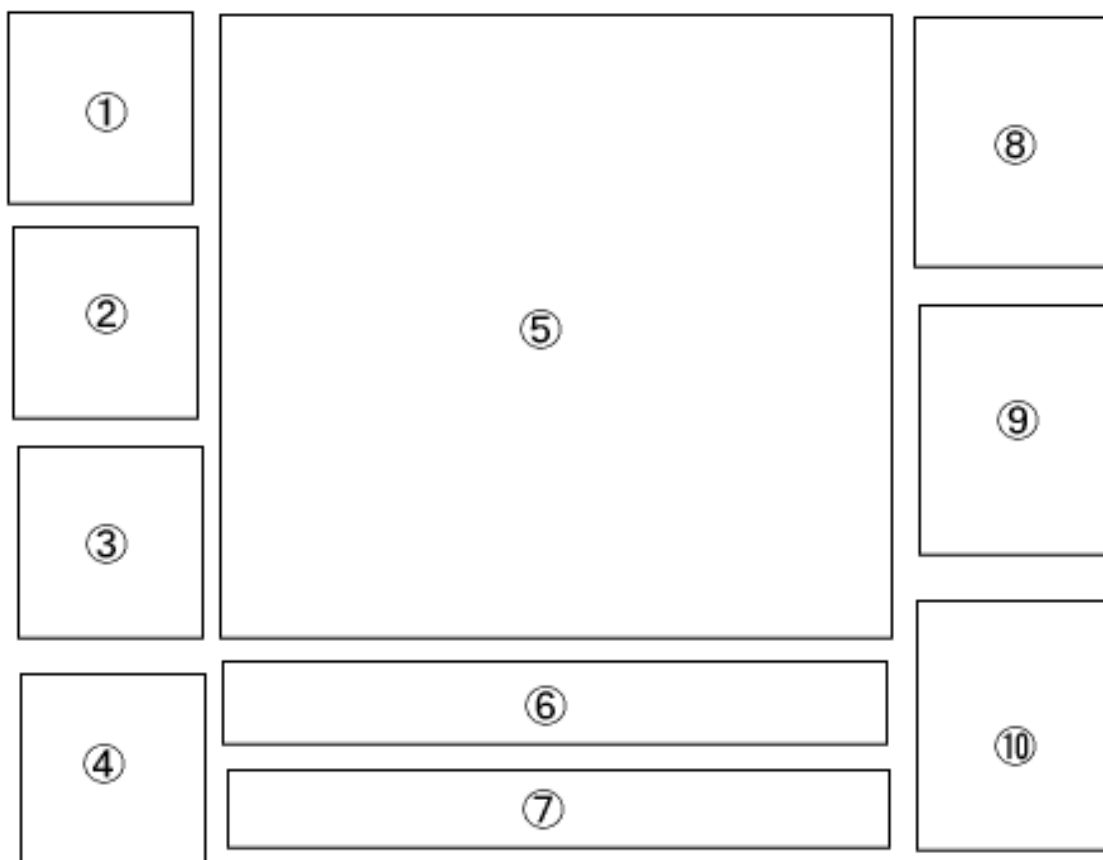
## 画面説明

まずメタトレーダーにファイルを設定すると左に 4 つ、右に 3 つのサブチャート、真ん中にメインチャートが表示されるようになる。

各チャートとも通常は 5 分足に設定されている。

以下各画面を説明する。

# E-BOOK のダイジェスト



## ① NY ダウ

## ② NY ダウ先物

## ③ WTI 原油先物

## ④ ロンドン金相場

これらのチャートは「上記4つに引っ張られて為替が動くことも大変多いので（中略）常時監視しているという訳です」という理由から設置されている。慣れてくれば1時間足などより大きな時間枠に変えてもよいということだ。

## ⑤ メインチャート

表示されているインジゲーターは以下となる。

I エンベローブ (MA\_Period10、MA\_Method1、Deviation0.2)

# E-BOOKのダイジェスト

移動平均線との乖離を示し、ボリンジャーバンドのようにローソク足の上下に1本ずつ表示される。

Ⅱ ボリンジャーバンド ( $\pm 2\sigma \sim \pm 3\sigma$ 、21)

Ⅲ サポート・レジスタンス

Ⅳ 単純移動平均線 6本 (6, 12, 55, 75, 100, 288)

Ⅴ ピボット (300)

R3 ~ R1、L3 ~ L1が表示される。

Ⅵ 一目均衡表 (Tenkan8, kijyun25, Senkou51)

15分足で雲と遅行スパンが表示される。

## ⑥ サブチャート1

I MACD (FastEMA6、FFastEMA5、FFFastEMA4、SlowEMA13、SSlowEMA12、SSSlowEMA11、SignalSMA9、SSignalSMA8、SSSignalSMA7)

区間が異なる3種類が表示されている。各ラインが上昇すると「TRENDUP」、下降すれば「TRENDDOWN」という文字が表示される。これは各ラインの動きから判断していると思われるが、それほどそれぞれの動きは変わらないので一組のMACDで十分な印象である。

## ⑦ サブチャート2

I 値幅

1日前、直近5日間の平均、10日間の平均、20日間の平均の値幅、当日の高値安値が表示されている。

Ⅱ 日本時間

メタトレーダーでは通常米国時間で表示されているので、これを日本時間に直して表示している。



# E-BOOKのダイジェスト

⑧～⑩はメインチャートに表示されている通貨と相関性の高い通貨のチャートが表示される。扱う通貨はドル円、ポンド円、ユーロ円、ユーロドルの4つなので、これらの中からメインチャートに表示させた通貨以外の3つが表示されることになる。

ここでは商材と同じチャート設定を説明したが、同じ設定にすると多種のインジゲーターが表示されかなり複雑になる。メインに使うのは2, 3種類のインジゲーターなので、後述する売買ロジックを読んで各自アレンジしたほうがよいだろう。実際著者もこう書いている。

「チームメタバードの仲間が実際に使っている画面はエンベローブにMAを1本のみ、もしくは抜いている画面です。(中略) 裁量トレードのスキルが高い方、この手法を使い込んだ方はMAがなくても利益を出せると思いますが、初心者の方にも判り易い様にデフォルトではMAを6本追加し、その他視覚的に優れたインジゲーターも追加させていただきました。」

## エントリー前の確認事項

「トレードに入る前に、全体の流れを把握する必要があります」ということで以下の手順で相場状況を確認する。

- ①重要指標や要人発言などのスケジュールをチェックし、「重要指標発表時15分前からはエントリーしない」「発表後大きく動いた時は落ちつくまで警戒する」などの対策を取る。
- ②その日の値幅を予測・確認し今後の値動きの仮説を立てる。
- ③ピボット、サポート・レジスタンスの位置を確認。

# E-BOOKのダイジェスト

- ④より大きな時間軸でサポート・レジスタンスの確認。
- ⑤トレンドライン。フィボナッチを引く。
- ⑥一目均衡表の雲、遅行スパンの位置関係を確認。
- ⑦現在の時間足から4つ分大きな時間足から順番に見ていき、トレンドを確認する。

ここではいくつもの手順で相場状況を確認するが、各ポイントでの具体的な判断方法は書かれていない。「その日その通貨が何に反応しているか（MAなのか、トレンドラインなのか）を早く見極めることが大切です。」とあるのみだ。この説明のみでは不十分であり、初心者ではどのように判断したらよいか見当もつかないだろう。

## トレンドの見極め方

著者も前述した説明では初心者向けではないと考えたのか、ここでは一変して簡単なトレンドの見極め方が以下のように説明されている。

### <上昇トレンド>

「必ず高値と安値を切り上げていく。これだけです。」そして上昇トレンドが終了する時は「貯金の高値を越えられずに直近の安値を割った場合です。」としている。

### <下降トレンド>

「必ず高値と安値を切り下げていく。」そして下降トレンドが終了する時は「直近の安値を割れずに直近の高値を上回った場合です。」としている。

### <レンジ相場>

上昇トレンド、下降トレンドいずれでもない時はレンジ相場と

# E-BOOKのダイジェスト

判断できるが、基本的なエントリー方法は「上昇トレンドからレンジに入った場合は安値を割り込まない限りは押し目買い、下降トレンドからレンジに入った場合は高値を越えない限りは戻り売り」としている。

その他の判断材料としては以下が挙げられているが詳しい説明はない。ここでも説明が不十分だ。また前述したいくつかの手順を踏む方法とここで説明されている簡単な方法をどのように使い分けたらよいかの説明もない。

- ・トレンドライン割れ
- ・サブウィンドウ 1 の表示
- ・日足などの大きな時間足でのローソク足の方向
- ・時間足での MA (21) の向き

## メイン手法

### <エントリー>

メイン手法はレンジ相場かゆるやかなトレンド相場に適しているという。エントリールールは以下のみだ。

「メインチャートの緑色の 2 本線（エンベローブ）を下にタッチしたら買い、上にタッチしたら売り、が基本です。」

また手法に慣れないうちは「下降トレンド時は上のエンベローブで戻り売り、上昇トレンド時は下のエンベローブで押し目買い」とトレンド方向のエントリーが推奨されている。

補足的に「MACD のクロス、ボリンジャーバンドの  $\pm 2\sigma$  をレートが超える」

# E-BOOK のダイジェスト

などの条件を加味すればよりエントリーを絞り込めるとしている。

## <利益確定>

利益確定は「エントリーと反対側にエンベローブにタッチ、またはその数 pips 手前で利益確定するのが基本。」しかしトレンドが強くまだ伸びそうだと判断した場合は MA (12) にストップを置き、ボリンジャーバンドの±3σまで利益確定を待っても良いとしている。

## <損きり>

目安としてエンベローブから以下の値幅、レートが逆行したら損きりする。これはリスクリワードを 1:2 に計算している値だという。

- ・ユーロ円 15pips
- ・ドル円 9 pips
- ・ポンド円 30pips
- ・ユーロドル 15pips

メイン手法は一般的なボリンジャーバンドを使った逆張りと考え方は同じで、代わりにエンベローブを使っている。

押し目、戻りを狙う場合は順張りになる。しかしこの単純なインジゲーターの置き換えだけでそれほど利益がでるのか、疑問である。

## サブ手法

サブ手法はメインチャートのみを使用する順張りである。商材ではサブ手法用にメインチャートのみを表示に切り替えが可能となっている。

使用する時間足の指定はないが、長い時間足のほうがダメージがでにくいということである。

手順は以下となる。

# E-BOOKのダイジェスト

- ①より大きな時間足を見て、トレンドを把握する。
- ②トレンドシグナルの色（上昇、下降）と高値や安値の切り上がり、割れをチェックする。  
トレンドシグナルというのはサブチャートのMACDの動きに従って表示されるシグナルのことで、実際にはMACDの上昇・下降を見てトレンドを判断すればいいだろう。
- ③サポート・レジスタンスラインがローソク足とくっついているポイントをチェックしてトレンドを確認する。これはできるだけローソク足が近づいているポイントがトレンドの転換点になる可能性が高いのでそこをチェックするという意味である。

## <エントリー>

### ・買い

「ボリンジャーバンドの $-2\sigma$ より外側でサポート・レジスタンスラインがローソク足とくっつき、一旦上昇した後の押し目で買い」そして「直近高値を超えていけばそのままホールド、ボリンジャーバンドの $+2\sigma$ 付近で利食い」

### ・売り

「ボリンジャーバンドの $+2\sigma$ より外側でサポート・レジスタンスラインがローソク足とくっつき、一旦下降した後の戻りで売り」そして「直近安値を超えていけばそのままホールド、ボリンジャーバンドの $-2\sigma$ 付近で利食い」

## <損きり>

損きりは特に指定はないが、エントリーポイントの一つ前のサポート・レジスタンスラインがローソク足を下回るようならトレンド転換なので損きりす

# E-BOOKのダイジェスト

るとしている。

特典については相場の心構え、テクニカル指標の説明など一般的な内容に留まっているので大部分はここでは省略するが、売買手法とも関わる部分のみ記載する。

## 為替と他の相場

「・ポンドは原油に引っ張られることが多い。・NYダウが強いとドル高になりやすい。・日経平均と豪ドル円はほぼ連動する」具体的な説明はこれだけである。

サブチャートにもNYダウなど他のチャートを表示させているので、もう少し詳しいノウハウがあると思ったのだが期待はずれだった。

これではサブチャートを表示する必要はないのではないか。

商材の内容はここまでである。

まず売買手法だが多種のインジゲーターを設定しているが、基本的にはボリンジャーバンドを使った逆張りと同じであり、それをエンベロップで代用しているに過ぎない。この部分だけではそれほど優位性があるとは思えず、実際は他の多数のインジゲーターを使い総合的に判断し、トレードすることだろう。

しかしそうだとすれば各所で具体的な説明が不足している実際サブチャートで表示している相関性の高い通貨のチャートをどのように判断するかという説明はまったくないし、NYダウやWTI原油先物などの他の市場についても特典に前述の記載があるのみだ。またエンベロップ以外のボリンジャーバン

# E-BOOKのダイジェスト

ド、フィボナッチ、トレンドライン、一目均衡表、ピボット、MACD、移動平均線など他のインジゲーターの使い方についても具体的にどのように体系立てて判断するのかの説明がない。

エントリー前の確認事項についても同様だ。システムが出すシグナルにしたがって売買するだけの完全なシステムトレードならこれでもよいが、この売買手法はかなり裁量が入っている。ある程度の知識と投資技術がなければこの商材の説明だけで、この売買手法の実践は難しいだろう。

しかしセールスレターには「初心者から上級者へ」「初心者のあなただから先入観無しに使っていただけるとおもうのでお勧めです。」などと書いてある。これは明らかに誇大広告である。

またこれほど多種のインジゲーターを使う必要が本当にあったのかも多いに疑問だ。いたずらに売買手法を複雑にしてしまった感は否めない。売買手法の有効性はともかく商材としての完成度は低いといえよう。

# ユダヤのサイン

もう塩漬け株とはサヨナラ！ 月に400万円を株で稼ぐ女性トレーダーの方法を初公開！「お金の達人」ユダヤ人が使う「上がる株のを見つけ方を使えば、あなたも明日から株で裕福な生活ができる

## 発行元情報

■発行元	オフィスユダヤのサイン
■販売責任者	槁本 敦子
■所在地	東京都港区南青山 2-17-3
■電話	03-5474-4803
■メール	yudaya.sain@gmail.com
■URL	<a href="http://infoyudaya.com/">http://infoyudaya.com/</a>

価格 54,800 円

## … 目次 …

基礎編（3つの基礎ルール）…8

応用編（7つの補助ルール）…68

効果的なツールトレンドが一目でわかる増田足…89

全103ページ。本文は1行空きなので実際のページ数は半分ほど。



# E-BOOKのダイジェスト

少々怪しい印象のセールスレターには「ユダヤ人の間で長年伝えられてきたこの方法を使えば「次に騰がる銘柄」がわかります」とある。なにやら胡散臭いコピーだがそれはさておき早速内容を見てみよう。

商材は 103 ページのマニュアルのみである。

## 基礎編（3つの基礎ルール）

ここでは基礎編として3つのルールに基づいた売買手法について書かれている。

### <「ユダヤのサイン」取引方法の概要>

概要については「たった3つの基礎ルール」と「7つの補助ルール」だけです。慣れれば15分程度できる、カンタンな銘柄のスクリーニング方法によって買うべき「上がる株」を選び出します。」（8ページ）というものだ。各ルールの詳細は9ページに以下の記載がある。

- ①「前日の終値の対前日比が±0円になっている銘柄を抽出する→これが「ユダヤのサイン」です
- ②その銘柄が「買いのタイミングかどうか」3つの線<ライン>を見て判断する
  - ストキャスティクス
  - MACD
  - ボリンジャーバンド
- ③貸借倍率（信用売残／信用買残）をチェックする

# E-BOOKのダイジェスト

## <7つの補助ルール>

- ①「日柄＝日数」を見る。
  - ②「窓埋め」理論
  - ③「4日の大陽線」理論。
  - ④今日ストップ高すると、必ず翌日も買い気配で上がる
  - ⑤ボリンジャーバンドを突き抜けて下に下がった時、出来高があれば「買い」。
  - ⑥日足で見て同じ金額が3－4回出れば「買い」
  - ⑦出来高があるのに値段が動かない場合、「ゼロ」が出たら買い。→上がる。
- この各ルールを見ると前日比±0円という、つまり売買が拮抗している銘柄をピックアップし、各テクニカル指標や信用残でフィルターをかけるという手法と推測できる。

## <銘柄を見つけるまでの準備>

ここでは証券会社の選択や取引システムの導入について書かれているが、一般的な知識なので省略する。推奨されている証券会社は特にない。ただ取引銘柄は流動性を考えて「東証一部上場の株」に限定するということである。

## <3つのステップで<基礎ルール>をチェック!>

ここからは実際の売買の手順について書かれている。その詳細は以下である。

- ①最初にすることは銘柄のピックアップだ。「前日の終値の対前日比が±0円になっている銘柄を抽出する」。

このルールの根拠は「「±0円」ということは、ちょうどその売買の需給圧力が拮抗している状態です。こういう銘柄を探し出します。」(10ページ)ということだ。

# E-BOOKのダイジェスト

銘柄の具体的な探し方は「登録した銘柄リストを「騰落率」別に並べます。」(19 ページ)、「上昇株と下落株のちょうど境目のところにある「±0円」、の銘柄がすぐに見つかります」(21 ページ)となる。

②次に各テクニカル指標を見る。「本当に買いのタイミングか」どうかをチェックします。これには「MACD」「ストキャスティクス」「ボリンジャーバンド」という3つの指標を見ます。」(23 ページ)。各テクニカル指標の判断方法は以下である。

- 1) 「このMACDがゼロより下の-10%以下であり、なおかつ上向きであれば「買い場」と考える」(26 ページ)
- 2) 「%Dラインが-25%以下であり、なおかつ上向きであれば、「買い場」と判断する」(31 ページ)
- 3) 「下に行けば行くほど「買い」のサイン！」(36 ページ)

これは価格がボリンジャーバンドの下限近くに接近するほどより大きな反発が期待できるという意味だろう。

その根拠として「株価は95%の確率で、ボリンジャーバンドの中に収まる」(34 ページ)としているが、ボリンジャーバンドは価格の下降にしたがって拡大していくので、これは当たり前のことである。

「価格はいずれ戻ってくるので安心」とは言えないし、いつかは価格が反発するだろうが、「下に行けば行くほど「買い」のサイン！」(37 ページ)というのは少々雑な判断である。

# E-BOOKのダイジェスト

## ③ 「売残が多いのは、買い」「買残が多いのは、売り」(48 ページ)

このルールについては特に説明の必要はないだろう。一般的に知られている法則である。

こうして銘柄を選んだ後は「ユダヤのサイン=±0円」が出た翌日に買いを入れる。」(50 ページ)としている。「ユダヤのサイン」以外は一般的なテクニカル分析、市場でよく知られている法則であるので、この手法の有効性は「ユダヤのサイン」にかかっているといっていいたいだろう。

しかし根拠は納得できるものの、有効性の証明はされていない。この後に2009年5月から7月までの2ヶ月あまりの間のトレード例が10ほど紹介されているが、このサンプル数だけでは判断は付きにくいところだ。

### <利確のタイミング>

「早ければ2.3日、遅くとも数週間で上昇する。そこで、5~10%程度上がったら利確せよ。」(60 ページ)

これが利益確定のルールである。

一般的な利率による利益確定だ。この後は複利運用した場合のシミュレーションが展開される。

これは情報商材ではよく見られるやり方だが、想定利益での複利運用シミュレーションを見せてさも莫大な利益が上がるような錯覚を起こさせる手法だ。実際には全額複利運用などなかなか成功はせず、あくまで机上の空論に近い。

# E-BOOKのダイジェスト

## 応用編 (7つの補助ルール)

ここからは7つの補助ルールを加えて応用的に運用する方法が書かれている。実際の使い方は「基礎ルール」で銘柄を抽出した後、この7項目をすべてチェックしていきます。(68ページ)となる。

ただし必ずしもすべてのルールをクリアする必要はなく「むしろ株価の状況によっては、当てはまらないものもありますので、その点ご注意ください。」(69ページ)ということである。

7つの補助ルールの詳細は以下となる。

①「買いに入る時、あるいは利確をする時には、その上昇トレンドが始まってから何日

目かということ、下記の数字の中からチェックするようにしてください。」(69ページ)

チェックする日数は以下であり、この日数は価格が反転しやすいと市場では言われている。

7日、9日、11日、13日、17日、20日、26日、

33日、37日、42日、56日、72日、96日

上記の日数に絡んで価格が逆行した場合は「ためらわずに「損切り」することが大事です。」(70ページ)としている。

②「株価がどこまで伸びるか or どこまで下がるかの目安として「窓は埋まる」と覚えておいてください。」(73ページ)

これも「窓埋め」として市場では知られている法則である。

# E-BOOKのダイジェスト

③「4日間の揉み合いを抜ける太陽線が立ったら、「買い」のシグナルです。ほとんどの場合、その後は上昇して「上離れ」します。」(74 ページ)

④「ストップ高をつけた銘柄は、翌日もほとんど必ずと言っていいほど「買い気配」で始まって株価が上がります。」(76 ページ)

③、④も同様に市場では知られている法則である。

⑤「ボリンジャーバンドを突き抜けて下に下がった時、出来高があれば「買い」」(80 ページ)

これは基礎ルールのボリンジャーバンドの判断方法と基本的には同じである。そしてさらに出来高があれば反発の可能性はより高いということだろう。しかし、前述したようにあまり確固とした根拠はなく、危険性も高い。

⑥「日足で見て同じ金額が2-3回出れば「買い」」(82 ページ)

同じ金額が2-3回であるということは揉み合いでその金額が一種のレジスタンスラインとなっていると考えられる。

その状態の時「基礎ルール」で紹介したMACDやストキャスティクスが低い「買いゾーン」の場合、この拮抗はやがて上に破れ、株価は上昇に転じるケースが多いです。」(83 ページ) ということだ。

いわゆるレジスタンスラインのブレイクと同じである。

⑦「出来高があるのに値段が動かず揉み合う場合、「ユダヤのサイン」が出

# E-BOOK のダイジェスト

たら、買い。」(84 ページ)

出来高があるのに値段が動かない状態は「買い圧力」があるにもかかわらず売りが浴びせられており「上昇の力が蓄えられている」場合が多いです。」(84 ページ) という。

その状態の時に「ユダヤのサイン」が出たら買いということだ。根拠としては納得できるが、あくまで「ユダヤのサイン」が有効だという前提付きだ。

## 効果的なツール

ここでは「増田足」というツールを使う方法が書かれている。

「増田足」というのは増田徳太郎氏が開発したテクニカル指標で使用するには有料のソフトが必要である。

「増田足」については効果を確認したわけではないので、内容はここでは省略する。

ここまでの商材内容だが、「ユダヤのサイン」以外の基礎ルール、補助ルールは基本的には一般的なテクニカル分析や法則であり、フィルター的に使っているに過ぎない。

売買手法の有効性は「ユダヤのサイン」にかかっているといえよう。その「ユダヤのサイン」についてであるが、「ユダヤ人ディーラーの秘伝」(セールスレター)などは別として根拠としては概ね納得できるものである。

しかし有効性はこのような経験則的売買手法の場合、かなり長い間検証してみないとわからない。

商材の 10 例ほどのサンプルではあまりに少ない。興味がある人は十分な検

# E-BOOK のダイジェスト

証を行ってから実践することをオススメする。

しかし個人的な印象としては「あなたはこの方法で、投資資金を膨らませ、数ヵ月後には 500 万円というまとまったお金を作ることが出来るようになります」と思います」(セールスレター)というほど有効性のある手法とは思えない。



銀行金利の1225倍、20%の課税なし  
今後50年語り継がれる

# 伝説の投資ファンド

## 発行元情報

■発行元	Art Biz Collection
■販売責任者	平山敬博
■所在地	東京都板橋区東坂下1-16-5
■電話	03-5915-2213
■メール	support@assets-investment.com
■URL	<a href="http://assets-investment.com/ic/">http://assets-investment.com/ic/</a>

価格 14,800 円

## … 目次 …

第一章「お金の智慧」を実行する際の“10大リスク”を知る	14
第二章ゲームは止めて、本物の“投資”を選ぶことの重要性	28
第三章専門家が語る「金融リテラシー」など要らない	39
第四章人からの情報はガセネタばかり	45
第五章モノから来る情報の出所に関わってはいけない	56
第六章金融市場が復活する前に頭脳の「革新」をしよう	62
第七章あなたを必ず成功に導く三つのキーワードとは？	67
第八章人をそそのかす悪の二大勢力に注意せよ	78
第九章「イノベーション」=革新なしではお金は稼げない！	94
第十章今すぐやらないリスクを殲滅せんめつせよ	99
第十一章“不労所得”は“不老所得”なり	105
第十二章まとめ	117
裏の章「真」の姿の暴露	126

全 136 ページ。行間が空いているので文字数は少ない。

# E-BOOK のダイジェスト

セールスページを見るとわかるように、この商材は他とは違ってノウハウを書いているのではない。

ある私募ファンドの紹介が目的である。ファンドについて簡単に説明しよう。

普通ファンドといえば大抵の人はテレビや新聞で宣伝されている投資信託のことを思い浮かべるだろう。

しかし投資信託は公募ファンドと呼ばれ、私募ファンドとは区別されている。その違いは募集の方法で、不特定多数の投資家に対して販売されている公募ファンドに対して、特定、または少数の投資家に対して販売されるのが私募ファンドである。

この「特定の」「少数の」という部分がポイントで「特定の」とは機関投資家などのいわゆるプロ、「少数の」とは 50 人未満を対象とするということである。

前者を「プロ私募」後者を「少人数私募」と呼んだりするが、セールスレターを見ている人はおそらく機関投資家ではないだろうから、今回商材で紹介するのは「少人数私募」のファンドということになる。

私募ファンドは公募ファンドと違い、運用上の制限はほとんどなく目論見書の作成・交付も不要、ディスクロージャー（情報公開）の義務もないため、実体がつかみにくい。まさに玉石混合の世界なのである。

「年利 36% の高利回り」「銀行金利の 1225 倍」「今後 50 年語り継がれる伝説の投資ファンド（セールスレターより）と派手な文句が並ぶが、本当に優良なファンドかどうかは判断が難しい。実際のところ運用会社に直接尋ねる

# E-BOOKのダイジェスト

などして調べるしかないだろう。さて前置きが長くなったが商材の内容に入ろう。

商材は全 136 ページのマニュアルだが、ほとんどの部分は著者の投資についての考えが述べられているに過ぎない。ファンドの内容については最後の数ページで説明されているのみである。

## 第一章「お金の智恵」を実行する際の“10大リスク”を知る

ここでは代表的な金融商品について以下の項目（各項目 10 点満点）から採点し、最適な商品を選択するとしている。

\*年間利回り見込み①価格変動リスク②流動性リスク③信用リスク④金利変動リスク⑤為替リスク⑥カントリーリスク⑦インフレリスク⑧販売手数料リスク⑨投資期間リスク⑩ローンリスク\*当初元本の優位性\*人の煩惱影響度\*勉強の必要性

項目の多くは特に説明する必要もないと思うが、著者のオリジナルや後に紹介するファンドと関係がある項目もあるので少し説明する。

### ⑨投資期間リスク

これは投資する期間が長いほどコストが増大し、価格変動リスクも高まるということである。

著者は「三年や五年では、この時代の激流に対応できません。そうかと言って、ひと月、ふた月では大きな結果が出ないし、望めないことも事実でしょう。」(11 ページ) という理由から「一年」という期間がベストだと考えて

# E-BOOKのダイジェスト

います。」(11 ページ) としている。

## \* 人の煩悩影響度

これは投資家のメンタル面が投資成績に影響を与える度合いということである。自分で裁量的に運用すれば大きくなり(点数は下がる)、他人(ファンドマネージャーなど)に運用を任せれば小さくなる(点数は上がる)。

## \* 勉強の必要性

「この指標は、ある特定の金融商品に対してあなたが“投資”する場合に、その分野あるジャンルの勉強を、どれ位すれば良いのか、必要があるのかを示すものです。」(25 ページ) 勉強量が多く必要なら点数は下がり、少なくてすむなら点数は上がる。

さて商材の冒頭で各金融商品を筆者がこの基準で採点している。以下がその結果である。

- 1 位 D 社ファンド 95 点
- 2 位 定期預金 68 点
- 3 位 国債 66 点
- 4 位 国内株式 56 点
- 5 位 商品先物 49 点
- 6 位 大手証券ファンド 46 点
- 7 位 FX45 点
- 8 位 外国株式 42 点 (100 点満点)

# E-BOOK のダイジェスト

この時点では明らかにされていないがおそらくは1位のD社ファンドがこの商材が紹介するファンドだろう。しかし採点基準もよくわからない格付けだけではすんなり信頼するわけにはいかない。

## 第二章 ゲームは止めて、本物の“投資”を選ぶことの重要性

投資には①ゼロサムゲーム②マイナスサムゲーム③プラスサム投資があり、「投資の基本は「プラスサム」にあると知ることが大事です」「ゼロサムゲーム、マイナスサムゲームに手を出してはいけません」（38 ページ）と書いている。

ゼロサム、プラスサムは良く使われることばだが、マイナスサムゲームとはギャンブルなど予めマイナスからスタートするゲームのことだという。

## 第三章 専門家が語る「金融リテラシー」など要らない

投資をする上で「金融リテラシー」があることが望ましいが、「時間や手間が掛かるのと同時に常にその向学心を持ち続ける必要がありますから（後略）」（40 ページ）ため、前述した「採点表」を見て判断してほしいと書いている。

しかしそれは採点表にある程度の客観性、信頼性があればの話である。肝心なその部分が抜けているのではあまり説得力はない。

# E-BOOKのダイジェスト

## 第四章 人からの情報はガセネタばかり

ここでは情報を得るにあたって「どこから不必要な情報がやって来るのか？どこから本当に必要な情報を取れば良いのか？」(45 ページ) を説明するという。

情報を得る際には「人」(周囲の人や証券会社の営業など) または「もの」(書籍やインターネットなど) から得る方法があるとし、「人」から得る場合は以下に注意するとしている。

「★ 個人の情報は詐欺話が多いため信じてはいけません。まず疑ってみよう。  
★ 企業の情報は、「ブツ」だけもらおう。顧客になってはいけません。背徳業者ばかりだからです。」(55 ページ) この「ブツ」とは資料やパンフレットのことを指す。

## 第五章 モノから来る情報の出所に関わってはいけない

一方「もの」から得る場合は、以下に注意するとしている。

「★ 書籍は買う必要はありません。もし買うなら一冊あれば十分です。★ 勉強のために必要でも、筆者以外の情報教材は買う必要はありません。★ 企業発行の資料は「ブツ」だけもらえば十分。セミナーも窓口も行く必要はありません。」(61 ページ)

この2章については著者の個人的な考えにすぎないので特に言及しないが、

# E-BOOKのダイジェスト

「筆者以外の情報教材は買う必要はありません。」の部分などはかなり自信(売り込み?)が強い印象である。

## 第六章 金融市場が復活する前に頭脳の「革新」をしよう

ここでは著者の市場に対する分析というか考えが書かれているが、抽象的な話に終始しているので、詳細は省略する。

章の終わりには以下のまとめが書かれている。

「★ 市場は「市場資本主義」から「人間資本主義」に必ず動くことに注目。  
★ 時代の流れは、「人間性」から読み解く必要があります。★ “投資”する信頼の条件は、「マーケット・イン」の理念にあります。」(66 ページ)

## 第七章 あなたを必ず成功に導く三つのキーワードとは?

この章も同じく抽象的な話なので詳細は省略する。まとめは以下となっている。

「★ 世の中の動きは「感情」「信頼」「哲学」に照らして考える★そして「疑い」と「逆説」の物差しを当ててみる★ 三大「背徳」業者こそ気をつけ、自己利益のために動く」(77 ページ)

## 第八章 人をそそのかす悪の二大勢力に注意せよ

ここでは様々な運用システムの優劣について書かれている。著者の推奨する「プラスサム投資」をするためのシステムには以下の3つがあるという。

# E-BOOKのダイジェスト

①証券会社型②セルフ・オペレーション型③ターミネーター型

①はファンドマネージャーが運用するタイプ、②はプログラムなどのシステムを用いるが、最終的な判断は人間がするタイプ、③はファンドマネージャーが運用するが、一切の個人的感情を排除するタイプということだ。

その中で「本当に必要なものは、一切の感情をいれず、システム上の数字を冷徹に追いかけるターミネーター型のファンドマネージャーです。」(93ページ)として③を推奨している。

しかし実際にターミネーター型のファンドマネージャーなどは存在するのだろうか、もし存在したとしてもそれを外部から確認するのは困難だろう。そういう意味では今ひとつ説得力に欠ける。

## 第九章「イノベーション」=革新なしではお金は稼げない!

この章はどのようにして投資で稼ぐかについて著者の考えが書かれている。「つまり、「金融リテラシー」を、「誰でもできる世界で一番簡単に稼げる『お金の智慧』」に「変革」したのです。」(97ページ)こう書いているが、具体的な説明はなく抽象的である。

## 第十章 今すぐやらないリスクを殲滅せんめつせよ

この章で書いていることは「これまで説明してきた素晴らしい方法があるから今すぐやれ」ということである。それをやらないのが「今すぐやらないリスク」ということだ。



# E-BOOK のダイジェスト

## 第十一章 “不労所得” は “不老所得” なり

ここでも続いてこう書いている。

「ところが、わたしの提唱する、この「誰でもできる世界で一番簡単に稼げる『お金の智慧』」を使えば、ニアリー・ベストな（ほぼベストに近い）状態で、「不労所得」の獲得が本当に実現できてしまいます。」（105 ページ）要は早く行動をおこさないと稼げないよとっている。

## 第十二章 まとめ

この章はこれまでのまとめが書かれているが内容的に重複するので省略するが、最後にこう書かれている。

「さあ、いよいよ「答え」を明かす時が来ました。その答えとは…「D社私募ファンド」

です。

つまり、これこそが『最適“投資”』の答えだったのです」（125 ページ）これは予想通りの展開だが、いかんせん、ここまで引っ張りすぎである。この商材の目的はD社ファンドを推奨することだから、推奨する理由とデータ、ファンドの情報だけを本来書けばいいはずだ。はっきりいって余計な部分が多い。

## 裏の章「真」の姿の暴露

ここからはついにD社ファンドの正体が明らかになる。詳細は以下である。

# E-BOOKのダイジェスト

ファンド名：DSI ファンド

運用会社：DS インベストメント株式会社

窓口は DS インベストメント株式会社が設立したディーエスアイ投資事業有限責任組合となり、運用手法は DSC 株式会社が開発した「株式予測システム」で運用されている。

この「株式予測システム」を利用してのシステム的な運用と考えられる。ただしこのシステムを使ってどのような戦略で運用していくのかの説明はない。

さてこれまで D 社ファンドを推奨する理由がいろいろ書かれていたが、それを証明するデータがあるのだろうか。前述の採点表はともかくとして「本当に必要なものは、一切の感情をいれず、システム上の数字を冷徹に追いかけるターミネーター型のファンドマネージャーです。」(93 ページ) この部分はどうか。

これに対しては「一日の目標利回りを決めて、その達成のみに堅実にシステムをオペレーションすることのみをファンドマネージャーは許されています。」(131 ページ) とある。ただし、これは会社内部のことなので、投資家が確かめることはできない。

<キャッシュポイント>はどこにあるのか>「それ(公募ファンド)に対し、「私募」はファンドマネージャーの心に「感情」が入らないように、運用の隙間を極力排除し、数字だけを冷徹に追いかけることに特化していることが大きな要因ではないかと思います。」(131 ページ) としているが、これは私募

# E-BOOKのダイジェスト

ファンドの特徴ではなく、1人のファンドマネージャーが裁量的に運用する  
私募ファンドも多くあるし、これがそれほど優位性のあるポイントとは思え  
ない。

<なぜ「高配当が可能なのか？>

この理由として前述した「D S C 株式解析予測システム」を挙げている。こ  
のシステムは「平成19年に三大宮賞の一つと言われる「東久邇宮記念賞」  
を受賞しています。」(132ページ)としている。

確かに東久邇宮記念賞は知的財産・発明に対して与えられる賞ではあるが、  
受賞者は100名を越えることもあり、実際には「実用グッズ・便利グッズ  
大賞」といった賞である。

またもちろんシステムが利益を上げることが保証しているわけではない。「こ  
の「D S C 株式解析予測システム」は、現在ではバージョンアップを重ね、  
87%という高確率で株式市場の上げ下げを的中させるまでになっていま  
す。」(132ページ)このような記述もあるが、それを証明するデータも確  
認する方法もない。

またここでもう1つファンドが紹介される。同じDSインベストメント社の  
「事業投資」ファンドである。このファンドについては詳しい説明がないに  
もかわらず「この二つを以って、二大ファンドと申し上げて良いでしょ  
う。」(133ページ)結論付けている。こう断言するには「事業投資」ファ  
ンドについてはあまりに説明不足である。

# E-BOOKのダイジェスト

さて商材には DSI の申込書もついているので募集要項を見てみよう。

募集ファンド DSI ファンド

出資金 一口1万円

申込単位 10口単位

運用利率 年24% (試算利率)

配当金払込 毎月2% or 一年複利25.2%

償還期日 出資金入金月翌月より一年目

ご負担費用 申込手数料として申込時に5000円

配当金振込時に1000円

また以下のシステムの概要があるので興味があれば確認するといいたろう。

[http://ttc3000.dsc-inc.jp/pdf/dsc\\_profile.pdf](http://ttc3000.dsc-inc.jp/pdf/dsc_profile.pdf) (DSC株の事業内容)

[http://ttc3000.dsc-inc.jp/pdf/ttc\\_tradesystem.pdf](http://ttc3000.dsc-inc.jp/pdf/ttc_tradesystem.pdf) (トレードシステムについて)

もうひとつの事業投資ファンドの詳細もあるので続いて記す。

募集ファンド：TTCFC 開発ファンド3号

出資金：1口1万円

運用利率：年36% (試算利率)

配当金払込：一括配当償還

償還期日：出資金入金月翌月より1年目

ご負担費用 申込手数料として申込時に5000円

配当金振込時に1000円

このファンドはFX自動売買システムのサーバー環境構築のための事業投資ファンドとなっていて、事業の収益ベースは証券会社などからのシステム管

# E-BOOKのダイジェスト

理費となっている。

この募集要項の「運用利率：年 36%（試算利率）」の部分がセールスレターの「年利 36%の高利回り」の根拠であろう。しかしこれはあくまで「試算利率」である。このファンドの過去の成績はわからないが、実際にこの成績を達成した事実がなければ明らかに誇大広告である。

ここまでが商材の内容である。ファンドの内容については各人で判断してもらうしかなく、評価はできない。しかし販売方法には疑問がある。私募ファンドは不特定多数に対しての勧誘は禁止されている。

しかしこの商材の販売方法は不特定多数への勧誘には該当しないのだろうか。もちろん販売会社が直接的に勧誘しているわけではないし、あくまで著者の紹介という形式はとっている。

だがファンドの購入者が知人に紹介するのは訳が違い、著者はこのマニュアルを販売しているので、リッパな商行為ではないのだろうか。また疑問に思うのは著者と運用会社の関係だ。

セールスページを見た限りでは直接の関係はないようだが、では著者のキャッシュポイントは商材売り上げだけなのだろうか？なぜこんなにこのファンドを推奨するのかの動機がわからない。

何らかの紹介料でも著者に入るのなら話は別だが。

この件に関して筆者は専門家ではないので、これ以上の言及は避けるが、いづれにしてもなにか怪しいものを感じるのである。

# E-BOOK のダイジェスト

繰り返すが、ファンドの内容自体に疑問を呈しているわけではないので、興味がある人は自分で調べてみるといいだろう。ただし少しでも怪しいと感じたなら手を出さない方が無難である。

# 最後のFX

## 発行元情報

■発行元	田実 博
■販売責任者	田実 博
■所在地	大分県大分市高崎 2-25-14-2
■電話	090-2519-8960
■メール	web@the-last-fx.com
■URL	<a href="http://www.the-last-fx.com/ic/">http://www.the-last-fx.com/ic/</a>

価格 14,800 円

## … 目次 …

第1章 トレードの準備・・・7

第2章 基本知識とテクニカル指標・・・19

第3章 エントリールール・・・36

第4章 問題トレーニング・・・54

第5章 補足知識・・・70

驚異のスペシャル特典「秘密の特定時間帯トレード戦術」・・・80

全 90 ページ。構成はわかりやすい。

# E-BOOKのダイジェスト

「最後のFX」と仰々しいタイトルが付いたこの商材、セールスレターの「1本のローソク足と1本の移動平均線での確に相場を先読みすることを可能にしたシグナル」とのコピーから予測するとローソク足のパターン認識をシグナルとするタイプだろうか？

内容を見ていこう。

商材は全90ページのマニュアルのみである。

## 第1章 トレードの準備

ここではFX業者の選定と口座開設の方法が書かれている。一般的な知識なので詳しくは説明しないが、取引用とチャート確認用の業者を用意するとし「私が推奨するコンビは株式会社MJとドリームバイザー・ファイナンシャル株式会社のコンビです。」(8ページ)の2つの業者を挙げている。

## 第2章 基本知識とテクニカル指標

ここではFXの概念、円高円安とは？などFXの基礎知識、移動平均線やMACDなどのテクニカル指標について書かれているが、これも一般的な知識なので説明は省略する。

## 第3章 エントリールール

ここでは実際のエントリールールについて書かれている。エントリールールの概要は「絶対的なエントリールールは1本目のローソク足が確定した「次」



# E-BOOKのダイジェスト

のローソク足が1本目に対してどのような形状をしているかで判断します。1本目が確定し、さらに2本目の確定を見極めた時点で「シグナルサイン」となります。

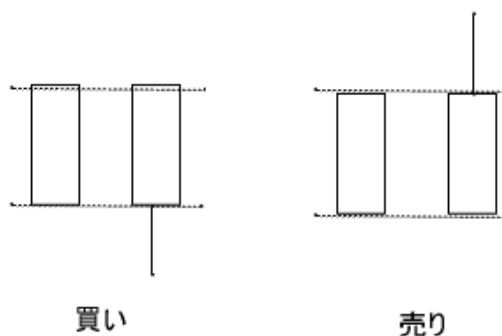
実際のエントリーは3本目の値動きが開始されている途中に行います。」(37ページ)としている。この記述から判断するとローソク足数本でのパターンによりシグナルが発生するタイプのようなのだ。

## <エントリールール>

実際のエントリー手順は以下となる。

①下図のようにまず「1本目のローソク足に対して2本目のローソク足のひげを除く「実体」が同じ高さ」(38ページ)であることが条件となる。

そして「下にひげが伸びた場合は買いシグナル」「上にひげが伸びた場合は売りシグナル」の発生とします。」(38ページ)となる。



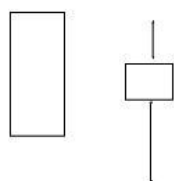
# E-BOOK のダイジェスト

②次に「3本目のローソク足がシグナルである2本目の実体を1 pipでも超えたら（下回ったら）エントリーです。」（39ページ）とここでエントリーが確定する。

## <エントリーの補足ルール>

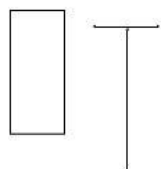
ここでは先に説明した基本形とは異なるローソク足のパターンが書かれているが、実際に判断が難しいケースのみを説明する。

①「2本目の上にひげが存在しますが、上ひげも含めた実体は1本目の実体の中にあるのでOKです。」（42ページ）このように上下にヒゲがあっても上ヒゲが1本目のローソク足の実体の中にあればOKということだ。逆にこの場合上ヒゲが実体の外に出ていればエントリーにはならない。



②「二本目の実体が横線ですが、これも実体内と考えて構いません。」（42ページ）

# E-BOOK のダイジェスト



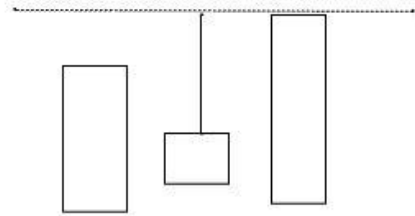
## <エグジットルール>

基本的なエントリールールは「ローソク足がシグナルに反して反対方向に向かってしまった時は基本的にクローズです。」(48 ページ) である。

ただし既にポジションを保有している場合は「次の 3 本目のローソク足が残念ながら反対方向に上昇してきた時、2 本目の高値に到達した時点で即時クローズです。」ということである。

逆に買いの場合は「反対方向に下降してきた時、2 本目の安値に到達した時点で即時クローズ」ということになる。

# E-BOOKのダイジェスト



さてここで書かれているエグジットルールはロスカットについてのみである。利益確定のためのエグジットルールはない。

裁量でということなのだろうが、その説明もないし、この手法は「スキャルピング的」（セールスレターより）ということなので利益確定のルールがないのは危険だといえよう。

## <応用編>

ここでは応用的に他のテクニカル指標なども合わせて判断する方法が書かれている。

①セールスレターにもあった移動平均線（21日）を併用する方法。その方法は「ローソク足が21日線の上にあるときに買った買いサインは強気のトレード、21日線の下にローソク足があるときに発生した買いサインは通常のトレードを行います。」（50ページ）というものだ。

# E-BOOKのダイジェスト

ローソク足が移動平均線の上にある時は上昇トレンド、下にある時は下降トレンドの可能性が高いため、これをトレンド判断に用いるということだ。

②これはシグナル前後のローソク足の形を見てトレンドの強さを判断する方法だ。「売りシグナル」が出て、エントリーし、自分の思う方向に値が動いた場合に、シグナルとなったローソク足の1本前のローソク足の高値、もしくは安値をエントリー後の次の足（1本目または2本目）このケースでは2本目が超えていった場合にトレンドの発生の可能性が強いという事です。」（51ページ）。

わかりにくい記述だが、エントリー後の1本または2本目のローソク足がシグナルより2本前のローソク足の高値（安値）をブレイクした場合はトレンド発生の可能性が高いということだ。

いずれにしてもここで説明した2つのケースに当てはまった場合は「強気のエントリーをする」ということだが、具体的にどのようにすればよいのか、つまりポジションを増やすのか、エグジットを我慢するのかなどの説明がない。このような曖昧な表現では購入者は困ってしまうだろう。

## 第4章問題トレーニング

ここでは個々のトレード例を用いてのケーススタディとなっているので説明は省略する。

ひょっとしたら前述した「強気のエントリー」のケースがここで説明される

# E-BOOKのダイジェスト

と思ったが、残念ながら無かった。

## 第5章補足知識

### <推奨分足について>

使用するローソク足の時間枠は「5分足」、「10分足」もしくは「15分足」がお勧めです。」(71ページ)としている。

### <推奨通貨について>

通貨ペアについては「1ドル円、2ユーロ円、3ポンド円の順番が優先順位となります。」(73ページ)としている。

### <推奨時間について>

トレード時間については「(主要三大市場の)どの時間帯でもいずれかの稼働時間であれば問題はありません。ただし大きく価格が動くのはロンドンとニューヨークの稼働時間が重なった時間帯ですので、その時間帯を推奨致します。」(74ページ)としている。

### <転換ポイントシグナル>

「主要3国の株式市場の時間帯を加味すると少し面白いトレンド転換ポイントがある事に気がつきます。」(75ページ)ということで、以下の時間帯がトレンド転換ポイントになる可能性があるという。

- PM 4 : 0 0 (PM 5 : 0 0) ロンドン株式市場開始
- PM 1 0 : 3 0 (PM 1 1 : 3 0) ニューヨーク株式市場開始

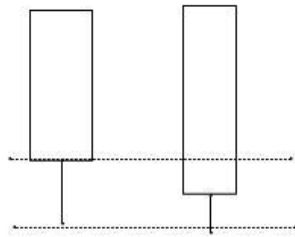
### <テスト段階のシグナル(買い限定)>

このシグナルは現在テスト段階であるが、「まだまだ研究中ですので何とも言えませんが、高い可能性でシグナルになると現段階では自負しています。」

# E-BOOKのダイジェスト

(78 ページ) という。

「買いの場合に関してですが、2本目の安値が1本目の安値と同じ価格であれば、1本目の実体から2本目の実体が、はみ出しているにもかかわらず値が上に上がる傾向を示しています。」(77 ページ)。これは下図のように2本目のローソク足の実体が1本目のローソク足より大きい場合「買いシグナル」になるというものだ。



## スペシャル特典 秘密の特定時間帯トレード

これは東京時間午前9時55分ころの仲値によるドル円の上昇を狙う方法で以下の手順で行う。

- 1 まず9時30分にはパソコンの前で冷静な気持ちで時間を待ちます。
- 2 この間にトレード画面を「5分足」に設定し、曜日の確認などを含めたチャンス日であるかの再確認をしておきます。
- 3 9時45分のローソク足が終了するのを待ち構え、9時50分に向かいます。

# E-BOOKのダイジェスト

4 9時50分の足が現れて上昇傾向が少しでも確認できたら即「買い」に入ります。

そして4分55秒程度が経過したら、9時55分の「売り」に備えてカーソルボタンの準備です。

5 9時55分になった時点で確実にクローズします。繰り返し説明しますがこの手法はわずか5分のチャンスにかける事が重要なので、必ず欲を出さないで一旦は手仕舞いして下さい。」(89 ページ)

「秘密の特定時間帯トレード」などと大げさに書いているが、この仲値でのドル円の上昇を狙った方法は一般的に知られており、著者のオリジナルなノウハウではない。

ここまでが商材の内容である。売買ロジックの根拠は商材では明らかにされていないが、推測するにローソク足にヒゲが出て一時的に買い（売り）圧力が強まったものの、2本目の実体が1本目より小さいということは売り（買い）圧力はここで消費され、次のローソク足ではレートが上昇する可能性が高いということではないだろうか。

ある程度は納得できる根拠ではあるし、有効性もあるかもしれない。ただし、前述したように利益確定のエグジットルールがないのが気にかかる。

初心者は「利益確定は裁量で」と言われても困ってしまうだろう。セールスレターのこの記述と明らかに矛盾している。

「Q3FXの初心者ですが私でも活用できる内容ですか？」



# E-BOOK のダイジェスト

A3 はい大丈夫です（後略）」

また応用編での基本エントリーとのトレードの違いなど説明不足の部分が  
多々ある。一般書籍で入手できる FX の概要や業者の紹介にページを割くく  
らいならこの辺をきちんと説明すべきである。

元プロのファンドマネージャーが教える!

# イーポジ戦略

## 発行元情報

■発行元	株式会社 IT デジタル出版
■販売責任者	外谷和彦
■所在地	東京都中央区奏 2 - 1 2 - 1 0
■電話	03-6663-8081
■メール	info@e-poji.com
■ URL	http://www.e-poji.com

価格 29,600 円

## … 目次 …

第 1 章 オプション取引の基礎知識・・・10

第 2 章 オプション取引のルールと準備・・・89

第 3 章 イーポジ戦略実践編・・・106

第 4 章 リスク管理と日々のオペレーション・・・143

オプションのよくある質問・・・149

オプション取引用語辞典・・・154

全 190 ページ。写真やイラストを多用しており、デザインは綺麗で見やすい。

# E-BOOKのダイジェスト

250億円もの資金を運用していた元ファンドマネージャーが書いたというこの商材「生方茂樹のイーポジ戦略」。

今までもこの手の商材は多くあったが、大抵は既刊の書籍の焼き直しか本人が書いたかどうか疑わしい内容のものが多かった。

もっともその本人でさえ実在するかどうかは実はわからないのだが。商材は全190ページのマニュアルのみである。

一見するとイラストや写真などが多用されていて綺麗なデザインである。しかし問題は内容である。では中身を見ていこう。

## 第1章 オプション取引の基礎

ここではオプション取引の概要、コールとプット、権利行使価格、ボラティリティ、デルタ、セータなどオプション取引の基礎知識について書かれている。その中で著者はオプション取引の優位性として以下の4つのポイントを挙げている。

①銘柄選びをする必要がない。②価格が動く方向を予測しなくても利益が出せる。③株のヘッジとして利用できる。④価格予想はSQ日に価格がどの程度にあるかを考えるだけでいい。また合成ポジションを組むことによりリスクを軽減できる。

④については結局価格の方向を予測することになるので「？」な感じだが、一般に言われているオプションの利点である。その他の項目についても詳し

# E-BOOKのダイジェスト

く書かれているが、書籍レベルの基礎知識であり、特別な内容はない。

## 第2章 オプション取引のルールと準備

ここでは実際の取引に入る前の準備について書かれている。

まず証拠金の説明やその管理をする証拠金シミュレーターやオプションシミュレーターの使い方を実際の画面を例にして説明されている。つぎに取引会社を選び方となる。

選ぶ際のポイントとしては「手数料の安さ」「証拠金の安さ」「充実したトレードツール」「レスポンスのよいサポート」が挙げられていて、条件を満たす取引会社としてカブドットコム証券を推奨している。

## 第3章 イーポジ戦略実践編

ここでは数多くあるオプション戦略の中から著者が「初心者でも利益を挙げやすい戦略」をピックアップして説明するということである。

ピックアップされた戦略は以下の3つである。

### ①クレジット・スプレッド戦略

これはアウト・オブ・ザ・マネーの買いで売りのリスクを抑える戦略である。リスクが低いので初心者向けで最初に覚えるべき戦略であるとしている。

#### ・コールの場合

権利行使価格の低いアウト・オブ・ザ・マネーを売ると同時に同限月の権利行使価格の高いアウト・オブ・ザ・マネーを買う。

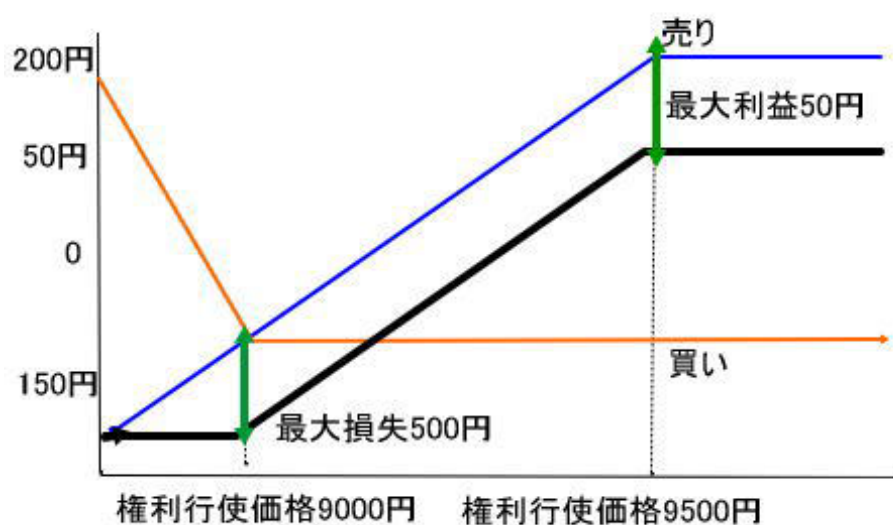
#### ・プットの場合

権利行使価格の高いアウト・オブ・ザ・マネーを売ると同時に同限月の権利

# E-BOOKのダイジェスト

行使価格の低いアウト・オブ・ザ・マネーを買う。

この場合、売りと買いのプレミアムの差額が最大利益となる。最大損失は権利行使価格の差額分に限定される。ボラティリティが低く、相場が横ばいから上昇（横ばいから下降）が予測される時に利益を狙えるが、タイム・ディケイの影響を受けやすく、相場が思惑と反転すると損失になりやすい。例えば権利行使価格 9500 円のプット（プレミアム 200 円）を売り、権利行使価格 9000 円（プレミアム 150 円）のプットを買った時の損益分岐は以下となる。



ロスカットは売りのプレミアムが 2 倍から 3 倍になった場合に両方のポジションを反対売買して決済する。

# E-BOOKのダイジェスト

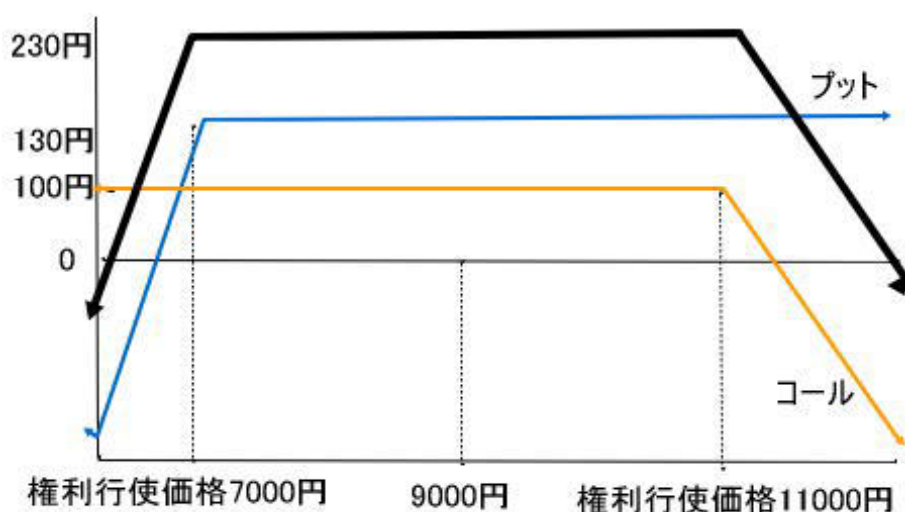
## ②ショートストラングル戦略

これは同限月で権利行使価格の異なるアウト・オブ・ザ・マネーにコールとプットを同時に売る戦略である。

クレジット・スプレッドと違い、買いのヘッジがない分リスクも大きいが大きな利益を狙える。権利行使価格付近で価格がもみ合いになると予測した場合に利益を狙えるが、予測に反して価格が大きく動いた場合は損失になる。例えば現在の価格が9000円だとすると、満期日に価格がどれくらいになっているかをまず予測する。

価格が7000円から11000円の間になると予測した場合、権利行使価格11000円のコール（プレミアム130円）を売り、同時に権利行使価格7000円のプット（プレミアム100円）を売る。

満期日に価格が7000円から11000円の間であれば売ったプレミアムの合計が利益となる。この場合の損益分岐は以下となる。



# E-BOOKのダイジェスト

ロスカットは価格が7000円を割った場合プットの売りを反対売買して決済する。または「6500円までは下がらないだろう」と予測した場合は反対売買して決済した後、6500円に新たにポジションを持つてもよい。

タイミングはプレミアムが2倍から3倍になった時を目安とする。

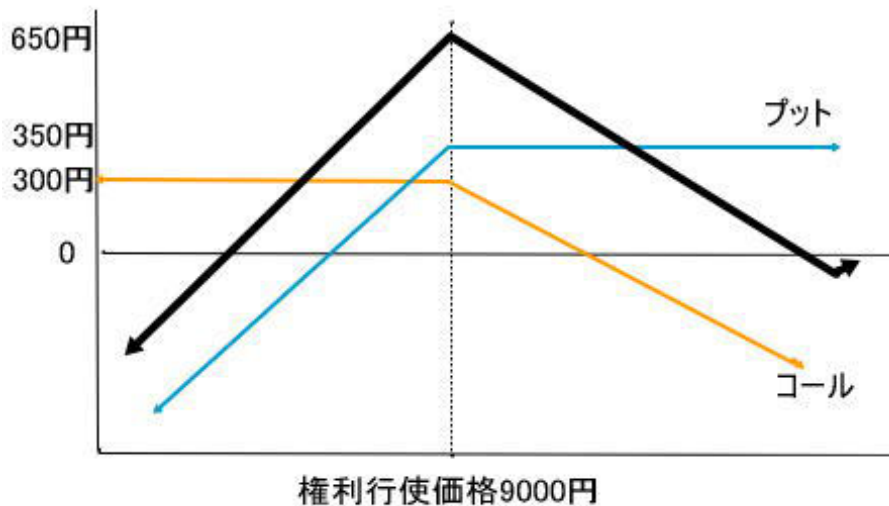
## ③ショートストラドル戦略

これは同限月で同権利行使価格のコールとプットを同時に売る戦略である。ショートストラングルと似ているが、違う点は同じ権利行使価格のコールとプットを売る点である。

権利行使価格付近で価格がもみ合いになると予測した場合に利益を狙えるが、予測に反して価格が大きく動いた場合は損失になる点もショートストラングルと同じである。満期日の価格が権利行使価格に近づくほど利益は大きくなり、離れるほど損失は大きくなる。

今後ボラティリティが小さくなると予測したタイミングで仕掛けるとよい。例えば満期日の価格が9000円くらいと予測した場合、権利行使価格9000円のコール（プレミアム300円）を売り、同時に権利行使価格9000円のプット（プレミアム350円）のプットを売る。その場合の損益分岐は以下となる。

# E-BOOKのダイジェスト



この場合満期日に価格が 9000 円であればプレミアムの合計 650 円が利益となる。しかし満期日の価格をピタリと当てることは難しいので実際には満期日までの間に価格が 9000 円に近づいた時点で両方のポジションを反対売買して決済する。

この場合はタイム・ディケイによりプレミアムの価値は下がっているため、650 円の利益にはならない。

## 戦略のまとめ

- すべての戦略を仕掛けるタイミングは「価格が大きく動くことなく、権利行使価格付近でもみ合うと予測した時」とする。
- すべての戦略のエントリータイミングは初心者のうちは SQ 日後にする、慣れてきたら SQ 日前でもよい。これは SQ 日の 4 から 5 日前はプレミアムが高く利益を挙げやすいが、機関投資家の売買の影響で価格が大きく動くことが多くリスクが大きいためである。



# E-BOOK のダイジェスト

## 第5章 リスク管理と日々のオペレーション

ここでは証拠金シミュレーターを使っての日々の証拠金管理が説明されているが、特に記すべきことはないので省略する。

さてここまでが商材の内容である。ここで紹介されている3つの戦略はいずれも一般的に知られているオプション戦略である。

オプション戦略の本を見れば必ず載っているほどのポピュラーなものだ。数あるオプション戦略の中から3つを選び出し、組み合わせたという点ではオリジナルな部分もあるのだが、高額な情報商材で求められるレベルのノウハウではないだろう。

基礎知識の部分も丁寧だし、数千円程度の書籍なら十分内容だが、これは高額な情報商材である。とても価格に見合った内容ではないだろう。

無料で【解説動画&自動売買ソフト】プレゼント中!ドル/円専用!  
**町田式FX-FEVERシステムパック**

## 発行元情報

■発行元	株式会社ハーツエンターテイメント
■販売責任者	町田絢美
■所在地	兵庫県尼崎市上ノ島2-16-1
■電話	06-7504-5692
■メール	fx@ge-haets.net
■URL	<a href="http://hearts777.net/machidafx-top/">http://hearts777.net/machidafx-top/</a>

**価格 31,500 円**

## … 目次 …

システム1

システム2

システム3

システム4

システム5

ポンド円

証券マンによる動画解説について

E Aフィーバー（自動売買ソフト）について

付属：自動売買用E Aプログラム（\*FXDDで口座開設が必要）

全 222 ページ。画像が少なく内容が理解しにくい。

# E-BOOKのダイジェスト

以前「町田式ファンダメンタルズFXシステム」を販売していた著者の新しい商材がこの「町田式FX-FEVER」である。

しかし先に結論を言っておこう。

この商材の内容は前作とほとんど同じである。違うのは自動売買用のEAプログラムが付属しているだけだ。

しかもそのEAプログラムもFXDDで口座を開設し、各種情報を販売者に通知しなければ入手することはできない。

なぜこのようなややこしい方法をとっているかは全く理解不能である。また販売方法にも問題点が多い。前作とほとんど同じ内容でEAプログラムが付属しているだけの商材を、タイトルを変え、セールスレターも新しくし、あたかも新商材のように販売している。

そのことにセールスレターではもちろん一言も触れていない。筆者も検証する商材を選ぶ際にセールスレターを見たのだが、てっきり新しい商材だと思ってしまった。

これでは前作購入者が間違えて購入してしまう恐れがある。いやもしかしたらそれを狙っているのかもしれない。

もうひとつ、セールスレターにはずらりと輝かしい利用者の成績が並ぶのだが、これはこの商材を実践しての結果ではない。著者がコンサルタントを勤める会員制システムの利用者の成績なのだ。

セールスレターを注意深く読めばそれはわかるが、一読しただけでは大抵の

# E-BOOKのダイジェスト

人は勘違いしてしまうだろう。第一そんな商材と無関係な成績を載せる必要はない。明らかに商材を実践しての成績だと誤認させることが目的だろう。

また取引画面の画像も成績とともに乗っているのだが、見た人は当然E Aプログラムの画面だと思うだろう。しかしこのE Aプログラムはただにメタトレーダー上で走る自動売買プログラムに過ぎない。

セールスレターの画像とはまったく別なものだ。悪質な販売方法だ。

では内容を見ていこう。

ここでは主に前作とどう違うかを中心に検証するので、同じ内容の部分はあえて説明しない。

前作の内容を知りたい方は「町田式ファンダメンタルズFXシステム」の原稿を参照していただきたい。

## システム1

内容は前作とほとんど同じであり、証券口座の開設方法、FX市場の特徴など初歩的な知識である。全体的に前作よりもページ数が少なくなっているのだが、それはフォントの大きさが小さくなっているためである。

## システム2

これも前作と内容は同じであり、手法の特徴やチャートの見方などについての説明である。

# E-BOOKのダイジェスト

## システム3

ここからは実際のロジックの説明となる。もちろんここも前作と内容は同じだ。この部分は注意深く見ていったのだが、一字一句違わない。「これが「町田式ファンダメンタルズFX」の基本です。」（町田式ファンダメンタルズFX 10 ページ）、「これが「町田式FX - FEVER」の基本です。」（5 ページ）のようにタイトルを入れ替えただけである。

## システム4

ここではロジックが具体的に説明されるが、内容はもちろん、チャート画像まで前作と同じである。またいくつかのエントリー方法が説明されているが、仲値での決済に伴う、ドル円の上昇を狙った手法や東京時間午後での反発を狙った手法などは、裁量トレードのためEAプログラムでの自動売買は不可能だろう。だとするとEAプログラムではどのロジックを使用するのだろうか。

## システム5

これは前商材では特典となっていた、トレンドの見方やインジゲーターの見方などテクニカルな部分を説明していたマニュアルである。

もちろん前作と内容は同じである。

## FX-FEVER (ポンド円)

こちらも前作では特典となっていたポンド円でのエントリー方法である。前作の段階では「現時点でお伝えできるのは、これだけです。」

# E-BOOKのダイジェスト

いい加減な事は言えませんので、きちんと試用した結果、「問題なし！」と判断した時点で、きちんとした形で配布いたしますので、しばらくお待ち頂ければ幸いです。」(町田式ファンダメンタルズFX7ページ)とのただし書きがあった。

しかし驚いたことにまったく同じ文章がこの商材にもあるのだ。前作発売から10ヶ月以上も経過しているのに、これまで何の検証もしなかったのだろうか。

## 町田式EA-FEVER(自動売買ソフト)について

これだけは前作にはなかった部分である。

しかし内容はEAプログラムのロジックについてではなく、プログラムを入手する方法のみである。別途操作方法について説明した動画をダウンロードできるのだが、その動画でもロジックの内容は説明されていない。

ただし自動売買ということや、動画でのメタトレーダーに設定をみると、前作のシステム3で説明されたロジックではないかと推測できる。

ただし、マニュアルとは以下の点が違う。

利益確定：25pips

損切り：50pips

投資対象：EUR/USD、USD/JPY、EUR/CAD、USD/CHF、CHF/JPYに分散投資

時間軸；15分(いずれも変更可能)

動画をダウンロードすると、サンプルパフォーマンスも付いてくるのだが、その結果は以下である。

# E-BOOKのダイジェスト

検証期間：2009年4月1日から11月23日

総トレード数：796

勝率：60.43%

プロフィットファクター：1.56

損益レシオ；0.97

この成績が本当なら有効なロジックといえるが、この会社の販売方法を考えると、正直あまり信用できない。

## 証券マンによる解説動画について

別途常盤インベストメンツという証券会社の社員によるマニュアルの内容を説明した動画をダウンロードできる。

画面には姿は出てこないが、なぜこのマニュアルの解説を証券会社の社員がしなければならないか疑問である。

「常盤 Investments 様は、あなた担当の営業マンが担当として付き、サポートが充実しておりますので、かなりオススメの証券会社です。」(3ページ)。このように著者はさかんにこの常盤インベストメンツを推奨している。「町田絢美からの紹介」とお伝えいただければ、【ジョルジュ・デュブッフ・ボジョレー・ヌーヴォー [2009] 750ml とおつまみセット】をプレゼント頂けるとのことです。」(2ページ)。

こんな特典もあるらしい。

ここまであからさまだと証券会社と著者との間に密約でもあるのかと疑ってしまう。

# E-BOOKのダイジェスト

さて結論だが、これまででも書いたが、ほとんど同じ商材をあらゆる手を使って新商材のように見せ、なんとか売り込もうとしている、そんな印象しか受けない。

前作の原稿を読んでもらえればわかると思うが、ロジック自体も具体性がなく、曖昧で有効性は疑わしい。買う価値がある商材ではない。



株で儲ける人になる！  
**天海源一郎のマーケット攻略  
頭脳形成プログラム**

## 発行元情報

■発行元	株式会社アシュラワークス
■販売責任者	市之川匡史
■所在地	東京都墨田区本所 1 - 3 3 - 2
■電話	03-5295-5617
■メール	info@tenkai-kabu.com
■ URL	<a href="http://www.tenkai-kabu.com/">http://www.tenkai-kabu.com/</a>

**価格 29,800 円**

## … 目次 …

第一章儲けることの原理原則アプローチ…10
第二章マクロ経済に対するアプローチ…32
第三章株式市場と株式投資へのアプローチ…49
第四章現実的な売買へのアプローチ…61
第五章色あせない投資法へのアプローチ…106

全 126 ページ。読みやすいは内容に重複がある。

# E-BOOKのダイジェスト

この商材の著者はマスコミにも度々登場する著名な投資家「天海源一郎」氏である。

しかしこれまでの経験では著名投資家の情報商材は著書の焼き直しがほとんどで値段に合った特別なノウハウは無いが多かった。

果たしてこの商材にはそれがあるのだろうか。

では内容に入ろう。

## 第一章 儲けることの原理原則アプローチ

ここでは株式投資をする際の心構えや原理原則について書かれている。

内容は多岐にわたるのだが、「人の逆をいく」「10億円を目指す」「学歴や出身の関係なく儲けられるのは投資だけ」「清く貧しく美しくなど負け組の戯言」といった聞く人によっては反感を買いそうなことをストレートに書いている。

## 第二章 マクロ経済に対するアプローチ

ここではマクロ経済的な見方で市場を分析する方法が書かれている。マクロ経済といっても経済学的内容ではなく、どちらかといえばファンダメンタルズ分析に近い内容である。

その中で著者は「バブル」を大きく儲けるチャンスとしている。しかしバブルを予測することは難しいので、途中からバブルに乗るとしている。

### ・バブルに乗るタイミング

バブルに乗るタイミングを著者は「みんなが危ないと言っている時」として

# E-BOOKのダイジェスト

いる。抽象的な説明だが、新聞、テレビなどで盛んに「バブルは終わる」と報道されている時期と考えていいだろう。

一見、このタイミングで参加するのは危険に思えるが「バブルは急におわらない、終わると言われ始めてから数年も続くこともある」と著者は書いている。具体的な目安がないので、投資センスというか勘の良さが必要になるが、一理はある。

## ・バブルが崩壊する前に逃げるタイミング

バブルで損をするのは崩壊前に逃げることができず、含み損を抱えて売りに売れなくなってしまうことがほとんどである。そう考えるとバブルが崩壊する前に逃げるタイミングは重要である。

しかしバブルの崩壊を事前の予測することは困難だろう。バブルが終わってみて初めて終わったとわかるからである。商材では「多くの人がそれに対し「強気」になった時」が逃げるタイミングだとしている。それは新たな資金が市場に流れてこなくなった時としているが、具体的な説明はない。連日高値を更新するような強気相場が続いている内ということだろうが、その中で最適なタイミングを見つけ出すのが、難しいのである。

## ・バブルでの儲け方

これまでの説明をまとめると「みんなが危ないと言っている時に買い、そのままバブルが続き再びみんなが強気になったら売る」ということだろう。考え方としては間違っていないが、間違えると大きな損失を出す可能性がある。初心者向けの方法ではないだろう。

# E-BOOKのダイジェスト

## 第三章 株式市場と株式投資へのアプローチ

ここでは第一章と同じく基本的な投資の考え方「マーケットが常に正しい」「人の逆を行く」などが説明されている。

内容的には第一章と余り変わらない。その中で「自分に合った投資法ではなく、マーケットにあった投資法」と言う部分は面白い。

よく書籍やセミナーなどでは「自分にあった投資法をきなさい」と教えられるが、そんなものは間違っていると著者は言う。マーケットが自分に合わせてくれるわけではないので、自分がマーケットに合わせて、デイトレードだろうがなんだろうが、いろいろな手法を駆使して投資をしなければならないという。

その人の投資に対する立場でも違っただろうが、1つの見方であろう。また著者の相場に対する基本的な前提は「今、そうであることはしばらくそうであろう」と言うことだ。つまり「株価が下がり続けていればしばらく下がるだろう」「株価が上がり続けていればしばらく上がるだろう」と予測の基、投資をするということである。

簡単にいえばトレンドフォローなのだが、自分の投資スタイルがどのような前提を基にしているのかを考えることは大事だと思う。

# E-BOOK のダイジェスト

## 第四章 現実的な売買へのアプローチ

ここでは PBR や PER の見方、ナンピンについてなどより具体的な投資についてのアプローチについて書かれている。

### ・PER

PER については算出の用いられるデータが古く、本当の現在の PER はわからないため、信頼度が低いとしている。

### ・PBR

PBR も 1 倍を切るような銘柄は通常は買いとされているが、「低 PBR に放置されている銘柄は人気が無いから、株価が上がりづらい」ため手を出さない方がよいとしている。

ただし大きな資金があれば低 PBR 株を買う意味は出てくるので、「買収ファンドが買った低 PBR 株を買う」という方法は使える。つまり、PBR は「企業買収の対象になりそうな会社を見つける際の指標にする」としている。

### ・仕手株

仕手株は危険と言われているが、逆に言えば株価の変動が大きく儲けるチャンスだとしている。

### ・ナンピン

多くの投資家がナンピンで損失を拡大しているのは「ナンピンのタイミングが早すぎたため」だと言う。ナンピンは下げの途中ではなく下値の目途ですべきだとしている。

下値の目途は安値を結びラインを引いたとき、谷となっていてさらに出来高

# E-BOOKのダイジェスト

が減少しているポイントだとしている。その下値の目途より株価が高い時がナンピン買いのタイミングとなる。

## ・材料

業績発表などの材料は予測がつかないため、材料をきっかけに買うことはしない。逆に好材料が出た時など瞬間的な値上がりを予想して、売る。または悪材料が出た場合でも材料出尽くしから一度や二度は反発があるので、そこを狙って買うとしている。

## ・リバウンドを狙う

大きく下げた後のリバウンドの上昇を狙って買う。タイミングは「前場寄り付きから大きく下げてその後下げ渋った時」「大引けまで安値圏で推移したものの安値引けしそうにない時」の2つである。

## ・チャートのダマシ

多くの投資家が参考をしているため移動平均線のクロスなどはクロスになりそうでならなかった場合は手仕舞いのため逆に動くことがある。具体的には「ゴールデンクロスにならなかった時は売り、デッドクロスにならなかった時は買う」というように法則の逆を行く。

## ・指標などの発表

経済指標などの発表時は通常は結果がよければ株価上昇を予測して買うが、あえてセオリーと逆に行く。例えばGDP速報値の結果がよければ売るということである。これは市場が結果をすでに織り込み済みであることから、反発が期待できるからだという。

この章で説明されている内容は著者独特の見方やアプローチがあって面白い。ただし、あくまで概要であって具体的な投資法ではないので、ノウハウ

# E-BOOK のダイジェスト

としては弱い部分がある。

## 第五章 色あせない投資法へのアプローチ

ここからは具体的な投資法の説明となる。投資法は以下の2つが挙げられている。

### ① 移動平均線からの乖離に注目した逆張り投資法

エントリー：25日移動平均線から株価が10%程度低い場合、移動平均線への反転を期待して逆張りで買う。

決済：株価が25日移動平均線にタッチするか少し超えたあたりで決済。

この手法はよく知られている一般的な逆張りである。特に著者のオリジナルな部分も見当たらない。

### ② 寄り付き直後のデイトレード

エントリー：前場寄り付き直後にリアルタイムの値上がり率ランキングをチェックする。

ランキングの中から「中小型株で出来高の多いもの」を買う。

決済：チャートで値上がりを確認したらすぐ決済する。時間にして大体30～40分程度を目安とする。

この手法は相場が堅調にスタートした直後しばらく株価が上昇することを狙ったものだという。この手法は先ほどの①の手法ほどではないが、よく知られている手法である。

### ③ IPO 銘柄

この手法はよくあるIPO銘柄を公募時に買い、上場後の値上がりを狙う手法ではなく、IPO銘柄が上場した直後の値上がりを狙う手法である。

# E-BOOKのダイジェスト

エントリー：初値で買う。

決済：5%程度利益が出たら決済する。値上がりしなかった場合はすぐに損きりする。

この手法も最近はIPO銘柄も少なく、初値からすぐに下落する場合もあるので、実践するのは注意が必要だろう。

・時代を象徴する株を買う

今なら「クリーンエネルギー関連株」などの時代を象徴する成長株を買う。株式市場の動きから見つけ出すとよい。このような銘柄は次のような動きをすることが多い。

- 1 株価はまだ低い
- 2 そのうち上昇してくる
- 3 新しい投資家が参入してさらに上昇
- 4 天井を付ける
- 5 急激な下落

「2」のあたりで買うことが理想だがすでに株価が上昇している場合も多いので、勢いのあるうちに買うことが大事としている。

売り時は「3」あたりの急激に上昇したら考える。また急落しはじめたら迷い無く売る事が大事であるとしている。この手法を実践するには銘柄選択が最重要だろうが、その具体的な方法の説明がない。これでは実践は難しいだろう。

以上が商材の内容である。

全体的に投資全体に対する考え方、アプローチがほとんどの部分を占めてい



# E-BOOKのダイジェスト

て実際の投資法についてはわずかなページしか割いておらず、特にオリジナルな部分もない。

投資全体に対する考え方、アプローチについては面白い部分もあるのだが、すぐに実践できる具体的なノウハウといった部分はいかにも弱い。

確かにそういう目的で書かれた商材で無いと言われればそれまでなのだが、情報商材には一般書籍と違って、すぐに実践できる具体的なノウハウが求められているはずである。

正直言えばこの価格でこの内容では物足りない。この著者の書籍を全部購入したほうがはるかに安上がりであるし、勉強にもなるだろう。

# 快適スイングシステム 日経マーケットブレード

## 発行元情報

■発行元	雪田重裕
■販売責任者	雪田重裕
■所在地	青森県青森市堤町 2-4-11
■電話	017-777-3185
■メール	bctrade@mild.ocn.ne.jp
■URL	<a href="http://www9.ocn.ne.jp/~bctrade/index.html">http://www9.ocn.ne.jp/~bctrade/index.html</a>

価格 17,800 円

## … 目次 …

第1章 日経225先物取引の基本…6
第2章 ロジック解説…18
第3章 売買の実践例…32
第4章 ミニの取引…40
第5章 リスク管理…41
第6章 エクセルサイン表示シートによるトレード…43
付属；売買サイン表示エクセルシート
全51ページ。画像が少なく、デザインは見にくい。

# E-BOOKのダイジェスト

プロバイダーのフリースペースに置かれた素人ぽいデザインのセールスレターを見ると、いかにも怪しい感じがするこの商材「日経マーケットブレード」。

この著者は以前「マーケットブリーズ 225」という商材を販売していた。今回の商材は「マーケットブリーズ 225 の DNA を受け継ぎながらも突然変異を生じさせ、パワーアップした」とのことなので、前作と比較などしながらその内容を検証していきたい。

商材は全 51 ページのマニュアルと売買サインを表示するエクセルシートから構成されている。

エクセルシートに前日の 4 本値を入力すると翌日の売買サインが表示されるのだが、売買ロジックはそれほど複雑ではないので、手動でも十分実践可能だろう。

では内容を見ていこう。

## 第 1 章 日経 225 先物取引の基本

ここでは日経 225 先物の概要、用語について説明されている。いわば初心者向けの基礎知識だが、詳しく説明されているわけではないので、全くの初心者がこのマニュアルだけで日経 225 先物を理解する事は難しいだろう。

## 第 2 章 ロジック解説

ここからは売買ロジックの説明となる。なお 4 本値はすべてザラ場で判断する。

# E-BOOKのダイジェスト

<ロング>

以下の4つの条件をすべて満たした時に買いエントリーとなる。

① 25日終値移動平均値が75日終値移動平均値より大きい

この条件はトレンドの判断であり、「75日移動平均線より25日移動平均線が上であれば上昇トレンド」(16ページ)と判断する。

② 本日の終値が、前日の終値より安い

この条件は終値の比較である。「本日終値 < 前日終値であれば翌日反発の可能性が高い」と判断していると推測される。

③ 4日終値移動平均値の差の差が、マイナスに転じた

この条件は「当システムの秘儀の部分」(17ページ)ということである。そしてこれは「相場の息づかいのわずかなリズムの変化を感じるためのシグナル」(18ページ)であるという。

移動平均値の差の差は以下の手順で算出する。

1) まず4日移動平均値を算出する。これはお分かりと思うが4日分の終値を足して4で割ればよい。

2) 次に算出した4日移動平均値と前日の移動平均値の差を求める。つまり今日の移動平均値から昨日の移動平均値を引くのである。ややこしいようだが、今日の移動平均値(3日前から今日までの終値の平均)と昨日の移動平均値(4日前から昨日の終値の平均)の値は違うことを理解していれば、たやすく求められるだろう。

# E-BOOKのダイジェスト

- 3) 2)と同様に前日の移動平均値と前々日の移動平均値の差を求める。  
4) 2)で算出した値と3)で算出した値の増減を見る。  
この値が「プラスなら移動平均値が増え、マイナスなら移動平均値が減ったことを意味」(20ページ)する。判断としては「差がどんどん開いていくということは、上昇エネルギーが増加していることです。

差の開き方が少なくなれば上昇エネルギーが減ったと考えることができます。」(20ページ)としている。そこで条件の「4日終値移動平均値の差の差が、マイナスに転じた」であれば上昇エネルギーが強まっていると判断するのである。この考え方は反転を期待するものであり、売買は通常逆張りの的になる

## ④ 75日終値移動平均乖離率が15%より小さい

この条件は「終値が75日終値移動平均から上方に離れている場合は、そろそろ天井を打つ可能性があります。」(22ページ)との判断から、それを避けるために乖離率をチェックするということだ。

## <ロングのエントリー>

上記の4つの条件を満たしたら、「当日の大引けで成行注文」を出す。その時点では終値が確定していないので、サインの算出はできないはずなのだが、「とりあえず3時5分を過ぎたら、そのときの価格で計算し、引け前に発注してください。」(23ページ)としている。

ただし、大引け前にエントリーできない場合は夕場でエントリーしてもよいという。その際は「後場終値価格を夕場に指値し、不出来引け成り」(24ペ

# E-BOOKのダイジェスト

ージ) で注文する。この場合後場終値または夕場終値でエントリーすることになる。

## <ロングの利益確定・損切り>

エントリーと同時に「買値+ 300 円、買値- 850 円」に利益確定・損切りのために指値注文をしておく。この数値は「バックテストの結果、最もパフォーマンスが良かった値」(24 ページ) だというのが、この設定で安定して利益を出すためには 80%以上の勝率が必要だろう。

感覚的にいうと 4 勝 1 敗のペースである。果たしてこの売買ロジックにはそれだけの勝率があるのだろうか。この点については付属のエクセルシートの過去データなども見ながら後述したい。

## <ロングの手仕舞い>

利益確定・損切りラインに引っかからない場合でも「4 日移動平均値の差の差が、前日ゼロ以下から、本日プラスに転じた」(25 ページ) ら、翌営業日の寄り付き成行で決済注文を出す。これはエントリーの根拠となった「上昇エネルギー」が無くなったと判断したためである。

## <ショート>

以下の 4 つの条件をすべて満たした時に売りエントリーとなる。

### ① 75 日終値移動平均乖離率が 8%より小さい

この条件は長期のトレンド判断だが、ロングと違い移動平均乖離率で行っている。その理由は明らかにされていないが、あまり乖離率が大きいと反発(上

# E-BOOKのダイジェスト

昇)の可能性が高いと判断していると推測できる。

## ②本日の安値が前日の安値より安い

この条件はロングとは違い安値の比較である。根拠はロングと同様「本日安値 < 前日安値であれば翌日反発の可能性が高い」と判断していると推測できる。

## ③4日移動平均値の差の差が、プラスに転じた

この条件はロングと逆でこの状態なら「下降エネルギーが強まっている」と判断していると推測できる。

## ④75日終値移動平均乖離率が-11%より大きい

この条件はロングとは逆に「底が近づいている可能性が高い」ためそれを避けるルールということである。

### <ショートのエントリー>

上記の4つの条件を満たしたら、「翌営業日の寄り付き成行注文」を出す。ショートの場合は大引けでの注文はしないようだが、商材ではその理由の説明はない。買いの場合と違い売りなら翌日寄り付きでも約定できるということだろうか。

### <ショートの利益確定・損切り>

エントリーと同時に「売り値-650円、売値+350円」に利益確定・損切りのために指値注文をしておく。この設定もロング同様「バックテストの結

# E-BOOKのダイジェスト

果、最もパフォーマンスが良かった値」(28 ページ) としているが、ロングの場合とは逆に損切り幅が利益確定に対して小さいため、勝率は低くなる。安定して利益を残すためには 50%程度の勝率でいいだろう。となるとロングとショートを併せた勝率が 65%程度あればいいことになる。しかしロングとショートのエントリーの比率もあるので、それほど単純にはいかないだろう。

## <ショートの手仕舞い>

「4日移動平均値の差の差が、前日ゼロ以上から、本日マイナスに転じた」(28 ページ)ら、翌営業日の寄り付き成行で決済注文を出す。根拠はロングの場合と同様に「下降エネルギーが無くなった」と判断したためである。

ここで説明されているロジック、手法的には中期トレンドと反対方向に一時的に価格が動いた時に逆張りの的にエントリーするものである。見方を変えれば中期トレンドの順張りで日足ベースでの押し目、戻りを狙う手法ともいえる。さてここで冒頭に書いたように著者の前商材「マーケットブリーズ 225」とどう違うのか見てみよう。

## <エントリー>

- ① 75日移動平均線よりも 25日移動平均線が上に位置している。
- ② ザラ場の前日の終値より当日の終値が安い。
- ③ 4日移動平均値の差の差が前日までプラスだったのが当日にマイナスに反転した時

上記のすべての条件を満たせば当日の大引けで成行買い注文



# E-BOOKのダイジェスト

## <利益確定と損切り>

エントリーしたら約定価格から+ 500円と- 800円に利益確定と損切り注文を出す。

## <手仕舞い>

4日移動平均値の差の差前日までマイナスだったのが当日にプラスに反転した時

これが「マーケットブリーズ 225」の買いエントリーの方法だ。気づかれたと思うが、「マーケットブレード」の手法との違いはエントリー条件の「④ 75日終値移動平均乖離率が15%より小さい」が追加になったことと、利益確定・損切りの幅だけである。

一方ショートの場合は以下の変更点がある。

①買いの場合とは逆に75日移動平均線よりも25日移動平均線が下に位置している。(マーケットブリーズ 225) →① 75日終値移動平均乖離率が8%より小さい(マーケットブレード)

そしてロング同様「④ 75日終値移動平均乖離率が-11%より大きい」のルールが追加されている。そして利益確定・損切りは「約定価格から- 400円と+ 700円」から「- 650円、+ 350円」に変更されている。つまりロジックの基本は変わらず、フィルター的なルールの追加と利益確定・損切り幅の変更のみなのである。

「マーケットブリーズ 225」の原稿では短い期間ながらバックテストも行ったが、それほど突出した成績ではなかった。しかしこの商材の付属のエクセ

# E-BOOKのダイジェスト

ルシートを見ると、過去成績は以下のように立派なものである。

レンジ 1 枚の場合

2005/1/4 ~ 2010/3/16

勝率 70.6% (ロング 69.2% ショート 72.7%)

最大ドローダウン - 860

プロフィットファクター 2.7

売買回数 : 218 回 (ロング 130 回 ショート 88 回)

1 トレードの平均日数 : 1.7 日

まず勝率であるが、ロングの勝率は低いもののショートの勝率が予想以上に高いので、全体としてはまず合格点が与えられる結果となっている。しかし気になるのは売買回数である。

約 5 年間で 218 回ということは大体 1 週間で 1 トレードの計算となる。1 トレードの平均日数が 1.7 日ということだから、売買サインの出ない日が 1 週間の内でも 3 日程度あることがわかる。そしてショートの売買回数が少ないことから、高い勝率にはそれほど信頼を置けないこともわかる。

つまり、追加ルールがトレードの精度を高めたが、結果売買回数を減らし、利益確定幅に対して、損切り幅が大きいことが勝率を押し上げたとも考えられる。意図的ではないにせよ結果的に最適化が過ぎているかもしれないのである。いずれにしても結果を素直に信じるには売買回数が少ない。

## 第 3 章 実践例

ここでは実際のトレード例が説明されているが、内容は省略する。

# E-BOOKのダイジェスト

## 第4章 ミニの取引

ここでは日経225ミニの取引について説明されている。売買方法はこれまで説明してきたラージの場合と同じであるが、パフォーマンスは「これまでのところ、ラージのパフォーマンスがやや有利です。」(40ページ)としている。

この理由は呼び幅の違いによると著者は考えていて「2010年6月にラージも5円刻みになる予定で、そうなると違いはなくなると考えられます。」(40ページ)としている。

## 第5章 リスク管理

ここでは資金量などリスク管理について説明されている。

<十分な資金量>

資金量の目安として「証拠金2枚分※と最大ドローダウンの合計額を上回るだけの資金量は必要です。」(41ページ)としている。

実際の金額としては「ラージ1枚につき200万円以上」(41ページ)ということだ。この「証拠金2枚分」という根拠については「ドテンすることがあるので瞬間的に2枚分の証拠金が必要になる」(41ページ)からだという。基本的にはロング・ショートを同時保有することやポジションを保有中に追加でエントリーすることはないとのことである。資金管理としては常識的なラインと言える。

# E-BOOK のダイジェスト

## 第6章 エクセルサイン表示シートによるトレード

ここでは付属のエクセルシートによるトレード方法が説明されているが、内容は省略する。

ここまでの商材の内容である。

ロジックについては前述したとおりである。エクセルシートの過去成績が正しければ立派な成績であるし、ロジックにも破綻した部分はない。

しかし前商材との比較や売買回数を考えると新たに追加したルールやリスクワードの変更で成績が底上げされた可能性も否定できない。

手動でも検証可能なので、利益確定・損切り幅などを変更して十分に検証してから購入を検討することをオススメしたい。

3人のセミリタイア大家が伝える

# 不動産投資 パーフェクトスタートガイド

## 発行元情報

■発行元	HeartBrain 合資会社
■販売責任者	倉茂徹
■所在地	神奈川県横浜市中区長者町4-9-1
■電話	045-222-3413
■メール	order@counselling.jp
■URL	<a href="http://www.nyu-mon.net/cd/index-info.html">http://www.nyu-mon.net/cd/index-info.html</a>

価格 12,600 円

## … 目次 …

第一部 不動産投資家のスタートラインに立つ方法

第二部 実践編 不動産の探し方と買い方

第三部 他人のお金で不労所得をゲットする方法

第四部 不動産投資を軌道に乗せて、自由を得る方法

音声ファイル 249 分。同内容の書き起こし PDF ファイル全 191 ページ。

# E-BOOKのダイジェスト

この商材「不動産投資パーフェクトスタートキット」は商材名からもわかるように情報商材では珍しい不動産投資を扱った商材である。

一時ほどではないが、不動産投資は依然として根強い人気がある投資対象である。

内容を見ていこう。

商材は全 249 分分の音声ファイルのみである。またこの音声ファイルを書き起こした PDF ファイル（全 191 ページ）もダウンロードできる。

基本的には 3 人の不動産投資家による座談会形式となっている。

## 第一部 不動産投資家のスタートラインに立つ方法

まずその中で不動産投資の魅力について、「自由な時間ができる」「投資に際する作業は少ない」などの点を挙げている。不動産投資をする際ネックとなるのは資金調達方法だが、次の方法が挙げられている。

- ・ 国民金融公庫で借りる
- ・ 銀行で借りる
- ・ 資金が少ない人は激安の戸建てか、フルローンになる物件を狙う。

第一部は導入部であるせいか、具体的なノウハウはなく包括的内容が中心である。

# E-BOOK のダイジェスト

## 第二部実践編 不動産の探し方と買い方

ここでは各人の体験から物件の探し方、購入方法について語られている。

### ①物件の探し方

- ・事業用専門不動産業者で探す

クリスティ、リック住宅センター、日本マンション販売など大手事業用専門不動産業者で探す。

- ・インターネットで探す

「健美家」という不動産投資サイトでは利回りなどいろいろな条件で物件を検索できる。

健美家 <http://www.kenbiya.com>

### ②物件の選択

不動産業者から FAX で紹介される物件やサイトで見つけた物件を以下のフィルターにかけて選別していく。

a) まず利回りをチェックする。大体の目安は 15%以上。利回りは年間の家賃収入÷物件価格で算出できる。ただし利回りが高い物件は建物が老朽化している、空き室が多いなどの問題がある場合が多いので注意する。また坪単価が相場から極端に外れている物件は注意する。

b) 次に物件の詳細情報をチェックする。これは主に築年数と構造（鉄骨、木造など）をチェックする。鉄骨は 34 年、木造は 22 年などと法廷耐用年

# E-BOOKのダイジェスト

数が決まっていて、耐用年数の残りが少ないと融資が受けにくいからだという。また設備が老朽化している場合も多い。目安としては「昭和」に建てられた物件は除く。また借地権など権利関係が複雑な物件、違法建築の物件なども除く。

c) 次にはできるだけ現地へ行き、次のポイントに注意しながらチェックする。

- ・物件周辺のエリアをチェック

人がどれくらい住んでいるか、過疎化が進んでいないかなどに注意する。

- ・周辺の建物の入居率をチェック

空き室が多いようだと、そのエリアには需要がない可能性がある。

- ・建物のチェック

地盤や基礎、柱、雨漏りはしないかなど建物自体もチェックする。

## ③物件を決めたら

物件を決めたら買い付け証明書に記入して申し込む。その際に売主の売却理由を聞くようにする。早く売りたい売主なら、値切ることも可能になる。また売りに出してからどれくらいの期間が経っているかも参考になる。

## ④建物の価格

建物の価格を見るには国税局のサイトで路線価をまず調べる。売却価格から路線価から計算して土地の価格を引けば建物の価格がわかる。

それを平米数でわり、1平米あたりの価格を算出し、割高・割安を判断する。

目安としては新築木造で15万円、RCだと30万円くらい。



# E-BOOKのダイジェスト

ここまでの第二部の内容である。第一部より具体的な内容となっているが、座談会ということもあり話が飛んでいるので、具体的な手順が見えてこない。

## 第三部 他人のお金で不労所得をゲットする方法

ここでは融資の受け方について語られている。しかし個人の信用状況、自己資金などで状況は違ってくるので、あくまで個人の体験談と思ったほうがいいだろう。融資を成功させるポイントとして以下が挙げられている。

### ①個人の属性

個人の属性とは金融機関が評価する際の財務的目安とっていい。属性が高い人は公務員や上場企業勤務のサラリーマン、弁護士、税理士などだという。逆に自営業などは属性が低い。これは年収などではなくて収入の安定度がポイントとなる。そこで属性が低い人は自己資金が沢山あることをアピールするとよい。または自宅など担保がある事も有効である。担保がある場合は評価額の70から80%くらいで融資が見込めるとのことである。

### ②融資が難しい場合

属性や自己資金の問題で融資を受けることが難しい場合はまずお金を貯めて現金で一つ物件を買い、その物件を担保に融資を受けることを目指す。または銀行などより日本政策金融公庫など公的機関からの融資を検討する。

### ③借入先

以下が主な借入先となる。

- ・銀行

# E-BOOKのダイジェスト

都市銀行、地方銀行、信用金庫など。銀行は居住地と物件がある場所に支店がないと融資を受けられない。そのため地方銀行では難しい場合がある。

## ・ノンバンク

オリックス信託銀行、ジャックス、ライフ住宅ローンなど。ノンバンクでは現在は審査が厳しくなっている傾向がある。また金利も高いので、返済計画を十分に練る必要がある。

## ・公的機関

日本政策金融公庫、住宅金融支援機構（新築、リフォームのみ）など。日本政策金融公庫は居住地、物件がある場所、勤務地の3つの支店で申し込みができる。また創業者支援なども行っているため、他で断られた場合も可能性がある。

この第三部もこれまでと同様に興味深い個人体験はあるのだが、具体的な手順が見えてこない。各部の最後にまとめる部分があればかなり理解度は違うのではないだろうか。

## 第四部 不動産投資を軌道に乗せて、自由を得る方法

ここでは主に物件の管理・運営について語られている。まず空き室はできるだけ避けるべきだとしている。空き室が多いと利回りも下がるのはもちろん部屋が傷むという。

# E-BOOKのダイジェスト

## ①管理会社

また物件は基本的に地元の不動産業者に管理を委託するわけだが、そこと仲良くすることも空き室予防では大事ということだ。特に直接の担当者との付き合いは重要だという。いい管理会社を見つけるには成功している不動産投資家から紹介してもらうのが一番確実だという。

## ②空き室予防

空き室はもっとも避けなければならないことだが、対策としては以下がある。

- ・内装や水周りの整備などに不具合を直す。またクレームがあった場合もできるだけ迅速に対処することが大事である。
- ・管理会社にとって熱心な大家であることをアピールすれば、宣伝や紹介にも力を入れてもらえる。特に担当者とは密にコンタクトするべきだという。

## ③リフォーム

リフォーム費用というのは定期的にかかる必要経費だと考えて計算に入れておく。またキッチンとリフォームしておけば、入居率のアップにも繋がる。

リフォームは管理会社を通じて依頼する、自分で職人を見つけて依頼する、自分でやると3つの方法がある。管理会社に依頼する場合は業者にバックマージンを払っているのが割高となるが、手間がかからない。

自分で業者に依頼する場合は余裕があれば相見積もりを取った方が良い。また資金的に余裕がないときは自分でやれば費用は安く済む。

# E-BOOKのダイジェスト

## ③ リスク管理

地震などの災害や家賃滞納、空き室などのリスクに対しては以下の対処がある。

- ・ 保険

火災保険や地震保険、施設賠償保険などに加入する。

- ・ 家賃保証

家賃保証業者に10から15%のお金を払うと満室時の家賃の何%を保証してくれる仕組みである。

- ・ 滞納保証

滞納した家賃の取立てを業者に依頼することもできる。

## ④ 税金対策

不動産投資で掛かってくる税金は大きく分けると固定資産税と所得税がある。固定資産税建物や土地に掛かってくるもので、物件購入金額の1%程度を毎年払う。所得税は家賃収入に掛かってくるものである。

この際ローン返済の元金分は経費にはならないことに注意。その他に減価償却費などいろいろあるので、物件購入前にきちんと計算しておくことが大事である。また木造で築年数が経っているほど建物価格に対しての税額が少なくなる。

ここまでが商材の内容である。

何度も書いているが、時々体験に裏付けられた面白い話も出てくるのだが、全体的にエピソードの羅列でノウハウとしてのまとまりはない。対談形式で

# E-BOOKのダイジェスト

もかまわないのだが、要点や手順をまとめた別冊などを用意すべきだろう。読み物としては面白いが、実践的な不動産投資マニュアルを期待している人には不向きであろう。

またこの商材に登場する3人の不動産投資家の収支や行動のレポートを別途月会費で配信しており、この商材の購入者は特典として1ヶ月無料で購読できる。

商材中でも何度も「詳しくはこちら」のような感じでこのレポートが紹介されている。うがった見方をすればこの商材はこの有料レポートへの呼び水的商品ではないかと感じる面もある。

いずれにしても本格的な不動産投資マニュアルといより概要やエピソードを紹介した軽い読みのといった感である。数千円ならこの内容でもよいが、価格と見合った内容とは思えない。

# UPCURRENT

## 発行元情報

■発行元	駒澤孝美
■販売責任者	駒澤孝美
■所在地	福岡県築上郡築上町大字岩丸 1644
■電話	090-8626-5629
■メール	info@incrediboy.net
■ URL	http://incrediboy.net

価格 24,800 円

## … 目次 …

第 1 章 MetaTrader の基本 .....	11
第 2 章 MetaTrader の応用 .....	23
第 3 章 ちょっと便利な MT 4 総集編.....	11
第 4 章 ノウハウの基本.....	23
第 5 章 上級者になるために.....	18
第 6 章 利益を追求するために .....	12
追記 .....	8

●付属 MT 4 テンプレートファイル インジケータ設定ファイル

●全 106 ページ。章毎に PDF ファイルが分かれているので構成が非常にわかりづらい。  
デザインも素人ぽい。

# E-BOOKのダイジェスト

本商材は6つのPDFファイルとメタトレーダー4のテンプレート、テンプレートの使用方法に大きく分かれています。

この手法自体はメタトレーダー4を使わなくても実行可能だが、メタトレーダー4は無料で手に入るフリーソフトなので、使用したほうが便利だろう。

まず「MetaTrader 4の基本」ここでソフトのダウンロード方法やインジケーターの設定方法が説明される。

次の「MetaTrader 4の応用」では期間が「6」で高値の移動平均線と期間が「6」で安値の移動平均線を2本表示させる。

そしてストキャスティクスを%K Period: 8 %D Period: 3 Slowing: 3 Price Field: Close/closeで設定する。

あとはフィボナッチを使う。フィボナッチレベルは「0」「0.236」「0.382」「0.618」「1」「1.236」「1.382」「1.618」に設定する。この設定を30分足のチャートに設定する。

メタトレーダー4を持ってない人でも自分が使っているチャートに同様の設定をすればいいだろう。

# E-BOOKのダイジェスト

さてこれで前準備は終わりだ。いよいよ売買ルールの説明をしよう。

まず使用する通貨ペアはGBP / JPY。チャートは30分足のローソク足を使用。

使用する指標は前述した2本の移動平均線とストキャスティクス、フィボナッチだ。

まずストキャスティクスが80%を超えている時の最高値と20%以下に入った時の最安値を見つけ、2つを結んだラインを引く。そしてそのラインが引かれた区間にフィボナッチを引く。

さて具体的エントリー条件はこうだ。

1. 足の高値、安値がフィボナッチの61.8%を超えない場合はエントリーしない。
2. 足の終値、もしくは始値がフィボナッチの38.2%を超えた場合はエントリーしない。
3. 足の高値、安値がフィボナッチの23.6%を超えた場合はエントリーしない。

以上の場合以外はすべてエントリーする。

具体的にどのようにエントリーするかというと以下のようなになる。



# E-BOOKのダイジェスト

## 買いの場合

1. まずストキャスティクスが20%以下に下落したあと80%以上に反転するような状況を待つ。
2. ストキャスティクスの80%以上の最高値から20%以下の最小値を結ぶラインを引く。同時のそのラインの区間のフィボナッチを引く。
3. その後戻しがストキャスティクスの50%を超えるのを確認する。
4. 前述したエントリー条件を満たしているか確認する。
5. 満たしていればフィボナッチの100%のラインでエントリーする。

## 売りの場合

1. ストキャスティクスが80%以上上昇し、その後20%以下に下落するような状況を待つ。
2. ストキャスティクスの20%以下の最小値から80%以上の最高値を結ぶラインを引く。  
同時フィボナッチも引く。
3. その後戻しがストキャスティクスの50%を超えるのを確認する。
4. フィボナッチがエントリー条件を満たしているか確認する。
5. 満たしていればフィボナッチの100%のラインでエントリーする。

以上がエントリー条件だ。

# E-BOOKのダイジェスト

次は決済方法だが以下になる。

1. リミットはフィボナッチの132.8%と161.8%のラインに置く。

資金を2等分してそれぞれにこの2つのリミットを設定する。

2. ストップはフィボナッチの61.8%のラインに置く。

また以下条件でトレーリングストップを使用する。

1. レートがフィボナッチの123.6%に達した時点でストップをフィボナッチの100%のラインに移動。
2. レートがフィボナッチの138.2%に達した時点でストップをフィボナッチの123.6%に移動。

またエントリーは2 p i p sの余裕をもって入れる。

つまりサポートラインが230.50だったらエントリーは230.50ではなく、そこから2 p i p s超えた250.52で入れるということである。

次は応用編ということで改良を加えたエントリーと決済方法が説明されている。

まず高値の移動平均線と安値に移動平均線の間を確認する。

著者はこれを「川」と呼んでいるので以後はそれに倣う。

そしてこの「川」が一定方向に上昇（下降）していき、戻りで下落（上昇）して、また上昇（下降）しているとする。

その場合以下の方法でエントリーする。

# E-BOOKのダイジェスト

1. 一番初めの「川」が上昇（下降）している部分でフィボナッチを引く。
2. 2番目の戻しの部分でどれくらい戻しているかを確認する。
3. 3番目の「川」の流れが1番目の「川」の最高値をブレイクしたところでエントリーする。

これは結局前述したストキャスティクスを使ったエントリーと殆ど変わらないのだが、この2つを併用することによって無駄なエントリーが減り、精度が増すのだと言う。

次に「3度目の正直パターン」と言うものが登場する。

これは前述の「川」の流れが3度、つまり上昇して戻してまた上昇と言うパターンが3回起こった場合、その3度目でエントリー条件を満たしていても、経験的に成功する場合はすくないのでエントリーしない、と言うルールだ。

次は決済方法だ。1つ目は基本のトレーリングストップルールの「フィボナッチの123.6%にレートが達した時点でフィボナッチの100%にストップを移動」と言うルールをフィボナッチの100%を超えた足の終値で決済するとルールに変更する。

当然このような決済ルールはリアルタイムで取引していないとできない。

この方法で市場心理からチャートの動きが変わる可能性がある、フィボナッチの100%のラインからの反転を捕らえることができるという。

もうひとつは基本編にあるトレーリングストップの「フィボナッチの

# E-BOOKのダイジェスト

138.2%にレートが達した時点でストップをフィボナッチの123.6%に変更する」というルールを「100%」に値を変更する。

これも転換点であるフィボナッチの100%のラインからの反転を捕らえることを目的とし、より大きな利益を狙っている。

さて最後はより利益を追求する方法ということで、裁量の部分を加えながら利益を狙っていく方法が書かれている。

まず取引中何回かフィボナッチを引ける場合があるが、エントリー条件は満たさない場合もあるだろう。

そういった場合どのタイミングでフィボナッチを引きなおしているかについてである。

その条件として以下3つが挙げられる。

1. **ポジションがすべて決済、またはエントリー条件を満たせずエントリーが見送られた場合。**
2. **売りと買いは別。**

これは買いのエントリーが発生している最中でも売りのエントリーが同時に発生した場合は両方を狙うということだ。

3. **市場がどこを見ているか感じ取れ**

これはひとつのチャートの流れのなかにも複数のエントリーチャンスがあるので見逃すなということだが、これは経験を積んでいかないとかなり難し

# E-BOOKのダイジェスト

いだろう。

そして次はこれまでは30分足チャートを使ってだったが4時間足チャートを使う手法である。

まず使用するフィボナッチに76.4%を追加する。

エントリー方法は以下4つだ。

1. ストキャスティクスが80%以上を超えているときの最高値と、20%以下に入っている最安値を見つけ出し2つを結ぶラインを引き、同時にフィボナッチも引く。
2. ストキャスティクスの50%の戻しがあるかを確認。
3. 次の戻しが以下の条件に合うか確認。
  - ・ 足の高値、安値がフィボナッチの76.4%を超えない場合はエントリーしない。
  - ・ 足の終値がフィボナッチの38.2%を超えた場合はエントリーしない。
  - ・ 上記以外の場合はすべてエントリー。
  - ・ 例外としてストキャスティクスが一定方向に大きく動いている場合はフィボナッチの0%に高値安値が達しない限りエントリー。
  - ・ 1度目のエントリーポジション保有中に2度目が出た場合もエントリー。

決済方法は以下だ。

# E-BOOKのダイジェスト

ストップはフィボナッチの61.8%に置く。リミットはフィボナッチの123.6%に置く。

リアルタイムでチェックできる場合は終値がフィボナッチの76.5%を超えた次の終値で決済。

そして30分足チャートを使った方法では2pips取っていた余裕を5pips取る。

以上がこの商材の手法だ。

この手法はセールスページにもあるようにブレイクアウト手法である。

また30分足チャートや4時間足チャートを使った基本的には短期トレードである。

特徴としてはフィボナッチをサポート、レジスタンスに使い、フィボナッチの特徴でもある一定期間のレートも戻りも考慮している点だ。

またストキャスティクスも併用し、精度を高めようとしている。

ブレイクアウト手法というものはトレンドフォロー系で大きく利益がとれるが、騙しも発生し勝率が一般的に低い。

セールスレターには勝率80%から90%とあるがこれが本当ならこの手法はすごい。

ただし、この手法を実行するならかなりの時間PCに張り付いていなければ

# E-BOOKのダイジェスト

ばならないだろうし、実際は裁量の部分もかなりある。

この手法をそのまま実行しても個人によって大きく差はでてしまうだろう。

またセールスレターに掲載されている3ヶ月単一通貨のみのパフォーマンスでは不十分だ。

売買ロジック自体は納得のいくものだが、これが本当にセールスレターにあるようなパフォーマンスが出せるかどうかは少し疑問である。

但し著者が言っている「テクニカル指標はそれ自体が有効なのではなく、その指標を使っている人が多いから結果的にその指標に従った動きになる。だから誰もが使っている有名な指標を使うべきだ」という意見には共感できる。

ほったらかして月収100万稼げる

# オプション投資の裏テクニク

## 発行元情報

■発行元	古林生也
■販売責任者	古林生也
■所在地	兵庫県神戸市中央区海岸通 3-1-1
■電話	078-391-3365
■メール	info@besteye225.net
■URL	URL <a href="http://www.besteye225.net/">http://www.besteye225.net/</a>

価格 29,800 円

## … 目次 …

1 日経 225 オプション取引とは.....	7
2 オプション価格の推移.....	25
3 実際の売り方.....	47
4 リスクへの対処.....	51
5 ど転の「買い」.....	66
6 税制.....	71
7 まとめ.....	86

●全 87 ページ。チャート画面などの画像が少ない。



# E-BOOK のダイジェスト

本商材「ほったらかしで月収 100 万円 225 オプション投資に裏技」はタイトルからも分かるように日経 225 オプションの手法である。

日経 225 オプションは FX などに比べて一般の方はあまり馴染みがないだろう。

情報が少ないのと仕組みが少々複雑なのはその主な原因だが、取引資金も最低 100 万円～ 200 万円程度は必要で FX のように気軽に始められるものではない。

では商材の検証に入ろう。まず前半は日経 225 オプションに基礎知識の説明である。

この部分に全 87P 中の約半分 42P を費やしている。

実例などで説明されているが、一般書籍でも入手できるレベルの情報である。

この中で実例をあげてオプションは売り方が有利で 9 割方売り方が勝つ、とある。

これは大体その通りなのだが、ではこの手法はオプションの売りを使うのだろうか。

では売買ロジックを見ていこう。売買ロジックはシンプルなものなので以下がすべてである。

# E-BOOK のダイジェスト

- ・現在の日経平均株価を中心として上下に 1500 円程度権利行使価格が離れたコールとプットを同量、同時に売る。

- ・限月は 1 限月、2 限月から選ぶ。
- ・SQ 日に清算する。
- ・1 回の取引量は資金の 5%以内に留める。

説明すると現在日経平均株価が 1 万円だとすると 1 限月、2 限月で権利行使価格が 11500 円のコール、8500 円のプットを同量、同時に売る。

その後日経平均株価が 8500 円～ 11500 円の間で推移し SQ 日を迎えば利益となる。

オプション売りの収益源は購入時のオプション価格（プレミアム）である。

プレミアムは SQ 日までの残存期間が長く、原資（日経平均株価）の現在価格と権利行使価格に近いほど高くなる。

当然プレミアムが高いオプションを売ったほうが利益は多くなるのだが、オプションが成立する可能性も高くなる。

オプション売りはオプションが成立すると損失となり、損失は事実上無限大である。

# E-BOOKのダイジェスト

つまり先ほどの例だと日経平均株価が 15000 円、または 7000 円になってしまった場合損失となる。

現実には日経平均株価がどこまで動くはわからないので損失は無量大というわけである。

オプション売りで大事なのはできるだけプレミアムが高く、しかしオプションが成立する可能性が低い、限月、権利行使価格のオプションを見つけることなのである。

この手法で用いる現在の日経平均株価から 1500 円離れた権利行使価格は、昨年のサブプライム暴落の際にも 1500 円程度の動きだったことから割り出したそうだ。

しかしご存知なように今年 10 月の金融危機では日経平均株価は 1 万円からあっというまに 8000 円台まで下落した。

1500 円以上動いたわけだ。このような時どうするのか。

オプション売りでは損失が無量大なため、このような場合のリスク管理が重要なのだが、商材ではどんなノウハウがあるのか。

「オプション売りを推奨し、研究を重ねてきた 225 オプション投資の裏技販売責任者 古林生也がサポート期間中は万全の体制でリスク回避のお手伝いをします。リスク回避をすることが必要な時期には適宜メールにて、買

# E-BOOKのダイジェスト

戻し、買い建てについてサポートします。」

商材には驚いたことにこう書いてあるだけである。オプション売りに大事なリスク管理については何も記述がない。著者にリスク管理のノウハウが本当にあるのかも疑わしい。

またこうもある。「当レポート購入者の方に限って1ヶ月間は無料です。是非ご登録ください。」

つまり1ヶ月以上は有料ということである。

高額でマニュアルを売っておいて肝心な事は書かず、「聞きたければ有料サービスに申し込め」ではあまりに購入者を馬鹿にしたやり方である。

こんな販売方法は許されるべきではない。

また暴落時にはオプションの売りだけでなく、買いのチャンスでもあるので、買いもして見ましようとの記述もある。

「この時のタイミングはそれなりの経験と研究が必要です。是非弊社のサポートにもご登録ください。」

またもや有料サービスへの誘導である。このマニュアルの販売も月額7800円の有料サービスへ誘導することが目的だろう。

# E-BOOKのダイジェスト

こんな商材を掴まされた購入者はたまったものではない。

さてここまで全 87P 中 52P を過ぎた。実質的にはこのマニュアルはここで終わりである。

後の 30P 程は税金、実際の画面での取引の仕方などだ。

これも明らかなページ数の水増しだろう。実際の売買ロジックに関する部分は 20P といったところか。

そして肝心の売買ロジックだが、これは「ショートストラングル」という誰でも知っているオプションの有名な戦略だ。

「オプション用語。ボラティリティを売る基本的な戦略の一つ。

異なるストライクで同限月のプットとコールの両方を売り建てる合成ポジションのこと。相場が同じような価格でもみあい続けた場合、利益が発生する。逆に、上下どちらかに激しく動いたときは損失となる。」

インターネットで検索すればいくらでもこのような情報は出てくる。

著者のオリジナルでもなんでもない。セールレターにあるこんな記述はまったくの出鱈目である。

「この日経 225 オプション錬金術は、私が証券会社勤務時代に事業法人部、金融法人部時代で 10 年以上に渡り、切磋琢磨をし習得した門外不出のスキルであり、投資の極意と言えます。」

# E-BOOKのダイジェスト

門外不出どころか一般書籍で十分手に入る情報である。またこうもある。

「私、古林が証券会社で業界のウラを見、プロの視点で毎日毎晩、チャートを見続けた上で出した結論。そして今まで誰も口外しなかった、トップトレーダーだけの秘伝のノウハウでもある。それは・・・。」

これも大嘘である。トップトレーダーの秘伝のノウハウどころか、オプション取引をある程度やっている投資家なら誰でも知っている手法である。

著者は本当に金融業界にいたのだろうか。疑わしいものである。こんなことを知らない業界人がいるとは思えない。

またこんな言葉もセールスレターにはあるが決して騙されてはいけない。

「この最強トレード法を使った実績は、12か月のうち、平均11か月以上の勝ち。

なんと勝率は最低でも8割超・・・。

FXや株で、最低8割、平均9割の勝率を残せますか？それが出来れば神です。

しかし、日経225オプション錬金術ならそれが可能。一部のトッププロだけの極意であり、外資系トップディーラーのバイブル。史上初の公開となります。」

もともとオプション売りの戦略は勝率が高いものなのである。

# E-BOOKのダイジェスト

それはオプション買いが価格の方向、価格のレベル、価格がそのレベルに到達するまでの時間、の3つの条件をクリアしなければならないからだ。

対してオプション売りは3つの条件の内どれかひとつでもクリアしなければ勝ちとなる。

このことから勝率8割、9割などは神でなくても十分達成可能だ。  
しかし問題はそれで利益を出しながら運用していけるかである。

特に本商材で取り上げている「ショートストラングル」は安定して利益が上げられる手法として知られている。

しかしオプション買いは勝率は低いが今回のリーマンショックのような暴落相場では大きな利益を上げられるし、一方オプション売りは勝率は高いが、適切なリスク管理をしなければ暴落相場ではそれまでの勝ちをすべて吹き飛ばしてしまうような損失を出す可能性がある。

そしてその肝心なリスク管理は本商材では何も説明されていない。

ショートストラングルはオプションのボラティリティを予測し、それに賭ける手法だが、ボラティリティの予測は難しく、初心者が簡単に手を出していい手法ではない。

それを肝心なリスク管理の説明をせず、販売するのはあまりに危険である。

# E-BOOKのダイジェスト

これはいわばブレーキのない車を売っているのと同じだ。危険極まりない。こんな商材を買う必要はない。

一般書籍でもっと多くの戦略とリスク管理が十分に学べる。くれぐれもこんないい加減な商材に騙されてリスク管理もせずにオプション売りをしないように注意を促したい。



従来のトレードシステムの弱点を克服した驚異のスーパートレードシステム

# Super FX SYSTEM

## 発行元情報

■発行元	樫山 慶
■販売責任者	樫山 慶
■所在地	福井県坂井市丸岡町猪爪 1 -238
■電話	0776-67-8405
■メール	info@superfx.jp
■ URL	<a href="http://www.superfx.jp/">http://www.superfx.jp/</a>

**価格 64,800 円 (07/9/3 時点)**

… 目次 …

# E-BOOKのダイジェスト

## 1. システムの設定

当テキストの前半はV T Trader というチャートシステムにオリジナルのシステムを組み込む。多くのF X向き投資テキストと同様である。

## 2. トレード編

エントリーに関しては単純である。専用ソフトを組み込んだチャートに示される矢印（上向きの大きい青色が買い・下向きの小さい青が決済、下向きの大きい赤色が売り・上向きの小さい赤が決済）が出たところが売買のタイミングになる。V Tトレーダーのシステムと連動させることで、自動売買も可能になる。テキストで売買に関する説明はこれだけ。

あとはシステムの組み込み方とメール通報システムの説明である。

インジケータの設定などから推測すると、移動平均線のクロスとR S Iの組み合わせでサインが出るようになっているようだ。余計な説明や脅し、誇張がないのは好感が持てる。

あとは実績である。

# E-BOOKのダイジェスト

## 【検証結果】

システムを組み込んだV Tトレーダーで検証。対象はポンド円 2 時間足。期間は 2007 年 8 月 22 日の 14 時から 9 月 17 日 0 時まで。テキストどおりのサインで売買したと仮定。1 万ポンドでレバレッジは 100 倍とした。ノミネートと決済はサインが出た次の足の寄り付とした。

ポジション	ノミネート	月日	時間	決済	月日	時間	損益
売り	231.73	2007/8/7	4:00	231.12	2007/8/29	10:00	6,100
買い	223.07	2007/8/29	14:00	229.32	2007/9/9	18:00	62,500
売り	228.91	2007/9/9	22:00	230.92	2007/9/10	8:00	-20,100
売り	230.37	2007/9/10	18:00	229.99	2007/9/11	6:00	3,800
買い	230.54	2007/9/11	8:00	232.21	2007/9/14	2:00	16,700
合計損益							69,000

およそ 200 本の足で 5 回のトレードしかできなかった。これは中盤での揉み合い相場で、上昇相場と判断し決済サインがでなかったためだ。大きなトレンドで遅れ、ミスミスの利益を逃すケースが二回ほどあった。全体的にサインが出るタイミングが遅い。システムの出来栄としては中ランク程度。可もなく不可もなくというところである。

# ローリスク サヤ取り投資法

## 発行元情報

■発行元	トライアングルス
■販売責任者	柿田文和
■所在地	千葉県浦安市入船 1-8-1 -2610
■電話	080-5013-7977
■メール	kabu-admin@triangles.jp
■URL	URL <a href="http://sayadori.org/infocart/">http://sayadori.org/infocart/</a>

価格 39,800 円

## … 目次 …

自己紹介 .....	6
はじめに .....	9
利益を上げるポイント .....	13
サヤ取り投資のメリット .....	22
基本知識(信用取引).....	29
基本知識(日経平均と先取引).....	40
サヤ取りの原理.....	62
サヤ取り投資方法 .....	69
日経平均先物を使ったサヤ取りの実践方法.....	82
サヤ取り実践準備 .....	97
サヤ取り銘柄決定方法 .....	103
サヤ取り銘柄決定手順.....	105
相関係数 .....	112

標準偏差からの指数.....	120
おまけ .....	136
良くある質問と回答.....	151
最後に .....	17

- 付属：サヤ取り計算ツールサヤ取り君、サヤ取り君マニュアル 40 ページ
- 全 175 ページ。画像が少ないので、説明が分かりづらい。

# E-BOOKのダイジェスト

一時はインフォカートの24時間ランキングでも1位となった「ローリスク サヤトリ投資法」。

商材名の通り、サヤ取りの手法で投資対象は株式である。

商材はマニュアルと銘柄抽出やサヤの計算などができるエクセルファイル、エクセルファイルのマニュアルからなる。

では検証を始めよう。前半部分は信用取引、日経平均先物、サヤ取りの原理など基礎知識である。

一般書籍で入手できるレベルの情報であるが、ご存知ない方のために株式のサヤ取りについて簡単に概略を説明する。

株式のサヤ取りとはペアトレードとも呼ばれ、値動きに相関性のある2つの銘柄を買いと信用売りで同時に取引することである。

しかしいくら相関性が高くても、まったく同じ値動きになることはない。

2つの銘柄の価格には乖離があり、その乖離は一定の幅を持って縮小拡大を繰り返している。

この乖離をサヤと呼び、サヤが縮小すると予測した場合は価格が高い銘柄を信用売りし、価格が低い銘柄を買う、サヤが拡大すると世予測すれば価格が高い銘柄を買い、低い銘柄を売る。

# E-BOOK のダイジェスト

サヤ取りの収益は個々の銘柄の動きではなくサヤの拡大、縮小が基になる。これが株式のサヤ取りの概略だ。では商材の説明に戻ろう。

まず、大まかには以下の4つの手順で行う。

1. 相関関係のある2つの銘柄の組み合わせを見つける。
2. 2つの銘柄の組み合わせにサヤが発生するのを待つ。
3. サヤが発生した時点で両建てを行う。
4. サヤが元に戻った時点で決済を行う。

「1.」については同じ業種、同じセクター、業務上関連性が深いなどいろいろな方法がある。

株式のサヤ取りではじつはこの銘柄ペアを見つけるのが一番難しいのだが、本商材では付属のエクセルファイルで相関性の高い銘柄ペアを抽出できるようになっている。

「2.」については商材にはこうある。「この判断基準については絶対はありません。……

ですから、過去の2つの組み合わせの値動きを見て、妥当と思われる基準を決定する必要があります。」

ここが株式のサヤ取りの弱点であり、いくら過去の最大サヤ幅を検証してもそれはあくまで過去のデータに過ぎない。

# E-BOOKのダイジェスト

逆にサヤが広がったということはそれ以上サヤが拡大する前触れかもしれないのだ。

株式のサヤ取りで損失を出すのは相関関係が崩れ、過去の最大サヤをさらに更新するが多いがこの商材も明確な対処法は持っていない。

「3」の両建てを行う際は以下の2点に注意する。

- ・買いと売りを同じタイミングで実施する。

あまり厳密にする必要はないが、寄り付きや引けで成り行き注文するとタイミングを揃えられる。

- ・買いと売りの金額をできる限り同じ金額に近づける

2つの銘柄の評価額を株価、購入株数を調整して誤差が10%以内になるようにする。

「4」の決済も明確な基準はないが、予め何%利益が出たら決済と決めておくと良い。

ここまでが通常の株式サヤ取りの手法だ。

ここからは日経平均先物を使ったサヤ取りの説明に入る。

大まかな流れ個別銘柄同士の場合と同じだが、「1」ではペアの片方は日経平均先物とし、もう片方は日経平均株価と関連性のある個別銘柄にする。



# E-BOOKのダイジェスト

通常ではこれだけで銘柄を見つけ出すのは困難だろうが、付属のエクセルファイルで抽出すれば見つけることができる。

「3」ではサヤの状況によって日経平均先物買い+個別銘柄売り、または日経平均先物売り+個別銘柄買い、となる。

また2つの評価額を合わせることも個別銘柄同士の場合と違ってくる。

日経平均先物はラージだと日経平均株価の1000倍、ミニだと100倍の単位でしか売買できない。

これでは個別銘柄と金額を合わせられない場合も出てくる。その場合は取引しないのが基本となる。

ここまでが日経平均先物を使った取引の説明となる。

では全体の取引の流れをもう一度説明しよう。

大まかな流れは以下となる。

1. サヤ取り指数を考える。
2. 「サヤ取り投資実践ツール」にて組み合わせを抽出
3. 決算・ニュースなどをチェック

まず「1」だが以下の点を考慮してサヤ取りをする組み合わせの条件を決める。

- ・銘柄は日経平均採用銘柄から選ぶ。

# E-BOOK のダイジェスト

理由は値動きが安定していること、信用取引ができることである。

- ・相関係数は 0.8 ～ 1 までを選ぶ。
- ・サヤが標準偏差の  $\pm 2\sigma$  内のあるものを選ぶ。
- ・サヤが 5%以下が 70 回以上を選ぶ。

付属のソフトでは相関係数の補助としてサヤが「N%以下の回数」が表示されている。

目安としてサヤが 5%以下が 70 回以上を選ぶ。

「2」は付属のエクセルファイルを使って「1」で決めた条件に従って組み合わせを抽出する。

「3」は選んだ組み合わせについて以下のニュースをチェックする。

- ・直近のレーティング情報
- ・会社の決算発表の予定
- ・信用倍率（売り側の銘柄は特に）

ここでは売り銘柄の信用倍率が 1 倍以上である、買い銘柄の信用倍率が高すぎないことを確認する。

- ・その他経済指標・環境
- ・法制度の改定

# E-BOOKのダイジェスト

さて以上が商材の概要である。資金管理、損きりについては投資スタイルによって適切な値が違ふということで、資金の5%を1回の取引に使うといった一般的な記述があるのみである。

手法自体は目新しいものではなく、一般書籍でも同様の内容を得ることができる。

また株式のサヤ取自体が2つの銘柄だけでは厳密のリスクをヘッジできない、サヤ平均回帰（サヤが元に戻る）の理論的背景がない、市場全体の動きに左右されるなどの弱点を持っているが、本商材もその疑問に答えられていない。

しかし株式のサヤ取りをする際に最もネックとなる銘柄抽出やシミュレーションが付属のエクセルファイルでできるのは便利である。

株式サヤ取りは裁量的な判断も必要なので、初心者には向かないが、株式サヤ取りに興味があるが、手動で銘柄を抽出するのはどうも、という人に向いているだろう。

この価格がエクセルファイル代だと納得できればそう高くは感じないのではないだろうか。

もっとも筆者個人はエクセルファイルのみをもっと低価格で販売すれば良いと思うのだが。

# インサイダー情報公開！ バブル投資術

## 発行元情報

■発行元	浅野彰
■販売責任者	浅野彰
■所在地	東京都港区西新橋 1-19-10
■電話	080-3105-8218
■メール	info@millionbubble.com
■ URL	<a href="http://millionbubble.com/top/">http://millionbubble.com/top/</a>

価格 29,800 円

## … 目次 …

序章	なぜ日本人はベトナムに投資しないのか！？	6
第1章	あなたの価値はいくらなのですか？	24
第2章	ベトナムファンドに隠された多くの密	31
	〔事実その1〕	32
	〔事実その2〕	34
	〔事実その3〕	37
	〔事実その4〕	41
第3章	3000万円の資金を生み出すための投資術	45
第4章	なぜベトナム投資は儲かるのか！？	56
	〔理由その1〕	57
	〔理由その2〕	63
	〔理由その3〕	69
第5章	ベトナム投資が秘めている可能性	76
	〔広がるチャンスその1〕	77

〔広がるチャンスその2〕 .....	82
第6章 ベトナム証券市場とは?? .....	87
第7章 ベトナム不動産市場とは?? .....	95
第8章 ベトナム投資に潜むリスク .....	104
第9章 合法的インサイダー取引とはは?? .....	111
第10章 ベトナム証券口座の開設方法.....	123
最終章ベトナムで儲かる黄金株.....	132
特典について .....	157
〔特別付録〕	
HSBC 香港口座開設完全マニュアル .....	160
1. オフショアとは? .....	165
2. HSBC グループ、HSBC 香港について 169	
3. PowerVantage と SmartVantage について.....	171
4. 香港での開設手続きについて.....	178
5. 帰国したあとについて .....	195
6. クレジットカードについて .....	199
7. ここは行っとけ！香港事情通！！ .....	202
8. 最後に.....	205

●全 205P。画像は少なく、あまり綺麗ではない。体裁もやや素人くさい。

# E-BOOKのダイジェスト

一時期ほどではなくなりましたが、中国株、ロシア株やベトナム株、最近ではタイ株など新興国株投資は依然人気があるようである。

この商材もそうした新興国株投資を扱っていて投資対象はベトナム株である。

投資情報に詳しい方なら今さらベトナム株？と思ったかもしれない。

確かにベトナム株のブームは少し過ぎた感があるが、ブームと儲かるかは別の話だ。

それは商材の内容を見てから判断すればいいだろう。

まずベトナム株投資といって思い浮かぶのは証券会社が販売している「ベトナム株ファンド」だろう。

しかし著者はベトナム株ファンドに投資してはいけないという。

**1. 市場規模が約 2.5 兆円しかないベトナム株式市場で大量資金投入をすれば、自身の売買で価格を動かしてしまい、利益を挙げるのが難しくなる。**

またそれほど大量の資金を投入できる優良株もない。

しかも一定量以上の売買は相対取引となるので、資金が豊富にあることはそれほど有利には働かない。

**2. 急激に成長した新興国市場特有のガセネタもやはり多い。**

それに引っかけられないようにするにはやはりファンド任せにせず、自分の目で確かめることが大事。

# E-BOOK のダイジェスト

3. ファンドには大体 1 年～ 3 年位の契約期間があり、その間は資金を動かさない。

ベトナム株の成長スピードは速く資金を有効に活用できなくなる恐れがある。

4. ファンドでは分散投資をするために資金効率が悪く、大化け株を見つけてもリターンが小さくなってしまふ。

以上のような理由で著者は直接買いつけを推奨している。

その方法は優良株を買って長中期保有をする、という極めてシンプルな手法だ。

ではなぜ、中国やロシア、タイではなくベトナムなのか。

その答えはこうだ。

**1. 日本が高度経済成長を迎えた時の状況と酷似している。**

ベトナム戦争が起因して平均年齢が 24 歳と若く、毎年 140 万人の労働人口が投入されている。

最もこの部分はこれ以上詳しい説明がされていないので、著者の感覚に負う部分が大きいだろう。

**2. 世界的な「チャイナプラスワン」の動き。**

中国の開発が進み、人件費が高騰する中、中国に代わる次の投資先として

# E-BOOK のダイジェスト

「長い沿岸部（＝輸送コスト低）」「勤勉な国民性」「政治的な安定度」などの利点を持つベトナムが注目されている。

## 3. ドイモイ（刷新）政策

共産党支配のものもと国家一丸となってドイモイ（刷新）政策を推し進めた結果、過去 10 年間の成長率は年平均 7% を超え、昨年には株価指数である VN 指数が 3 倍にもなった。

著者によるとさらに次のような有利な材料もあるという。

### 1. 外国人投資家保有制限枠の撤廃

ベトナムには現在外国人の株式保有を 49% までとする制限がある。

この制限が近いうち撤廃されるとのことだ。

確かに現在の制限枠 49% に 30% から制限枠が広げられた時には株価は上昇したことから、制限が撤廃されれば株価は上昇するだろう。

### 2. 証券口座のオンライン化

現在ではベトナム株を直接買い付けするためには現地へ行き口座を開設しなければならない。

これがネックとなってベトナム株に投資する人が少ないのだが、2009 年にはオンラインで口座開設が可能になる可能性が高い。

著者は「じゃあそれまで口座開設は待てばいいや」では大きなチャンスを逃すという。



# E-BOOK のダイジェスト

オンラインで口座開設が可能になれば世界中から資金が一気に流れ込むため株価が上昇する確率が高い。

その前に株を仕込んでおかなければ大きな利益は上げられない。

またオンライン取引を許可されるベトナムの証券会社の株価は大きな値上がり期待できる。

そこも狙いだというわけだ。

では次からは具体的な売買に入ろう。まず現地ベトナムへ行っての口座開設の仕方が説明される。

この部分の説明は丁寧でわかりやすい。ここで躓く人も多いと思うので、この情報は有用だ。

もっとも数万円を払うと口座開設を代行してくれる業者も存在するので、それを利用すれば現地に行かなくても口座開設はできる。

ベトナム株を売買できるのは現在「ホーチミン市場」「ハノイ市場」「IPO」「OTC 市場 (未公開株) の 4 つの市場がある。

その中でも取引が活発で 10 株単位 (数千円) から売買可能なホーチミン市場を著者は推奨している。

次からは具体的な銘柄の選択方法だ。この商材のような方法ではこの銘柄選択で利益を上げられるかどうかが決まってしまうといってもいいだろう。

「まずは国策企業です。国が先導を切って進める国策に沿った企業です。」

# E-BOOKのダイジェスト

これが第一の選択肢だ。これからインフラ整備が急ピッチで進むと予測されるので、これらの銘柄は急成長が見込める。

ただし「国策企業でかつ業界 No.1 である」ことが重要だ。

これは新興市場では企業の吸収合併が盛んに行われるだろう事を予測してのことだろう。

業界 No.1 でなければ消えてしまう可能性もあるということだ。

そして最後が財務内容だ。ベトナムではまだ会計基準が曖昧でしっかりとした資料が無い場合も多いができるだけ財務内容はしっかりみなければならぬ。

その中でも PER、EPS、BPS は重要だという。また本業ではなく不動産投資の利益が大きい企業は注意する。

本業で利益を挙げられない企業は財務内容がしっかりしているとはいえない。

ただしこの部分はこれ以上の説明はなく、普段無慣れている財務諸表何度と違う見方も必要になるだろうから、具体的な説明が欲しかったところだ。

では実際そうして選ばれた銘柄（著者は黄金株と呼んでいるが）を挙げてみよう。

## 1. FPT (FPT 株式会社) 業種：情報通信業

# E-BOOKのダイジェスト

2. BVS (バオベト証券株式会社) 業種：証券、商品先物取引業
3. SSI(サイゴン証券株式会社)業種：金融・保険業 [証券、商品先物取引業]
4. NTP (ティエンフォン・プラスチック株式会社) 業種：製造業 (プラスチック製品)
5. DHA (ホアホン株式会社) 業種：鉱業 (鉱業)
6. NSC (中央種苗株式会社) 業種：水産・農林業 (農林業)

以上6銘柄が上げられているが、その他にNTP、NSC、DHAなども企業も有力だという。

さて投資だからもちろんリスクもある。新興国投資特有のリスクもあるのでそれを挙げる。

## 1. 為替変動のリスク

ベトナム株投資で上げた利益は当然ながらベトナムの通貨ドンで手に入れることになる。

もちろん日本国内で使うためには円転をしなければならないのだが、為替変動によっては利益が目減りすることもある。

つまり買った株が2倍の価格になっても円とドンの交換レートが1/2円高に振れれば利益は相殺されてしまう。

ちなみに今のドン=円の交換レートは1万ドン65円前後となっている。但し現在ベトナムでは米ドルに対して通貨バスケット制を導入しているの

# E-BOOKのダイジェスト

で、そう急激な為替変動はないだろう。

また円転せずにベトナムの不動産に投資するなどすれば問題ない。

## 2. 共産党一党支配

政治的には安定しており、逆に一党支配ゆえの強制的な経済発展というメリットもある。

但し現在の状況をバブルで危険な状況と政府がみなして法的処置を取るリスクがある。

事実不動産市場では「プロジェクト2年間未着工の場合完全没収」や「図面段階途中転売禁止」という処置が取られた。

このため不動産市場の流動性が落ち、投資意欲が冷え込むという事態が起こった。

同じようなことが株式市場に起こる可能性もある。

## 3. インフラ未整備リスク

これは上下水道等を含むインフラ未整備による病気の蔓延、自然災害、急激な発展による公害などが起こり経済成長を鈍らせる可能性だ。

## 4. 忘れ去られる企業

今後現在の上場企業よりもさらに大規模な企業が上場する可能性がある。

そうした場合、現在の中規模企業は忘れ去られ株価も上昇しないことになる。

# E-BOOKのダイジェスト

以上がベトナム株投資のリスクだ。最後にもう一つのベトナム株の特徴、インサイダー取引について説明する。

日本や欧米ではインサイダー取引はもちろん違法だが、ベトナムでは合法だ。

つまり先ごろ起こった野村証券社員のインサイダー取引なども、社内規などを別にすればベトナムでは合法なのである。

しかしベトナムと縁も所縁ない一般人がインサイダー情報を手に入れることは難しいだろう。

もし本気でインサイダー情報を手に入れようと思えば現地へ行かなければならぬだろうし、それなりに資金も必要だ。

この商材でも具体的な情報は書かれていない。ただ機会があれば違法ではないので利用しようというだけに留まっている。

セールスレターには「その内容は、合法ではあるものの限りなくインサイダーに近い'濃い'内容と言ってもいいかもしれません。」

とあるが、そのような濃い情報はない。

しかもキャッチコピーに「インサイダー情報公開」と大々的に書いてある。これは明らかに虚偽広告であり誇大広告だ。

その種の情報を期待していた人を大きく裏切るものだろう。

以上がこの商材の内容である。内容に妥当性もあるし、分かり易く書かれていると思う。

# E-BOOK のダイジェスト

ただ情報としては、銘柄情報以外特に目新しいものはなく書籍レベルである。

但し、銘柄情報や商材では明らかにされなかったインサイダー情報を別途提供することなので、その情報が本物ならこの価格も安いものかもしれない。

普通に考えれば本書が出される以前にもインサイダー情報はあはずだ。そんな情報を本書内に 1 つでも書いてあれば少しは信用できるかもしれないが、それもなかった。本用に筆者がインサイダー情報を入手できる実力があるのか？実力があっても本当に提供されるかどうかは筆者次第だ。

投資における必勝法があるとするならばそれは 100% 確実なインサイダー情報しかないのだから。

# 鬼勝ち FX

～ファンドマネージャーも買いたいロジック～

## 発行元情報

■発行元	株式会社ウェルビジネス
■販売責任者	酒井清一
■所在地	大阪府大阪市中央区本町橋 2 - 2 3
■電話	06-6943-4810
■メール	info@e-consul.net
■ URL	http://www.e-consul.net/

価格 79,800 円

## … 目次 …

鬼勝ち FX マニュアル（投資理論編）.....	7
① 為替相場によるメリット	
② 為替相場によるデメリット	
③ 取引業者による重要性	
④ 投資における勝率や確率	
⑤ 利食い、手仕舞いによる重要性	
⑥ 確率からくる重要性	
⑦ 勝てる考え方	
⑧ 負ける考え方	
⑨ 資金コントロール法	
⑩ 今後の相場について	
鬼勝ち FX マニュアル（ツール説明書）.....	35

●付属 シミュレーションエクセルファイル

●全 74 P。画像が不鮮明な部分がある。また章立ても少なく構成がわかりにくい。



# E-BOOKのダイジェスト

「わずか40万円を1億6256万円までにした」

「某有名ファンドマネージャーが3億円で独占しようとした」

セールスレターにはにわかに信じられない文字が躍っている。

経験上ではこうしたセールスレターの商材は要注意なのだが、先入観をもたずに検証を始めよう。

本商材は全部で57Pほどなのだが、約半分のページを割いて投資理論について説明している。

但しこの部分は、よくあるページ数の水増しのために書籍から引用したような文章ではなく、しっかりと投資理論について書かれている。

とはいえ内容的には書籍で入手可能なレベルなのでここでは詳しくは触れないが、本商材の売買ロジックに関わる部分は説明しておこう。

## 1. 投資における確率や勝率

どんなに売買ロジックの仕掛けの部分を研究したとしても、長期的には勝率というものは5割程度に落ち着く。

ならば売買ロジックにおいて重要なことは利食い、損きりなどの手仕舞いの部分となる。

## 2. トレンドフォローとカウンタートレード

投資における仕掛け方は大きく分けるとトレンドフォロー（順張り）とカウンタートレード（逆張り）に分けられる。

# E-BOOKのダイジェスト

それぞれのメリット・デメリットを以下の位挙げる。

## トレンドフォロワーのメリット

- ・ 値動きを追っていくので大きな利益を挙げやすい。
- ・ 相場が単純な動きをする時ほど利益を挙げやすい。
- ・ 売買回数が少なくなる傾向にあるので、手数料の負担が少ない。

## トレンドフォロワーのデメリット

- ・ レンジ相場に弱く、だましが頻発するため小さな損失が連続しやすい。
- ・ 仕掛けるタイミングが難しく、タイミングは遅くなりがちである。
- ・ 移動平均線のクロスなど以外、トレンドの判断がしにくい。
- ・ 手仕舞いのタイミングが難しい。
- ・ 勝率が低く損益率は高くなる傾向にある。

## カウンタートレードのメリット

- ・ 比較的高い勝率が期待できる。
- ・ また勝率が高いので、心理的負担が少ない。

# E-BOOKのダイジェスト

## カウンタートレードのデメリット

- ・ 予測が難しく、難解なロジックが必要になりがちである。
- ・ 長期トレードの場合含み損を抱える期間が長くなる。
- ・ 短期トレードが多くなるので、手数料の負担が大きくなる。
- ・ トレンド相場では機能しない。

これらをふまえてこの商材では売買ロジックを構築する。

まず仕掛けは損小利大を目指すためトレンドフォローの形を取る。

条件は以下になる。

使用するテクニカル指標

- ・ 日足のローソク足

取引対象通貨

- ・ ポンド円

1. **ポジションが0の場合（保有ポジションが無い場合）のみ仕掛ける。**
2. **当日のローソク足が陽線なら買い、陰線なら売り。**
3. **注文はNY市場の終了時間、日本時間なら午前6時（冬時間は午前7時）に入れる。**

驚くほど単純だがこれだけだ。トレンドフォローで仕掛け、その時点で利食い損きりポイントを設定する。

損きりポイントに引っかからなければ、いつかは利食いポイントに価格はヒットするのだから時間は考慮する必要がない。

# E-BOOKのダイジェスト

またこのためレンジ相場でも損失をする事が少なくなる（利益を挙げるのではなく、新たなポジションを建てるところで発生する手数料を少なくする）。

確かに理屈は理解できたのだが、しかし利食いポイントと損きりポイントをよほどうまく設定しなければ、頻繁に損きりに引っかかり損失増大となる恐れがあるだろう。

また新たなポジションを建てないので、ポジションが塩漬けになり、売買回数が極端に減る可能性もある。

その疑問に答えてくれるのか、続きを見てみよう。

## 1. 固定の利食い、損きり設定

付属のツールには以下の利食い、損きりポイントが固定で設定されている。根拠や算出方法は商材中では説明されていない。

またこの利食い、損きりポイントは今後の検証結果次第では変わることもある。

ポンド円

利食いポイント 買い 3.69 売り 2.39

損きりポイント 買い 2.34 売り 0.81

## 2. ATRを使って利食い、損きりをする。

# E-BOOKのダイジェスト

ATR は以下の計算式で算出する。

$$\text{ATR} = \text{EMA}(n) [\text{True Range}]$$

\* True Range は「当日の高値と安値の差」「前日の終値と当日の高値の差」「前日の終値と当日の差」のうち最も大きい値

この値はいちいち計算するはなく、著者が検証結果から導き出した ATR 値 1.662（期間 30 日）を使用する。

この値をトレーリングストップとして利用する。

使い方は現在の価格から 1.662 を引いた価格にストップを置くだけだ。

当然毎日価格は変化するのでストップの値も変えていく。

次は資金管理だ。これは簡単で 30 万円に付き 1 万通貨ポジションを保有する。

資金が 60 万になれば 2 万通貨保有する。これはこれまでの最大ドローダウンなどを考慮した結果だという。

以上で売買ロジックの説明は終了だ。売買ロジックの根拠となる考えは面白いし、仕掛けの勝率が 5 割でも、利食い損きりのポイントを徹底して設定すれば、パフォーマンスが飛躍的に向上することを示した点は良かったと思う。

しかし結局手法自体はトレンドフォローの一種であろう。

トレンドフォローの弱点である大きいドローダウンも低い勝率からも完全

# E-BOOKのダイジェスト

に逃れられてはいない。

商材で推奨している資金管理はそもそも考慮してのことだろうが、資金効率  
はあまりよいとはいえない。

最も逆に安全性は高く、この資金管理なら複利運用も可能かもしれないが。  
ただ残念なのはセールスレターで売買ロジック公開と謳っているにもかかわらず、  
肝心の利食い、損きりポイントの算出法が書かれていないことだ。  
これでは状況の変化があった場合に購入者自身で対応できない。

この商材は 79800 円する。比較的高額な商材が多い投資系のなかでも高  
額の部類に入る。ここまで高額だと、購入者としても厳密なロジックを期待  
するのは当然である。しかもセールスレターにロジック公開と書いてあるの  
だ。この不実告知を見逃すわけには行かない。

また売買手法とは関係ないが、気になる点がある。

セールスレターの冒頭に著者の自己紹介がある。

「こんにちは。村山です。私は、大学を卒業してから就職をしたことがあ  
りません。大学時代から FX を開始し、現在もなお新しいロジックの開発に  
明け暮れる日々を送っています。」

とあるのだが商材中にはこんな文がある。

「私は現在、SE としても業務をしているのですが、何故 SE も併用してい  
るのか理由を説明いたします。…」

# E-BOOKのダイジェスト

これはどういうことだろう、辻褄が合わない。

セールスレターの著者と商材の著者は別人なのだろうか。

明らかなセールスレターとの乖離だ。この分では「某有名投資ファンドマネージャーが3億円で独占しようとした」も怪しいものだ。

別に就職したことがあろうがなかろうが、SEだろうが、そんなことは大して関係ないだろうに。

商材の内容自体は悪くないだけに、こんな小賢しいセールステクニクに走らないで欲しかった。

■■アフィリエイト報酬大幅UP中！！■■

# 【黒船再来】投資先進国アメリカの20万円を一億円に変える投資方法

## 発行元情報

■発行元	株式会社チャートマスター
■販売責任者	根崎優樹
■所在地	東京都練馬区石神井台 2-4-2 1
■電話	080-127-3703
■メール	info@chartmaster.jp
■URL	http://fx-chartmaster.jp/top/

価格 41,800 円

## … 目次 …

### これさえ知っていればできる FX

はじめに .....	2
投資ってつまりどういうこと? .....	9
FXの世界ってどうなってるの? .....	16
証券会社.....	62
注文方法の意味.....	66
システムトレードとは? .....	68
終わりに.....	74

●全 78P。文字が大きく行間も広い。実際のページ数は半分ほど。

### テクニカル分析のコツ

1. プロローグ .....	3
----------------	---



2.	旅にパンツは忘れてもテクニカル分析は忘れるな.....	6
3.	トレンドに隠された真実 .....	14
4.	トレンドラインに間違いなんてない .....	25
5.	中指だけわかっときゃいいんだよ、中指だけ .....	59
6.	FIB はなんでも知っている.....	69
7.	名探偵 FIB ～為替君の一日～ .....	86
8.	ネコ型ロボットの力を借りて .....	103
9.	何であれやるからには負けちゃダメ .....	118
10.	エピローグ .....	124

●全 124 ページ。文字が大きく行間も広い。実際のページ数は半分ほど。

# E-BOOKのダイジェスト

「トレンド サポート/レジスタンスフィボナッチリトレースメントこの3つの分析だけで為替では9割以上勝てます。」

とセールスレターにはある。

そして「20万円を1億円に変える投資方法…」とも。

たいした自信ではあるが、その内容はいかほどか。早速商材内容を見ていこう。

商材のPDFファイルは「これさえ知っていればできるFX」と「テクニカル分析のコツ」に分かれている。

「これさえ知っていればできるFX」は題名からもわかるようにFXの基礎知識が書かれている。

特別な内容はなく、初心者向けの書籍で学べる内容だ。

肝心の売買ロジックは「テクニカル分析のコツ」に書かれている。

まずはテクニカル分析の必要性が説明される。突発的な事態にも対応できるようにテクニカル分析を学ぼうといった主旨である。

セールスレターにある「大ヒット映画タイタニックに隠されているテクニカル分析の真実とは？」の部分だが取り立てて言うほどの内容ではない。一般的なテクニカル分析についての解説である。

続いて売買ロジックの説明だ。手順は以下の通りとなる。

# E-BOOKのダイジェスト

## 1. トレンドの方向を知る。

トレンドの方向を知るのにはダウ理論を使う。

- ・上昇トレンド

高値と安値が両方とも切り上っている。

- ・下降トレンド

高値と安値が両方とも切り下がっている。

## 2. トレンドラインを引く。

引き方は前後3本のローソク足を見て真中のローソク足が飛び出している箇所（著者は中指と呼んでいる）を見つけそれぞれを結ぶ。

場合によっては上昇トレンドのライン、下降トレンドのラインが両方引ける箇所もあるがその場合もダウ理論に当てはまっていればすべてトレンドラインを引く。

また以下の状態になったら、現在のトレンドラインは無効になったので、削除する。

- ・始値・終値ともにトレンドラインの上または下にあるローソク足が2本連続で出現した場合。

一点目の安値から見て切り上がっていたら（切り下がっていたら）、その安値から新たなトレンドラインを引く。

# E-BOOKのダイジェスト

この作業を以下の条件を満たすまで繰り返す。

- ・上昇トレンドの場合

2点目の安値が1点目の安値より低くなった時。

- ・下降トレンドの場合

2点目の高値が1点目の高値より高くなった時。

つまり上昇トレンドなのに右肩下がりのラインしか引けないなど、トレンドに逆らったラインしか引けなくなった時である。

## 3. サポート・レジスタンスラインを引く。

前述したトレンドラインでは真中が高い点を、結んだラインと、低い点を結んだラインが引ける。

高い点を結んだラインがレジスタンス、低い点を結んだラインがサポートになる。

## 2. フィボナッチリトレースメント (FIB)

さらに細かいサポート・レジスタンスを引く。

比率は通常の比率に「0.768」を加える。サポート・レジスタンスで説明した場合と同様に中指と中指を結び、そのラインの始点を「1.00」とする。

それが新たなサポート・レジスタンスラインとなる。

「0.768」のラインを破られたらそのFIBは無効として、新たなFIB

# E-BOOK のダイジェスト

を引く。

使い方としては「何処まで下がって反発するか」を判断する場合は上昇トレンドから FIB を引く。

「何処まで上がって反落するか」を判断するためには下降トレンドから FIB を引く。

上昇トレンドの場合で説明すると直近の高値の中指から安値の中指にまず FIB を引く。

次に安値の中指のポイントを変えて3つの FIB を引く。

3つの FIB の各ラインが複数重なり合っている箇所を探す。

この重なり合ったラインでレートが止まり、買いのサインが出たら買う。

しかし売買サインの具体例は記載されておらず、あくまで例として以下のルールがあるだけだ。

1. サポート(レジスタンス)とトレンドラインが重なっているからトレード。
2. サポート (レジスタンス) と FIB が重なっているからトレード。

結局この商材はテクニカル分析の方法と売買システムの概要を説明しただけに留まっている。

著者は商材中になんども「システムトレード」と書いているが、肝心の売買システムの詳細は説明されない。

この商材には特典として著者が販売している、PF チャートというチャートソフトの1ヶ月無料使用権がついてくる。

# E-BOOK のダイジェスト

筆者もデモアカウントを入手して使用してみた。

確かこのソフトを使えば商材で説明されている FIB などのテクニカル指標を簡単に作成できる。

またセールスレターにある「ロイヤルストレートフラッシュ」「シックスエース」「ワイルドカード」と名づけられたシステムの売買シグナルもチャート上に表示されるようになっている。

売買ロジックは商材で説明されていた内容と同じだが、設定をいろいろ調べてみてもパラメーターの設定など詳細はわからなかった。

結局パラメーターの設定などがわからなければ、このチャートソフトを使用しなければこの売買システムを実行できない。

しかし商材を買ってもチャートソフトが使えるのは無料期間の 1 ヶ月だけだ。もし使い続けたければ毎月 25000 円の使用料を払い続けなければならない。

このことが果たしてセールスレターにきちんと書いてあっただろうか？

もう一度セールスレターを見直してみた。わずか数行こうあるだけである。

「※ PA チャート LITE は 30 日間限定で利用する事ができ通貨ペアが USD/CHF,CHF/GBP の 2 種類のみ、という以外は全ての機能で正規版 (正規版は 21 種類のペア) と同等です。」

それどころか「サインが出たら売買」自動システムトレードで億万長者

# E-BOOKのダイジェスト

に！」などとさもこの商材を買っただけで自動売買ができるかのように謳っている。

これは明らかに重要事項の不告知に当たるだろう。

商材ではなんども「これがシステムトレードです」という言葉が出てくる。

しかし商材で書いてあることはテクニカル指標の見方と売買システムの概要だけである。

商材を見る限りでは売買システムにおかしな部分はない。

もっとも有効性はセールスレターにある検証結果だけでは期間が短すぎて判断できないが。

はっきり言ってこの商材はチャートソフトに申し込みをさせるための釣り餌だろう。

購入者は売買システムの概要とテクニカル分析の説明の41800円も払わされるのだろうか。

それならば最初からチャートソフトにだけ申し込んだ方がよい。

売買システムの有効性とは関係ないかも知れないが、筆者はこんな販売手法をする著者を信用する気にはなれない。

マニュアルには必要なことが書かれておらず、専用のソフトウェアを使わなければ実践できない。しかも専用ソフトウェアが月額25000円かかるという不実告知をみたら、読者は騙されると思うだろう。筆者の猛省を促したい。

# 2億を作った 超短期仕手株投資法

【完全返金保証付き】

## 発行元情報

■発行元	(合) コミュニケーションファクトリー
■販売責任者	コミュニケーションファクトリー 通販部 担当：加藤和也
■所在地	愛知県名古屋市中村区名駅3丁目5
■電話	080-3282-7095
■メール	communication@communicationfactory.info
■URL	http://sitekabuc.communicationfactory.info/

価格 29,800 円

## … 目次 …

口座を開設する.....	5
注文をする.....	8
投資の世界を知る.....	9
初心者が陥るワナを知る.....	14
個人投資家の不利をさらに知る.....	18
勝ち組投資家になる.....	26
勝ち組投資家の条件.....	33
仕手株取引の全貌と基本.....	41
仕手株の実践的売買法.....	60
番外編 小学生でもできる仕手株購入マニュアル.....	90

●付属：仕手株投資用語集 7 P

：仕手株発掘法チェックリスト 1 P

●全 94 P。画像は殆ど無い。文字は色分けがあまりなく見にくい。



# E-BOOKのダイジェスト

「仕手株」と聞くとあなたはどんな印象を受けるだろうか。

「胡散臭い、危険」そんな印象を持つ人も多いだろう。

「仕手株とは、企業実態面での裏づけがないまま、マネーゲーム的に株価が吊り上げられる株のこと。」-ALL ABOUT マネー運用より

もちろんこの商材は株価操作をしようという類のものではなく、仕手株を見つけ出し、その動きに乗って利益を挙げようという手法である。

では商材の中身を見ていこう。まず目に見える特徴として仕手株は急激な値動きをする。

なぜかという仕手筋と呼ばれる集団が意図的に株を買占め株価を上げているからだ。

仕手筋の目的は安い株を大量に買い入れ、その株を情報操作やいろいろな手法を使い価格を上げた後に売り、利益を得ることだ。

仕手筋が仕掛ける流れは次のようになっている。

1. **仕手筋が銘柄を選択する。**
2. **その銘柄を静かに買い進める。**
3. **ある程度集まったら株価を急騰させる。**
4. **株価が上がりすぎたら手持ち株を一部売り、株価を小反落させる。**  
(利食いをしながら、市場をコントロールする)
5. **上昇トレンドを作りながら株価を更に上昇させる。**

# E-BOOKのダイジェスト

6. 情報を意図的に流し、更に株価を吊り上げる。
7. 投資家が集まりだし後は勝手に株価が上がりだす。
8. 仕手株が出来高ランキングや値上がり率ランキング上位に顔を出すようになり、市場における注目銘柄になる。株価はますます上がる。

(この辺りで仕手筋は売り逃げる)

## 9. 株価は暴落

この商材の手法ではこの流れの「1.」より前から「2.」の間で仕手株の初期波動を捉え「3.」の前に株を購入する。

そして株価が急騰した後「8.」の前に仕手筋が売り抜ける兆候を掴み一緒に売り抜ける。

仕手株投資をする際に重要な5つのルールがある。

### 1. 安い時にしか買わない。

仕手株の値が動き始めたところ、すなわち安い価格で買えばリスクを軽減できる。

仕手株を発見したら「もう少し様子を見よう」などと思わず、すぐ買うべきだという。

### 2. 値が上がっていても上がった時に買わない。

これはリスクも増えるし、大きな利益も期待できないからである。

### 3. 損きりを覚悟する。

# E-BOOKのダイジェスト

仕手株と思ってしかけても、そうでない場合もある。

そのような場合は含み損 10%のように具体的な数字を決めて損きりする。

## 4. 外からの情報にも惑わされない。

仕手筋が株価を吊り上げるために意図的に情報を流す場合があるので、仕手株に関する以下のような情報には惑わされないように注意する。

- a. インターネット上の掲示板などの情報
- b. 取引している証券会社外務員からの情報
- c. 投資顧問業者からの情報
- d. マスコミからの情報

## 5. 売りのタイミングになるまですぐには手放さない。

前述したように仕手筋はその過程で一時的に値を下げる仕掛けをするので、売りのタイミングをきちんと見分けて手仕舞うことが大事だ。

次からは具体的な売買にはいろ。まず仕手筋が仕掛けてくる心理戦に負けないためには仕手筋の手口を知っておく必要がある。

### 1. 仕手株の手口

前述した仕手株の流れの「3.」から「6.」において仕手筋は以下のような手口で仕掛けてくる。

- a 玉を転がす

# E-BOOKのダイジェスト

これは「3.」から「5.」の段階で仕掛けてくる。

買い集めた株をわざと高値で売りに出し、また自分で買うことだ。

これを繰り返し株価を上げていく。逆に空売りをいければ株価を下げることもできる。

## b ふるい落とし

これは仕手筋が株価を操作するのに必要な浮動株を十分に集められなかった場合に行う。

厚い売り板をわざと見せて投資家の狼狽売りを誘い、売り出された株を買い集めるなど様々な手法が使われる。

チャート上で2日連続して大陽線がでてから大陰線が出た場合、1日目に大陽線がでてから大陰線が出た場合などはふるい落としが行われている可能性が高い。

## c 情報操作

主に「6.」の段階で行われる。これまでも述べたように仕手筋は株価を吊り上げるために意図的に情報を流す。

具体的な例だと流れの最終段階では「目標株価〇〇円」といった情報が流れることがある。

この目標株価にはもちろんまったく根拠はない。

しかし株価が上昇し、楽観的になっている状況では一般投資家は「目標株価までまだかなり余裕があるから大丈夫」と安心してしまいがちだ。

しかし実際には株価はその目標に達することなく暴落する。

# E-BOOKのダイジェスト

仕手株の対象になる銘柄は本来取引量が極端に少ない。

しかし買い集めた株を大量に売りさばくためには一時的に出来高を多くする必要がある。

そのため意図的に情報を流し、一般投資家の提灯買いを誘うのである。

## d 見せ板

この手口も流れの「6.」で主に行う。わざと何十万単位の買い板を作り出し、まだまだ株価が上がるような錯覚を起こさせる。

そして早く買わなければ売り玉がなくなってしまう錯覚を起こさせるのである。

この手口で一般投資家の買いを誘うと同時に仕手筋は売り抜ける。

仕手株の最終段階では板の動向はあまり気にしないほうがよいという。

以上が仕手筋の手口だ。これを知っておくことで仕手筋の手口に惑わされることはなくなる。

では仕手筋に狙われやすい銘柄の条件はなんだろう。

「東証1部半・2部株の銘柄、大証1部、2部の銘柄、ジャスダック東証マザーズ、ヘラクレス等に上場している小型株です。」だという。

具体的な銘柄としては以下が挙げられている。

「佐田建設・イハラケミカル・マミヤオーピー・ケンウッド・クラリオン・

# E-BOOKのダイジェスト

ニチモウ・東都水産丸 善・中山製鋼所・岩崎電気通信・川崎化成・上毛・東邦亜鉛・油研工業・プレス工業・学研・明星工業・オカダアイヨン・ダイワ精工・ゼネラル・ナラサキ産業・日本アルミシンワ・ユニチカ・エーアンドエーマテリアル・古林紙工・日本カーバイド工業・ナイガイ・オメガ・プロジェクト・共栄タンカー・日本配合飼料・中川無線電機」

更に以下の条件で仕手筋に狙われる銘柄を見つける。

## 1. 発行株数が少ない銘柄。

特に発行株式が80000000株以下の銘柄

## 2. 浮動株数が40%以下

特に10%~30%が特に望ましい。

## 3. 貸借銘柄

## 4. 株価が100円以上200円の銘柄

## 5. 対象となる会社の資本金が少ない。

具体的には100億円をこえないこと。

以上の条件を満たせば仕手株になる可能性は高い。

しかしこれは新興市場には当てはまらないので注意が必要だ。

これらの情報を会社四季報か証券会社のホームページでチェックする。

またもっと簡単に仕手株を見つける方法もある。

# E-BOOKのダイジェスト

それは以下の条件で値上がり率ランキングをチェックすることである。

チェックする時は値上がり率ランキングの下位まで見る。

仕手株として動きだした銘柄は下位にいることがあるからだ。

## 1. 株価が値上がりする材料がないにも関わらず株価が少しずつ上昇している銘柄。

特に出来高が徐々に増えている株は怪しい。こういう株はYahooファイナンスで値上がりする材料があるかないかをチェックし、もし無ければ仕手株の可能性が高い。

## 2. チャートを見てボックス圏を形成している。

自然な株価の動きに見せかけ周りに気がつかれずに株を買い集めている。

## 3. 厚い売り板がある銘柄

前述したように仕手筋は厚い売り板で売りを誘うので、厚い売り板の銘柄は注意が必要だ。

この3つの条件に一つでも当てはまる銘柄を値上がり率ランキングの中で見つけたら、監視対象にに入れていつでも買えるようにしておく。

前述した5つの条件と合わせて仕手株と判断したら買いをいれる。

また短時間で利益を得たい場合は、値上がり率ランキングの上位の銘柄の中から、これまで書いた仕手株の条件に当てはまる銘柄を探し出して買う。

これは流れの「7.」から「8.」の最終段階の株価上昇に乗る方法だ。

# E-BOOKのダイジェスト

しかしこの方法はすぐ暴落する可能性も高く、出来るだけ短期決戦を心がけ、すぐ利食いするべきだという。

次からは具体的な買い売りのタイミングについての説明だ。

まず見つけた仕手株を買う前に市場全体の流れが仕手株に向いているかを見る。

市場全体の流れが仕手株に向いていなければ仕手筋は仕掛けてこない。

市場全体が大きく上昇していたり、下落していたりする場合、仕手筋は仕掛けてこない可能性が高い。

下落している場合は一般投資家も損をしていることが多いので、誘いに乗ってかってくれない場合が多い。

また上昇している場合は全ての銘柄が上昇しているので、仕手株が目立たず誘いに乗ってかってくれない場合が多い。

つまりボックス相場が仕手株には向いていることになる。

理想の買い場は流れの初期波動の部分である。

これをチャートで判断する。「今まで大きな動きが無かったチャートが突如として勢いを増して出来高が急増し、チャート上に太陽線が出現する状態。」がそれに当たる。

またこの時期を逃してももう一度買うタイミングはある。



# E-BOOKのダイジェスト

仕手筋は流れの中で一般投資家の売りを誘うために一度株価を下げる。  
初期波動後につけた高値から15%前後株価が下げた時点が次の買い場だ。

売りのタイミングは以下の3つサインから見る。

## 1. あらゆる情報ソースから仕手株に関する情報が聞かれるようになる。

これは仕手筋が売りぬく準備を始めた証拠だ。

情報が流れ始めてから1、2日以内に売却したほうがよい。

## 2. 太陽線が出た翌日に窓を開けて寄り付いたら直ちに売る

## 3. 浮動株に近いあるいは浮動株を超える出来高になったらすぐに売る。

これは株価が高い時に出来高も高い時は仕手筋が売り抜けている可能性が高いからだ。

以上が商材内容の全部だ。実際に仕手筋と呼ばれる集団が存在し株価操作をしているのかは筆者にはわからない。

また実在したとしてもこの商材に書いてある手口を使っているのかもわからない。

しかしそれを別にすれば、仕手筋の手口、それを見抜き、利用する方法は筋が通っている。

またセールスレターに掲載されている売買成績もチェックしたが、商材内

# E-BOOKのダイジェスト

容に書かれている動きや特徴があった。

しかしこれは後だしジャンケンのように結果が出てから掲載できるので、過度に信用しないほうがいいだろう。

また商材の内容もチャートの利用などを除けば大部分は書籍やインターネット上で手に入るものだ。

銘柄情報などの特典もないので、インチキ商材ではないが、価格程の内容は無いと思う。

# 借金男

## 発行元情報

■発行元	副島康寛
■販売責任者	副島康寛
■所在地	茨城県取手市井野 1-10-8
■電話	080-3272-8133
■メール	bhc@sunmail.jp
■URL	<a href="http://www.sunmail.jp/100man.html">http://www.sunmail.jp/100man.html</a>

価格 9,800 円

## … 目次 …

1.	FX ってなに.....	3
2.	早速口座を作ろう.....	10
3.	口座ができるまでに基礎から勉強しよう.....	19
4.	チャート画像.....	40
5.	「モメンタム」「MACD」「F ストキャスティクス」「雲」.....	81
6.	それでは 1 週間の完全保障について.....	108

- 全 114 ページ。文字が大きく行間もとってページ数を水増ししている。  
見出しも少なく構成も行き当たりばったりでわかりにくい。

# E-BOOKのダイジェスト

この商材の著者は1日で100万も稼いでいるそうだ。

本当だとしたらうらやましいものだが。はっきりいってセールスレターはちょっと前までよくあった外車やリゾート地の画像が満載の胡散くささ丸出しのものである。

セールスレターのチャート画像を見てみるとどうやら一目均衡表とMACDストキャスティクスを使うようだ。

「あるもの3つ利用することによって買いと売りのタイミングが分かっ  
てしまいます！」とあるが3つとは一目均衡表とMACDストキャスティクス  
のことだろうか。

それでは商材の内容を見ていこう。この商材は全114P。

まずFXの基礎知識の説明から始まる。書籍やネットなどでも入手できる一般的な内容だ。

この手法ではひまわり証券とMJの口座を使用するので口座開設方法の説明が続く。

続いて各種テクニカル指標の基礎的な説明だ。これも極めて一般的なレベルの内容である。

ここまでで約40Pを費やしている。親切といえなくもないがどうもページ数稼ぎの感もある。

# E-BOOK のダイジェスト

このあとは突然この手法で用いる実際のチャート画像が40数ページに渡って掲載されている。

理由はチャートを見る目を養うためだそうだが、まだ売買ルールの説明もないのにこんなチャート画像を多数見せられてもなんのことだかわからない。

このチャート画像を見ると冒頭で述べたとおり、一目均衡表とMACD、ストキャスティクスを使っているようだ。

これらのチャート画像のページがやっと終わった時点で80Pが過ぎていた。

さてやっと次からは売買ルールの説明にはいる。

使用するテクニカル指標は以下の4つだ。

1. **モメンタム**
2. **MACD**
3. **ファーストストキャスティクス**

そして補助的に一目均衡表を使う。ここでまた突然一目均衡表の説明が始まった。どうも行き当たりばったりの構成である。

なぜテクニカル指標の説明のページでやらないのだろうか。

そして次にはグランビルの法則の説明がまたもや突然出てくる。

# E-BOOK のダイジェスト

なぜここでグランビルの法則の説明をするのかさっぱりわからない。

先を読み進んでも売買ルールにはまるで関係はない。ここまで滅茶苦茶な構成も初めてみた。

気を取り直して先に進もう。しかしここまでですでに91Pに差し掛かっている。

売買ルールの説明に使われるのは残り20数Pのようだ。

あきれたページ数の水増しである。まずひまわり証券の口座にログインし「移動平均線」「一目均衡表基準線」「ボリンジャーバンド」「雲」をチャートに表示させる。

次に「F ストキャスティクス」「MACD」「モメンタム」も同様に表示させる。

ここまででパラメータの説明はない。デフォルトの設定でよいということだろうか。

それならそう説明しないとまるでわからない。こんないい加減な説明で取引しろといっても無理だ。

ひまわり証券の口座はあくまでチャート表示用で取引はスプレッドの狭いMJの口座で行う。

とまたここでスプレッドの説明が始まった。最初のFX基礎知識でなぜきちんと説明しないのか。

# E-BOOKのダイジェスト

何度も言うようだが滅茶苦茶で行き当たりばったりの構成である。

次にやっとチャートを使っての売買ルールの説明に入るかと思えば、今度は取引画面の操作や注文方法の説明に入った。

この著者はよほどページ数が稼ぎたいらしい。

そのためには読者にとって分かりづらくなっても全然構わないようだ。

次にはなぜかいきなり損きりの説明だ。その前の売買ルールはどうしたのだろうか。

チャートを表示させただけではないか。

その損きりルールもこうだ。「損失はここまでにしておこう」と、負け方を決める。つまりどのくらい損失がでたら店仕舞いをするかを、前もって投資家自身が決めておくことです。」

これではただの損きりの説明だ。具体的に実行できるルールを示さなければ何の意味もない。

そしていきなり返金保証の説明になってしまった。

まさか売買ルールの説明はこれで終わりということだろうか。というより何の説明もしていないではないか。

チャート画像を表示させただけだ。このチャート画像をどう使って取引するというのだ。

この商材の売買ルールらしきものは以下の文のみである。

# E-BOOKのダイジェスト

「モメンタム」「MACD」「Fストキャスティクス」が底、又は天上についてから少し上がったところ、または少し下がったところが注文のタイミングです！底、天上についてのすぐの注文はNGです！」

そして以下の値が大きく動きやすい時間を参考にしてくださいとある。

1. 午前8時～午前10時頃
2. 午後4時～午後6時頃
3. 午後9時～午後0時頃

さてもうページ数も113Pになった。これ以上売買ルールの説明はない。はっきり言えばこの商材に書かれているのは売買ルールではない。

ただチャートを表示させただけだ。そのチャートをどのように使うのかの説明もないし、具体的な仕掛けや利食い、損きり、資金管理、売買ルールの根拠など一切ない。

もちろん売買成績を裏付けるような証拠もない。

「あるもの3つ利用することによって買いと売りのタイミングが分かっ  
てしまいます！」のではなかったのか。

こんな内容でどうして買いと売りのタイミングがわかるのか教えてもら  
いたい。

あまりにも人をバカにした内容である。売買ルールともいえないような  
10数ページと書籍などで入手できる基礎知識をページ数を水増しするた  
めにくっつけただけだ。



# E-BOOKのダイジェスト

FX やテクニカルの基本知識なら本屋でその手の本を買ってくるだけで充分だ。

9800円を出すほどの価値はどこにもない。

しかも今まではどんなダメ商材でも売買ルールだけは提示していた。それが有効でないとしてもだ。この著者はその最低限のことさえしていない。

最後に著者は1週間以内に利益がでなければ全額返金を謳っているが、こんな売買ルールともいえないようなものではいくらでも言い逃れができるだろう。

「あなたは私の手法を実行していません」と。  
既に販売ページは跡形もなく消え去り、筆者は逃げの準備に入っている。  
読者はこのような商材に騙されないように、次のことを注意してもらいたい。

本書のように、極端に価格の安い商材の場合、商材の価格と筆者の現状が合っているか？つまり1日100万稼ぐ(年収3億以上)の人が9800円の商材を売るのは不自然ではないのか？あまりにアンバランスなものは信用してはいけないのだ。

# 瞬殺 FX

## 発行元情報

■発行元	児玉将治
■販売責任者	児玉将治
■所在地	岐阜県岐阜市五坪 1-3-2
■電話	097-503-5555
■メール	ishunsatufx@yahoo.co.jp
■ URL	http://shunsatufx.hp.infoseek.co.jp

価格 59,800 円

## … 目次 …

はじめに.....	4
瞬殺 FX の概要.....	5
利用業者	
1. チャート用 FX 業者	
2. トレード用 FX 業者	
解説 .....	8
1. 事前準備その 1	
2. 事前準備その 2	
3. エントリー	
4. 決済	
損きり .....	13
トレードに適した通貨ペア .....	15
トレードに適した経済指標.....	15
練習 .....	16

時差の確認方法.....	16
取引履歴画像.....	17
まとめ.....	18

●全18ページ。画像を使つての説明がやや分かりづらい。

# E-BOOKのダイジェスト

「瞬殺FX」なんとも仰々しい名前だが、これが今回検証する商材だ。

まず始めに驚いたのが、ページ数の少なさだ。一昔前ならいざ知らず、最近のFX情報商材は100P以上あるのがザラだ。

しかしこの商材はたったの18Pである。もちろんページ数が多ければ内容が良い訳ではなく、市販の書籍やネットから無料で取得できる情報をたくさんと述べてページ数を稼いでいる商材も多い。

先入観なく検証していこう。セールスページからある程度は予測していたのだが、この商材は重要な経済指標発表時に一時的な値動きを捉えようとするものだ。

米雇用統計など重要な経済指標の発表直後には価格が大きく動くことが多い。

大抵はしばらくすると落ち着くのだが、その動きを捕らえて利益を上げると言うやり方は割りとポピュラーだ。

しかしそれは言うほど簡単ではなく、同じようなことを考える人も多い。

故に指標発表時には一気に注文が殺到することが多く、自分の出した注文がなかなか通らなかったり、成り行きで注文すると自分が想定していたレートと大きくかけ離れたレートで約定されてしまったりする。

さて始めにも書いたがこの商材は18Pしかなくネタ1発ものなので、もったいぶらずに書こう。

# E-BOOKのダイジェスト

ご存知の方も多いたろうが、基本的にFXの取引というのは各FX業者との1対1の相対取引である。

株の場合注文は証券取引所を通してされ、一括して管理される。

どの証券会社を利用しようと値動きに違いはない。

しかし相対取引であるFXでは利用している業者のシステムによって、レート動きが違う場合があるのである。

特に重要な経済指標発表後には一時的にレートが大きく動くので、システムによって反応時間が違う場合がある。

無論時間が経てばほぼ同じになるのだが。この商材の手法は反応が早い業者のチャートを見て、値動きを確認してから反応の遅い業者で注文を出すというものである。

時間が経てば両者の価格はほぼ同じになるのだから、予め分かっている未来の価格で取引するようなものだ。

商材にも書いてあるように「…チャート確認用FX業者のチャートで指標発表直後のレートの動きを確認し、トレード用FX業者で値動き前のレートでエントリーするという方法だ。

これが可能ならまさにセールスレターの「レートが上がったのを確認してから上がる前のレートで買うことができます」が可能だろう。

# E-BOOKのダイジェスト

さて手法の概要の説明のあとは取引に使う業者の紹介に入る。

まずチャート確認用FX業者として「マネーパートナーズ」「kakakuFXなどのSAXO系」「GFT, AFT-FX, オリックスFXなどのGFT系」が推奨されている。

なかでもマネーパートナーズのハイスピードというチャートの反応が一番早くオススメだそう。

またチャートはマネーパートナーズとSAXO系またはGFT系の2種類を同時に見るほうが、チャートの反応が遅い場合に対処できる。

このチャートを2種類同時に見るために著者はPC2台を利用するのが望ましい。

もし1台しか利用できない場合はマネーパートナーズを使う。

次はトレード用FX業者だ。アイディーオー証券、イーフォレックス、アストマックス、岩井証券などのユニコム系の業者を使う。

アストマックスでは口座の種類によってSAXO系もあるので注意が必要だ。

さて準備は整ったのでいよいよ取引手順だ。

経済指標発表の数分前にマネーパートナーズの取引画面のログインし、1分足チャートを表示させる。

このチャートを画面の1/5程度に縮小させる。

# E-BOOKのダイジェスト

次にトレード用FX業者の取引画面のログインし、新規注文画面を残りの4 / 5に表示させる。

そして米経済指標なら米ドル円、豪経済指標なら豪ドル円のように基本的には経済指標発表国／円の通貨ペアを設定。

取引枚数も設定しておく。注文方法は「成り行き」に設定する。

経済指標発表数十秒前になったら注文確認画面にしておく。

スプレッドは発表30～40秒前から段々拡がり10秒前で大体最大になる。

そして指標が発表されたときマネーパートナーズのチャートを確認する。

マネーパートナーズのチャートを見てレートがトレード用FX業者のスプレッド以上に動いていたら注文確定する。

もちろん「上昇していたら買い注文」「下落していたら売り注文」なのはいうまでもない。

これで終了だ。著者によるとマネーパートナーズとユニコム系のレートには反応速度に差があるという。

普段はほとんどないのだが重要な経済指標発表時などのレートが大きく動くときにはこれが発生する。

米雇用統計時には10秒近くの時差が発生することもあるそうだ。

米雇用統計・ドル円で15 p i p s, 15 p i p s

# E-BOOKのダイジェスト

米小売売上高・ドル円で12 p i p s、ポンド円で15 p i p s

加失業率・カナダ円で35～37 p i p s

英小売売上高、消費者物価指数・ポンド円で30 p i p s

これくらいのスプレッドが仕掛ける目安となる。しかし決済はどうするのか。エントリーした時点で利益は出ているはずだが、それは2つのレートが元に戻った場合である。

ただしエントリー後、2つのレートはすぐには元に戻らないので、しばらく待つ。大体1時間以内には元の戻る場合が多いとのことだ。

レートが元に戻らず逆方向に行った時損きりになる。

通貨ペアはドル円、豪ドル円、カナダドル円、ポンド円、ポンドドル、ユーロドルなどを推奨している。

経済指標は米、豪、加、英の雇用統計、GDP速報値、小売売上高、消費者物価指数などレートが大きく動き可能性がある時を狙い目だ。

最後に注意点が2つある。一つはマネーパートナーズも指標発表時にスプレッドが広がり瞬間的にレートが下降するがそこでエントリーしないようにする。

二つ目はエントリー時のスプレッドはトレード用FX業者を基準に考えるということ。

つまりトレード用FX業者のスプレッドが15 p i p s だったらマネー



# E-BOOKのダイジェスト

パートナーズのスプレッドが15 p i p s以上広がった時にエントリーするということだ。

以上ほぼこの手法の内容を書いた。理論上は可能だと思うし、実践できるならセールレターにあるように「理論的にノーリスク」だろう。

しかしこのような経済指標発表時には注文が殺到するため、成り行き注文ではいくらで約定できるかわからない。

またスプレッドが戻らず逆行する場合もあるだろう。

このような手法の場合、実際やってみなければわからない部分がある。

また業者側でシステムの変更などをされた場合はまったく使えなくなってしまう。

いつまで有効かはわからないのだ。ある日突然使えなくなってしまうことも充分にあり得る。

さて後日著者から2000年5月21日に発表された加消費者物価指数直後のマネーパートナーズとユニコム系業者の取引画面の画像が証拠として送られてきた。

画像を見ると確かに発表直後マネーパートナーズのチャートが20 p i p s近く上昇している。

そしてユニコム系業者のレートは約6秒後に上昇し始めている。

# E-BOOKのダイジェスト

但しユニコム系業者のスプレッドが30 p i p s開いていたため、エントリーはしていない。

このように実際に反応の遅れがあったとしても、トレード用業者も指標発表時にはスプレッドが拡大するので、それ以上にマネーパートナーズのレートが動かなければエントリーはできない。

実際どれくらいの頻度で取引機会があるか、ということだ。

1回のトレードで得られる利益は少ないので、あまり取引機会がなければ実用的ではないだろう。この手法の有効期限があまり長くないことは容易に予想できる。

それを考えるとこの程度の取引機会、利益でとても元は取れないのではないだろう。

# 超然FX

## 発行元情報

■発行元	合同会社トライアングル・エージェンシー
■代表	小林浩忠
■著者	西本麻耶
■所在地	大阪府大阪市北区梅田 1-3-1 大阪駅前第一ビル 2F 205 号
■電話	090-8461-4151
■メール	nfo@chozenfx.com
■ URL	http://chozenfx.com

価格 63,000 円

## … 目次 …

第一章 FX 基礎知識編 .....	41P
1. FX とは	
2. 24 時間トレードできる市場	
3. FX の時間的な流れとは	
4. 小さな元手で大きなリターン	
5. レバレッジの破壊力	
6. 超絶なコストの安さ	
7. 基本的な FX の 2 種類の利益	
8. FX で儲けるその 1	
9. FX で儲けるその 2	
10. FX の危険とリスクとは？	
11. 取引会社を探しましょう	
12. 為替保証金取引業者リスト (順不同)	

第二章 投資力育成編..... 15P

1. 投資家を育む力
2. 勝ち続ける一步は業者選定から
3. 過信とはすなわち破産
4. 信じる者は？
5. リスク管理
6. トレードルールの確立

第三章 超然 FX..... 4P

1. 超然 FX の目的
2. 超然 FX の分類
3. 超然 FX で参考にする指標
4. 超然 FX トレード
5. 超然 FX の流れ

第四章 超然 FX まとめ..... 8P

1. 口座開設
2. デイトレードかスイングトレード化の見極め
3. RSI が指示%の場合はスイングモード
4. ロングポジションの確保
5. ポジションを確保した時点での RSI によって

●全 108 ページ

図解やチャート画像などが一切なく、非常に分かりづらい構成。  
正味の内容は 40 ページほど。

# E-BOOKのダイジェスト

この商材「超然FX」のサブタイトルは「人生やり直しプロジェクト」である。

随分大きく出た感じがする。ちょっと前まではこんなタイトルの商材も多くあったが、最近では珍しい。

まずセールスレターを見ると最近では珍しいくらいの威勢のいい言葉が連ねられている。

「あなたはサブプライム問題を歓迎するだろう」

「同時に格差社会に感謝することになるだろう」

「勝率98% 理不尽な相場に超然的対応で暴利を貪る技」

少し前の詐欺商材の匂いのするセールスレターである。

とはいえ先入観は禁物だ。早速商材の内容に入ることにしよう。

まず第一章は「FX基礎知識編」となっている。

FXの基礎知識や取引業者の紹介などの内容である。

一般の書籍などでも充分の入手できる情報なので特にいうことはないだろう。

第二章は「投資家力育成編」。まずは取引業者の選定方法だ。

1. 金融庁から許可がでていること。
2. 企業情報が明確なこと。

# E-BOOKのダイジェスト

3. リスク説明なりリスクに関する記述があること（重要）
4. 手数料が明確なこと。

以上が選定基準だ。

次にリスク管理。「この手法の1日の平均利益率は3～5%なので損失が2%出ればその日の取引は中止する。」

これがリスク管理のすべてである。あまりに漠然としていて数字の根拠もない。

これでは実際のトレードには役に立たないだろう。

わざわざ見出しを付けて書くほどの内容でもない。

次はトレードルールの確立。トレードルールを確立するためには以下の3つがポイントだという。

1. **トレードする時間を決める。**
2. **取引戦略に必ず符号するタイミングでの取引に集中する。**
3. **目標の利益額を達成したらそれ以上その日はトレードをしない。**

「3.」の部分は謎である。利益をできるだけ伸ばすのがトレードで勝つには重要だし、優位性がある手法ならできるだけ取引機会を多くした方がいいのは明らかだ。

これで第二章は終わりである。「投資力育成編」としているが、これだけ

# E-BOOKのダイジェスト

ではとても投資力は育成できないだろう。

ここまでの内容ははっきり言ってお粗末だったが、商材の価値は売買手法が有効かどうかにかかっている。

第三章からはいよいよ売買手法の説明だ。

この手法は短期と中期2種類の売買を同時に行う。

売買ロジックもそれぞれに異なる。メインは短期トレードとなり、指標でシグナルが出た場合に中期トレードも行う。

ではまず短期トレードの説明をしよう。使用する通貨ペアはドル円である。

取引業者はA F T - F Xダイレクトトレードだ。

後に説明するがこれ以外の取引業者ではこの手法は実行できない。

手順は以下となる。

1. 午前6時50分を過ぎてから午前7時前ギリギリまでドル円のショートポジションを取る。
2. リミットは安全性を重視するなら2 p i p s , 利益率を重視するなら3 p i p s 以上資金量とレバレッジに応じて設定・
3. 午前7時を過ぎてドル円が急落し、設定リミットに到達したら決済。

それではこの手法の根拠を説明しよう。実際にF Xをやっている人なら分かると思うが、ポジションをもつと毎日損益とスワップが取引画面に表示される。

時にはポジションを数日間から数ヶ月保有する場合もあるだろう。

# E-BOOKのダイジェスト

しかし実はその間ずっとポジションを保有しているわけではなく、じつはFX取引業者は毎日スワップを確定するために毎日決まった時間にポジションを決済して、すぐにまたポジションを建てるということを行っている。

これをロールオーバーという。多くのFX取引業者はこのロールオーバーを行う時間が午前7時前後でこの時間になるとスワップ狙いの買いが集中する傾向にある。

なぜかというと午前6時59分のポジションを持ち、午前7時01分に決済してもスワップが貰えるからだ。

そのため午前7時前後にレートが急上昇してすぐに反落する。

この反落を狙って午前6時50分のドル円のショートポジションを建てるといふわけである。

といってもショートのポジションをその時刻に持てばマイナススワップも普通は発生してしまう。

しかしAFT-FXダイレクトトレードのロールオーバーの時刻は午前5時なので、マイナススワップは発生しない。

これがこの手法の短期売買のロジックだ。理屈としては納得できる。

筆者はAFT-FXダイレクトトレードの取引口座は持っていないが、外為どっとこむのネクストチャートで検証してみた。

データ入手の関係で3日間しか検証できなかったが、もし商材に書いてあ



# E-BOOKのダイジェスト

るとおりなら午前7時前後のレートの上昇と下落はほぼ毎日起きるはずだ。

使用チャート：外為どっどこむネクストチャート

通貨ペア：ドル円

時間帯：午前6時50分～午前7時50分

期間：2008年5月20日～5月23日

5/20 6:50のレート104.31円

7:10最大下落103.28円

5/21 6:50のレート103.63円

7:15最大下落103.64円

5/22 6:50のレート103.01円

7:14最大下落102.97円

商材に書いてあるような10 p i p sの下落は一度もなかった。

せいぜい4～5 p i p sもあればいい方で、これではスプレッドでほとんど帳消しになってしまうだろう。

いや逆にレートが上昇してしまう日もあった。

商材ではこの短期トレードで資金を少しづつ増やし次の説明する中期トレードにつなげるという。

しかしこの短期トレードで資金を増やすのは無理だろう。

本当に筆者はこの方法を実施したのだろうか？大変に疑問である。しかも

# E-BOOKのダイジェスト

本商材は6万円以上する。比較的高額な商材の多いFXの商材の中でも高価な部類に入る。読者は価格に見合った情報を求めているのだから、筆者はそれに応える義務がある。

例え利益をあげてもわずか2 p i p s程度しか見込めない手法で、どうやってセールスレターにあるような利益を上げられるだろうか。

どれくらいレバレッジをかければいいのか。

またこの短期トレードには損きりも設定されていない。

「勝率97%」だから損きりなどしなくよいのか。

そんなことはない。3日間の検証だけでは断言できないが極めて疑わしい手法だ。

この分では次から説明する中期トレードも期待できないが、先入観なしに見ていこう。

まず取引する通貨ペアは短期トレードと同じくドル円である。

使用する指標：RSI

取引時間：23時59分。

手順は以下となる。

**1. RSIが30%（29～31%）になった日の23時59分に買いのポジションを持つ。**

# E-BOOKのダイジェスト

そしてRSIが60%になったら決済。

2. もしRSIが28%を切った場合買いポジションを決済して、売りポジションを持つ。
3. 売りポジションを持った場合はRSIが61%になったら決済して買いポジションを持つ。
4. この場合はRSIが75%まで保有し、'%付近で決済、売りポジションを持つ。

RSIは売られ過ぎ買われすぎを見るオシレーター系の指標で普通は30%以下では売られ過ぎ、70%以上では買われ過ぎと判断し、逆張りを行う。

本商材に書いてある手法もそれを多少アレンジしたものだ。

これでセールスレターにあるような「勝率97%」の結果を出せるとはとても思えない。

同じような方法でRSIを使っている投資家などゴマンといるだろうに。

特にオリジナリティのない情報で6万モノ金額を取られれば、購入者は騙されたと思うだろう。

しかも驚いたことにこの商材はテクニカル指標を使いながらその画像が一枚もない。

というよりこの商材中には画像が一枚もない。

だから説明が非常に分かりづらい。筆者も随分いろんなFX情報商材もみ

# E-BOOKのダイジェスト

てきたが、さすがに画像が一枚もない商材は初めてだ。

さてこの売買ロジックの根拠だが「市場の必ず買われすぎあ売られ過ぎは予定調和のうちに収束するという法則を最大限に生かしております。(誤植は原文のまま)」とある。

「そしてRSIの動きによる、通貨価格の変動と過去のデータから利益率を割り出してみると30～60%の間で約150%～300%程度、25%～75%の間で250%～480%程度となっております」ともある。

もちろん検証結果などは載っていないのでなんとでもいえるだろう。

第一その利益率とはどんな計算でどんな条件で計算したのかもまるで書かれていない。

そして売買ルールでなぜ「23時59分」にエントリーしなければならないかの説明もない。

いろいろ筆者も考えてみたがこれといった理由は浮かばなかった。

そしてロスカットだがこうある。「とりあえず5%を目途にロスカットしてください。」

とりあえずとはどういう意味だろう、5%とはなんの5%なのか。

そして肝心などのタイムフレームでRSIを見るのかという説明もないし、パラメータの設定もどうするのかの説明もない。

内容を見るとおそらく日足だろし、パラメータはデフォルトの設定ということだろうが、すべてにおいて説明不足だ。

# E-BOOKのダイジェスト

結論を言うと短期トレードは机上の空論でほぼ事実を確認できず、中期トレードはどこにでもある方法を多少アレンジしたものに過ぎない。

そして手法の根拠も裏付けも何も提示されていない。

セールスレターは明らかに虚偽広告のオンパレードである。

「月間利益率平均29.7%」「過去5年間動かなかった真実の数字」

こんな言葉がとても空しく響いてくる。この数字の根拠を是非著者に示して欲しいものだ。

投資、特にテクニカルなノウハウとは、誰もわからない未来を過去の動きから推測して予想するものである。未来はわからないということを良いことに、このようないい加減な商材もあるということを読者も注意しなければならない。

# 帝王投資！

目録 225 ミニを使って 50 万を 1 億にする方法！

## 発行元情報

■発行元	有限会社 アクロサーブ
■販売責任者	土屋博嗣
■所在地	東京都渋谷区恵比寿西 1-29-5
■電話	03-3463-2422
■メール	support@acroserve.jp
■ URL	<a href="http://www.wind-circuit.info/teiou/r_infocart.html">http://www.wind-circuit.info/teiou/r_infocart.html</a>

価格 49,800 円

## … 目次 …

帝王投資の具体的なストラテジーについて.....	3
1. なぜ、この投資法は勝率が高いのか？	
2. トレンドを作り出す仕掛け	
3. 84%のプロ達が“意図的”に仕掛けているという事実	
帝王投資のバックテストの結果.....	6
1. 2,007年10月15日～2008年1月30日までの検証結果	
2. 過去10年間の検証結果	
現在の売買指ストラテジーについて！.....	13

- 付属. 帝王投資ストラテジーDVD 3枚
- 冊子全 13 ページ。本文は白黒で作りはやや安価な感じ。  
DVD は画面がやや薄暗く見にくい。

# E-BOOKのダイジェスト

本商材の手法は日経225先物(ラージ、ミニ)を対象にしたデイトレードだ。PDFファイルのマニュアルは無く、13Pの冊子と3枚のDVDから構成されている。

ではまずは冊子の内容から説明しよう。この手法の根拠は機関投資家の動きにある。

日経225先物、ミニの市場において全体の84%を占める機関投資家やプロのトレーダーは莫大な資金を動かしているが、その資金が莫大な故に大きなトレンドが無ければ利益を挙げることが難しい。

そこで彼らはある一定のポイントで仕掛け、トレンドを作ろうとする。

そのポイントとは「後場の寄り付き」である。彼らは午前中に相場を観察し、上昇トレンドなのか下降トレンドなのか、トレンドが出やすいのか出にくいのか判断する。

そして後場の寄り付きで仕掛ける。といっても彼らはトレンドが発生しやすいように始めに勢いをつけるだけだ。

あとはこの動きを見た一般投資家が勝手にトレンドを作ってくれる。

このように後場寄り付きには仕掛けによって、トレンドが作られる。

本商材の手法はこのトレンドに乗って利益を挙げるのである。

具体的な売買ロジックは以下になる。

# E-BOOK のダイジェスト

## 1. 投資対象は 1 限月（一番近い限月）

日経 225 先物は先の限月のものは極端に出来高が少なく、売買が成立しない恐れがあるため。

## 2. 仕掛ける時間帯

後場寄り付き。

## 3. エントリー

板情報から売りと買いの厚みや値段の分布状況などを見て、前場終値より後場寄り付きが高いか低いかを予測する。

- ・前場終値より後場始値が高く寄りつくと予測したら、後場寄り付きで成行買い。

（買い売りともに 12 時 25 分頃までに注文を入れる）

- ・前場終値より後場始値が低く寄り寄りつくと予測したら、後場寄り付きで成行売り。

- ・前場終値と後場始値が同じと判断したらエントリーしない。

## 4. 利食い

± 30 円

## 5. 損きり

- ・買いの場合は前場 10:30 から 11:00 の間の最安値から 5 円下で損きり。

- ・売りの場合は前場 10:30 から 11:00 の間の最高値から 5 円上で損きり。



# E-BOOKのダイジェスト

\*上記設定で損きり値が±50円を超える場合は±50円で損きり。

## 6. 手仕舞い

大引けまで利食いも出来ず、損きりにも引っかからない場合は大引けで手仕舞い。

では次はDVDを見ていこう。DVDは「帝王投資ストラテジー セミナー編」「帝王投資ストラテジー 実践編」「ヒルトン投資セミナー編」からなる。

「帝王投資ストラテジー セミナー編」

初心者向けのセミナーが収録されている。

一般的な日経225、株式などの投資対象の特徴、テクニカル指標の基本などが内容である。

「ヒルトン投資セミナー編」

以前行われた短期株式投資の手法のセミナーが収録されていて、売買ロジックも説明されているので挙げてみよう。

使用するテクニカル指標

- ・日足ローソク足
- ・単純移動平均線（5日、25日）

# E-BOOK のダイジェスト

- ・単純移動平均線（13 週、26 週）
- ・ストキャスティクス
- ・RSI
- ・RCI

## 1. まず以下の条件で上昇トレンドにある銘柄をピックアップする。

- ・日足の移動平均線が下から 13 日、5 日と並んでいていずれも右肩上がりになっている。
- ・週足の移動平均線が下から 26 週、13 週と並んでいていずれも右肩上がりになっている。

## 2. エントリー

a. ローソク足が次のいずれかの形になっている。

- ・たくり線
- ・勢力線
- ・包み線
- ・はらみ線
- ・捨て子線
- ・毛抜き底

c. テクニカル指標がすべて以下の状態にある。

- ・ストキャスティクスのゴールドンクロス

# E-BOOKのダイジェスト

- ・ RCI が 30%以下
- ・ RSI が 70%以下

b、c の条件を満たせば成行でエントリー

## 3. 手仕舞い

- ・ 利益が 5%など数値で設定。
- ・ ストキャスティクスのデッドクロス

## 1. 損きり

- ・ 損益が - 5%など、または価格が - 1000 円などに設定。

手法としてはオーソドックスであるし、内容も書籍レベルである。

この内容はベーシックコースということなので、さらに上級コースもあるようだ。

「帝王投資ストラテジー 実践編」

この DVD は本商材の手法を説明したものだ。売買ロジックの説明は冊子と同じだが、実際の勝ちトレード、負けトレードの例を出して説明している。

また初心者向けに口座開設方法やカブどっとコム証券を使った注文方法も説明される。

DVD の説明は以上だ。ここでもう一度売買ロジックに戻ろう。

売買ロジックはとてもシンプルなものだが、根拠はある。

# E-BOOK のダイジェスト

またこの手法ならセールスレターにあるようにチャートを見る必要もないし、投資の技術や知識がなくても実行可能だろう。

実際筆者が 2005 年から 2007 年までバックテストを行ってみたが以下のような結果となった。

日経 225 ラージ 1 枚で取引

2005 年

損益 1640000 円

勝率 60.19%

パフォーマンス 164.0%

2006 年

損益 1224321 円

勝率 54.25 %

パフォーマンス 122.4%

2007 年

損益 1765430 円

勝率 64.34%

パフォーマンス 176.5%

冊子に掲載されている「76.1%」ほど高勝率ではないが、十分なパフォー

# E-BOOK のダイジェスト

マンスだろう。

ただしこの手法を実行するとなるとひとつネックがある。

「板情報から売りと買いの厚みや値段の分布状況などを見て、前場終値より後場寄り付きが高いか低いかを予測する。」の部分だ。

板情報からどのように予測すればいいのかは冊子でも DVD でも説明されていない。

ここが売買ロジックのもっとも重要な部分なのにだ。

実は売買指示を配信するサービスをこの会社は月額 30000 円で行っていて、本商材も購入すると 1 ヶ月分は無料で配信を受けられる。

この配信サービスの申し込みに結びつけるため、ワザとこの部分を伏せたおしか思えない。

結局購入者は配信サービスに申し込まなければ、自分でこの部分の判断をしなければならない。

セールスレターに「なぜならこのルールは素人でも実践できる【簡単なルール】だからです。」とあるのにだ。

49800 円も払って結局自分の判断で取引できないのでは何の意味もないではないか。

これなら最初から配信サービスに申し込んだ方がいい。

これはセールステクニックなどではなく、明らかに重大事項の不告知だ。

ただ筆者個人の意見としては、寄り付きの値を見て前場終値よりも高いは

# E-BOOKのダイジェスト

低いか見極めてから、注文を出してもいいのではないかと思う。

これなら寄り付き価格を前もって予測する必要はない。

実際に確かめていないので、思った価格で約定しないとかいろいろ問題がでてくるかもしれないが。

いずれにしても有効な売買ロジックを姑息なセールステクニックで貶めてしまったのは残念である。

初心者でも覚えたてのFX投資で73万円

# 【投資 KING のFX 完全極秘投資術】

## 発行元情報

■発行元	有限会社サウザンドフェイス
■販売責任者	大戸要
■所在地	東京都新宿区新宿 7-297-9 リプレ東新宿 1701
■電話	03-3252-6002
■メール	info@1000faith.com
■URL	<a href="http://fxtoushi-king.com/">http://fxtoushi-king.com/</a>

価格 39,800 円

## … 目次 …

著作権について.....	2
使用許諾契約書.....	3
はじめに.....	5
「消費税 20%時代！！」到来.....	11
自分の資産は自分で守る！！.....	14
円高・円安とは？.....	22
例えば、証拠金として10万円預けたとします。.....	26
FX取引の仕組み.....	28
FXの取引業者はどこで儲けるのか？.....	31
スプレッドについて.....	32
FXメリットのまとめ.....	35
「レバレッジ」と「リスク」の関係.....	37
FXの「レバレッジ」のまとめ.....	39
「リスク」について.....	40

流動性のリスク .....	42
システムのリスク .....	45
信用リスク .....	46
こんな FX 業者は危険です！！ .....	49
FX「リスク」のまとめ .....	50
ストップロスについて考える .....	52
FX って危険なの？ .....	54
このままでは危ない！自分の資産は自分で守る.....	55
口座開設をしよう！ .....	57
デモトレード .....	59
FX 会社比較サイト .....	63
取引通貨について .....	68
取引開始.....	70
実践編 .....	71
ファンダメンタル分析 .....	72
テクニカル分析.....	76
テクニカル分析は二つのパターンに大別される.....	77
ローソク足 .....	78
トレンドラインから相場を読む.....	80
移動平均線（MA） .....	82
グランビルの 8 法則 .....	83
ゴールデンクロスとデッドクロス .....	87
勝つためにテクニカル指標うい使いこなす！！ .....	92
投資の 80：20 の法則、大逆転指南！！ .....	101
投資金額の設定.....	104
必殺何十倍どころではない資産増加加速装置 .....	105
オーダー方法 .....	109
成行・指値・逆指値.....	110
成行・指値・逆指値、各注文の長所と短所.....	112
IFD（イフダン）注文 .....	113
OCO（オーシーオー）注文 .....	114
IFO 注文（アイエフオー IFD + OCO）.....	115
スワップポイントの魅力 .....	117
勝つために一番必要なこととは？ .....	123
各国通貨の種類と特徴 .....	127



# E-BOOK のダイジェスト

「資産ゼロから FX1 億円プレーヤーが誕生する秘密」とあるこの商材、セールスレターには景気のいい話が満載である。

全 152P からなるこの商材、まず開いて見て感じたのは「随分行間が広いな」ということである。

これまでの経験では行間が広い商材によいものは無かった。

多くの場合ページ数の水増しにつぐ水増しで中身はスカスカというのが常だった。

そうではないことを願いつつ内容を見てみよう。

まず日本の現状や経済状況の話が書かれている。

前振りなのだろうが、これがやたらと長く 16P まで続いた。

次に FX の基礎知識の説明がある。これもまた長くやっと終わったのが 70P であった。

約半分のページ数を書籍で入手できる情報に費やしているわけだ。

やっと次からは実践編ということで売買ルールの説明が始まるかと思うと、またテクニカル分析とファンダメンタルズ分析の一般的な説明が始まった。

といってもファンダメンタルズ分析の具体的な方法は次の一文のみである。

# E-BOOK のダイジェスト

「「ニュースを見る」たったそれだけでもファンダメンタルズ分析です。」  
4万円近くも出してこれでは読者は騙されたと思うだろう。筆者にはファンダメンタルズの知識はないということがバレてしまう。

まあ間違っていないのだが、具体的にどう分析し判断するのが、まるで説明されていない。

わざわざ取り上げるほどの内容ではない。こんなことはいまさら言われなくても誰もがわかっていることだ。

ここまでですでに 92P を費やしている。具体的な売買ルールの説明はまだ始まっていない。

半分以上過ぎても具体的な説明が始まらないのだから、水増しが多すぎると判断されても仕方ない。

やっと 93P から売買ルールの説明が始まった。

では説明にはいろいろ。使用する通貨ペアは変動幅が大きいからと理由でポンド円が選ばれている。

使用するテクニカル指標は MACD とスローストキャスティクス。

チャートは 60 分足を使う。エントリーは以下の条件で行う。

**1. スローストキャスティクスが 20%以下で MACD がゴールデンクロスしたら買い。**

# E-BOOK のダイジェスト

2. スローストキャスティクスが 80%以上で MACD がデッドクロスしたら売り。

これがセールスレターにあった「投資 80：20 の法則、大逆転指南のもたらず、骨太な投資効果とは！？」の正体だ。

ただのストキャスティクスのパラメータではないか。

だいたい「大逆転指南のもたらず、骨太な投資効果とは！？」の部分はどこにあるのだ。

そしてもっと驚いたことに売買ルールはこれが全てなのである。

セールスレターにある「ストキャスの「だましの回避方法とは！？」

「ゴールデンクロスとデッドクロスの遅行性バツグンの生かし方とは！？」

などは一体どこに書いてあるのだろう。明らかなセールスレターとの乖離である。

こんな数行で済んでしまう売買ルールをページ数の水増しに次ぐ水増しで 152P にし、高額で販売しているのである。

それでも売買ルールがオリジナルで有効性があるのならいいだろう。

しかしただの MACD のクロスにストキャスティクスを組み合わせただけだ。

不実告知と水増し、更には何のオリジナリティもない情報。これは悪質商

# E-BOOK のダイジェスト

材だと言ってもいいだろう。

もちろん売買成績などどこにもものっていないので有効性の証拠などない。

こんな情報は書籍どころかネット上で無料で手に入るだろう。

とても数万円の価値があるものではない。

また損きりルールの説明はなにもないし、資金管理の説明も一文あるのみである。

「自分の投資可能金額の 60% くらいが妥当な線だと私は考えます」

もちろん根拠など何も書かれていない。こんなものは資金管理ルールとはとても言えない。

スワップ狙いについて説明もあるが、内容はやはり次の一文のみである。

「メジャーカレンシーとニュージーランドドル・オーストラリアドルが円高に触れている時の余剰資金で購入し、長期保有する事、レバレッジは 10 倍以内でおこなう」もちろんこんな曖昧な説明では何の役にも立たない。

さてこの商材いたるところにセールスレターと商材内容の乖離があるがそれをみていこう。まずは「必殺十倍どころではない資産増加加速装置とは!？」の内容を説明しよう。

始めに 0 ~ 10 万円に資金を増やす。どう増やすかは巻末の特典に記されているので後ほど説明する。

そして 10 万円 ~ 50 万円までこの手法で資金を増やすという。

# E-BOOK のダイジェスト

以下がそのシナリオだ。

1. 10 万円で 2 万ポンド購入。3 円の為替差益で 6 万円の利益を得る。ここで資金は 16 万円になる。
2. 次に 3 万ポンド購入する。3 円の為替差益で 9 万円の利益を得る・これで資金は 25 万円になる。
3. 次に倍の 6 万ポンド購入する。3 円も為替差益で 18 万円の利益を得る。これで資金は 43 万円になる。
4. 次に 10 万ポンド購入する。3 円の為替差益で 30 万円の利益を得る。これで資金は 73 万円になる。

まったくこんなことは実現性がない。勝率 100% とでもいうのだろうか、負けた時のことをまるで計算していない。

ただ複利で再投資しただけではないか。

「ズバリ、FX で勝つために一番必要なこととは!？」についてはこうある。それは損きりで「大きく儲け、損は小さく」だそうだ。

むろんこれだけで、どうすればそうできるかの説明などなく、前述したように損きりルールさえない。

大体いまさら言われなくてもこんなことは誰でも知っている。

さて最後に特典の「所持金 0 円から投資元金を作る方法」について説明しよう。

なんのことはないただアフィリエイトしましょうというだけである。

# E-BOOK のダイジェスト

内容はアフィリエイト ASP の登録方法だけだ。あとはブログ、ホームページ、メールマガジンで宣伝しましょう、これがすべてだ。

これも明らかにセールスレターと商材内容が乖離している。

明らかなセールスレターと内容の乖離の数々

どこにでもある無料で手に入る売買ルールを高額で販売、必要のない水増しだらけのページと、久々にみるひどい商材だ。

数万円どころか数千円の価値もない。

しかもセールスレターは他の投資系の商材と比べてもきれいに、丁寧に作られているため、騙される人は多いと思う。十分注意が必要だ。

# 暴落破壊投資術

## 発行元情報

■発行元	榊原祐樹
■販売責任者	榊原祐樹
■所在地	千葉県千葉市若葉区中野町 129-3
■電話	090-9138-4708
■メール	info@mutekikabu.com
■ URL	<a href="http://mutekikabu.com/top/">http://mutekikabu.com/top/</a>

価格 39,800 円

## … 目次 …

1.	はじめに .....	6
2.	空売りの有効性.....	8
3.	必ず暴落する銘柄.....	15
4.	空売り銘柄を探し出す為の条件 .....	18
5.	銘柄を選ぶ時の注意点.....	34
6.	必ず勝てる空売りデイトレード法.....	36
7.	実例銘柄検証 .....	40
8.	底値圏でも空売りして取れた例 .....	57
9.	上手な資金配分.....	62
10.	特典について .....	63
11.	おわりに .....	68

●全70ページ。文字も大きく行間を広く取ってページ数を水増ししている。

# E-BOOKのダイジェスト

セールスレターには最近ではあまり見なくなった札束の写真、そして「過去20年間の成績は勝率が100%、複利で計算すると資産は7000倍にもなる究極の投資法」と大きく出ている。

勝率100%を謳っている商材でこれまでまともなものに筆者は出会ったことがない。

勝率100%など投資においては有り得ない。

要はいくら含み損を抱えても損きりをしないだけなのだ。

損きりをしないのだから勝ち負けは確定しない。

しかしいつまでの持ちこたえられるわけでもなく、資金に限界がきたら破産して終わりである。

この商材がそうでないことを祈るが…では商材の検証に入ろう。まず株の空売りの有効性が説明される。

セールスレターを読んでも分かるようにこの手法は株の空売りを使ったものだ。

手順としてはまず空売りに適している銘柄を以下の条件で探し出す。

1. 業績が伴わないのに意味も無く上がっている。
2. じっくりトレンドを作って上がるのではなく突然急騰している。
3. 信用倍率が2倍以上



# E-BOOKのダイジェスト

また銘柄を選ぶ際には以下の点も注意するとよい。

1. 上方修正などの好材料が出て上がっているか？
2. 割安銘柄で見直し買いが入って上がっているか？
3. 業績に裏づけされて上がっているのか？

この条件で銘柄をスクリーニングするというが「3.」以外の条件はあまりに漠然としている。

具体的な数値や見方を説明しないとまるで意味がない。  
ここが肝心な点なのにまるで説明不足だ。

「必ず暴落する銘柄の見つける極秘法を特別に大公開。

これをマスターすれば、暴落銘柄を簡単に見つけることが出来、かつ爆発的に資産が増えるようになる事は間違いないです。」

セールスレターに書いてあるこんな言葉が空しく聞こえる。

またこうも書いてある。

「絶対に負けない空売り銘柄にはある共通のパターンがあります。

それは、〇〇型を見つけること。誰も知らない究極の銘柄抽出法を教えましょう。」

この究極の銘柄抽出法を覚えると、後は単純作業だけで何も考えることなく、空売りが出来るようになります。」

この〇〇型とは一体商材中のどこにあるのか、随分探したのだがついに見

# E-BOOKのダイジェスト

つけることはできなかった。

結局筆者は過去のデータから“後出しジャンケン”をしているだけだ。これだったら誰がやっても“勝率 100%”になる。

ここまででこの商材のレベルが見えた気がしたが、とりあえず先に進んでみよう。

次はスクリーニングした銘柄をテクニカル指標でチェックをする。

## 1. 東証一部で25日移動平均乖離率が20%以上上がっている。

「1.」の条件を満たした銘柄の株価がボリンジャーバンドの2σラインに達した時に空売りする。

これだけでもエントリーしても良いがさらに精度を増すためには上記の条件を満たし、5日移動平均線を価格が割り込んだら空売りする。

またデイトレードの手法もある。株価は200円とか300円とかのキリのいい数字の前で一旦上昇が止まる傾向がある。

これはキリにいい数字で利益確定しようという投資家心理の表れだという。

下落最中の銘柄の場合はこのキリのいい数字下抜けると一気に下落することが多いので、キリのいい数字を狙って空売りをし、1～5円程度の利益をとる。

# E-BOOKのダイジェスト

しかしこのデイトレードの手法も運用結果や具体例など一切出てこない。裏づけがないのだ。「買いからではなく、空売りで確実に勝てる究極のデイトレード法を教えます」

いくらこんなことを書かれてもこれでは本当に有効な手法なのかまるでわからない。

以上がこの商材の売買ルールのすべてとっていいだろう。この時点で40P。

この商材は全70Pなのだが後は実践例で埋められている。

売買ルールだけならA41枚に収まるような分量だ。

文字も大きく行間も広いので普通の文字サイズに直せば実質的には約半分程度のページ数だろう。

この商材の価格は39800円だがその値段はA41枚の値段である。

確かに投資情報の価値は分量で量れるものではなく、その有効性である。

しかしこの商材では残念ながらその有効性もなんら証明されていない。

掲載されている実践例にしてほんの数例で統計的に意味のある長期間の売買成績は一切でてこない。

セールスレターにある「過去20年間の成績は勝率が100%、複利で計算すると資産は7000倍にもなる究極の投資法」が実在する証拠はなにもないのである。

誇大広告、虚偽広告も甚だしい、ただ著者が勝手に書いているだけでは信

# E-BOOKのダイジェスト

用できないのは当然だろう。

いくら景気のいい言葉を並べ立ててもなんにも意味はないのである。

最後に資金配分についての説明がある。資金の3分の1を使い、それを3回に分けて売り建てる。

ルールはこれだけだ。しかしどのタイミングでどの価格の時に売り建てるのかの説明は一切ない。

極めて大雑把な説明でこれではとても実際には役にたたないだろう。

そして最後まで損きりルールの説明は一切なかった。

やはりこの商材も損きりをせずに勝率100%を謳うものだったのだ。

具体性が無く裏付ける証拠がない売買ルール、セールスレターとの乖離、損きりをせずに勝率100%を謳う。

この売買ルール自体が間違っているとは言わないが、この商材の内容では漠然しすぎていてとても実行できるものではないし、勝率100%などもありえない話だ。

もし著者に反論があるのならぜひとも運用実績の証拠を見せてもらいたいと思う。

最後に返金条件にはこうある。

「もし、なんらかの理由でこの投資法が気にいらなかった場合、メールを送るだけであなたに1週間以内に全額返金させていただきます。理由は問い

# E-BOOKのダイジェスト

ません」

「さらに、もしこの投資法を使い一つの銘柄で20%以上利益を上げる事ができなければあなたに全額返金+50万円を差し上げます。」

もし本当に返金する気が著者にあるのなら、この自信はいったいどこからくるのかまったく理解に苦しむ。

しかも特商法の表記では

「商品の特性上、申し訳ございませんが返品はお受けできません。ご了承下さい。」と書いてある。返金希望が殺到したらこれをタテに逃げられる可能性もある。

特商法違反で返金請求ということもできるが、そんな面倒なことをしなくても、セールスレターと特商法の表記が矛盾しているような筆者は元から信用しなければいい。つまりこのような筆者からは買わなければいいのだ。

# FXトレンドマスター

## 発行元情報

■発行元	トレンドマスター
■販売責任者	梅原正志
■所在地	茨城県水戸市東前町 1285
■電話	090-5200-2398
■メール	trendmaster@live.jp
■URL	<a href="http://www.fx-trendmaster.com">http://www.fx-trendmaster.com</a>

価格 39,800 円

## … 目次 …

1.	トレンドについて .....	6
2.	持ち合いについて .....	11
3.	テクニカル指標の補助的な使い方 .....	15
4.	トレンド転換とエントリーポイントのおさらい .....	19
5.	セット売買 .....	28
6.	重要なポイントのまとめ .....	32

●全 35 ページ。画像が小さく見にくい。見出しも少ない。

# E-BOOKのダイジェスト

この商材「FXトレンドマスターは」名前のおり相場のトレンドを見極めるものだという。

確かにそれができれば相場で勝つのはたやすいだろう。

しかしそれはとてつもなく難しいことも確かである。

この商材はトレンドの見極めという難問を一体どうやって解くのだろうか興味を持った。

では検証に入るとしよう。本商材ではトレンドの見極めをテクニカル指標を使わずにローソク足、サポート・レジスタンスラインのみで行う。

商材では5分足で説明しているが、日足やその他の時間足でも構わない。基本的にはトレンドをパターンで見極めて裁量トレードを行うが補助的にケルトナーチャンネルというテクニカル指標を押し目買い、戻り売りのエントリーを判断する時に使う。

この指標は2本の上下バンドと単純移動平均線からなるボリンジャーバンドに似たものだ。

一般的にはボリンジャーバンドと同じく上下のラインを反転のポイントとして判断したり、サポート・レジスタンスの目安として使う。

設定はデフォルト（期間10：オフセット0）で使用する。

使用する通貨ペアは特に指定はない。

# E-BOOKのダイジェスト

手順としてはまず下記方法で現在のトレンドを判断することから始まる。

## 上昇トレンドの見極め方

1. 上昇トレンドは必ず直近の安値を割ることなく、直近の高値を超えていく。
2. 直近の高値を超えられず直近の安値を割り込んだ時点で下降トレンドへ変換する。
3. 直近高値を超えられず、ダブルトップもしくは直近高値手前で失速（二番天井）となった場合、下降トレンド転換を警戒する。直近安値を割り込む確率が高い。
4. 下降トレンド中に直近安値を越えた時点で上昇トレンドへ転換する。

## 下降トレンドの見極め

1. 下降トレンドは必ず直近の高値を超えることなく、直近の安値を割り込む。
2. 直近の安値を割らず直近の高値を越えた時点で上昇トレンドへ転換する。
3. 直近安値を割り込めず、ダブルボトムもしくは直近安値手前で失速（二番底）下場合、上昇トレンド転換を警戒する。
4. 直近高値を超える確率が高い。
5. 上昇トレンド中に直近高値を割り込んだ時点で下降トレンドへ転換す



# E-BOOKのダイジェスト

る。

トレンドが判断できたら「上昇トレンド」「下降トレンド」「持ち合い」の各トレンドの手法に従ってエントリーする。

ちなみに「上昇トレンド」「下降トレンド」と判断できない場合はすべて「持ち合い」となる。

## 上昇トレンドでのエントリー

1. 上昇トレンドと判断した場合はケルトナーチャンネル下限近辺で押し目買いを狙う。
2. 直近高値を超えられずダブルトップもしくは直近高値手前で失速した後は見送る。
3. 暴騰後の押し目はケルトナーチャンネルの下限で止まらないことが多いので、ケルトナーチャンネル下限での押し目買いは慎重に行う。
4. 強い上昇トレンドでケルトナーチャンネルの傾きが急な場合、押し目はケルトナーチャンネル下限までくることは少なく、ケルトナーチャンネルの中心まで押した後、上昇を再開することが多い。
5. トレードに慣れてきたら、押し目はケルトナーチャンネル中心と下限の中間辺りに指値を入れておくとエントリーを逃すことが少なくなる。
6. エントリーポイントはおおよそ決まっているので狙ったポイントに指値を入れておく。

値動きが激しい場合は値が飛んだりするので成り行き注文は極力避ける。

7. 買いポジションを持っていてロスカット（下降トレンド転換）となっ

# E-BOOKのダイジェスト

た場合、慣れていればドデンして新規の売りポジションを持ってもよい。

## 下降トレンドでのエントリー

1. 下降トレンドと判断した場合はケルトナーチャネルの上限で戻り売りを狙う。
  2. 直近安値を割らずにダブルボトムもしくは直近安値手前で失速した後は見送る。
  3. 急落後の戻りはケルトナーチャネル上限で止まらないことが多いので、ケルトナーチャネル上限での売りは慎重にする。
  4. 強い下降トレンドでケルトナーチャネルの傾きが急な場合、戻りはケルトナーチャネル上限まで来る事は少なく、ケルトナーチャネル中心まで戻した後、下落を再開することが多い。
  5. トレードに慣れてきたらケルトナーチャネル中心と上限の間回り指値をいれるとエントリーを逃すことがすくなくなる。
  6. エントリーポイントはおおよそ決まっているので狙ったポイントに指値をいれておく。
- 値動きが激しい場合は値が飛んだりするので成り行き注文は極力避ける。
7. 売りポジションを持っていてロスカット（上昇トレンド転換）となった場合、慣れている人ならロスカットと同時にドデンして買いポジションを建ててもよい。

# E-BOOKのダイジェスト

## 持ち合いでのエントリー

1. 持ち合いと判断した場合、持ち合いに入る前のトレンドが上昇トレンドなら持ち合い下限付近でエントリー。

ロスカットは持ち合い下限割れ。

逆に下降トレンドなら持ち合い上限付近でエントリー。

ロスカットは持ち合い上限越え。

2. 慣れている人は持ち合いのエントリーでロスカットになった場合、ドデンしてもよい。

エントリーしたあとの利食いとロスカットは以下のようになる。

## 利食い

1. 買いの場合直近の高値を利食いポイントとする。  
より勝率を高めたいならケルトナーチャネルの上限で利食いしてもよい。
2. 上昇トレンドの場合、押し目（ケルトナーチャネル下限付近）まで押しせば、そこから一気に直近高値を目指すことが多い。

押し目でエントリー後上昇せずにダラダラとした動きが続くようなら押し目で決済してもよい。

売りエントリーした場合、戻り（ケルトナーチャネル上限付近）まで戻れ